

外務省庁舎等施設管理業務 民間競争入札実施要項（案）

セキュリティ上の都合により、一部を修正して
公表しています。

外務省庁舎等施設管理業務民間競争入札実施要項（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号。以下「法」）に基づく競争の導入による公共サービスの改革については、公共サービスによる利益を享受する国民の立場に立って、公共サービスの全般について不断の見直しを行い、その実施について、透明かつ公正な競争の下で民間事業者の創意と工夫を適切に反映させることにより、国民のため、より良質かつ低廉な公共サービスを実現することを目指すものである。

前記を踏まえ、外務省は、公共サービス改革基本方針（平成22年7月6日閣議決定）別表において民間競争入札の対象として選定された外務省庁舎等の施設管理業務（以下「本業務」）について、公共サービス改革基本方針に従って、本実施要項を定めるものとする。

1. 対象公共サービスの詳細な内容及びその実施に当たり確保されるべき対象公共サービスの質に関する事項

1.1 対象公共サービスの詳細な内容

(1) 対象施設の概要

①外務省庁舎

1) 施設概要

ア) 場所

東京都千代田区霞が関二丁目2番1号

イ) 敷地面積 34,423㎡

ウ) 建物概要

SRC造8階建（地下3階） 建築面積13,283㎡、延床面積83,837㎡

2) 外務省庁舎における業務概要

外務省は平和で安全な国際社会の維持に寄与するとともに良好な国際環境の整備を図ること並びに国際社会における日本国及び日本国民の利益の増進を図ることを任務としている。

②外交史料館及び飯倉別館

1) 施設概要

ア) 場所

東京都港区麻布台一丁目5番3号

イ) 敷地面積 9,585㎡

ウ) 建物概要

a. 外交史料館及び飯倉別館 RC造3階建（地下1階） 建築面積2,225㎡、延床面5,903㎡

b. 外交史料館別館 RC造2階建 建築面積279㎡、延床面積559㎡

2) 外交史料館及び飯倉別館における業務概要

外交史料館は条約書その他の外交文書の保管及び外交史料の編纂業務を行って

る。また、飯倉別館は外務大臣等が主催する外交上の会議、招宴及び行事等の開催場所となっている。

③麻布台別館

1)施設概要

ア)場所

東京都港区麻布台一丁目8番18号

イ)敷地面積 750㎡

ウ)建物概要

RC造3階建(地下1階) 建築面積457㎡、延床面積1,630㎡

2)麻布台別館における業務概要

外務事務次官等が主催する外交上の会議及び招宴等の開催場所となっている。

④船橋分室

1)施設概要

ア)場所

千葉県船橋市西船七丁目11番2号

イ)敷地面積 2,869㎡

ウ)建物概要

RC造2階建 建築面積549㎡、延床面積974㎡

2)船橋分室における業務概要

条約その他の外交文書の保管等を行う予定。

◎本業務の範囲：上記①～④の館内及び構内

◎利用者：職員等約3,000人、外来者1日約1,300人

◎テナント施設(①の外務省庁舎のみ)：飲食店5件(食堂4件、喫茶1件)、コンビニエンスストア1件、書店1件、カメラ店1件

(テナントの運営については本業務の対象外とする)

(2)業務の対象と業務内容

本業務の実施にあたっては、外務省庁舎等施設の機能を維持し、外務省庁舎等が実施する業務に支障を及ぼさないように、また、施設利用者にとってより快適な施設利用ができるよう、建物・設備及び外構等の性能を常時適切な状態に維持管理し、適切な運営を行う。

なお、外務本省庁舎等の施設管理業務一覧については本実施要項23頁参照。

①建物設備管理業務

1)建物設備日常点検業務

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室の空調設備及び受変電設備等の運転・監視、日常点検、定期点検、保守等を行う。

2)エレベーター設備保守

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館のエレベーターの定期点検、保守を行う。

3)その他建物維持管理に必要な点検・保守業務

②省エネ法関連業務

エネルギーの使用状況の把握及び省エネに係る提案等

③電話交換機設備管理業務

外務省庁舎、飯倉別館（含む外交史料館）、麻布台別館の自動電話交換機設備及び電話機子機の運転・監視、日常点検、定期点検、保守等を行う。

④自動火災報知設備等保守業務

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室に設置してある自動火災報知設備、屋内消火栓設備、スプリンクラー設備、消火器具、不活性ガス消火設備（窒素ガス、二酸化炭素）、ハロゲン化物消火設備、ガス漏れ火災警報設備、避難器具、誘導灯及び避難標識、排煙設備、連結送水管、消防用水ポンプ、防火設備、非常放送設備、フード用簡易自動消火装置の定期点検、保守を行う。

⑤庭園保守業務

外務省庁舎、飯倉別館（含む外交史料館）、麻布台別館、船橋分室の敷地内にある植栽について、美観維持のため剪定を行う。また、緑化環境維持のため、植え込みの除草、施肥、点検、清掃、害虫駆除等の保守を行う。

⑥入退室管理設備保守業務

外務省庁舎、麻布台別館の一部施設において、職員の入退室を管理する設備の監視、日常点検、定期点検、保守等を行う。

⑦国際会議室音響設備保守業務

外務省庁舎の国際会議室に設置してある音響設備の定期点検、保守を行う。

⑧警備業務

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室の常駐警備又は機械警備を行う。

⑨清掃業務

1)床清掃等

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室の環境衛生、美観を維持するための床清掃等を行う。

2)ガラス清掃

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室の環境衛生、美観を維持するためのガラス清掃を行う。

⑩害虫等駆除業務

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館における害虫及びネズミ等の生息状況・環境調査等を定期的実施し、防除・消毒を行う。

⑪受付業務

外務省庁舎東玄関における来訪者への対応、来訪者の関係省員への取り次ぎ等を行う。

⑫電話交換業務

外務省の代表番号に掛かってくる外線電話の交換業務等を行う。

(3)用語の定義

用語については、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（平成20年版）」（財）建築保全線センター（財）経済調査会発行（以下「共通仕様書」という。）第1編一般共通事項、第1章一般事項、1.1.2用語の定義による。なお、本業務は原則共通仕様書を適用する。

(4) その他留意事項

本業務の実施に際しては、事業期間を通じて次のことを考慮する。

- ①維持管理は、予防保全を基本とすること。
- ②環境を良好に保ち、施設利用者の健康被害を防止すること。
- ③建築物（付帯設備含む）が有する性能を保つこと。
- ④劣化等による危険・障害の未然防止に努めること。
- ⑤省資源、省エネルギーに努めること。
- ⑥ライフサイクルコストの削減に努めること。
- ⑦建築等の財産価値の確保を図ること。
- ⑧環境負荷を低減し、環境汚染等の発生防止に努めること。
- ⑨故障等によるサービスの中断に係る対応を定め、早急な回復に努めること。

1.1.1 本業務全般に係る業務

(1) 複数の企業で構成されるグループ（以下「入札参加グループ」という。）の管理について、本業務を実施するにあたり、入札参加グループを構成する場合は、その代表となる企業（以下「代表企業」という。）を定め、代表企業はグループに参加する他の企業（以下「グループ企業」という。）と密接に連絡をとり、本業務を包括的に管理すること。

(2) 発注者との連携について

落札事業者は、定期的に施設管理担当者と連携を図り、円滑な本業務を実施すること。

(3) 代表者の権限

共同体の代表者は本業務の履行に際し、共同体を代表して発注者及び施設管理担当者と折衝する権限並びに自己の名義を持って契約代金の請求、受領及び共同体に属する財産を管理する権限を有するものとする。

(4) 統括管理責任者

- ①落札事業者は統括管理責任者を社内から選任すること。但し、入札参加グループで参加する場合の統括管理責任者は、代表企業から選出すること。なお、統括管理責任者は業務責任者を兼務することができる。
- ②統括管理責任者は各業務の履行状況を常に把握し、施設管理担当者へ報告すること。
- ③施設管理担当者から指示があった場合は、統括管理責任者は速やかに各業務責任者を通じ実行すること。

(5) 副統括管理責任者

- ①統括管理責任者は副統括管理責任者を置くことができる。
- ②副統括管理責任者は統括管理責任者選出事業者から選出し、業務責任者を兼務することができる。

③副統括管理責任者は統括管理責任者を補助し、統括管理責任者が不在の際はこれに代わる。

1.1.2 建物施設管理業務（点検等及び保守）

(1) 定期点検等及び保守

一般事項は共通仕様書第2編定期点検等及び保守、第1章一般事項、第1節一般事項による。

①点検機器、点検内容及び周期等

設備等管理業務の詳細は別紙3のとおり。

(2) 運転・監視及び日常点検・保守

一般事項は共通仕様書第3編運転・監視及び日常点検・保守、第1章一般事項、第1節一般事項による。

①運転・監視及び日常点検・保守の内容

空調設備等運転監視及び受変電設備等運転監視の詳細は別紙3のとおり。

1.1.3 省エネ法関連業務

(1) エネルギー（電気、ガス、灯油、水道、給湯）の使用状況を的確に把握し、記録及び集計を行う。

(2) エネルギーの使用の合理化に関する法律（省エネ法）、都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例）に基づく報告書原案の作成を行う。

(3) 省エネに係る提案を行う。

(4) 業務の内容及び周期
別紙3のとおり。

1.1.4 電話交換機設備保守業務

(1) 自動電話交換機及びこれに接続された全ての機器、配線について保守点検を行う。

(2) 業務内容及び周期
別紙4のとおり。

1.1.5 自動火災報知設備等保守業務

(1) 各種消防設備の定期点検、保守

(2) 業務内容及び周期
別紙5のとおり。

1.1.6 庭園保守業務

(1) 植栽管理業務

①構内植栽管理

②屋上植栽管理

(2) 業務内容及び周期
別紙6のとおり。

1.1.7 入退室管理設備保守業務

- (1) 入退室を管理する設備の監視、日常点検、定期点検、保守等
- (2) 業務内容及び周期
別紙7のとおり。

1.1.8 国際会議室音響設備保守業務

- (1) 国際会議室の音響設備の定期点検、保守
- (2) 業務内容及び周期
別紙8のとおり。

1.1.9 警備業務

- (1) 業務内容及び周期
一般事項は共通仕様書第6編警備、第1章一般事項、第1節一般事項による。
- (2) 警備業務の詳細
別紙9のとおり。

1.1.10 清掃業務

- (1) 業務内容及び周期
一般事項は共通仕様書第4編清掃、第1章一般事項、第1節一般事項による。清掃業務の詳細は別紙10のとおり。

1.1.11 害虫等駆除業務

- (1) 庁舎内等の害虫及びネズミ等駆除業務
 - ①外務省庁舎、外交史料館及び飯倉別館の定期点検
 - ②外務省庁舎、外交史料館及び飯倉別館の害虫等駆除
- (2) 業務内容及び周期
別紙11のとおり。

1.1.12 受付業務

- (1) 業務内容
外務省庁舎東玄関における来訪者対応等
- (2) 業務の詳細
別紙12のとおり。

1.1.13 電話交換業務

- (1) 業務内容
外線電話の交換業務等
- (2) 業務の詳細
別紙13のとおり。

1.1.14 統括管理業務

(1) 業務内容

各業務の総合調整を行い、円滑な施設管理業務の実施

(2) 業務の詳細

別紙14のとおり。

1.1.15 設備の修繕計画作成業務

- (1) 定期点検等により、対象設備の機能・性能及び劣化の状況等を把握し、機能維持のために必要な修繕及び部品交換等の時期を整理した修繕計画書を作成する。

(1回/年)

1.1.16 その他

- (1) 対象設備の一覧は別紙1のとおり。
(2) 業務毎に必要な資格は別紙2-1のとおり。
(3) 業務責任者等については別紙2-2のとおり。
(4) 法令に定められた作業は別紙2-3のとおり。
(5) 発注者が用意するものは別紙2-4のとおり。
(6) 落札事業者が用意するものは別紙2-5のとおり。
(7) 業務日、業務時間は別紙2-6のとおり。
(8) 報告書等は別紙2-7のとおり。
(9) 共通事項は別紙2-8のとおり。

1.2 サービスの質の設定

本業務の実施にあたり達成すべき質及び最低限満たすべき水準は以下の通りとする。

1.2.1 管理・運営業務の質

- (1) 管理業務に関する包括的な質

【基本方針】

外務省庁舎等における業務の円滑な実施を可能とすること。

① 確実性の確保

- 1) 管理業務の不備に起因する当施設における執務及び営業の中断回数 (0回)

※執務及び営業の中断とは、執務及び営業が中断することにより著しく職員、国民及びテナント営業者の利益を損なった場合をいう。

- 2) 管理・運営業務の不備に起因する空調停止、停電、断水の発生回数 (0回)

② 安全性の確保

- 管理業務の不備に起因する職員、国民及びテナント営業者の怪我の回数 (0回)

※怪我とは、病院での治療を要する怪我をいう。

③ 緊急時の対応

外務省庁舎、飯倉別館、外交史料館、麻布台別館、船橋分室において大地震、火災等の緊急事態が発生し、各施設の業務全体又は業務の一部が停止した場合において、各施設が機能を復旧する過程で、本業務の不備に起因した復旧の遅れが生じないこと。

④ 環境への配慮

省エネ法及び環境確保条例を遵守し、本業務遂行にあたって温室効果ガスの削減に努めること。但し、施設利用者の業務に支障が無いように配慮すること。

※外務省が掲げる温室効果ガスの削減目標：平成13年度の総排出量を基準として、温室効果ガスの平成22年度から24年度までの総排出量の平均を少なくとも8.0%削減する。

1.2.2 各業務において確保すべき水準

各業務において確保すべき水準については、別紙3～14の各業務の仕様書で定められている内容を確保することとし、法令に反しない限り随時改善提案を行うことができる。

1.2.3 創意工夫の発揮可能性

本業務を実施するにあたっては、以下の観点から落札事業者の創意工夫を反映し、管理業務の質の向上（包括的な質の向上、効率化の向上、経費削減等）に努めるものとする。

(1) 管理業務の実施全般に対する提案

落札事業者は、別途定める様式に従い、管理業務の実施全般に係る質の向上の観点から取り組むべき事項等の提案を行うこととする。

(2) 従来の実施方法に対する改善提案

落札事業者は各業務の現行基準として示す従来の実施方法に対し、改善すべき提案がある場合は、別途定める様式に従い、具体的な方法等を示すとともに、現行基準レベルの質が確保できる理由等を提示すること。

(3) コスト低減についての改善提案

落札事業者は管理業務に関するコスト削減に関する提案がある場合は、別途定める様式に従い、具体的な方法等を示すとともに、各業務の現行基準レベルの質が確保できる理由等を提示すること。

(4) 共通仕様書に関する提案

共通仕様書に関する提案については、仕様書の趣旨・目的に準拠し、同等又はそれ以上の水準を確保し、根拠等を提示すること。

1.2.4 委託費の支払い方法

施設管理担当者は事業期間中の検査・監督を行い、各業務の仕様書で定めている内容が確保されているか、また、企画書の提案事項実施状況を報告書、目視等により確認した上で、委託費を支払うものとする。また、検査・監督の結果、現行基準レベルの質の確保がなされていないと判断された場合は、再度業務を行うように指示するとともに、落札事業者は業務改善報告書を施設管理担当者へ提出することとし、業務遂行後の確認ができない限り委託費の支払いは行わないものとする。

委託費の支払いにあたっては、落札事業者は当該月分の業務の完了後、外務省との間で予め定める書面により当該月分の支払い請求を行い、外務省はこれを受領した日から30日以内に落札事業者に支払うものとする。

1.2.5 費用負担等に関するその他の留意事項

(1) 消耗品等

管理業務を実施するにあたり、本実施要領等において各業務で使用する消耗品は、別に定める落札事業者が負担するものを除き外務省負担とし、落札事業者からの請求に応じ支給するものとする。

(2) 光熱水費

外務省は落札事業者が本業務を実施するのに必要な電気・ガス・上下水道の使用を無償とする。

(3) 法令変更による増加費用及び損害の負担

法令の変更により落札事業者に生じた合理的な増加費用及び損害は、以下の①から③のいずれかに該当する場合には、外務省が負担し、それ以外の法令変更については落札事業者が負担する。

- ①本業務に類型的又は特別に影響を及ぼす法令、基準等の変更及び税制度の新設
- ②消費税その類似の税制度の新設・変更（税率の変更含む。）
- ③上記①、②のほか、法人税その他類似の税制度の新設・変更以外の税制度の新設・変更（税率の変更を含む。）

2. 実施期間に関する事項

本業務の当該業務の実施期間は、平成23年4月1日から平成26年3月31日までとする。

3. 入札参加資格に関する事項

- (1) 法第10条各号（第11号を除く）に該当するものでないこと。
- (2) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号。以下「予決令」という。）第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別な理由がある場合に該当する。
- (3) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。
- (4) 平成22・23・24年度外務省競争参加資格（全省庁統一資格）において、入札実施地域における「役務の提供等」の「A」又は「B」何れかの等級に格付けされ、関東・甲信越地域の競争参加資格を有するもの。
- (5) 外務省及び他の府省等から指名停止を受けている期間中でないこと。
- (6) 警備業法第4条に基づく都道府県公安委員会の認定を受けていること。
- (7) 警察当局から暴力団員が実質的に経営を支配する業者またはこれに準ずるものとして、国発注業務等からの排除要請があり、当該状態が継続している者でないこと。
- (8) 入札参加グループでの入札について

本業務の実施にあたっては一企業とするが、入札参加グループとすることも可能とする。

①単独で当該業務が担えない場合は、適正に業務を遂行できる入札参加グループで参加することができるものとする。その場合、入札書類提出時までに入札参加グループを結成し、代表企業及びグループ企業として参加するものとする。

なお、代表企業及びグループ企業が、他の入札参加グループに参加、もしくは単独で入札に参加することはできないものとし、また、代表企業及びグループ企業は入札参加グループ結成に関する協定書（またはこれに類する書類）を作成し、入札書類と併せて提出すること。

②代表企業は上記（１）から（５）及び（７）のすべての要件を満たすとし、グループ企業は上記（１）から（３）、（５）及び（７）のすべての要件を満たすとともに、平成２２・２３・２４年度外務省競争参加資格（全省庁統一資格）において、入札実施地域における「役務の提供等」の「Ａ」、「Ｂ」又は「Ｃ」何れかの等級に格付けされた関東・甲信越地域の競争参加資格を有するものとする。

なお、警備業務を担当する者は上記（６）の要件を満たしていること。

（９）事業協同組合の入札について

入札参加予定の事業協同組合構成員は、他の入札参加グループに参加又は単独で入札に参加することはできないものとする。

4. 入札に参加する者の募集に関する事項

（１）入札の実施手続及びスケジュール（予定）

①入札公告	平成２２年１２月中旬頃
②入札説明会	平成２３年 １月上旬頃
③現場説明会	平成２３年 １月上旬頃
④入札説明会終了後の質疑応答	平成２３年 １月中旬頃
⑤入札書類提出期限	平成２３年 ２月上旬頃
⑥入札書類の評価	平成２３年 ２月中旬頃
⑦開札・落札者等の決定	平成２３年 ３月上旬頃
⑧契約締結	平成２３年 ４月１日

（２）入札実施手続

①提出書類

民間競争入札に参加する者（以下「入札参加者」という。）は、本業務実施に係る入札金額を記載した書類（以下「入札書」という。）及び総合評価のための業務実施の具体的な方法、その質の確保方法等（以下「業務の質等」という。）に関する書類（以下「企画書」という。）を提出すること。なお、上記の入札金額には、本業務に要する一切の諸経費の105分の100に相当する金額を記載することとする。

②企画書の内容

入札参加者が提出する企画書には、本実施要項5. で示す総合評価を受けるために、次の1)～7)の事項を記載すること。入札参加者は次の5)及び6)において、法令に反しない限り、別紙3～14で示す仕様書について改善提案を行うことができ、必要に応じ企画書提出期限前に外務省に対し質問を行うことができる。その場合、外務省は

質問者に対し、企画書を提出期限内に提出できるように速やかに回答する。

1) 企業の代表責任者及び本業務担当者【提出様式1】

※複数の企業で参加する場合

参加企業の一覧、代表企業、各企業の代表責任者及び本業務担当者

2) 業務実績【提出様式2】

本実施要項1. で示した業務毎の過去3年間の業務実績

3) 実施体制【提出様式3】

ア) 各業務の業務水準が維持される体制であるか。

(グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であるか。)

イ) 各業務で必要とする資格者が適切に配置されているか。

(資格を証明する書類の添付：必要とされる資格を証明する書類の写し)

4) 業務に対する認識【提出様式4】

ア) 本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。

イ) 本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか。

5) 管理業務全般に係る業務に関する提案【提出様式5】

ア) 業務の包括的な質(確実性、安全性及び環境への配慮)の向上に関する提案がなされているか。

イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。

6) 設備等管理業務、警備業務、清掃業務【提出様式6、7、9】

ア) 質の向上に寄与する付加的要件を具備しているか。

イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。

7) 緊急時等への対応【提出様式8】

ア) 具体的な事態を想定して円滑に対応し、また、被害を拡大させないための体制、対策が提案されているか。

イ) 業務を安定的に履行できる対策が講じられているか。

③開札にあたっての留意事項

1) 開札は、紙入札方式による入札者(代理人が入札した場合には代理人。以下同じ)を立ち合わせて行う。ただし、紙入札方式による入札者が立ち会わない場合は、入札事務に関係のない職員を立ち合わせて行う。

2) 紙入札方式による入札者は、開札時刻後においては、開札場に入場することはできない。

3) 紙入札方式による入札者は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書または入札権限に関する委任状を提示しなければならない。

4) 紙入札方式による入札者は、入札中は支出負担行為担当官が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか開札場を退場することが出来ない。

5) 開札した場合において、予定価格の制限に達した価格の入札がないときは、再度の入札を行う。この場合、電子入札システムにより再度の入札の締切時刻を直ちに通知し、また、開札場において再度の入札の締切時刻を直ちに公表するので、電子入札システムによる入札者(代理人が入札した場合には代理人。以下同じ)は当該

締切時刻までに再度の入札を行い、また、紙入札方式による入札者は当該締切時刻までに再度の入札書を提出すること。

但し、紙入札方式による入札者のうち開札に立ち会わなかった者は、再度の入札に参加することが出来ない。

なお、再度入札は2回まで（初度入札と合わせて3回まで）とする。

6)上記5)で、初度入札または再度入札で落札事業者がいない場合は、再度公告入札を行う。

④言語及び通貨

入札書、企画書その他提出書類に使用する言語及び通貨は、日本語、日本国通貨、日本の標準時及び計量法（平成4年法律第51号）に規定する計量単位とする。

5. 対象公共サービスを実施する者を決定するための評価の基準その他の対象公共サービスを実施する者の決定に関する事項

落札事業者の決定は総合評価方式によるものとする。なお、本業務評価に係る企画書及び業務実施内容の審査・評価にあたり、客観性・公平性を確保するため、外務省職員に加え複数の外部有識者を含む6名以上で構成される評価委員会の意見を聴くものとする。

(1) 落札者決定にあたっての質の評価項目の設定（別紙15）

落札者を決定するための評価は、提出された企画書の内容が、本業務の目的・趣旨に沿って実行可能なものであるか（必須項目審査）、また、提案内容が具体的かつ効果的なものであるか（加点項目審査）について行うものとする。

①必須項目審査（500点）

必須項目審査においては、入札参加者が企画書に記載した内容が、次の必須項目を満たしていることを確認する。全て満たした場合は基礎点（100点）を付与し、1つでも満たしていない場合は失格とする。

1) 実施体制

ア) 各業務の業務水準が維持される体制であるか。

（グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であるか。）

イ) 各業務で必要とする資格者が適切に配置されているか。

2) 業務に対する認識

ア) 本業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。

イ) 本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか。

3) 現行基準レベルの質の確保の実態

ア) 各業務の提案内容は、(発注者側の)要求水準が確保されるものとなっているか。

②加点項目審査（400点）

必須項目審査で合格した入札参加者に対して、次の加点項目について審査を行う。

なお、提案内容については、具体的でありかつ効果的な実施が期待されるかという観点から、基本的には、各業務の確保すべき水準として示した仕様書等と提案内容との比較を行い、絶対評価により加点する。

1) 管理業務全般に係る業務に対する提案（60点）

- ア) 本業務の質（確実性、安全性及び環境への配慮）の向上に関して具体的な提案があり、実施可能な体制が確保されているか。
 - イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。
- 2) 設備管理業務等（100点）
- ア) 質の向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計画等が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
 - イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。
- 3) 警備業務（100点）
- ア) 質の向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計画等が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。
 - イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。
- 4) 清掃業務（60点）
- ア) 業務の質の向上に寄与する付加的要件を具備しているか。
 - イ) 業務コスト等削減のための方策が提案されているか。
- 5) 緊急時及び非常時への対応について（80点）
- ア) 具体的な事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策が提案されているか。
 - イ) 業務を安定的に履行できる対策が講じられているか。

(2) 落札者決定にあたっての評価方法

① 落札事業者の決定方法

必須審査により得られた基礎点（500点）と加点項目審査で得られた加算点（最高400点）を加算し、入札価格（予算決算及び会計令第79条の規定に基づき作成された予定価格の制限の範囲内であるものに限る。）で除した値を総合評価点とし、入札参加者中で最も高い値の者を落札者として決定する（除算方式）。

$$\text{総合評価点} = \left(\begin{array}{c} \text{基礎点} \\ (500点) \end{array} + \begin{array}{c} \text{加算項目審査による加算点} \\ (最高400点) \end{array} \right) \div \text{入札価格}$$

② 留意事項

1) 当該落札者の入札価格が予定価格の6割に満たない場合

その価格によって契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるか否か、次の事項について改めて調査し、該当するおそれがあると認められた場合、または契約の相手方となるべき者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められた場合には、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち、総合評価点が最も高い1者を落札者として決定することがある。

ア) 当該価格で入札した理由及びその積算の妥当性

- a. 当該単価で適切な人材が確保されているか
- b. 就任予定の者に支払われる賃金額等

イ) 当該契約の履行体制

- a. 常駐者の有無
- b. 人数

- c. 経歴
- d. 勤務時間
- e. 専任兼任の別
- f. 業務分担等
- リ) 当該契約期間中における他の契約請負状況
- ロ) 手持機械その他固定資産の状況
- ハ) 国の行政機関等及び地方公共団体等に対する契約の履行状況
- カ) 経営状況
- キ) 信用状況
- 2) 落札事業者となるべき者が二人以上あるとき
直ちに当該入札者にくじを引かせ、落札事業者を決定するものとする。また、入札者又はその代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係ない職員がこれに代わってくじを引き落札事業者を決定するものとする。
- 3) 落札事業者が決定したとき
遅滞無く、落札者の氏名若しくは名称、落札金額、落札事業者の決定の理由並びに提案された内容のうち具体的な実施体制及び実施方法の概要について公表するものとする。

(3) 初回の入札で落札事業者が決定しなかった場合の取扱いについて
初回の入札で予定価格の制限の範囲内で入札した者がいないときは、直ちに再度の入札を行うこととし、これによってもなお落札事業者となるべき者が決定しない場合には、入札条件を見直し、再度公告入札に付することにする。
再度の公告によっても落札事業者となるべき者が決定しない場合、または業務の実施に必要な時間が確保できない等やむを得ない場合は、外務省が自ら当該業務を実施すること等とし、その理由を公表するとともに、官民競争入札等監理委員会（以下「監理委員会」という。）に報告するものとする。

6. 対象公共サービスに関する従来の実施状況に関する情報の開示に関する事項
従来の実施に関する情報は、別紙17のとおり。

7. 落札事業者を使用させることができる国有財産に関する事項

(1) 使用施設

上記1.1(1)のに記載した外務省施設

(2) 使用国有財産

使用できる設備については、上記1.1(1)に記載した外務省施設のうち、管理業務に係る国有財産全てとする。

8. 落札事業者が、対象公共サービスを実施するに当たり、国の行政機関等の長等に対して報告すべき事項、秘密を適正に取り扱うために必要な措置、その他の対象公共サービスの適正かつ確実な実施の確保のために契約により落札事業者が講ずべき措置に関する事項

(1) 報告等について

①業務計画書の作成と提出

落札事業者は本実施要項1.で示した業務において、業務を行うにあたり各年度の事業開始日まで年度毎の管理業務計画書を作成し、施設管理担当者に提出すること。

②業務従事者名簿の作成と提出

1)落札事業者は本実施要項1.で示した業務を行うにあたり、業務に従事する者の名簿を作成し、施設管理担当者に提出すること。別紙2-1及び別紙2-2で示す資格を証明する書類(資格書の写し等)を併せて提出すること。また、業務従事者を変更する場合も同様とする。

2)施設管理担当者は業務従事者が不適格であると認める場合は、その理由を明らかにし、落札事業者に当該業務従事者への指導をもとめることができる。その場合、落札事業者は不適格である理由を確認し、当該業務従事者の改善又は交替を行うものとする。

③業務報告書の作成と提出

落札事業者は、本実施要項1.で示した業務の履行結果を正確に記載した業務日報、業務月報、年間総括報告書を業務報告書として作成する。

なお、様式は仕様書及び国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務報告書作成の手引き共通仕様書(平成20年版)」を参考に監督職員と協議のうえ決定し、提出については別紙2-7によること。

1)落札事業者は業務開始前に全ての業務報告書の様式を施設管理担当者に提出し、承諾を得ること。

2)落札事業者は業務期間中、業務日報を毎日作成し、施設管理担当者に提出すること。

3)落札事業者は業務期間中、業務月報を当月分につき翌月の7日以内に施設管理担当者に提出すること。

4)落札事業者は、各事業年度終了後毎年4月15日(但し、当該日が閉庁日の場合には直後の開庁日とする。)までに当該事業年度に係る管理業務に関する年間総括報告書を施設管理担当者に提出すること。

(2) 外務省庁舎等の検査・監督体制

落札事業者からの報告を受けるにあたり、外務省庁舎等施設管理責任者等、検査・監督体制は次の通りとする。

①施設管理責任者及び施設管理担当者

1)施設管理責任者

外務省大臣官房会計課長

2)施設管理責任者代行

外務省大臣官房会計課管理室長

3)検査職員(施設管理担当者)

外務省契約担当官である外務省大臣官房会計課長から検査職員を命じられた大臣官房会計課管理室職員。主に落札事業者が実施した各業務の質について検査することとし、管理担当2名、営繕担当1名を充てる。

4) 監督職員（施設管理担当者）

外務省契約担当官である外務省大臣官房会計課長から監督職員を命じられた大臣官房会計課管理室職員。主に落札事業者が行う各業務について、必要な監督を行うものとし、管理担当1名、営繕担当3名を充てる。

②検査・監督体制

1) 落札事業者は業務終了後、施設管理担当者に連絡すること。

2) 落札事業者からの連絡を受けた場合は、検査職員は業務履行の検査を行うものとする。

(3) 外務省による調査への協力

外務省は落札事業者による業務の適正かつ確実な実施を確保する必要があると認めるときは、落札事業者に対し、当該管理・運営業務の状況に関し必要な報告を求め、又は落札事業者の事務所に立ち入り、業務の実施状況又は帳簿、書類その他の物件を検査し、若しくは関係者に質問することができる。

なお、立ち入り検査をする者は、検査等を行う際には、当該検査等が法第26条1項に基づくものであることを落札事業者に明示するとともに、その身分を示す証明書を携帯し、関係者に提示するものとする。

(4) 指示について

外務省は次に以下の事態が発生した場合は、落札事業者に対し、必要な措置をとるべきことを指示することができるものとする。

①管理業務の不備により職員等が苦情が寄せられた場合

②管理業務の不備による設備の停止

③管理業務の不備による利用者とのトラブル発生 等

また、業務の検査・監督において業務の質の低下につながる問題点を確認した場合は、その場で指示を行うことができる。

なお、落札業者が指示に従わない時、或いは改善の意思がみられない時は本実施要項8.(7)⑫3)と見なし契約を解除できるものとする。

(5) 秘密の保持

落札事業者は本業務に関して施設管理担当者が開示した情報等（公知の事実等を除く。）及び業務遂行過程で作成した提出物等に関する情報を漏洩してはならないものとし、そのための必要な措置を講ずること。落札事業者（その者が法人である場合にあっては、その役員）若しくはその職員その他の本業務に従事している者又は従事していた者は業務上知り得た秘密を漏らし、又は盗用してはならない。これらの者が秘密を漏らし、又は盗用した場合には、法第54条により罰則の適用がある。

(6) 個人情報の取り扱い

①基本的事項

落札事業者は個人情報の保護の重要性を認識し、本業務による事務を処理するための個人情報の取り扱いにあたっては、個人の権利利益を侵害することのないよう、行

政機関の保有する個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第58号）第6条第2項の規定に基づき、個人情報の漏洩、滅失、改ざん又はき損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講じなければならない。

②取得の制限

落札事業者は本業務による事務を処理するために個人情報を取得するときは、あらかじめ本人に対しその利用目的を明示しなければならない。

また、当該利用目的の達成に必要な範囲内で、適正かつ公正な手段で個人情報を取得するものとする。

③利用及び提供の制限

落札事業者は施設管理担当者の指示又は承諾があるときを除き、個人情報を自ら利用し、又は提供してはならない。

④複写等の禁止

落札事業者は施設管理担当者の指示又は承諾があるときを除き、本業務による事務を処理するために施設管理担当者から提供を受けた個人情報が記録された資料等を複写し、又は提供してはならない。

⑤事案発生時における報告

落札事業者は個人情報の漏洩等の事案が発生し、又は発生するおそれがあることを知ったときは、速やかに施設管理担当者に報告し、指示に従うものとする。本業務が終了し、又は解除された後においても同様とする。

⑥管理体制の整備

落札事業者は本業務による事務に係る個人情報の管理に関する責任者を特定するなど管理体制を定めなければならない。

⑦業務従事者への周知

落札事業者は業務従事者に対し、在職中及び退職後においても本業務による事務に関して知り得た個人情報の内容をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用してはならないことなど、個人情報の保護に関して必要な事項を周知しなければならない。

(7) 契約に基づき落札事業者が講ずべき措置

①業務の開始及び中止

1) 落札事業者は締結された本契約に定められた業務開始日に、確実に本業務を開始しなければならない。

2) 落札事業者はやむを得ない事由により、本業務を中止しようとするときは、あらかじめ施設管理担当者の承認を受けなければならない。

②公正な取扱い

1) 落札事業者は本業務の実施にあたって、当該施設利用者を合理的な理由なく差別してはならない。

2) 落札事業者は当該施設利用者の取扱いについて、自らが行う他の事業における利用の有無等により区別してはならない。

③金品等の授受の禁止

落札事業者は本業務において、金品等を受け取る事又は与えることをしてはならない。

④宣伝行為の禁止

落札事業者及び本業務に従事する者は、本業務の実施にあたって、自らが行う業務の宣伝を行ってはならない。

落札事業者及び本業務を実施する者は、本業務の実施の事実をもって、第三者に対し誤解を与えるような行為をしてはならない。

⑤法令の遵守

落札事業者は、本業務を実施するに当り適用を受ける関係法令等を遵守しなければならない。

⑥安全衛生

落札事業者は本業務に従事する者の労働安全衛生に関する労務管理については、責任者を定め、関係法令に従って行わなければならない。

⑦記録・調書類等

落札事業者は実施年度毎に本業務に関して作成した記録や帳簿書類を、委託事業を終了し、又は中止した日の属する年度の翌年度から起算して5年間保管しなければならない。

⑧権利の譲渡

落札事業者は原則として本契約に基づいて生じた権利の全部又は一部を第三者に譲渡してはならない。

⑨権利義務の帰属等

- 1) 本業務の実施が第三者の特許権、著作権その他の権利と抵触するときは、落札事業者はその責任において、必要な措置を講じなければならない。
- 2) 落札事業者は本業務の実施状況を公表しようとするときは、あらかじめ施設管理担当者の承認を受けなければならない。

⑩一般的損害

本業務を行うについて生じた損害（本実施要項9に記載した損害を除く）については、落札事業者がその費用を負担する。但し、その損害のうち外務省の責めに期すべき事由により生じたものについては、外務省が負担する。

⑪再委託の取扱い

- 1) 入札事業者（入札参加グループを含む）は、本業務の実施にあたり、その全部を一括して再委託してはならない。
- 2) 落札事業者は本業務の実施にあたり、その一部について再委託を行う場合は、原則としてあらかじめ企画書において、再委託に関する事項（再委託先の住所・名称・再委託先に委託する業務の範囲、再委託を行うことの合理性及び必要性、再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他業務管理の方法）について記載しなければならない。（提出様式10）
- 3) 落札事業者は本契約締結後やむを得ない事情により再委託を行う場合は、落札事業者が再委託に関する事項を明らかにしたうえで施設管理担当者の承認を受けなければならない。
- 4) 落札事業者は、上記2)及び3)により再委託を行う場合には、落札事業者が外務省に対して負う義務を適切に履行するため、再委託先の事業者に対し、前記「(5) 秘密の保持」及び「(6) 個人情報の取り扱い」並びに「(7) 契約に基づき落札事

業者が講ずべき措置」に規定する事項、また、その他の事項について必要な措置を講じさせるとともに、再委託先から履行確認に必要な報告を徴収することとする。

5) 上記2)から4)までに基づき、落札事業者が再委託先の事業者に業務を実施させる場合は、すべて落札事業者の責任において行うものとし、再委託先の事業者の責めに期すべき事由については、落札事業者の責めに期すべき事由とみなして、落札事業者が責任を負うものとする。

⑫契約解除

外務省は落札事業者が次のいずれかに該当するときは、契約を解除することができる。

- 1) 偽りその他不正の行為により落札者となったとき。
- 2) 法第10条の規定により民間競争入札に参加する者に必要な資格の要件を満たさなくなったとき。
- 3) 本契約に従って本業務を実施できなかったとき、又はこれを実施することが出来ないことが明らかになったとき。
- 4) 上記3)に掲げる場合のほか、本契約において定められた事項について重大な違反があったとき。
- 5) 法律又は本契約に基づく報告をせず、若しくは虚偽の報告をし、又は検査を拒み、妨げ、若しくは忌避し、若しくは質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をしたとき。
- 6) 法令又は本契約に基づく指示に違反したとき。
- 7) 落札事業者又はその他の本業務に従事する者が、法令又は本契約に違反して、本業務の実施に関して知り得た秘密を漏らし、又は盗用したとき。
- 8) 暴力団を業務を統括する者又は従業員としていることが明らかになったとき。
- 9) 暴力団又は暴力団関係者と社会的に非難されるべき関係を有していることが明らかになったとき

⑬契約解除時の取り扱い

- 1) 上記⑫に該当し、契約を解除した場合には、外務省は落札事業者に対し、当該解除の日までに当該公共サービスを契約に基づき実施した期間にかかる委託費を支給する。
- 2) この場合、落札事業者は契約金額の105分の100に相当する金額から上記1)の委託費を控除した金額の100分の10に相当する金額を違約金として外務省の指定する期間内に納付しなければならない。
- 3) 外務省は、落札事業者が上記2)の規定による金額を外務省の指定する期日までに支払わないときは、その支払期限の翌日から起算して支払のあった日までの日数に応じて、年100分の5の割合で計算した金額を延滞金として納付させることができる。
- 4) 外務省は、契約の解除及び違約金の徴収をしてもなお損害賠償の請求をすることができる。

⑭業務途中における入札参加グループからの脱退

代表企業及びグループ企業は、本業務を完了する日までは入札参加グループから脱退することはできない。

⑮業務途中における参加企業の破産又は解散に対する処置

参加企業のうちいずれかが業務途中において破産又は解散した場合においては、外務省の承認を得て、残存参加企業が協同連帯して当該参加企業の分担業務を完了するものとする。

但し、残存参加企業のみでは適正な履行の確保が困難なときは、残存参加企業全員及び発注者の承認を得て、新たな構成員を当該入札参加グループに加入させ、当該参加企業を加えた参加企業が協同連帯して破産又は解散した参加企業の分担業務を完了するものとする。

⑯談合等不正行為があった場合の違約金等の取り扱い

1) 落札事業者が次に掲げる場合のいずれかに該当したときは、落札事業者は外務省の請求に基づき、契約額（この契約締結後、契約額の変更があった場合には、変更後の契約額）の100分の10に相当する額を違約金として外務省の指定する期間内に納付しなければならない。

ア) この契約に関し、落札事業者が私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号。以下「独占禁止法」という。）第3条の規定に違反し、又は落札事業者が厚生事業者である事業団体が独占禁止法第8条第1号の規定に違反したことにより、公正取引委員会が落札事業者に対し、独占禁止法第7条の2第1項（独占禁止法第8条の3において準用する場合を含む。）の規定に基づく課徴金の納付命令（以下「納付命令」という。）を行い、当該納付命令が確定したとき（確定した当該納付命令が独占禁止法第51条第2項の規定により取り消された場合を含む。）

イ) 納付命令又は独占禁止法第7条若しくは第8条の2の規定に基づく排除措置命令（次号において「納付命令又は排除措置命令」という。）において、この契約に関し、独占禁止法第3条の又は第8条第1号の規定に違反する行為の実行としての事業活動があったとされたとき。

ウ) 納付命令又は排除措置命令により、落札事業者に独占禁止法第3条又は第8条第1項第1号の規定に違反する行為があったとされた期間及び当該違反する行為の対象になった取引分野が示された場合において、この契約が当該機関（これらの命令に係る事件について、公正取引委員会が落札事業者に対して納付命令を行いこれが確定したときは、当該納付命令における課徴金の計算の基礎である当該違反する行為の実行期間を除く。）に入札（見積書の提出を含む。）が行われたものであり、かつ当該取引分野に該当するものであるとき。

エ) この契約に関し、落札事業者（法人にあっては、その役員又は使用人を含む。）の刑法（明治40年法律第45号）第96条の3又は独占禁止法第89条第1項第1号若しくは第95条第1項第1号に規定する刑が確定したとき。

2) 外務省は、落札事業者が上記1)の規定による金額を外務省の指定する期日までに支払わないときは、その支払期限の翌日から起算して支払のあった日までの日数に応じて、年100分の5の割合で計算した金額を延滞金として支払わなければならない。

⑰委託内容の変更

発注者及び落札事業者は、本業務の質の向上の推進、またはその他やむを得ない事

由により本契約の内容を変更しようとする場合は、あらかじめ変更の理由を書面によりそれぞれの相手方へ提出し、それぞれの相手方の承諾を得なければならない。

⑱設備更新の際における落札事業者への措置

実施期間中に設備が更新される際は、更新機器について落札事業者に通知するとともに、契約変更を行う場合がある。

⑲契約の解釈

本契約に関して疑義が生じた事項については、その都度、落札事業者と施設管理担当者が協議するものとする。

9. 落札事業者が対象公共サービスを実施するに当たり第三者に損害を加えた場合において、その損害の賠償に関し契約により当該落札事業者が負うべき責任（国家賠償法の規定により国の行政機関等が当該損害の賠償の責めに任ずる場合における求償に應ずる責任を含む。）に関する事項

本契約を履行するにあたり、落札事業者又はその職員その他の当該公共サービスに従事する者が、故意又は過失により、当該公共サービスの受益者等の第三者に損害を加えた場合には、次に定めるところによるものとする。

(1) 外務省が行った損害賠償に対する求償

外務省が国家賠償法第1条第1項等に基づき当該第三者に対する賠償を行ったときは、外務省は当該落札事業者に対し、当該第三者に支払った損害賠償額（当該損害の発生について外務省の責めに帰すべき理由が存する場合は、外務省が自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分に限る。）について求償することができる。

(2) 落札事業者が行った損害賠償に対する求償

当該落札事業者が民法第709条等に基づき当該第三者に対する賠償を行った場合であって、当該損害の発生について外務省の責めに帰すべき理由が存するときは、当該落札事業者は外務省に対し、当該第三者に支払った損害賠償額のうち自ら賠償の責めに任ずべき金額を超える部分について求償することができる。

10. 対象公共サービスに係る第7条第8項に規定する評価に関する事項

(1) 実施状況に関する調査の時期

内閣総理大臣が行う評価の時期を踏まえ、当該業務の実施状況については、平成25年3月31日時点における状況を調査するものとする。

(2) 調査の方法

施設管理担当者は、落札事業者が実施した管理・運營業務の内容について、その評価が的確に実施されるように、実施状況等の調査を行うものとする。

(3) 調査項目

本実施要項1.2「サービスの質の設定」により設定した事項。

(4) 評価委員会への報告

上記(3)の調査項目に関する内容について、本業務の実施状況等を内閣総理大臣へ提出するに当たり、外務省に設置する評価委員会に報告を行い、意見を聴くものと

する。

11. その他対象公共サービスの実施に関し必要な事項

(1) 評価アドバイザーの活用

発注者は、法に基づく公共サービス改革基本方針において選定された施設管理運営業務の実施を公正に行うために評価委員会の意見を求めることとする。

なお、評価委員会は、外務省員に加え当該業務に直接的な利害関係者を排除した中立的な外部有識者を複数名含む6名以上で構成する。

(2) 対象公共サービスの実施状況等の監理委員会への報告及び公表

落札事業者の実施状況については、上記8.(1)③に示す報告等を踏まえ、施設管理担当者において年度毎に取りまとめて監理委員会へ報告するとともに、公表することとする。

また、施設管理担当者は、落札事業者に対する会計法令に基づく監督・検査の状況について、業務終了後に官民競争入札等監理委員会へ報告するとともに、法第26条及び第27条に基づく報告徴収、立入検査、指示等を行った場合には、その都度、措置の内容及び理由並びに結果の概要を監理委員会へ報告することとする。

(3) 外務省庁舎の監督体制

本契約に係る監督は、外務省契約担当官である外務省大臣官房会計課長が、自ら又は補助者に命じて、立会い、指示その他の適切な方法によって行うものとする。

本業務の実施状況に係る監督は、上記8.(2)により行うこととする。

(4) 落札事業者が負う可能性のある主な責務等

①落札事業者が負う可能性のある主な責務等

本委託事業に従事する者は、刑法（明治40年法律第45号）その他の罰則の適用については、法令により公務に従事する職員とみなされる。

②会計検査について

落札事業者は、①公共サービスの内容が会計検査院法第22条に該当するとき、又は②同法第23条第1項第7号に規定する「事務若しくは業務の受託者」に該当し、会計検査院が必要と認めるときには、同法第25条及び第26条により、会計検査院の実地の検査を受けたり、同院から直接又は外務省（発注者）を通じて、資料・報告等の提出を求められたり質問を受けたりすることがある。

外務省庁舎等施設管理業務一覽

業務名	本省庁舎	飯倉別館	外交史料館	麻布台別館	船橋分室
建物設備管理	○	○	○	○	○
省工不関連	○	○	○	○	○
電話交換設備保守	○	○	飯倉別館 に含む	○	-
自動火災報知設備等	○	○	○	○	○
庭園保守	○	○	飯倉別館 に含む	○	○
入退室管理保守	○	-	-	○	-
国際会議室音響設備保守	○	-	-	-	-
警備	○	○	○	○	○
清掃	○	○	○	○	○
害虫等駆除	○	○	○	-	-
受付	○	-	-	-	-
電話交換	○	-	-	-	-

外務省庁舎等施設管理業務実施要項 別紙一覧

番号	別紙番号	資料内容	頁
1	別紙1	設備一覧	1
2	別紙2-1	各業務資格一覧	27
3	別紙2-2	業務責任者等の条件	29
4	別紙2-3	法令点検作業一覧	34
5	別紙2-4	発注者が用意するもの	35
6	別紙2-5	落札事業者が用意するもの	36
7	別紙2-6	業務日(業務時間)	37
8	別紙2-7	報告書等	40
9	別紙2-8	その他共通事項	43
10	別紙3	建物設備管理業務	45
11	別紙4	電話交換機設備保守業務	130
12	別紙5	自動火災報知設備等保守業務	134
13	別紙6	庭園保守管理業務	161
14	別紙7	入退室管理機器設備保守業務	180
15	別紙8	国際会議室同時通訳機器他音響設備保守業務	182
16	別紙9	警備業務	194
17	別紙10	清掃業務	213
18	別紙11	害虫等駆除業務	284
19	別紙12	受付業務	286
20	別紙13	電話交換業務	287
21	別紙14	統括管理業務	288
22	別紙15	評価表	289
23	別紙16	提出様式	290
24	別紙17	従来の実施状況に関する情報の開示	303

保守対象機器表

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
A. 中央管制装置(savic-netFX)			(6)中央庁舎 空調機 AC-1系統 (EV基本サービス)		
(1)セントラルシステム本体 (EV基本サービス)			IDCペーシックユニット	WY7211B	1台
システム・マネジメント・サーバ	SMS II	1台	室内形湿度発信器	HY7096A	1台
データ・ストレージ・サーバメインコンソール	DSS II	1台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
システム・コア・サーバ	SCS	6台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
カラーレーザープリンタ	C-LBP	2台	電動ボール弁	VY6100B	1台
(2)セントラルシステム周辺機器 無停電電源装置	QYY-SA20	1台	(7)中央庁舎 空調機 AC-5-1,2系統 (EV基本サービス)		
B. 中央管制装置(FXBMS)			Inflex GC	WY5111W	1台
(1)セントラルシステム本体			ネオセンサ	TY7003Z	2台
ビルマネジメントシステム	BMS(検+料+E)	1台	ネオセンサ	HY7003T	2台
(2)セントラルシステム周辺機器 監視用PC		1台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1台
B. 《中央庁舎》熱源・ローカル一般機器			蒸気用小型電動二方弁	-	2台
(1)中央庁舎 冷/温水熱源廻り制御系統 (EV基本サービス)			挿入形温度センサ	TY7803Z	2台
パラマトリクスⅢ(チラー)	WY2000Q	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	2台
電磁流量計/変換器	MGG10C/MGG11	1台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1台
配管温度検出器	TY7830B	6台	V/I変換器	RYY792V	1台
PMX-Ⅲ(OI)	QY2010D	1台	加湿器	WM	1台
電源モジュール	83163539-001	1台	VAV操作器	*	2台
1-DGPペーシックユニット	WY7210B	1台	INV	*	2台
アイソレータ	RY7910S	2台	(8)中央庁舎 空調機 AC-9-1,2系統 (EV基本サービス)		
(2)中央庁舎 冷/温水切換制御系統 (基本保守)			Inflex GC	WY5111W	1台
電動式パタフライ弁	VY6941D	12台	室内形温度センサ	TY7043Z	1台
(3)中央庁舎 冷/温水圧力制御系統 (基本保守)			室内形湿度発信器	HY7096A	1台
差圧発信器	JTD930A	2台	挿入形温度センサ	TY7803Z	2台
デジタル指示調節器	R31	2台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1台
DC24V電源	RY7910D	2台	蒸気用小型電動二方弁	-	2台
モジュロールモータ	M904F	2台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
弁リネージ	Q455C	2台	ネオセンサ	HY7003T	1台
(4)冷却塔制御 4セット (基本保守)			アクティブ電動二方弁	VY5110F	1台
デジタル指示調節器	R31	4台	CO2濃度調節器	CY7101A	2台
白金測温抵抗体	TY7701B	4台	V/I変換器	RYY792V	1台
温度調節器	T675A	4台	VAV操作器	*	2台
ミクスン調節器	R7010B	4台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1台
電動ボール弁	VY6100A	4台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
電動式パタフライ弁	VY9900B	4台	INV	*	2台
(5)中央庁舎 空調機 AC-1-L系統 (基本保守)			(9)中央庁舎 空調機 AC-16-1系統 (EV基本サービス)		
電子式温度調節器	R7701A	1台	Inflex GC	WY5111W	1台
設定モジュール	Q7705A	1台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1台
ネオセンサ-白金薄膜素子	TY7095A	1台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
切換スイッチ	APN2103	1台	ネオセンサ	HTY7003T	1台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1台
			蒸気用小型電動二方弁	-	1台
			CO2濃度調節器	CY7101A	1台
			V/I変換器	RYY792V	1台
			VAV操作器	*	1台
			挿入形湿度センサ	HTY7803T	1台
			INV	*	1台

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(10)中央庁舎 空調機 AC-16-2系統 (EV基本サービス)			(14)中央庁舎 空調機 AC-23系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	1台	Inflex GC	WY5111W	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	室内形温度検出器	T7090D	1台
ネオセンサ	TY7003Z	1台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1台
ネオセンサ	HTY7003T	1台	室内形湿度発信器	HY7096A	1台
アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台	アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
蒸気用小型電動二方弁	-	1台	蒸気用小型電動二方弁	-	1台
電動ボール弁	VY6100D	4台	CO2濃度調節器	CY7101A	1台
VAV操作器	*	1台	VAV操作器	*	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	1台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
INV	*	1台	INV	*	1台
(11)中央庁舎 空調機 AC-16-3系統 (EV基本サービス)			(15)中央庁舎 空調機 AC-24系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	1台	Inflex GC	WY5111W	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
ネオセンサ	TY7003Z	1台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1台
ネオセンサ	HTY7003T	1台	アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台	アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
蒸気用小型電動二方弁	-	1台	蒸気用小型電動二方弁	-	1台
電動ボール弁	VY6100D	4台	挿入形CO2濃度発信器	CY8000C	1台
VAV操作器	*	1台	VAV操作器	*	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	1台	INV	*	1台
INV	*	1台	(16)中央庁舎 空調機 AC-25-1,2系統 (EV基本サービス)		
(12)中央庁舎 空調機 AC-19,20-1系統 (EV基本サービス)			Inflex GC	WY5111W	1台
Inflex GC	WY5111W	1台	室内形温度センサ	TY7043Z	1台
室内形温度センサ	TY7043Z	1台	室内形湿度発信器	HY7096A	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	2台	挿入形温度センサ	TY7803Z	2台
室内形湿度発信器	HY7096A	1台	アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
ロータリー形電動二方弁	VY5110B	1台	蒸気用小型電動二方弁	-	2台
蒸気用小型電動二方弁	-	2台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
ネオセンサ-白金薄膜素子	TY7095A	1台	ネオセンサ	HY7003T	1台
ネオセンサ	HY7003T	1台	アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	2台	INV	*	2台
V/I変換器	RYY792V	1台	(17)中央庁舎 空調機 AC-28-1系統 (EV基本サービス)		
VAV操作器	*	4台	Inflex GC	WY5111W	1台
INV	*	2台	室内形湿度発信器	HY7002T	1台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
(13)中央庁舎 空調機 AC-20-2系統 (EV基本サービス)			アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台
Inflex GC	WY5111W	1台	電動ボール弁	VY6100B	5台
ネオセンサ	TY7003Z	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	1台
ネオセンサ	HY7003T	1台	V/I変換器	RYY792V	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
アクトイバル電動二方弁	VY5110F	1台	VAV操作器	*	1台
蒸気用小型電動二方弁	-	1台	INV	*	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	1台			
INV	*	1台			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(18)中央庁舎 空調機 AC-28-2系統 (EV基本サービス)			(23)電気室用空調機 AHU-1-1,1-2系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	1台	Inflex GC	WY5111W	2台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台	アクトバル電動二方弁	VY5110J	2台
ネオセンサー-白金薄膜素子	TY7095A	1台	室内形温度センサ	TY7043Z	2台
室内形湿度発信器	HY7096A	1台	挿入形温度センサ	TY7803Z	2台
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台			
電動ボール弁	VY6100B	1台	(24)中央庁舎 ファンコイルグループ発停制御系統 (基本保守)		
CO2濃度調節器	CY7101A	1台	電動ボール弁	VY6100C	3台
V/I変換器	RYY792V	1台	電動ボール弁	VY6100C	4台
VAV操作器	*	1台	電動ボール弁	VY6100C	1台
INV	*	1台			
(19)中央庁舎 空調機 AC-29系統 (EV基本サービス)			(25)自動制御盤(補助機器)		
Inflex GC	WY5111W	1台	C.《南庁舎》熱源・ローカル一般機器		
室内形温度センサ	TY7043Z	1台	(1)南庁舎(北庁舎)冷/温水熱源廻り制御系統 (EV基本サービス)		
白金測温抵抗体	TY7700B	1台	パナマトリクスⅢ(ポンプ)	WY2000P	1台
室内形湿度発信器	HY7096A	1台	電磁流量計/変換器	MGG10C/MGG11	1台
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台	配管温度検出器	TY7830B	4台
電動ボール弁	VY6100B	1台	配管温度検出器	TY7830B	2台
CO2濃度調節器	CY7101A	1台	PMX-Ⅲ(OI)	QY2010D	1台
V/I変換器	RYY792V	1台	電源モジュール	83163539-001	1台
INV	*	1台	1-DGPペーシックユニット	WY7210B	1台
(20)中央庁舎 空調機 AC-33系統 (EV基本サービス)			アイルータ	RY7910S	2台
IDCペーシックユニット	WY7211B	1台	(2)南庁舎 冷/温水切替制御系統 (基本保守)		
ネオセンサー-白金薄膜素子	TY7095A	1台	電動式パタライ弁	VY6941D	8台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台			
室内形湿度発信器	HY7096A	1台	(3)南庁舎 冷/温水圧力制御系統 (基本保守)		
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台	差圧発信器	JTD930A	1台
蒸気用小型電動二方弁	-	1台	デジタル指示調節器	R31	2台
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台	DC24V電源	RY7910D	2台
(21)中央庁舎 空調機 AC-34系統 (EV基本サービス)			モジュロールモータ	M904F	1台
IDCペーシックユニット	WY7211B	1台	弁リレージ	Q455C	2台
白金測温抵抗体	TY7700B	1台	差圧発信器	JTD90	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台	モジュロールモータ	M904F	1台
挿入型湿度発信器	HY7801A	1台			
ロータリー形電動二方弁	VY5110B	1台	(4)南庁舎 空調機 AC-2.3系統 (EV基本サービス)		
電動ボール弁	VY6100B	1台	Inflex GC	WY5111W	1台
電動式パタライ弁	VY6941D	4台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1台
(22)中央庁舎 空調機 AC-13-1.2系統 (EV基本サービス)			白金測温抵抗体	TY7700B	2台
Inflex GC	WY5111W	1台	ネオセンサ	HY7003T	1台
室内形湿度発信器	HY7099A	1台	ロータリー形電動二方弁	VY5110B	1台
室内形湿度発信器	HY7002T	1台	電動ボール弁	VY6100B	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	2台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台	室内形湿度センサ	HY7043T	1台
蒸気用小型電動二方弁	-	2台	室内形湿度発信器	HY7096A	1台
ネオセンサ	TY7003Z	1台	ロータリー形電動二方弁	VY5110A	1台
ネオセンサ	HY7003T	1台	電動ボール弁	VY6100B	1台
アクトバル電動二方弁	VY5110F	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	2台
CO2濃度調節器	CY7101A	2台	VAV操作器	*	2台
V/I変換器	RYY792V	1台	INV	*	2台
VAV操作器	*	2台			
INV	*	2台			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(5)南庁舎 空調機 AC-4-1,2系統 (EV基本サービス)			(9)南庁舎 空調機 AC-12-1,2系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	2台	Inflex GC	WY5111W	2台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	室内形温度センサ	TY7043Z	1台
白金測温抵抗体	TY7700B	1台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
室内形湿度センサ	HY7043T	2台	ネオセンサ	HY7003T	2台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
電動ボール弁	VY6100B	1台	電動ボール弁	VY6100B	2台
ネオセンサ	TY7003Z	1台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台	挿入形温度検出器	TY7800C	1台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
電動ボール弁	VY6100B	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	2台
CO2濃度調節器	CY7101A	2台	VAV操作器	*	2台
VAV操作器	*	2台	INV	*	2台
INV	*	2台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	(10)南庁舎 空調機 AC-14系統 (EV基本サービス)		
(6)南庁舎 空調機 AC-6系統 (EV基本サービス)			Inflex GC	WY5111W	1台
Inflex GC	WY5111W	2台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
室内形温度センサ	TY7043Z	1台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
白金測温抵抗体	TY7700B	3台	ネオセンサ	HTY7003T	1台
室内形湿度センサ	HY7043T	1台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	電動ボール弁	VY6100B	1台
電動ボール弁	VY6100B	1台	電動式パタフライ弁	VY6941D	4台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	CO2濃度調節器	CY7101A	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	1台	VAV操作器	*	1台
VAV操作器	*	1台	INV	*	1台
INV	*	1台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
(7)南庁舎 空調機 AC-8-1,2系統 (EV基本サービス)			(11)南庁舎 空調機 AC-15系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	2台	Inflex GC	WY5111W	1台
室内形温度センサ	TY7043Z	1台	ネオセンサ	TY7003Z	1台
白金測温抵抗体	TY7700B	2台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
室内形湿度センサ	HY7043T	1台	ネオセンサ	HY7003T	1台
ロー列形電動二方弁	VY5110B	1台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
電動ボール弁	VY6100B	1台	電動ボール弁	VY6100B	1台
ネオセンサ	HTY7003T	1台	電動ボール弁	VY6100D	4台
挿入形温度検出器	TY7800C	1台	挿入形CO2濃度発信器	CY8000C	1台
ア圩ハル電動二方弁	VY5110F	1台	VAV操作器	*	1台
電動ボール弁	VY6100B	1台	INV	*	1台
電動ボール弁	VY6100D	4台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
CO2濃度調節器	CY7101A	2台	(12)南庁舎 空調機 AC-17-1,2系統 (EV基本サービス)		
VAV操作器	*	2台	Inflex GC	WY5111W	2台
INV	*	2台	ネオセンサ	HTY7003T	1台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
(8)南庁舎 空調機 AC-10,11系統 (EV基本サービス)			ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
Inflex GC	WY5111W	1台	電動ボール弁	VY6100B	2台
室内形温度センサ	TY7043Z	1台	室内形温度センサ	TY7043Z	1台
白金測温抵抗体	TY7700B	2台	挿入形温度検出器	TY7800C	1台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	室内形湿度センサ	HY7043T	1台
電動ボール弁	VY6100B	2台	ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台
ネオセンサ	HTY7003T	2台	CO2濃度調節器	CY7101A	2台
ロー列形電動二方弁	VY5110A	1台	VAV操作器	*	2台
CO2濃度調節器	CY7101A	2台	INV	*	2台
VAV操作器	*	1台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台
INV	*	2台			
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(13)南庁舎 空調機 AC-18-1,2系統 (EV基本サービス)			(17)南庁舎 空調機 AC-27-1,2系統 (EV基本サービス)		
Inflex GC	WY5111W	2 台	Inflex GC	WY5111W	1 台
室内形温度センサ	TY7043Z	1 台	室内形温度センサ	TY7043Z	1 台
室内形湿度センサ	HY7043T	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	2 台
白金測温抵抗体	TY7700B	1 台	室内形湿度センサ	HY7043T	1 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1 台
電動ボール弁	VY6100B	2 台	蒸気用小型電動二方弁	-	2
室内形湿度発信器	HY7002T	1 台	室内形湿度センサ	HTY7043T	1 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	CO2濃度調節器	CY7101A	2 台
CO2濃度調節器	CY7101A	2 台	VAV操作器	*	1 台
VAV操作器	*	1 台	INV	*	2 台
INV	*	2 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	(18)南庁舎 空調機 AC-30,31系統 (EV基本サービス)		
(14)南庁舎 空調機 AC-21-1,2系統 (EV基本サービス)			IDCペ-シクユニット	WY7211B	1 台
Inflex GC	WY5111W	2 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	2 台
室内形湿度発信器	HY7002T	1 台	ネオセンサ-白金薄膜素子	TY7095A	2 台
白金測温抵抗体	TY7700B	1 台	室内形湿度発信器	HY7096A	2 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	2 台
電動ボール弁	VY6100B	2 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1 台
室内形温度センサ	TY7043Z	2 台	蒸気用小型電動二方弁	-	2 台
室内形湿度センサ	HY7043T	1 台	CO2濃度調節器	CY7101A	2 台
挿入形温度検出器	TY7800C	1 台	VAV操作器	*	2 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	INV	*	2 台
CO2濃度調節器	CY7101A	1 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
VAV操作器	*	1 台	(19)南庁舎 空調機 AC-32-1,2系統 (EV基本サービス)		
INV	*	2 台	Inflex GC	WY5111W	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	ネオセンサ	TY7003Z	1 台
(15)南庁舎 空調機 AC-22-1,2系統 (EV基本サービス)			挿入形温度センサ	TY7803Z	2 台
IDCペ-シクユニット	WY7211B	2 台	室内形湿度センサ	HY7043T	2 台
室内形温度センサ	TY7043Z	1 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	2 台	蒸気用小型電動二方弁	-	2 台
室内形湿度センサ	HY7043T	1 台	アクティブ電動二方弁	VY5110F	1 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	室内形温度センサ	TY7043Z	1 台
電動ボール弁	VY6100B	2 台	CO2濃度調節器	CY7101A	2 台
白金測温抵抗体	TY7700B	1 台	VAV操作器	*	2 台
ネオセンサ	HTY7003T	1 台	INV	*	2 台
ローリ-形電動二方弁	VY5110A	1 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
CO2濃度調節器	CY7101A	2 台	(20)南庁舎 ファンコイルグループ発停制御 (基本保守)		
VAV操作器	*	2 台	電動ボール弁	VY6100C	13 台
INV	*	2 台	(21)南庁舎 VAV廻り制御系統 (基本保守)		
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	SCM	WY7222W	2 台
(16)南庁舎 空調機 AC-26-1,2系統 (EV基本サービス)			IVC	WY7206A	6 台
Inflex GC	WY5111W	1 台	ネオセンサ	TY7003Z	6 台
室内形温度センサ	TY7043Z	1 台	ネオパネ(縦形)	QY7205A	6 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	2 台	(22)自動制御盤(補助機器)		
室内形湿度センサ	HY7043T	1 台			
アクティブ電動二方弁	VY5110F	2 台			
蒸気用小型電動二方弁	-	2 台			
室内形湿度発信器	HY7002T	1 台			
CO2濃度調節器	CY7101A	2 台			
VAV操作器	*	2 台			
INV	*	2 台			
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台			

機 器 名	型 番	個 数	機 器 名	型 番	個 数
D.《北庁舎》熱源・F-カルー一般機器			(6)北庁舎 空調機 AC-N-6系統 (EV基本サービス)		
(1)北庁舎 空調機 AC-N-1系統 (EV基本サービス)			Inflex GC		
Inflex GC	WY5111W	1 台	CO2濃度発信器	CY8100C	1 台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
CO2濃度発信器	CY8100C	1 台	アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台	加湿器	WM	1 台
加湿器	WM	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台	インバータ	*	1 台
インバータ	*	1 台	(7)北庁舎 空調機 AC-N-7系統 (EV基本サービス)		
(2)北庁舎 空調機 AC-N-2系統 (EV基本サービス)			Inflex GC		
Inflex GC	WY5111W	1 台	CO2濃度発信器	CY8100C	1 台
CO2濃度発信器	CY8100C	1 台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1 台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1 台	アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台
加湿器	WM	1 台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台	加湿器	WM	1 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台	インバータ	*	1 台
インバータ	*	1 台	(8)北庁舎 空調機 AC-N-8系統 (EV基本サービス)		
(3)北庁舎 空調機 AC-N-3系統 (EV基本サービス)			Inflex GC		
Inflex GC	WY5111W	1 台	CO2濃度発信器	CY8100C	1 台
CO2濃度発信器	CY8100C	1 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台	加湿器	WM	1 台
加湿器	WM	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台	インバータ	*	1 台
インバータ	*	1 台	(9)北庁舎 空調機 AC-N-9系統 (EV基本サービス)		
(4)北庁舎 空調機 AC-N-4系統 (EV基本サービス)			Inflex GC		
Inflex GC	WY5111W	1 台	CO2濃度発信器	CY8100C	1 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台	挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台	加湿器	WM	1 台
加湿器	WM	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台
CO2濃度発信器	CY8100C	1 台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台	インバータ	*	1 台
インバータ	*	1 台	(10)北庁舎 空調機 AC-N-10系統 (EV基本サービス)		
(5)北庁舎 空調機 AC-N-5系統 (EV基本サービス)			Inflex GC		
Inflex GC	WY5111W	1 台	CO2濃度発信器	CY8100C	1 台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台	挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台
CO2濃度発信器	CY8100C	1 台	アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台
加湿器	WM	1 台	加湿器	WM	1 台
挿入形湿度センサ	HTY7803T	1 台	挿入形温度センサ	TY7803Z	1 台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1 台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	1 台	インバータ	*	1 台
インバータ	*	1 台			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(11)北庁舎 空調機 AC-N-11系統 (EV基本サービス)			(新庁舎)中央管制装置		
Inflex GC	WY5111W	1台	(1)セントラルシステム本体	SCS	1台
CO2濃度発信器	CY8100C	1台	システムコアサーバ	監視用PC	1台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	監視用PC	C-LBP	1台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1台	カラーレーザープリンタ		
加湿器	WM	1台	(2)セントラルシステム周辺機器	QYY-SA10	1台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	無停電電源装置		
直結形タンバ操作器	MY6040A	1台	E.《新庁舎》熱源・ローカル一般機器		
インバータ	*	1台	(1)熱源廻り制御 1セット (総合保守)		
(12)北庁舎 空調機 AC-N-12系統 (EV基本サービス)			パラマトリクスII	WY7041	4台
Inflex GC	WY5111W	1台	白金測温抵抗体	TY7701B	10台
CO2濃度発信器	CY8100C	1台	デジタル指示調節器	R31	4台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	アナログ入力変換器	RY7100A	6台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1台	I/Oモジュール	RY7000P	6台
加湿器	WM	1台	アイソレータ	RY7910S	2台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	DC24V定電圧電源	QY7000A	2台
直結形タンバ操作器	MY6040A	1台	ローリ-形電動二方弁	VY5110B	2台
インバータ	*	1台	パタフライ弁	VY69	4台
(13)北庁舎 空調機 AC-N-13系統 (EV基本サービス)			電磁流量計	KID/KIX	2台
Inflex GC	WY5111W	1台	圧力発信器	*JTG	2台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	モータライバ-	RN796A	2台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1台	(2)CT-1,2 冷却塔制御系統 2セット (総合保守)		
加湿器	WM	1台	白金測温抵抗体	TY7701B	2台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	デジタル指示調節器	R31	2台
CO2濃度発信器	CY8100C	1台	ミスコン調節器	R7010B	2台
直結形タンバ操作器	MY6040A	1台	パタフライ弁	VY99	2台
インバータ	*	1台	電動ボール弁	VY6100D	2台
(14)北庁舎 空調機 AC-N-14系統 (EV基本サービス)			(3)オイルサービスタンク廻り制御 1セット (基本保守)		
Inflex GC	WY5111W	1台	感震装置	*1	1台
CO2濃度発信器	CY8100C	1台	油用電磁弁	*2	2台
挿入形温湿度センサ	HTY7803T	1台	油面計	*3	1台
アケイバル電動二方弁	VY5110F	1台	(4)煤煙濃度計 1セット (基本保守)		
加湿器	WM	1台	感震装置	*1	2台
挿入形温度センサ	TY7803Z	1台	煤煙濃度計	*2	1台
直結形タンバ操作器	MY6040A	1台	(5)空調機制御(1) 4セット (EV基本サービス)		
インバータ	*	1台	ACU-5-1,3		
(15)北庁舎 ファンコイルグループ発停制御系統 (基本保守)			ACU-6-1,3		
電動式パタフライ弁	VY6901D	13台	IDCパ-シクユニット	WY7211	4台
電動ボール弁	VY6100C	3台	挿入形温湿度検出器	HY7017C	4台
I-DGPパ-シクユニット	WY7210B	4台	温度調節器	T6065A	4台
(16)北庁舎 VAV廻り制御系統 (基本保守)			アケイバル電動二方弁	VY5110F	1台
SCM	WY7222W	4台	ローリ-形電動二方弁	VY5110A	3台
IVC	WY7206A	53台	DC24V電源	RY7910D	4台
ネオパネル(縦形)	QY7205A	53台	差圧発信器	JTD210	4台
ネオセンサ	TY7003Z	53台	直結形タンバ操作器	MY6040A	6台
(17)自動制御盤(補助機器)			加湿器	WM	4台
			インバータ	*	4台

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(6)空調機制御(2) 2セット (EV基本サービス) ACU-3-3,4-2			(10)空調機制御(6) 1セット (基本保守) ACU-R		
IDCペーシックユニット	WY7211	2台	温度調節器	T6065A	1台
挿入形温湿度検出器	HY7017C	2台	ロータリー形電動二方弁	VY5110A	1台
温度調節器	T6065A	2台	ファースタット	T631A	2台
ロータリー形電動二方弁	VY5110A	3台			
アクティブ電動二方弁	VY5110F	1台	(11)ファンコイル制御(2) 6セット (基本保守)		
DC24V電源	RY7910D	2台	FCUコントローラ	WY710	6台
差圧発信器	JTD210	2台	室内温度検出器	T7095A	6台
直結形ダンパ操作器	MY9040A	2台	ロータリー形電動二方弁	VY5110A	12台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	2台			
インバータ	*	1台	(12)ファンコイル制御(3) 18セット (基本保守)		
電磁弁	*	2台	電気室系統		
(7)空調機制御(3) 10セット (EV基本サービス) ACU-B2-3 ACU-1-3 ACU-2-1,3,4 ACU-4-1,4 ACU-7-1,2,3			温度調節器	T6065A	18台
IDCペーシックユニット	WY7211	10台	(13)加湿制御 5セット (基本保守)		
室内温度検出器	T7090D	9台	IDCペーシックユニット	WY7211	5台
室内形湿度発信器	HY7096A	9台	挿入形温湿度発信器	HY7013B	5台
挿入形露点温度検出器	HY7019C	3台	(14)全熱交換器制御 1セット (基本保守)		
白金測温抵抗体	TY7700B	10台	IDCペーシックユニット	WY7211	1台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	8台	白金測温抵抗体	TY7700B	1台
直結形ダンパ操作器	MY9040A	2台	ロータリー形電動二方弁	VY5110A	1台
ロータリー形電動二方弁	VY5110A	8台			
ロータリー形電動二方弁	VY5110B	2台	(15)MD制御(1) 2セット (基本保守)		
電磁弁	*	2台	1Fオペレーター, 端末室		
加湿器	WM	4台	温度調節器	T6065B	2台
(8)空調機制御(4) 5セット (EV基本サービス) ACU-B1-1,3 ACU-1-1 ACU-3-1 ACU-4-3			直結形ダンパ操作器	MY6040A	4台
IDCペーシックユニット	WY7211	5台	(16)MD制御(2) 2セット (基本保守)		
室内温度検出器	T7090D	5台	CO2排気系統		
室内形湿度発信器	HY7096A	5台	直結形ダンパ操作器	MY6040A	13台
直結形ダンパ操作器	MY6040A	5台			
ロータリー形電動二方弁	VY5110A	8台	(17)計測系統 (基本保守)		
電磁弁	*	2台	挿入形温湿度検出器	HY7017C	1台
(9)空調機制御(5) 1セット (基本保守) 室内温度検出器 デットロック ロータリー形電動二方弁	T7090D SDC200 VY5110A	1台 1台 1台	(18)FCU用冷温水配管 3セット (基本保守)		
			電動ボール弁	VY6100A	3台

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
(19)水槽系統 4セット (基本保守)			(4)空調機 AC-3(サ-ビス)系統 (基本保守)		
TE-1,2			室内形温度調節器	TY9001Z	1台
TWS-1,2			室内形湿度調節器	HY6000Z	1台
電極ルー	*LR	3台	モジュロ-ルモ-タ	M904E	1台
(20)自動制御盤(補助機器)			弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台
F.《飯倉別館》中央管制装置(SAVIC NET10)			単座弁	V5063A	1台
(1)セントラルシステム本体 (総合保守)			電磁弁	N-20W	1台
メインコンソ-ル(カラー)	C-MCL	1台	(5)空調機 AC-4(史料館一般)系統 (基本保守)		
(2)セントラルシステム周辺機器 (総合保守)			室内形温度調節器	TY9001Z	1台
内蔵プリンタ	PRT	1台	室内形湿度調節器	HY6000Z	1台
グラフィックライバ	GDR	1台	モジュロ-ルモ-タ	M904E	1台
フロッピーディスク装置	FDD	1台	弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台
無停電電源装置	QYY-SA10	1台	単座弁	V5063A	1台
I-DGPベ-シ-クユニット	WY7210B	1台	電磁弁	N-20W	1台
《飯倉別館》熱源・ローカル一般機器			(6)空調機 AC-5(史料館会議室)系統 (基本保守)		
(1)空調機 AC-1(1階レセプション・玄関ホール)系統 (基本保守)			挿入形温度調節器	TY9800Z	2台
室内形湿度センサ	HTY7043T	1台	コントロールモ-タ	MY3000E	1台
配管温度検出器	TY7830B	1台	弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台
室内形湿度センサ	HTY7043T	1台	単座弁	V5063A	1台
室内形湿度センサ	HTY7043T	1台	電磁弁	N-20W	1台
湿度調節器	H615A	1台	挿入形湿度調節器	H69A	1台
デジタル指示調節器	R36	2台	(7)空調機 AC-6(寝室)系統 (基本保守)		
デジタル温度計	413C-19-5	7台	室内形温度調節器	TY9001Z	1台
デジタル湿度計	413c-19-5	1台	室内形湿度調節器	HY6000Z	1台
V/I変換器	RY7910V	5台	モジュロ-ルモ-タ	M904E	1台
JPt/I, P/I変換器	RY7910P	5台	弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台
アイル-タ	RY7910S	10台	三方弁	V5065A	1台
モジュロ-ルモ-タ	M904F	1台	電磁弁	N-20W	1台
弁リ-ケ-ジ	Q455C	2台	(8)空調機 地下和風食堂系統 (基本保守)		
単座弁	V5063A	2台	挿入形温度調節器	TY9800Z	2台
モジュロ-ルモ-タ	M904F	1台	コントロールモ-タ	MY3000E	1台
電磁弁	N-20W	1台	弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台
(2)PAC-1(会議室)系統 (基本保守)			単座弁	V5063A	1台
モニタスイッチ	RY7910M	3台	WETMASTER	WM-2SVH	2台
デジタル指示調節器	R36	1台	室内形湿度調節器	HY6000Z	1台
挿入形温度調節器	TY9800Z	1台	(9)外気計測系統 (基本保守)		
挿入形湿度調節器	TY9800Z	1台	挿入形湿度センサ	HTY7813T	1台
アイル-タ	RY792S	2台	(10)自動制御盤(補助機器)		
電動操作器	M904F+R7000A	1台			
弁リ-ケ-ジ	Q455C	1台			
(3)カクシ-ンタンク系統 (基本保守)					
パネル取付形フロ-トレスリ- タイマ-	WLS211B MS7SI-AE	2台 2台			

機 器 名	型 番	個 数	機 器 名	型 番	個 数
電気設備監視機器					
A. 中央管制装置(savic-netEV m30)					
(1)セントラルシステム本体 (EV基本サービス)					
メインコンソールユニット	MCU+UPS	1 台			
(2)セントラルシステム周辺機器 (総合保守)					
CRT/KB/MS(21)	MMU(21)	1 台			
レーザープリンタ	LBP	1 台			
設備統合コントローラ	UIC	6 台			
(3)ビルマネージメントシステム (総合保守)					
ビルマネージメントシステム	BMS(E,UPS有)	1 台			
CRT/KB/MS(21)	MMU(21)	1 台			
カラーレーザープリンタ	C-LBP	1 台			
B. リモート系統					
(1)中央管制ポイント点検 (基本保守)					
積算ポイント	PDMT	36 PT			
(2)リモート系統 (基本保守)					
C-DGP	WY7408W	14 台			
I-DGP II	WY7410A	9 台			
(3)自動制御盤(補助機器)					
自動制御盤	*	7 面			

機 器 名	型 番	個 数	機 器 名	型 番	個 数
構内自動電話交換設備					
1. 本省庁舎					
電話交換機	APEX7600-180	7 架			
蓄電池		50 個			
整流装置		1 台			
保守用コンソール		1 台			
課金装置		1 台			
PC中継台		7 台			
デジタル多機能電話機		3400 台			
一般アナログ電話機		750 台			
IP電話機		75 台			
ボタン電話主装置		8 台			
SW-HUB(給電機能付き)		4 台			
SW-HUB(給電機能なし)		2 台			
アナログメディアコンバーター		5 台			
タッチ録EX		1 台			
HYPER VOICE LIGHT		2 台			
2. 飯倉公館及び外交史料館					
ボタン電話主装置		1 台			
電源装置		1 台			
デジタル多機能電話機		89 台			
一般アナログ電話機		11 台			
3. 麻布台別館					
ボタン電話主装置		1 台			
電源装置		1 台			
デジタル多機能電話機		14 台			
一般アナログ電話機		4 台			
国際会議室同時通訳機器他音響設備 (内訳 別紙8のとおり)					
		1 式			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
自動火災報知設備			9) 屋内消火栓設備及び連結送水管設備		
1. 本省庁舎			ポンプモーター		1 台
北庁舎			呼び水装置		1 式
1) 自動火災報知設備			屋内消火栓		37 基
受信機R型1級392回線		1 台	消防隊専用放水口		22 基
副受信機		1 台	起動用スイッチ		37 個
差動式スポット型感知器		369 個	表示灯		37 個
定温式スポット型感知器		19 個	送水口		2 基
煙感知機		78 個	10) 非常放送設備		
発信器		39 個	増幅器		
アナログ感知器		13 個	遠隔装置		
音響装置		8 個	スピーカー		
消火栓起動連動装置		1 式	常用電源		
常用電源		1 式	予備電源		
予備・非常電源		1 式	11) CRT設備		
煙感知器(アナログ式)		88 個	操作卓		1 台
			コンピューター盤		1 台
2) ハロゲン化物消火設備			プリンター装置		1 台
ハロゲン容器		13 本	テレビモニター		1 台
容器弁開放器(電磁式)		1 個	無停電原装置		1 台
〃 (ガス圧式)		13 個			
起動用小容器		1 台	12) 排煙設備		
起動用操作函		2 個	排煙口		1 台
スピーカー		2 個	吸煙口		1 台
音声盤		1 台	手動装置		1 個
連動盤		1 台	排煙機		1 台
電源装置		1 式			
圧カスイッチ		1 個	中央・南庁舎		
放出表示灯		2 個	1) 自動火災報知設備		
ヘッド		8 個	副受信機		2 台
			差動式スポット型感知器		610 個
3) 消火器具			定温式スポット型感知器		24 個
粉末消火器	10型	91 本	煙感知器		136 個
〃	50型	3 本	発信機		48 個
中性強化液	3型	5 本	音響装置		8 個
			熱感知機		16 個
4) 誘導灯設備			煙感知器(アナログ式)		166 個
誘導灯	避難口C級25個	30 個	〃 (22 個
階段通路誘導灯	通路C級5個	41 個			
誘導標識	避難口C級25個	24 枚	2) 二酸化炭素消火設備		
			二酸化炭素容器		73 基
5) 防火扉設備			容器弁開放器	電磁式	5 個
GR型受信機		1 面	〃	ガス圧式	73 個
煙感知器		69 個	容器弁開放器		5 個
熱感知器		16 個	起動用小容器		5 個
防火扉	煙連動式	53 台	起動用操作函		5 個
防火扉	手動式	3 台	スピーカー		13 個
防火シャッター		19 台	連動盤		1 台
防煙スクリーン		44 台	表示盤		1 台
			圧カスイッチ		5 個
6) 避難器具設備			ダンパー		22 個
救助袋	垂直	2 台	放出表示灯		14 個
			選択弁	ガス圧式	5 個
7) 簡易自動消火装置			選択弁開放器		5 個
制御盤		5 台	ヘッド		44 個
装置本体		5 台	電源装置		1 式
感知部		21 個	拡声盤		1 面
ノズル		26 個			
ダンパー		5 台	3) 消火器		
手動装置		5 個	粉末消火器	10型	114 本
電源装置		5 式	粉末消火器	50型	1 本
警報装置		5 台	中性強化液	3型	5 本
8) 自家発電設備					
ガスタービン	1000KVA	1 式			
制御盤		1 台			

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
4)誘導灯設備			遠隔装置		1台
誘導灯	避難口B級	2個	スピーカー		267台
"	避難口C級	35個	起動装置		1個
"	通路B級	4個	非常電話制御盤		1台
"	通路C級	10個	常用電源		1式
階段通路誘導灯	兼非常照明	61個	予備電源		1式
誘導表示板		13枚	6)避難器具設備		
5)屋内消火栓及び連結送水管設備			緩降機		3台
ポンプモーター		1台	7)屋内消火栓及び連結送水管設備		
操作盤		1面	ポンプモーター		1台
屋内消火栓		44基	呼水装置		1式
消防隊専用放水口		12基	操作盤		1台
起動スイッチ		44個	屋内消火栓		22基
表示灯		44個	消防隊専用放水口		9基
送水口		1基	起動用スイッチ		22個
6)非常用発電機			表示灯		22個
ガスタービン	1250KVA	1式	表示盤		1基
制御盤		1台	送水口		1式
7)防火扉設備			8)スプリンクラー消火設備		
煙感知器	アナログ式	198個	ポンプモーター		1
防火扉		63台	呼水装置		1
防煙スクリーン		60台	起動装置		1
熱感知器	アナログ式	16個	ヘッド		285
防火シャッター		22台	定温式スポット型感知器		5
新庁舎			操作盤		1
1)自動火災報知設備			自動警報弁		3
受信機	GR級279/1020回	1台	圧力検知装置		5
差動式スポット型感知器		13個	一斉開放弁		5
定温式スポット型感知器		40個	手動開放弁		5
煙感知機		425個	表示盤		1
発信機		22個	送水口		2
音響装置		22個	9)二酸化炭素消火設備		
消火栓起動連動装置		1式	二酸化炭素容器		29本
常用電源		1式	容器弁開放器		11個
予備電源		1式	"		29個
2)ガス漏れ火災警報設備			起動用操作函		11個
受信機	GR型20回線	1台	スピーカー		13個
検知器		5個	音声盤		1台
検知器警報装置		5個	連動盤		1台
常用電源		1式	表示盤		1台
予備電源		1式	圧カスイッチ		11個
3)誘導灯設備			ダンパー		34面
誘導灯		169個	放出表示灯		28個
階段通路誘導灯		54個	選択弁		10個
誘導表示板		26枚	選択弁開放器		10個
4)防火排煙設備			ヘッド		36個
制御盤	R型30回線	1台	電源装置		1式
煙感知器		69台	10)消火器具		
防火ダンパー	連動付き	72面	粉末消火器	10型	76本
手動装置		80個	"	50型	1本
排煙機		2台	中性強化液		44本
非常用発電機・操作盤		2台	11)非常電源設備		
防火扉S型	連動付き	36個	ガスタービン	2000KVA	1式
防火シャッター	連動付き	1個	制御盤		1台
排煙口		2個	12)簡易自動消火設備		
吸煙口		45個	制御盤		3台
排煙窓手動装置		46個	装置本体		3台
電源装置		1式	感知部		11個
5)非常放送設備			ダンパー		3台
増幅器		1台	シャッター		1式
			消火薬剤本体		10本

機器名	型番	個数	機器名	型番	個数
電源装置 押しボタン		3台 3個	3) 屋内消火栓設備 ポンプモーター 操作盤 屋内消火栓 起動スイッチ 表示灯		1台 1台 6基 6個 6個
13) 防火扉 防煙スクリーン		36台			
西別館 1) 自動火災報知設備 受信機 表示器	1級 10/30	1台 1台	4) 泡消火設備 加圧送水装置 自動機移動装置 混合装置 泡タンク	操作部共	1台 1台 1台 1台
差動式スポット型感知器 定温式スポット型感知器 煙感知器 発信器 電鈴 常用電源 予備電源	1級	26個 11個 44個 4個 6個 1式 1式	流水検知装置 一斉開放弁 手動開放弁 操作盤 表示盤 泡ヘッド 感知ヘッド		1台 2個 66個 66個 1式 1式 569台 212台
2) 誘導灯設備 誘導灯 階段通路誘導灯 誘導表示板		5台 12台 1枚	5) 消火器 粉末消火器 強化液	10型(加圧式) 3L型	29本 2本
3) 防火排煙設備 制御盤 煙感知器 防火ダンパー 手動装置 排煙機 防火扉 排煙口 吸煙口 電源装置	連動式 S型(連動式)	1台 6台 2面 3個 1台 6個 1個 3個 1式	地下書庫 1) 自動火災報知設備 定温式スポット型感知器 煙感知器 発信機		1個 39個 3個
4) FM-200消火設備 容器 容器開放器 " 起動用操作函 スピーカー 連動盤 電源装置 圧カスイッチ ダンパー 放出表示灯 ヘッド 熱感知器 煙感知機	電磁式 ガス式	8本 3個 5個 2個 3個 1台 1式 1個 7面 5個 9個 8個 5個	2) 誘導灯設備 誘導灯 非常照明及び階段通路		7台 18台
5) 消火器 粉末消火器 粉末消火器	10型 50型	28本 3本	3) 屋内消火栓設備及び連結撤水管設備 ポンプモーター 操作盤 屋内消火栓 起動用スイッチ 表示灯 送水口 ヘッド		1台 1台 1基 1個 1個 1基 8個
車庫棟 1) 自走火災報知設備 差動式スポット型感知器 定温式スポット型感知器 煙感知器 発信器 電鈴	1級	331個 19個 15個 13個 17個	4) ハロゲン化物消火設備 ハロゲン容器 容器弁開放器 " 起動用操作函 スピーカー 音声盤 連動盤 表示盤 電源装置 圧カスイッチ ダンパー 放出表示灯 ヘッド	電磁式 ガス圧式	33本 2個 31個 1個 6個 1台 1台 1台式 2個 5面 24個
2) 誘導灯設備 誘導灯 階段通路誘導灯 誘導表示板		14個 7台 3枚	5) 消火器具 粉末消火器 中性強化液	10型(加圧式) 3型	2本 4本
			免震層 1) 自動火災報知設備 受信機 熱感知器 発信機 常用電源		1台 34個 9台式 1式

機 器 名	型 番	個 数	機 器 名	型 番	個 数
予備電源		1 式	6) 消火器具 粉末消火器	10型	44 本
2) 誘導灯設備			"	20型	1 本
誘導灯	C級	2 台	"	50型	2 本
通路灯	C級	7 台	強化液	3型	8 本
3) 非常放送設備			7) 防火扉設備		
スピーカー		24 台	制御盤		1 台
常用電源		1 式	煙感知器		4 個
予備電源		1 式	防火扉	連動付き	4 台
2. 飯倉別館・外交史料館・外交史料館別館			(2) 外交史料館別館		
(1) 飯倉別館・外交史料館			1) 自動火災報知設備		
1) 自動火災報知設備			受信機	1級 3/10L	1 台
受信機	1級 34L	1 台	表示機		1 台
表示機		3 台	差動式スポット型感知器		19 個
分布型感知器		2 個	定温式スポット型感知器		1 個
差動式スポット型感知器		70 個	煙感知器		3 個
定温式スポット型感知器		39 個	発信機		2 個
煙感知器		96 個	電鈴		4 個
発信機		10 個	常用電源		1 式
電鈴		14 個	予備電源		1 式
消火栓起動連動装置		1 式	2) 誘導灯設備		
常用電源		1 式	誘導灯		7 個
予備電源		1 式			
2) 誘導灯設備			3) ハロゲン化物消火設備		
誘導灯		34 個	ハロゲン容器		5 本
3) ハロゲン化物消火設備			容器弁開放器	電磁式	2 個
ハロゲン容器		5 本	"	ガス圧式	5 個
容器弁開放器	電磁式	3 個	起動用小容器		2 本
"	ガス圧式	5 個	起動用操作函		2 個
起動用小容器		3 本	スピーカー		2 個
起動用操作函		3 個	連動盤		1 台
スピーカー		3 個	電源装置		1 式
連動盤		1 台	圧カススイッチ		1 個
圧カススイッチ		3 個	ダンパー		8 面
ダンパー		6 面	放出表示灯		2 個
放出表示灯		3 個	選択弁		2 個
選択弁		3 個	選択開放器		2 個
選択開放器		3 個	ヘッド		13 個
ヘッド		13 個	4) 不活性ガス消火設備	窒素ガス	
換気装置		1 式	窒素ガス容器		11 本
電源装置		1 式	容器弁開放器	電磁式	1 本
			"	ガス圧式	11 個
4) 二酸化炭素消火設備			起動用小容器		1 個
二酸化炭素容器		5 本	起動操作函		1 個
容器弁開放器	電磁式	2 個	スピーカー		2 個
"	ガス圧式	5 個	連動盤		1 台
起動用小容器		2 個	圧カススイッチ		1 個
起動用操作函		2 個	ダンパー		3 面
スピーカー		2 個	放出表示灯		2 個
連動盤		3 個	ヘッド		4 個
圧カススイッチ		1 個	電源装置		1 式
ダンパー		6 面			
放出表示灯		2 個	5) 消火器具		
選択弁		2 個	粉末消火器	10型	3 本
ヘッド		2 個	強化液	3型	1 本
電源装置		1 式			
			麻布台別館		
5) 屋内消火栓			1) 消火器具		
ポンプモーター		1 台	粉末消火器	10型	19 本
操作盤		1 台	二酸化炭素消火器		2 本
屋内消火栓		10 基			
起動用スイッチ		10 個	2) 二酸化炭素消火設備		
表示灯		10 個	二酸化炭素容器		2 本
			容器弁開放装置	電磁式	1 本
			"	ガス圧式	1 本

機 器 名	型 番	個 数	機 器 名	型 番	個 数
操作盤		1 個			
制御盤		1 面			
警報盤		1 面			
スピーカー		1 個			
放出表示灯		1 個			
圧カスイッチ		1 個			
逆止弁		1 個			
復旧弁		1 個			
開口部自動閉鎖装置		2 式			
ヘッド		1 個			
ダンパー		1 台			
3)自動火災報知設備					
P型受信機	1級 20回線	1 台			
"	1級 5回線	1 台			
副受信機	50回線	1 台			
差動式スポット型感知器		35 個			
定温式スポット型感知器		13 個			
煙感知器		37 個			
発信機		5 個			
音響装置		6 個			
表示灯		5 個			
4)誘導灯設備					
誘導灯		39 個			
5)P型排煙制御設備					
制御盤	10回線	1 面			
煙感知器		16 個			
防火扉		7 枚			
ダンパー		1 個			
シャッター		4 枚			
排煙窓		2 面			
6)P型ガス漏れ火災警報設備					
受信機	10回線	1 面			
検知機		4 個			
警報装置		1 式			
船橋分室					
1)消火器具					
粉末消火器	10型	10 本			

新庁舎無停電電源装置消耗部品点検項目

セクション No.	項番	電気室名/機器名 形式・定格/デバイス等	処置内容	交換部品 形式・定格		数量
---	---	300kVA UPS (No.1号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN1 VAS405MD-43FZC(VAS405HN-42) 200W-3Φ-4P-200/220V	1
---	---	300kVA UPS (No.1号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN2~3 VAS405BN-42YZC(VAS405AN-42Y) 400W-3Φ-4P-200/220V	2
---	---	300kVA UPS (No.1号機)	定期交換部品	基板用電池	# CNTL BAT ER6-3.6V (CONTROL基板用)	1
---	---	300kVA UPS (No.1号機)	定期交換部品	メモリーカード用電池	# CARD BAT CR2016 (MEMORY CARD用)	2
---	---	300kVA UPS (No.2号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN1 VAS405MD-43FZC(VAS405HN-42) 200W-3Φ-4P-200/220V	1
---	---	300kVA UPS (No.2号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN2~3 VAS405BN-42YZC(VAS405AN-42Y) 400W-3Φ-4P-200/220V	2
---	---	300kVA UPS (No.2号機)	定期交換部品	基板用電池	# CNTL BAT ER6-3.6V (CONTROL基板用)	1
---	---	300kVA UPS (No.2号機)	定期交換部品	メモリーカード用電池	# CARD BAT CR2016 (MEMORY CARD用)	2
---	---	300kVA UPS (No.3号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN1 VAS405MD-43FZC(VAS405HN-42) 200W-3Φ-4P-200/220V	1
---	---	300kVA UPS (No.3号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN2~3 VAS405BN-42YZC(VAS405AN-42Y) 400W-3Φ-4P-200/220V	2
---	---	300kVA UPS (No.3号機)	定期交換部品	基板用電池	# CNTL BAT ER6-3.6V (CONTROL基板用)	1
---	---	300kVA UPS (No.3号機)	定期交換部品	メモリーカード用電池	# CARD BAT CR2016 (MEMORY CARD用)	2
---	---	300kVA UPS (No.4号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN1 VAS405MD-43FZC(VAS405HN-42) 200W-3Φ-4P-200/220V	1
---	---	300kVA UPS (No.4号機)	定期交換部品	冷却扇	# FAN2~3 VAS405BN-42YZC(VAS405AN-42Y) 400W-3Φ-4P-200/220V	2
---	---	300kVA UPS (No.4号機)	定期交換部品	基板用電池	# CNTL BAT ER6-3.6V (CONTROL基板用)	1
---	---	300kVA UPS (No.4号機)	定期交換部品	メモリーカード用電池	# CARD BAT CR2016 (MEMORY CARD用)	2

外務省新庁舎 300kVA UPS部品交換表

T-5600R(No. 1~3)

試験番号 : 94530144~94530146

元/セ T830101	納入後	点検年度																
		1994	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	
項目		H6	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	
1 冷却ファン	新規納入	●				→	→	→	●				→	→	○			○
2 電解コンデンサ				→	→	→	→	→	→	●							○	
3 直流安定化電源				→	→	→	→	→	→	●							○	
4 基板用, メモリ用電池		●				●				●			→	→	○			○
5 GATE駆動基板				→	→	→	→	→	→	●							○	
6 蓄電池					●								●					
※ ヒューズ												●						

※15年目以降は設備更新推奨

○交換推奨
●交換実施
→交換時期超過

【No. 1~3 UPS】

部 品	型 式	数 量	Dev.No.
1 冷却ファン	VAS405MD-43FZ	1	#FAN1
	VAS405BN-42YZ	2	#FAN2,3
2 主回路用電解コンデンサ	HCGF5-A-2V-113Y	48	#C81A~C,82A~C,CP1~4
	HCG7A1H683Y	2	#C26
3 直流安定化電源	ZWQ130-5FF4/SLWQ	1	#AVR1
4 CNTL基板用電池	ER6-3.6V	1	
	メモリーカード用電池	CR2016	2
5 GATE駆動基板	RPBX-0524A□	12	#GATE(12STACK)
6 蓄電池	MSE-300	216	
主回路用ヒューズ	6.9URD33TTF0630	24	#F11,21(U1~W2)12STACK
	6.9URD30TTF0160	12	#F81A~C(CP1~4)
※ 制御用ヒューズ	NRF5-30-3A	3	#F1~3
	NRF5-30-5A	6	#F11~13,51~53
	NRF5-30-10A	4	#F21~24
	BLA-005	2	#F40,41
	BLA-020	3	#F14~16
	52550(059-01091A)	3	#F91

- ◆上記部品個数は1台分となる。
- ◆ヒューズ交換周期は使用状況による。
- ◆製造中止等により部品の型式が変更になる場合がある。

外務省新庁舎 300kVA UPS部品交換表

T-5600R(No. 4)

試験番号 : 01530059

元/セ T830101	納入後	点検年度															
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	
項目		2001 H13	2002 H14	2003 H15	2004 H16	2005 H17	2006 H18	2007 H19	2008 H20	2009 H21	2010 H22	2011 H23	2012 H24	2013 H25	2014 H26	2015 H27	
1 冷却ファン	新規納入				→	→	●			→	○			○			
2 電解コンデンサ							●							○			
3 直流安定化電源								●								○	
4 基板用, メモリ用電池					→	→	●		●		→	○			○		
5 GATE駆動基板									●							○	
6 蓄電池										●							○
※ ヒューズ									●								

※15年目以降は設備更新推奨

○交換推奨
●交換実施
→交換時期超過

【No. 4 UPS】

部 品		型 式	数 量	Dev.No.
1	冷却ファン	VAS405MD-43FZ	1	#FAN1
		VAS405BN-42YZ	2	#FAN2,3
2	主回路用電解コンデンサ	HCGF5-A-2V-113Y	48	#C81A~C,82A~C,CP1~4
	制御用電解コンデンサ	HCG7A1H683Y	2	#C26
3	直流安定化電源	ZWQ130-5FF4/SLWQ	1	#AVR1
4	CNTL基板用電池	ER6-3.6V	1	
	メモリーカード用電池	CR2016	2	
5	GATE駆動基板	RPBX-0524A□	12	#GATE(12STACK)
6	蓄電池	MSE-300	216	
※	主回路用ヒューズ	6.9URD33TTF0630	24	#F11,21(U1~W2)12STACK
		6.9URD30TTF0160	12	#F81A~C(CP1~4)
	制御用ヒューズ	NRF5-30-3A	3	#F1~3
		NRF5-30-5A	6	#F11~13,51~53
		NRF5-30-10A	4	#F21~24
		BLA-005	2	#F40,41
		BLA-020	3	#F14~16
	52550(059-01091A)	3	#F91	

- ◆上記部品個数はNo. 4UPS1台分となる。
- ◆ヒューズ交換周期は使用状況による。
- ◆製造中止等により部品の型式が変更になる場合がある。
- ◆但し、交換部品は資料4-1による。

外務省新庁舎 300kVA UPS部品交換表

T-5600R(周辺盤)

元/セ T830101	納入後	1年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目
点検年度		1994	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013
項目		H6	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
出力切換盤																	
1	直流安定化電源		→	→	→	→	→	→	→	→	→	●					
2	基板用, メモリ用電池		●			→	→	→	→	→	→	●			○		
※	ヒューズ											●					
出力分岐盤																	
1	直流安定化電源			→	→	→	→	→	→	→	→	→	●				
※	ヒューズ											→	●				
バイパス変圧器盤																	
※	ヒューズ											●					
バイパス変圧器三次盤																	
※	ヒューズ											●					
並列盤																	
※	ヒューズ											●					
保守バイパス盤																	
※	ヒューズ											→	●				

※15年目以降は設備更新推奨

○交換推奨
●交換実施
→交換時期超過

【出力切換盤】

部 品	型 式	数 量	Dev.No.
1 直流安定化電源	FX-DR-54A	2	#AVR1,2
	FS9-24	1	#AVR3
2 CNTL基板用電池	ER6-3.6V	1	
	メモリーカート用電池	2	
※ 制御用ヒューズ	BLA-003	2	#F66C,D
	BLA-020	3	#F62A~C
	NRF5-30-1A	3	#F9~11
	NRF5-30-3A	4	#F63A,B,66A,B
	NRF5-30-5A	6	#F1~6

【出力分岐盤】

部 品	型 式	数 量	Dev.No.
1 直流安定化電源	EWS50-24	1	#PS85
※ 制御用ヒューズ	NRF5-30-3A	2	#F85A,B
	NRF5-30-5A	4	#F95A,B,E,F
	NRF5-30-20A	2	#F95C,D

【バイパス変圧器盤】

部 品		型 式	数 量	Dev.No.
※	制御用ヒューズ	BLA-003	2	#F20A,B
		BLA-005	2	#F22A,B
		BLA-020	2	#F22C,D

【バイパス変圧器二次盤】

部 品		型 式	数 量	Dev.No.
※	制御用ヒューズ	BLA-005	2	#F28A,B
		BLA-020	5	#F23A~C,28C,D

【並列盤】

部 品		型 式	数 量	Dev.No.
※	制御用ヒューズ	BLA-003	8	#F31~34A,B
		BLA-005	6	#F51~54,58A,B
		BLA-020	4	#F58C~F
		NRF5-30-1A	3	#F61A,62B,63C

【保守バイパス盤】

部 品		型 式	数 量	Dev.No.
※	制御用ヒューズ	BLA-005	2	#F83A,B
		BLA-020	6	#F82A~D,83C,D

- ◆各周辺盤部品交換時は約5時間の負荷停止が必要となる。
- ◆ヒューズ交換周期は使用状況による。
- ◆製造中止等により部品の型式が変更になる場合がある。

○各業務法定資格一覧

3. 建物設備管理業務

○空調設備等運転監視・点検保守業務

受注者は本業務を実施するに当たり、以下の法定資格者を選任する。なお、資格者は重複しても構わないものとする。

(1) ボイラー技士

2級以上のボイラー技士の資格を有する者を2名以上配置する。

(2) 危険物取扱者

危険物取扱甲種又は乙種第4類の資格を有する者を1名以上配置する。

(3) エネルギー管理士

エネルギー管理士を1名以上配置する。

(4) 建築物環境衛生管理技術者

建築物環境衛生管理技術者を1名以上配置する。

○受変電設備等運転監視・点検保守業務

受注者は本業務を実施するに当たり、以下の法定資格者を1名以上選任すること。なお、資格者は重複しても構わないものとする。

(1) 電気事業法第54条に規定する電気主任技術者の資格を有する者。

(2) 第1種電気工事士の資格を有する者。

(3) 第2種電気工事士の資格を有する者。

(4) 第4類の甲種又は乙種消防整備士の資格を有する者、或いは第2種消防設備点検資格者の資格を有する者。

○昇降機設備点検保守業務

受注者は本業務を実施するに当たり、以下の法定資格者を1名以上選任すること。なお、資格者は重複しても構わないものとする。

(1) 昇降機検査資格者の資格を有する者。

4. 電話交換機設備保守業務

受注者は本業務を実施するに当たり、以下の法定資格者を1名以上選任すること。

(1) 電気通信事業法第45条に規定する電気通信主任技術者資格又は第54条に規定する工事担任者の資格を有する者。

5. 自動火災報知設備等保守業務

受注者は本業務を実施するに当たり、以下の法定資格者を点検項目に応じて法令に従い配置こと。

- (1) 消防設備士免許取得者
- (2) 消防設備点検資格者
- (3) 消防法第17条第項に規定する甲種消防設備士のうち、自動火災報知設備に係る資格を有する者。
- (4) 電気工事士法第3条に規定する電気工事士の資格を有する者
- (5) 第1種火災報知システム専門技術者

○業務責任者等の条件

業務関係者は、各業務の全般について責任を持つ業務責任者及び業務責任者を補佐する副業務責任者並びに業務担当者とする。また、業務担当者の休暇等に対し業務を代行する業務担当補助者を置くことができるものとし、業務担当者に業務担当補助者を含めたものを業務関係者等とする。

本業務を実施する場合、各業務に業務責任者を設置すること。

業務責任者を設置する業務は「建物設備管理業務（空調設備等運転監視・点検保守、受変電設備等運転監視・点検保守、昇降機の点検保守等）」、「エネルギー管理業務」、「自動火災報知設備等点検保守」、「電話交換機設備保守」、「庭園保守管理業務」、「警備業務」、「清掃業務」とする。

代表企業は業務の実施に先立ち業務関係者を選任するとともに業務関係者の氏名、生年月日、現住所、連絡先電話番号、職務経歴等及び資格証（写）、受注者との雇用関係を証明する書類を提出し、監督職員の承諾を得るものとする。

また、業務関係者の変更があった場合も同様とし、承諾を得ることとする。

なお、スポット的な修理点検履行者の選任については監督職員との個別協議とする。

3. 建物設備管理業務

○空調設備等運転監視・点検保守業務

(1) 業務関係者

①業務関係者

落札事業者は、運転・監視及び日常点検・保守に必要な人員を確保するとともに、故障時等に迅速に対応出来るよう必要な人員を配置するものとし、庁舎内に常駐して業務を実施すること。

また、業務を実施するにあたり、業務責任者1名及び副業務責任者1名を選任するものとする。

②業務責任者

業務責任者は、当該業務について高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験が10年以上の経験を有する者とする。

③副業務責任者

副業務責任者は、当該業務について高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験が5年以上の経験を有する者とする。また、副業務責任者は、業務責任者の補助及び業務責任者不在時の業務責任

者の代行を行うものとする。

④業務担当者

業務担当者は、当該業務について業務責任者の指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験が3年以上の者とする。

○受変電設備等運転監視・点検保守業務

(1) 業務関係者

①業務関係者

業務関係者は、業務責任者1名、副業務責任者1名を含めた3人以上の体制（通常業務時間）とする。

②業務責任者

業務責任者は、当該業務について一切の事項を処理するとともに各業務を行う上での高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験が10年以上かつ過去5年以内に1年以上の期間において業務関係者が4名以上の業務責任者を行った経験を有する者とする。また、過去1年以上の間、履行者の社員として勤務し、履行者が勤務状況を把握している者とする。

なお、業務責任者は次の各号のいずれかに該当する者とする。

ア) 建築業法第27条に規定する電気工事施工管理の資格を有する者

イ) 電気事業法第54条に規定する電気主任技術者の資格を有する者

③副業務責任者

副業務責任者は、当該業務について高度な技術力及び判断力並びに作業の指導等の総合的な技能を有し、実務経験が10年以上かつ過去5年以内に1年以上の期間において業務関係者が4名以上の業務責任者または副業務責任者を行った経験を有する者とする。また、副業務責任者は業務責任者の補助及び業務責任者不在時の業務責任者の代行を行うものとする。

④業務担当者

業務担当者は、当該業務について業務責任者の指示に従って作業を行う能力を有し、実務経験が3年以上の者とする。

⑤業務担当補助者

代行を行うに当たっては、事前に7日以上業務担当者の補助を行い、業務内容を理解していることとする。

⑥この業務に従事する業務担当者は、当該施設の業務の履行について必要な技術と経験を有する者とする。

○昇降機の点検保守業務

(1) 業務責任者

業務責任者は別紙2-1に示す資格を有する者とし、12ヶ月以上の昇降機点検保守業務に従事した経験を有する者とする。

○エネルギー管理業務

(1) 業務責任者

エネルギー管理士を1名選任する。

また、エネルギー管理士は、東京都の環境確保条例及び東京都地球温暖化対策指針に基づく地球温暖化対策管理者講習会を受講済みの者で、第一種エネルギー管理指定工場での参画実績を持つとともに東京都地球温暖化対策におけるテクニカルアドバイザーとしての経験を有すること。

東京都「総量削減義務と排出量取引制度」における技術管理者としての業務を履行すること。

4. 電話交換機設備保守業務

(1) 業務責任者

①業務責任者は、次の号に該当する者とする。

ア) 電気通信事業法第45条に規定する電気通信主任技術者資格又は第54条に規定する工事担任者の資格を有する者

②業務責任者は保守業務に関する一切の事項を処理するとともに保守業務を行う上で技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する者でなければならない。

5. 自動火災報知設備等点検保守業務

(1) 業務責任者

①業務責任者は仕様書に基づく技術的内容及び本業務に関する打合せ等を総合的に行う者とする。

なお、業務責任者は必ず履行者の正社員とし、みずからの消防設備業届出書によって東京都千代田区を対象地区に点検項目に応じて工事及び整備を行うことのできる者とする。(実務経験10年以上の有資格者とする。)

また、業務責任者は下記の業務を行うが、対象のそれぞれの当該設備項目について有資格者(消防設備士(甲種1類、甲種3類、甲種4類、乙種6類)、第1種または、第2種消防設備点検資格者、第1種または、第2種電気工事士)をその作業日ごとに配置して実施すること。

1)本業務に関わる総合的監理を行う。

2)本業務の履行において必要な技術的・専門的検討を行う。

3)本業務に関する監督職員との連絡・打合せを行う。

②業務責任者は修繕に関する一切の事項を処理するとともに、点検等を行う上での技術上の管理を行うに必要な能力と経験を有する者でなくてはならない。

6. 庭園保守管理業務

(1) 業務責任者

①庭園管理業務を円滑に行うため、作業員のうち「1級造園施工管理技士」1名を業務責任者に定め、庭園保守に関する技術指導、作業の管理及び作業員の監督に当たらせること。

9. 警備業務

外務省庁舎、外交史料館、飯倉別館及び麻布台別館その周辺の敷地の警備・秩序の維持及び安全保持に努め、行政の円滑な運営に寄与することを目的とし、それに相応しい教養と識見のある業務責任者等を以下のとおり配置する。

(1) 外務省庁舎

①業務責任者（警備長）1名

10年以上の実務経験者（副責任者経験年数を含む）で、「警備員指導教育責任資格者証」、「自衛消防認定証」を有し、「防災センター要員講習」（自衛消防業務講習）を終了した正社員。

②副業務責任者（副警備長）1名

6年以上の実務経験者で、「警備員指導教育責任資格者証」、「自衛消防認定証」を有し、「防災センター要員講習」（自衛消防業務講習）を終了した正社員。

(2) 麻布台別館

①業務責任者（警備長）1名

10年以上の実務経験者で、「警備員指導教育責任者資格証」、「施設警備検定2級」資格所持者であること、並びに「自衛消防技術認定書」、「防災センター要員講習」（自衛消防業務講習）及び「上級救命技能認定証」等の資格を有する正社員。

10. 清掃業務

(1) 業務責任者及び副業務責任者

清掃業務の円滑な運営を図るため、清掃員のうち、業務責任者1名及び副業務責任者1名を定め、常に指揮監督する者が不在とならないように配置すること。業務責任者は、作業の内容判断ができる技術力及び作業の指

導等総合的な技術を有する実務経験豊かな者で、以下の要件を具備した者であること。

①業務責任者

ビルクリーニング技能士又は建築物清掃管理評価者２級以上の有資格者で実務経験６年以上のうち監督経験２年以上の者。

②副業務責任者

ビルクリーニング技能士、建築物清掃管理評価者２級以上、各都道府県ビルメンテナンス協会主催の清掃作業従事者講習受講、受注者が独自に実施している実務研修受講の何れかに該当する者。

○法令点検作業一覧

以下の業務項目は関係法令に従い実施すること。

業務	業務内容	法令名	法廷点検		備考
			有無	周期	
別紙3	ボイラー性能検査	労働安全衛生法	○	1Y	
別紙3	ばい煙濃度測定	大気汚染防止法	○	6M	
別紙3	冷却塔の水質検査	建築物衛生法(ビル管法)	○	1Y	
別紙3	地下オイルタンクの点検	消防法	○	1Y	
別紙3	受変電設備、発電設備等 定期点検	(1)電気事業法及びこれに基づく諸規則 (2)電気通信事業法及びこれに基づく諸規則 (3)消防法及びこれに基づく諸規則	○	1Y	
別紙3	昇降機の性能検査	建築基準法、クレーン等安全規則	○	1Y	
別紙3	昇降機の定期点検	建築基準法、クレーン等安全規則	○	1M	
別紙3	空気環境測定	建築物衛生法(ビル管法)	○	2M	
別紙3	水質検査	建築物衛生法(ビル管法)	○	6M	
別紙3	残留塩素等の測定	建築物衛生法(ビル管法)	○	1D	
別紙3	省エネ法関連業務	エネルギー使用の合理化に関する法律 (省エネ法) 都民の健康と安全を確保する環境に関する 条例(環境確保条例)			
別紙5	自動火災報知設備等定 期点検	(1)消防法、これに基づく諸規則及び消 防法第17条の3の3(昭和50年10月16 日付消防庁告示第14条) (2)電気事業法及びこれに基づく諸規則	○	6M	

○発注者が用意する主なもの

3. 建物設備管理業務

- (1) 中央監視室及び新庁舎監視盤室（業務室）、宿直（仮眠）室
- (2) 事務机、椅子、ロッカー
- (3) 電話機
- (4) 設備関係消耗品

9. 警備業務

- (1) 警備員控室、仮眠室
- (2) 事務机、椅子、ロッカー
- (3) 電話機

10. 清掃業務

- (1) 清掃員控室、清掃機材及び衛生消耗品保管場所
- (2) 事務机、椅子
- (3) 衛生消耗品（トイレットペーパー、水石けん、ゴミ袋）
- (4) 電話機

12. 受付業務

- (1) 制服
- (2) 受付控室、更衣室、ロッカー
- (3) 事務机、椅子、PC
- (4) 電話機

13. 電話交換業務

- (1) 電話交換手控室、ロッカー
- (2) 事務机、椅子、電話交換機
- (3) 電話機、配線材料

14. 統括責任者

- (1) 業務室
- (2) 事務机、椅子、ロッカー
- (3) 電話機

○落札事業者が用意する主なもの

3. 建物設備管理業務

- (1) 保守点検に必要な各種測定器、工具、消耗品
- (2) 業務に必要な事務用品一式

9. 警備業務

- (1) 制服、制帽
- (2) 連絡用無線機、携帯照明器具
- (3) その他警備業務上必要なもの

10. 清掃業務

- (1) 制服
- (2) 清掃用機材、ゴム手袋、雑巾
- (3) 洗剤、ワックス、剥離剤
- (4) その他清掃業務上必要なもの

○報告書等

業務報告書の様式については国土交通省大臣官房会計課官庁営繕部監修の「建築保全業務報告書の手引き(平成20年度版)」を参考に施設管理担当者と協議のうえ決定することとする。但し、業務において指定がある場合は指定の様式を優先する。

3. 建物設備管理業務(空調設備等運転監視・点検保守)

(1) 業務日報 : 1部

- ①設備機器運転・計測記録
- ②日常点検結果
- ③空調設備温・湿度計測一覧

(2) 業務月報 : 1部

- ①設備機器運転・計測記録
- ②月例点検結果
- ③残留塩素等測定結果
- ④計量用メーター(ガス、給水、給湯)の検針記録

(3) (定期)点検(整備)報告(その都度)

3. 建物設備管理業務(受変電設備等運転監視・点検保守業務)

(1) 業務日報 : 1部

- ①受電日誌(毎日提出)
- ②作業日誌(毎日提出)
- ③点検記録(その都度提出)
- ④障害記録(その都度提出)
- ⑤その他保守に必要なもの(その都度提出)

(2) 業務月報 : 1部

- ①月次報告:業務日報の集計(毎月提出)
- ②検針結果

(3) (定期)点検(整備)報告(その都度)

- ①点検整備報告書 : 2部
- ②消防設備等点検報告書 : 3部

点検表(告示第14号に定める様式とする)に必要な事項を記入し提出すること。

3. 建物設備管理業務（昇降機の点検保守業務）

（1）（定期）点検（整備・作業）報告（その都度）

- ①定期点検等作業報告書
- ②性能検査結果報告書

3. 建物設備管理業務（省エネ法関連業務）

（1）各種報告

- ①エネルギー使用状況の把握・記録、使用量の適正な管理・分析（毎月報告）
- ②設備機器の運転記録による分析、検証、運転方法、更新等設備改修に対する提案（半年に1回、冷房・暖房シーズン前に提出）
- ③地球温暖化対策削減計画書の実証、計画書の見直し、報告書の作成、提案（年1回の定期報告に加え東京都からの要請の都度）
- ④省エネ法に基づく定期報告書の作成、調査等について資料作成（年1回の定期報告に加え経済産業局からの要請の都度）

4. 電話交換機設備保守業務

（1）業務日報：1部

- ①保守業務日誌（毎日提出）
- ②作業記録表（毎日提出）
- ③障害記録簿（その都度提出）
- ④その他保守に必要なもの（その都度提出）

5. 自動火災報知設備等保守業務

（1）（定期）点検（整備）報告（その都度）

①点検結果報告：2部

- ・消防法に基づく「消防用設備等点検結果報告書」の様式にて作成した点検結果報告書を3部（正、副、控）提出すること。
- ・点検の結果、設備の不良（老朽、破損、腐食を含む）及び機能障害等があった場合には、点検票により場所、名称、不良内容等、平面図を添付し、報告すること。また、機能障害その他により調整等を実施した場合、点検票により実施内容を報告すること。
- ・必要に応じ写真を添付すること。

6. 庭園保守管理業務

（1）（定期）作業報告（その都度）

- ①作業報告書

9. 警備業務

(1) 警備報告書

毎日の警備状況は、所定の警備報告書（参考資料1及び2）に必要な事項を記載のうえ、守衛室の確認を得て会計課管理室に提出する。

10. 清掃業務

(1) 日常清掃作業報告書、定期清掃作業報告書、巡回清掃作業報告書
実施日の翌日（翌日が土休日の場合は、その後の最初の平日）に提出

(2) 窓ガラス清掃作業報告書

実施日の当日提出

(3) 払下げ引取確認表

実施日の当日提出

11. 害虫等駆除業務

(1) 防除作業報告書

防除・消毒、定期点検等を実施した日から1週間以内に作業期間、作業内容、作業箇所、処理方法（使用薬剤名、薬剤使用量）、環境改善のためのアドバイス等を記載したものを施設管理担当者に提出すること。

○その他共通事項

1. 事前提出書類

- (1) 日常業務を除く業務については、作業日の数日前までに作業名、作業日時、業務責任者等を記載した「作業届」を作成し、監督職員に提出すること。
- (2) 業務実施にあたり車両の入構が必要な場合は、数日前までに使用する自動車の登録番号等を記載した「業者車両の構内駐車許可及び作業員の入省許可申請書」を提出すること。

2. 臨機の処置

- (1) 落札事業者は、故障発生時の連絡を受けた際は、直ちに業務関係者等と調整をとり、必要な措置を講じること。
- (2) 落札事業者（実施要領 1. 1 (2) ① 1) ~ 5) ③④) は、年間 365 日、24 時間連絡体制を確保すること。なお、担当者の休暇等に備え窓口を複数確保すること。
- (3) 落札事業者（実施要領 1. 1 (2) ① 4) ③) は、担当者の休暇等に備え代替要員を確保し、業務を確実に実行すること。
- (4) 業務により発見した破損、故障等は、直ちに監督職員に報告すると共に、必要な応急措置を施すこと。

3. 注意事項

- (1) 作業開始前に作業に支障がないか作業場所の確認を行うこと。支障がある場合は、監督職員と協議のうえ監督職員の指示に従うこと。
- (2) 作業の実施に当たっては、施設、人員、備品等に対し、損害を与えないように必要な措置を行うこと。
- (3) 作業中の災害及び事故を防止するため、作業に当たっては、落札事業者の責任において適切な安全対策を施すこと。
- (4) 業務関係者等は、常に整理、整頓に心掛け、作業終了後は速やかに後片付けを行い、作業場所及びその周囲の安全と清掃状況が十分であるかどうかを確認すること。業務関係者は、社員証を携帯し、自社の制服（作業服）・外務省が貸与した腕章を着用して作業を行うこと。
- (5) 業務関係者等の誤操作又は過失により、施設等に損傷その他の損害を与えた場合は、落札事業者の負担により速やかに復旧させること。
- (6) 業務関係者等は、施設管理担当者の業務上の指示に従うと共に、施設管

理担当者及び関係業者等と協力し業務の円滑な遂行に努めること。

4. その他

- (1) 本業務に伴い、知り得た内容については守秘業務を負うものとし、みだりに第三者にこれを漏洩してはならない。資料のコピー等は必要部数のみとし、取扱に注意すること。また本業務で使用又は作成したデータについても同様に取り扱いに注意し、情報の流出に対し適切な対応を行う。
- (2) 契約期間満了又は解除により当業務を終了する際は、次期業務受注者に対し、当業務において作成したすべての書類及びデータを引き継ぐものとする。
- (3) 外務省の業務に支障を来さない範囲において、落札事業者は外務省庁舎等に管理業務に必要な機器・設備等を持ち込むことができるものとする。その場合、持ち込んだ機器・設備については適切に管理し施設管理担当者へ持ち込んだ機器・設備を一覧表にして報告すること。
なお、落札事業者が外務省庁舎等の使用を終了又は中止した場合は、直ちに原状回復を行った上で、施設管理担当者の確認を得ること。

業務件名：建物設備管理業務

I. 業務概要

1. 場所及び建物概要

- (1) 本省庁舎：東京都千代田区霞ヶ関 2-2-1 敷地面積 34,423 m²
 北庁舎＝昭和 35 年建築 SRC 地下 1 階地上 8 階
 建築面積 2,355 m²、延べ床面積 21,923 m²
 中央・南庁舎＝昭和 45 年建築 SRC 地下 1 階地上 8 階
 建築面積 5,786 m²、延べ床面積 37,613 m²
 車庫棟＝昭和 45 年建築、昭和 47 年増築、RC 地下 1 階地上 2 階
 建築面積 3,157 m²、延べ床面積 6,677 m²
 西別館＝昭和 50 年建築、RC 地下 1 階地上 3 階
 建築面積 499 m²、延べ床面積 1,760 m²
 新庁舎＝平成 8 年建築、SRC 地下 3 階、地上 8 階
 建築面積 1,408 m²、延べ床面積 14,414 m²
 その他＝哨舎等
 建築面積 78 m²、延べ床面積 1,450 m²
- (2) 飯倉別館（外交史料館含む）：東京都港区麻布台 1-5-3 敷地面積 9,585 m²
 飯倉別館＝昭和 45 年建築、RC 地下 1 階地上 3 階
 建築面積 2,225 m² 延べ床面積 5,903 m²
 外交史料館別館＝昭和 54 年建築 RC 2 階
 建築面積 279 m² 延べ床面積 559 m²
- (3) 麻布台別館：東京都港区麻布台 1-8-18 敷地面積 750 m²
 平成 8 年建築 RC 地下 1 階地上 3 階
 建築面積 457 m² 延べ床面積 1,630 m²
- (4) 船橋分室：千葉県船橋市西船 7-11-2 敷地面積 2,869 m²
 昭和 48 年建築 RC 地上 2 階
 建築面積 549 m² 延べ面積 974 m²

2. 業務仕様

- (1) 本仕様書に記載ない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書（最新版）」（以下「共仕」という。）による。
- (2) 本仕様書及び共仕に定めない事項は係官と協議による。
- (3) 業務報告書の作成にあたっては、原則として国土交通省大臣官房官庁営繕部設備課保全指導室監修の「建築保全業務報告書作成の手引き（最新版）」による。
- (4) 電気工作物の保安業務については、別に定める「自家用電気工作物保安規定」（日本ビルヘルギ―総合管理技術者協会発行）に基づき、各施設の電気主任技術者を定め業務に従事する。
- (5) 本業務で適用する事項は、以下 5. 対象業務による。
- (6) 業務の再委任
 管理業務における主要な部分（総合企画、遂行管理、手法の決定及び技術的な判

断) 全部を再委任してはならない。主要な部分以外を再委任する場合は、その関係を明確(施工体制台帳等の作成)にするとともに、その実施について適切な指導、管理を行う。

(7) 守秘義務

本業務の実施過程で知り得た秘密等を第三者に漏洩してはならない。

(8) 著作権その他

著作権、特許権その他第三者の権利の対象となっている点検方法等の使用に関しては、その費用負担及び使用交渉の一切を受注にて行う。

(9) 既存施設への養生等

既存の建築物及び工作物に汚損及び損傷を与えないよう十分注意するとともに、汚損及び損傷を与える虞れのある場合は養生を行う。なお、万一汚損及び損傷を与えた場合は、直ちに係官に報告するとともに受注者の責任において速やかに復旧するものとする。

(10) 関係法令の遵守及び届出等

受注者は管理業務履行上、関係諸法令、条例、規則等を遵守する。また、関係法令等に基づく官公署等への各種手続・届出等の業務を受注者の負担にて代行する。本業務に必要な有資格者等を選任する必要があるものは、選任のうえ受注者の負担で届け出る。

(11) 点検・保守が困難な部分

点検・保守が困難な部分等の対応については、事前に施設管理者と協議する。

(12) 各定期点検及び保守業務期間

点検・保守は別に定める期日、期間中に実施すること。ただし、定期点検及び保守業務終了後でなければ確認できない事項については事前に施設管理者と協議する。

(13) 本仕様書の設備内容は庁舎の保全上、改修工事等により変更される場合がある。また、改修等により設備が変更となった場合は本契約の一部を変更する場合がある。

(14) 本業務内には各技術者の選任義務のあるものがあり、これらは契約時より選任ができなければならない。

(15) 本業務内に専門技術者による点検に基づき運転、運行が認められているものがあり、これらの業務が契約時より支障なく引き継がなければならない。

(16) 本業務の請負者が交代となる場合は新請負者は十分な引き継ぎを行うものとし、当省業務に支障をあたえてはならない。

(17) 本請負者が交代となる場合は、新請負者に十分な引き継ぎを行うものとする。

(18) 本仕様書中の点検時期等は法令によるほか、当省の都合により点検時期を変更する場合がある。

3. 対象業務

(1) 建築設備運転監視及び日常点検業務(本省庁舎・飯倉別館・船橋分室)

(2) 自家用電気工作物保安業務(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館・船橋分室)

(3) ビル環境衛生管理業務(本省庁舎・飯倉別館)

(4) 地下タンク保安業務(本省庁舎・麻布台別館・船橋分室)

(5) 省エネ法関連業務(本省庁舎)

(6) 冷暖房設備等点検整備業務(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館)

(7) ボイラー設備等点検整備業務(本省庁舎)

(8) 空調自動制御機器、中央監視自動制御機器等点検整備業務(本省庁舎・飯倉別館)

(9) ファンコイルユニット等エアフィルター交換洗浄業務(本省庁舎)

(10) パッケージ型空調機等点検、洗浄業務(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館)

- (11)昇降機設備定期点検保守業務（本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館）
- (12)電気時計設備点検保守業務（本省庁舎・飯倉別館）
- (13)厨房排水除害設備保守業務（本省庁舎）
- (14)貯水槽清掃、水質検査（本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館・船橋分室）
- (15)排水槽清掃（本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館）
- (16)浄化槽定期保守（船橋分室）
- (17)地下オイルタンク定期点検（本省庁舎・船橋分室）
- (18)ばい煙測定（本省庁舎・飯倉別館）
- (19)空気環境測定他業務（本省庁舎・飯倉別館）
- (20)受変電設備定期点検整備（本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館・船橋分室）
- (21)自動扉等定期点検保守業務（本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館）
- (22)加湿用補給水槽清掃・水質検査（本省庁舎）
- (23)空調用滴化式加湿装置点検整備（本省庁舎）

II. 共通仕様

1. 以下の書類を作成し、定められた期日までに係官の承諾を得ること。

- (1)業務計画書【共仕第1編1.2.1】
- (2)緊急連絡表
- (3)作業計画書【共仕第1編1.2.2】
- (4)防災対応表【共仕第1編1.1.11】

2. 業務資料【共仕第1編1.2.3】

業務の実施に先立ち、以下の関係資料は閲覧可能とする。

- (1)諸官庁届出書類控え等
- (2)点検・検査記録簿等
- (3)完成図等
- (4)その他本業務に関する点検記録等

3. 業務の記録【共仕第変1.2.4】

以下の管理用記録書類を整備し、常時閲覧が可能な状態に保管し業務終了後に提出する。

- (1)各機器台帳
- (2)計画・報告書類
- (3)作業日誌類
- (4)事故・修繕・打ち合わせ議事録
- (5)運転記録簿
- (6)計測記録簿
- (7)点検記録簿

4. 業務の報告【共仕第1編1.4.6】

- (1)作業日誌・日常点検等は翌日に提出するものとし、休日の場合は休日明けとする
- (2)定期点検等は月末までに報告するものとし、月末までの業務期間のものは翌月最初の開庁日とする。

5. 業務の責任者

業務の実施にあたり、業務責任者1名及びを副業務責任者1名を選任し、書面により届け出ること。なお、責任者は開庁日の当省勤務時間中に常駐でき、同種同規模の社員として実務経験10年以上のものを配置すること。

また、副責任者社員として5年以上の同種同規模の実務経験があること。

6. 業務担当者【共仕第1編1.4.1】

本業務にあたり事前に業務担当者に関する名簿を作成し、資格選任者等は資格書の写しを添付し、名簿の承認を得ることとし、業務に当たっては法令を遵守し必要な資格者により業務に当たること。

7. 業務担当者に求める資格

- (1) 第三種電気主任技術者
- (2) 乙四類危険物取扱者
- (3) 2級ボイラー技士
- (4) 建築物環境衛生管理技術者
- (5) 電気工事士
- (6) エネルギー管理士

※法定資格は本実施要項別紙2-1参照)

8. 廃棄物の処理等【共仕第1編1.5.1】

業務により発生する廃棄物の処理は発注者の負担で処理するものとし、係官の指示により指定集積場所に運ぶ。

9. 建物内施設等の利用【共仕第1編2.1.1】

指定場所を執務室及び宿直室を利用できる。

10. 駐車場の利用【共仕第1編2.1.3】

通勤のための利用はできない。

ただし、業務に使用する資機材等の運搬のために使用する場合は予め承認を得ること。

Ⅲ. 特記仕様

受注者の負担の範囲【共仕第1編1.1.3】

- (1) 点検に必要な工具、計測機器等

但し、各建物に備え付けの脚立、測定器等は利用できるものとする。

- (2) 保守要員の作業衣、ヘルメット、安全帯、手袋、安全靴等

- (3) 文具等の事務用消耗品

- (4) 本件業務請負者交代となる場合、前任者となる場合は後任者に引き継ぎ書を作成するものとし、業務期間内に後任者が引き継ぎを求める場合は責任を持って対応すること。

また、後任者となる場合も同様とし、その業務は請負者の負担とする。

Ⅳ. 特記事項 上記I-4. 対象業務に関する詳細を別添する。

IV 特記事項

1. 1. 建築設備運転監視及び日常点検業務

本省庁舎(北、中央・南庁舎、西別館、車庫棟、地下書庫及び新庁舎)

(1) 業務内容

本業務は、外務省構内及び庁舎に設置されている次の建築設備の機能を常に良好な状態に保ち、日常の使用に支障のないよう運転、管理に関する全ての業務を行うものである。

(2) 業務対象設備概要

本庁舎機械設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
冷温水発生機 (空調用)	冷房1,758Kw、暖房1,962Kw	2台
冷凍機 (空調用)	冷房1,055Kw	2台
空気熱源ヒートポンプ 刊クユニット	冷房265.0kw 暖房132.0kw 冷房150.0kw 暖房300.0kw	3台 2台
暖房専用刊クユニット	暖房 37.5kw	1台
冷却塔	1,326 kw	2台
〃	3,198 kw	2台
冷却水ポンプ	200mmX7,500ℓ /minX30m、 3.3kV 55kw	3台
冷却水ポンプ	200mmX5,000ℓ /minX35m 3φ200V 45kw	1台
冷温水一次ポンプ	150mmX4,536ℓ /minX25m 3φ200V 37kw	3台
〃	150mmX3,024ℓ /minX25m 3φ200V 22kw	1台
冷温水二次ポンプ	150mmX4,300ℓ /minX34m 3φ200V 37kw	4台
スチームヘッド - 冷温水ヘッド -		1基 8基
ボイラー	636Kw (都市ガス)	1台
膨張水槽	1,200X800X900	1基
ボイラー用給水ポンプ	25mmX20ℓ X12mX0.25kw	2台
ボイラー給水タンク	1,000ℓ	1基

オイルサービスタンク	950ℓ (発生機用)	1基
オイルキヤホンプ (発生機用)	25mmX35ℓ X10mX0.75kw(給油) 25mmX35ℓ X15mX0.75kw(返油)	2台 2台
オイルキヤホンプ (発電機用)	25mmX27ℓ X0.4kw(給油) 25mmX48ℓ X0.75kw(返油)	4台 4台
オイルサービスタンク	990ℓ (発電機用)	2基
灯油タンク(地下)	40kℓ (発生機兼用)	1基
〃 (〃)	20kℓ (発生機兼用)	3基
パッケージ型空調機	内訳 機器台帳による	1式
空気調和器	ユニット形 内訳 機器台帳による	65台
送風機	換気用 内訳 機器台帳による	43台
ファンコイルユニット	内訳 機器台帳及びファンコイルユニットエア-	1式
空気ろ過器	自動回転形 (差圧制御) ユニット形	10台 38台
〃	フィルター 500×500×2.5t 24ヶ所	277枚
〃	フィルター 500×500×5.0t 14ヶ所	112枚
〃	プレフィルター 39台	108枚
除湿器(冷却除湿方式)	38,000kcal/h 冷却塔0.25kw冷却水ポンプ1.5kw	1式
中央監視操作盤	(株)山武製 savic-net30 1台 内訳: 8. 本省庁舎空調用自動制御定期点検	1式
自動制御盤	整備業務の項	1式
便所(男・女)	男子39ヶ所、女子36ヶ所 洗面器、大小便器	1式
受水槽	FRP製5.0X7.5X3.5H 105tX2槽	1式
高置水槽	SUS製3.0X5.0X2.0H 12tX2槽(中央庁舎)	1式
〃	SUS製3.5X5.0X2.0H 12tX2槽(南庁舎)	1式
揚水ポンプ	125X1.3mX65m 3相200V30kw	4台
給湯設備	電気給湯器 ガス給湯器	1式 1式
厨房機器	職員食堂4カ所	1式
各種ポンプ		

中央庁舎 P-16-1・2 (湧水排水)	型式50DL5.75 50X150ℓ /minX9m 3相200V 0.75kw	2台
P-17-1・2 (汚水排水)	型式80DL51.5 80X200ℓ /minX9m 3相200V1.5kw	2台
南庁舎 消火栓ポンプ	型式KT-1005-15 750ℓ /minX70m 3相 200V 15kw	1台
排水ポンプ (採水ポンプ)	型式150SFM 2400ℓ /minX14m 3相 200V 11kw	1台
排水ポンプ (P-8-1・2雨水)	型式50DN5.4 50X150ℓ /minX9m 3相 200V 0.75kw	1台

電気設備関係
中央庁舎受変電設備

機器名	規格・容量等	数量
受電電圧	3相3線 22KV 50Hzループ受電	
特高変圧器	3相3線 22KV 4,000KVA	2台
高圧変圧器	3相3線 6.6KV 500KVA	5台
〃	単相3線 〃 300 〃	3台
〃	〃 〃 200 〃	6台
タイトランス	6.6KV / 3.3KV 1,250 〃 (発電機用)	1台
〃	6.6KV / 3.3KV 500KVA (高圧ポンプ用)	1台
高圧盤		26面
低圧配電盤		14面
進相コンデンサ	300KVA	6台
監視制御盤		1面
特高保護継電器盤	継電器8台	1面
高圧用継電器盤	継電器24台	26面
整流基盤(制御用 直流電源装置)	操作用及び非常照明 3相3線 3.3KV 1,250KVA 100V MSE-200 54セル	1面
自家発電機	ガスタービン(灯油)	1基
発電機盤	VCB遮断器	1面

自動始動盤		1面
始動用直流電源盤	SNS-500 30セル ノード盤	1面
中央監視設備	(株)山武 savic-netEV 1台 内訳：8. 本省庁舎空調用自動制御定期点検 整備業務の項	5面

北庁舎受変電設備

機器名	規格・容量等	数量
高圧変圧器	3相3線 6.6KV 500KVA	1台
〃	〃 〃 300 〃	2台
〃	単相3線 〃 300 〃	3台
〃	〃 〃 200 〃	3台
タイトランス	6.6KV / 3.3KV 1,000KVA (発電機用)	1台
高圧盤		14面
低圧配電盤		9面
充電器盤(制御用直流電源装置)	100V MSE-200 54セル	1面
太陽光発電	太陽電池アレイ パワーコンディショナ 公称出力50kw 定格容量50kw 交流出力3相3線200V50hz	1基

西別館受変電設備

機器名	規格・容量等	数量
高圧変圧器	3相3線 6.6KV 200KVA	1台
	単相3線 6.6KV 300KVA	1台
タイトランス	6.6KV / 3.3KV 1,000KVA	1台
高圧受電盤	過電流継電器2個、不足電圧継電器付き	1面
電灯変圧器盤		1面
電灯配電盤		1面

動力変圧器盤		1面
動力配電盤		1面
充電器盤		1面
自家発電機設備	3相3線 3.3KV 1,000KVA	1基
自動始動盤		1面
発電機盤		1面
始動用直流電源装置	60V SNS-500 30セル	1面
太陽光発電	太陽電池アレイ 公称出力25.718kw パワーコンディショナー 定格容量30kw 交流出力3相3線200V50hz	1基

車庫棟受変電設備

機器名	規格・容量等	数量
高圧受電盤		1面
低圧動力盤	3相3線 6.6KV 200KVA	1台
低圧電灯変圧器盤	単相3線 6.6KV 200KVA	1台
低圧電灯MCCB盤 N01N02		2面
低圧動力MCCB盤		1面

各電気設備

機器名	規格・容量等	数量
電灯設備		1式
動力設備		1式
コンセント設備		1式
テレビ共聴設備		1式
放送設備		1式
電気時計設備		1式

エレベーター設備		1式
火災報知設備		1式

新庁舎機械設備関係

機器名	規格・容量等	数量
直だき吸収式冷温水発生機	冷凍能力 521,000Kcal/H 加熱能力 467,000Kcal/H	2台
空冷チリングユニット	45kw 冷凍能力 140,000Kcal/H	1台
空気熱源ヒートポンプチリングユニット	37kw 冷凍能力 118,000Kcal/H 冷凍能力 1,001,000Kcal/H	1台
冷却塔	SDW-R185ASS	2台
冷却水ポンプ	30kw	2台
冷温水ポンプ一次	発生機11kw 2台、RR-1 5.5kw1台、 RR-2 3.7kw1台	4台
冷却水ポンプ二次	15kw×3台、5.5kw×2台、11kw×3台 2.2kw×2台	10台
揚水ポンプ	7.5kw	2台
排水ポンプ		19台
ユニット型空調機	内訳 機器台帳による	23台
空気清浄機		1台
油ポンプ 地下タンク	灯油20KL	2台 2基
冷却水薬注装置		1台
ヘッダー		10台
膨張タンク		2台
加湿タンク		2台
ファンコイルユニット	シングルユニット ダブルユニット 大型ユニット	53台 17台 7台
空調機	空気熱源ヒートポンプパッケージ型 空冷パッケージ型	15台 5台

給・排風機	内訳 機器台帳による	53台
全熱交換ユニット		1台
加熱コイル		5台
蒸気発生機		2台
排煙送風機		2台
厨房機器		1式

新庁舎衛生給排水設備関係

機器名	規格・容量等	数量
電算機用空冷パッケージ型空調機	別途保守契約以外の保守	28台
給湯用ボイラー	鋼板製温水ボイラー	1台
受水槽	4,500L×4,000W×2,500H (12t×2)	1基
高置水槽	3,000L×2,000W×2,000H	1基
膨張タンク	700L×600W×800H	1基
消火充水タンク	4,500L×4,000W×2,500H	1基
シュレッター		1台
ポンプ類		24台
貯湯式電気温水器	600リットル 30kw	2台
厨房機器		1式

新庁舎受変電設備

機器名	容量	数量	
受電電圧	3相3線式 22KV 50Hzループ受電		
特高変圧器	3相3線式 22KV 2,000KVA	2台	
特高遮断機	24kv600A、受電用、トランス用、予備各2台	6台	
受電断路器		24kv600A、	2台
負荷用断路器		24kv600A	1台
保護継電器盤			1面

保護継電器	テック列複合継電装置	5台
現場監視盤	特高受電操作用	1面
低圧き電盤	3相4線式 415-240V 50Hz	7面
主遮断機盤	N01、N02	2面
母線断路機盤		1面
低圧氣中遮断機	600V 3200A	6台
	600V 1600A	9台
低圧遮断機盤		10面
コンデンサ盤	109kVA×2台、109kVA×4台	3面
低圧配電盤	3相変圧器 50KVA×2台	12面
	単相変圧器 20KVA×1台	
	〃 10KVA×1台	
二重化切替盤		6面
直流電源装置	制御用100V MSE-100×18個	2面
	非常用100V MSE-200×54個	2面
無停電電源装置	300KVA	4台
自家用発電機設備	3相3線式 415V 2000kVA ガスタービン1台	1式
	自動始動盤 1面	
	発電機盤 1面	
	N01始動直流電源盤	
	N02始動直流電源盤	
電灯設備	各階電灯盤等	1式
動力設備	各階動力盤	1式
コンセント設備		1式
テレビ共聴設備		1式
放送設備		1式
電気時計設備		1式
エレベーター設備		1式
自動火災報知設備	GB型受信機	1面
太陽光発電	太陽電池アレイ 公称出力19.288kw	1基
	パワーコンディショナ-定格容量20kw	
	交流出力3相3線200V50hz	

※上記設備は設備の保全上又は改修工事により内容が変更となる場合があります。

(3)業務の方法

1)本庁舎機械・電気設備運転管理業務

業務対象の設備が日常の使用に支障ないよう、機器の始動、切り替え、停止及びそれに付随する作業、並びに正常運転の維持と異常を発見することを目的とし、巡回、点検、監視、記録、計測を行うもので、対象設備の機能を常時良好な状態に保つため、測定、調整、清掃等の業務を行い、省エネルギーを推進するための助言等を行うものである。

また、異常が発見された場合は、簡易な修理、部品の交換、修繕等に努めるとともに係官に報告し、事故防止に努めること。

a 当省庁舎の第一種エネルギー管理指定工場としての役割を十分理解し省エネルギー運転に心がけ、助言等を行う。

b 受注者は、業務実施のために必要な工具、計測機器等備品及び消耗品等を常時整備、整理し、業務に支障ないよう管理すること。

なお、支給する消耗品については受払簿を整備し、毎月毎に係官に報告し、在庫状況等を管理する。

c 受注者は業務に使用する、外務省の図面、資料、記録、諸官庁届け等は閲覧借り受けできることとするが、管理を徹底し、写し等を作成する場合は係官の承認を受けること。

d 受注者は別紙点検記録一覧表により各機器の点検、計測等の記録をおこなう。

電気、ガス、水道、灯油等の光熱水量の使用状況を毎日記録し、使用状況の分析を行い定期的に係官に報告する。

e 受注者は軽微な延長コンセントの増設、室内模様替えによるコンセントの移設等が発生した場合は、業務に支障ない範囲で対応することとし、その作業が休日等になる場合も対応すること。

但し、夜間、休日の時間外の作業となる場合は、別途時間外手当により精算することとする。

f 夜間休日等に業務の従事者等により対象設備の異常が確認されたときは、状況により、受注者責任者、主任技術者または、係官に連絡し、必要な措置を執ること

g 夜間従事者は、平日の場合は業務責任者に引き継ぎ報告するものとし、休日の場合は翌日の従事者に引き継ぐものとする。

h 受注者は災害時に別途定める「外務省防災業務計画」に基づき対応すること。

i 受注者は平日庁舎内の機械室、配線室、流し場、便所等を巡回し各設備の状態を確認し、早期の異常の発見、疑いの発見に努め、異常がある場合は状況により直ちに業務責任者に報告し、修理等の業務にあたる。

j 本契約外の機器点検整備の際に係官の補助者として立会、連絡調整を行う。

k 夏期及び冬期において仮眠に支障ない範囲で24時間空調を行う場合がある。

ただし、冬期の夜間、休日に空調運転時を行う場合は、加湿用が1行の運転は行わない。

l 受注者は外務省自家用電気工作物保安規定に基づき庁舎内の各電気設備の保安業務にあたる。

m 東京電力等から連絡、要請があった場合は、主任技術者及び係官に報告しその任にあたる。

n 火災、災害等が発生した場合には、必要な措置を執るとともに、関係者に連絡し庁舎防災センターとの連絡調整に当たること。

o 上記業務の他会議室のマイク設置他、変電所、機械室の清掃等必要に応じ、係官の指示により、支援等を行う。

2) 業務態勢

a 勤務時間

本省庁舎

平日昼間	8時30分から17時30分	5名
	10時00分から19時00分	1名
休日夜間	年間をとおり	1名

新庁舎

平日昼間	8時30分から17時30分	1名
	10時00分から19時00分	1名
休日夜間	年間をとおり	1名

※夜間23時以降は仮眠できるものとする。

b 勤務態勢

① 本省庁舎の電気工作物保安規定に基づく、電気主任技術者を選任、届出ること

② 主任技術者は原則平日昼間は常駐するものとするが、やむを得ず

不在となる場合は同等の資格を有する代務者により業務にあたること。

③暖房時は2級ボイラ-技師が常時ボイラ-の監視できる場所に常駐すること。

④夜間本庁舎又は新庁舎に第三種電気主任技術者以上の資格又は第一種電気工事士資格取得者をどちらかに配置し業務にあたること。

⑤平日昼間、乙種4類危険物取扱者資格を有するものを常駐でき、選任の届出を行うこと。

⑥平日昼間、第一種電気工事士資格を有するものを、常駐させること。

⑦エネルギー管理士資格を有する作業員を常駐させることとし、エネルギー管理にあたる。ただし、休暇時等の代務者は必要ない。

1.2. 建築設備運転監視及び日常点検業務

飯倉別館（外交史料館及び外交史料館別館含む）

(1) 業務内容

本業務は、飯倉別館の構内及び建物に設置されている次の建築設備の機能を常に良好な状態に保ち、日常使用に支障ないように管理、運転に関する全ての業務を行うものである。

(2) 飯倉別館業務対象設備

空調設備関係

機 器 名	容 器 名 量	数 量
冷温水発生機 （都市ガス炊き）	冷房能力604,800kcal/h、 暖房能力72,710kcal/h	1台
冷水ポンプ	125φ×100φ×2,020 /min×12mH20	1台
冷却塔	冷却能力 1,100,000kcal/h 水量3,330 /min	1台
薬液注入装置	1φ200V 30cc/min 容量100ℓ	1式
小型給水ポンプユニット	3φ200V1.1kw 40MDPA261.1×2台	1式
冷却水ポンプ	150φ×3,300 /min×18mH20	1台
膨張水槽	容量1,000×1,000×1,300	1基
冷温水ポンプ	80φ×700 /min×20mH20	1台
〃	125φ×100φ×2,200 /min×20mH20	1台
蓄熱槽	有効容積 49.728m ³	1基
空気調和器	内訳 機器台帳による	6台
各機器エアフィルター	年2回以上洗浄	1式
ファンコイルユニット	内訳 機器台帳による	18台
除湿器	書庫1 3φ200V圧縮機3.75kw 書庫2 3φ200V圧縮機2.2kw	1台 1台

送風機	書庫3 3φ200V圧縮機1.5kw	1台
排風機	内訳 機器台帳による	4台
給排気ファン	内訳 機器台帳による	15台
	内訳 機器台帳による	5台
チラー (ACH-1)	UWYJ1500B5C ダイキン工業(株)製 付帯設備 クッションタンク 1台(T-1) 冷温水ポンプ 1台(CHP-1)	1式
エアコン	型式 FXYM50H 書庫A、書庫B 付帯設備 ユニット型蒸気発生器 2台	1台
HR-システム	日立チラーユニット 冷房能力6.7kw 密閉式膨張タンク 受水量12ℓ 冷温水循環ポンプ 80φ30ℓ/min 0.23kw " 70φ20ℓ/min 0.12kw " 60φ15ℓ/min 0.085kw	2台 1式
空冷ヒートポンプエアコン	内訳 機器台帳による	5台
ルームエアコン	内訳 機器台帳による	2台
パッケージエアコン	内訳 機器台帳による	10台
空気清浄器		2台

衛生設備関係

機器名	容 量	数量
消火ポンプ	多段タービン型80φ×450ℓ/min×8m 消防法による点検は別途契約	1台
雨水排水ポンプ	水中型 100φ×900ℓ/min×8m	2台
"	" 125φ×1,300ℓ/min×8m	2台
厨房排水ポンプ	型式65(80)DVS52.2	2台
汚物排水ポンプ	水中プレートレス 80φ×200ℓ/min×9m	2台
"	" 80φ×100ℓ/min×9m	2台
湧水排水ポンプ	水中型 50φ×250ℓ/min×10m	2台
湯沸器具	型番 EW-20N4B-BT	3台
屋内消火栓	消火栓 750×1,400H×180 消防法による点検は別途契約	10箱

洗面器	L221, L1CF, L548, L830, L546, L581, C, L812, 他	36台
洋風大便器	C14, C450, C21, C48, C150E	30台
小便器	U37, U57	18台
洋風バス	P1340FL, P1020FL, P1020FR	5台
散水栓	T27-13 (ホックス入) 屋外	1式
池用ポンプ	MODEL 65 (80) DVS 53.7	2台
//	ジェットポンプ、池循環ポンプ (八橋用)	
池循環濾過装置	付帯設備	1式
	制御盤 1面	1面
	紫外線殺菌装置	1面
ろ過器用ポンプ	水中ポンプ	1台
自家発電機用材料一式	軽油490ℓ	1台
モップ洗い場		6台
電気温水器	三菱SRC-2014-BL 単相200V 2.4V 貯水量200ℓ	1台
給湯ホィー		2台
	付帯設備 温水循環ポンプ	1基
	貯湯槽 (2m ³)	1台
	感震装置	1台
	排煙濃度計	
揚水ポンプ		1台
高置水槽	直結給水方フ-スターポンプ	1基
消火水槽	50PNAEM-5.5 (株)荏原製作所製	1基
給水用ハッター	容量 8m ³	1基
	容量48.98m ³	
貯湯式給湯ホィー	SGP 200φ×2,000ℓ	1基
	容量394ℓ 発熱量315,000kcal/h	
斜路排水ポンプ		1台
斜路エンジンポンプ		1式
	80φ×900ℓ/min×50m	

受変電設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
受電方式	3相3線 6.6KV 50Hz 本・予備線	1 式
契約電力	300kw以上500kw以下	
高圧変圧器	150KVA Y-Δ結線 モールド変圧器	1 台
〃	100KVA Y-Δ結線 モールド変圧器	1 台
〃	100KVA 単三 モールド変圧器	1 台
〃	75KVA 単三 モールド変圧器	2 台
〃	200KVA Y-Δ結線 (一般動力) モールド変圧器	
遮 断 器		1 台
真空遮断器	7.2KV 600A	6 台
高圧進相用コンデンサ	53.4KVR	3 台
本線引込盤		1 面
予備引込盤		1 面
VCT盤		1 面
高圧受電盤		1 面
高圧き電盤		2 面
高圧ガス開閉器		2 台
太陽光発電	太陽電池アレイ 公称出力30kw パワーコンディショナ 定格容量30kw 交流出力3相3線200V50hz	1 基

低圧電灯動力及び弱電設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
一般電灯盤		3 面
一般電灯ブレーカ盤		3 面
一般動力盤		1 面
一般動力ブレーカ盤		1 面
保安非常動力切替盤		1 面
保安非常電灯トランス盤		1 面
保安非常動力トランス盤		1 面
保安非常動力ブレーカ盤		1 面
非常電源切替盤		1 面
冷凍機動力トランス盤		3 面
O A 盤		1 面
冷凍機動力ブレーカ盤		1 面
直流電源盤		1 式
テレビ共聴設備		1 式
放送設備		1 式
エレベーター設備		1 式
火災報知機設備		1 式
電気時計設備		1 式
自家発電機設備	カワサキPU200B-Cガスタービン発電設備 (軽油)	1 面
自家発電機付帯設備	(187.5KVA、210V、50Hz)	1 台
	自家発始動用蓄電池設備 型式 00-0A-2L	1 台
	発電機用送風機	
	発電機用排風器	

低圧電灯動力及び弱電設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
照明調光器盤		1 面
リモコンレール盤		1 面
中央監視盤	(株)山武製net10	1 面
音響設備	サロン、会議室、移動用	3 式
自動ドア	(外交史料館)	1 式
I T V 設備		1 式
電動書架	書庫 1、書庫 2、書庫 A	1 式
屋外投光器		4 台

外交史料館別館冷暖房・換気設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
空冷ヒートポンプチラー	UWY10J 冷房21,600kcal/h 暖房25,500kcal/h	1式
天井埋込ダクト外形 ヒートポンプエアコン	SHYM3LA 冷房 6,300kcal/h 暖房 6,300kcal/h	1台
電気ヒーター加湿ユニット	WM-DN2,400超音波加湿器2.4l/h 4ユニット 電気ヒーター1.5KW 3段	1台
空調換気扇	FY-250Z 150φ 252m ³ /h 115W 1φ100V	1台
中間ダクトファン	FY-200FU180m ³ /h 5mmAq 59W1φ100V FY-45USF11,500m ³ /h 15mmAq 400W1φ100V FY-45DSF1900m ³ /h 15mmAq 400W1φ100V FY-30USF 500m ³ /h 15mmAq 80W1φ100V	1台 1台 2台 2台
天井換気扇	FY-24B ₂ /12 100φ 138m ³ /h 14.5W1φ100V FY-27B ₂ /11 150φ 261m ³ /h 29W1φ100V FY-27BK/12 150φ 330m ³ /h 40.5W1φ100V FY-24BP/35 100φ 166m ³ /h 19W1φ100V	2台 1台 2台 1台
除 湿 器	CD-700L 11ℓ/日 1φ100V 350W	1台
ファンコイルユニット	玄関、事務室、整理室、陳列室	1式
全熱交換機		1台
空気清浄機		1台

外交史料館別館給排水衛生設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
給湯設備	電気湯沸器 型番 EW-14N4B-SB	1台
排水設備	合流式	1台
便 器	洋風大便器	3個
	小便器	2個
洗面器		3個
ハロゲン消火設備 (2階書庫)	付帯設備 給気ファン 1台 排気ファン 1台	1式
窒素消火設備 (1階書庫)	消防法に基づく点検は別途契約 付帯設備 給気ファン 1台 排気ファン 1台	1式

外交史料館別館電気設備関係

機 器 名	規 格 ・ 容 量 等	数 量
動力盤		1面
電灯動力盤		1面
インターホン設備		1式
動力設備		1式
電灯コンセント		1式
火災報知設備		1式

テレビ共聴設備		1式
空調自動制御盤		1面
I T V 設備		1式

(3)業務の方法

飯倉別館（外交史料館及び外交史料館別館含む）機械・電気設備が日常の使用に支障ないように、機器の始動、切り替え、停止、及びそれに付随する作業、並びに正常運転の機能を常時良好な状態に保つものである。

また、異常が発見された場合は、簡易な修理、部品の交換、修繕に努めるとともに係官に報告し、事故防止に努めること。

①受注者は業務実施に必要な工具、計測機器等は原則請負者にて準備することとするが、発注者支給品、在庫品、脚立、高所作業台車を使用することは可能である。但し、安全性、正確性に問題があると思われる時は使用を中止し、係官に報告する。

②受注者は毎業務日に館内（廊下、給湯室、便所、機械室、EPS等）を巡回し異常等の早期発見、事故防止に努めること。

③受注者業務に必要な消耗品（蛍光灯、電球、グリス、ウエス等）は常時帳簿に管理し毎月毎に係官に報告する。

④計測機器等備品及び消耗品等を常時整備、整理し業務に支障ないように管理すること。

⑤受注者は業務に使用する、飯倉別館及び外交史料館別館の図書、資料、記録、諸官庁届け等は閲覧又は借り受けをできることとするが、管理を徹底し、写し等を作成する場合は係官の承認を受けること。

⑥受注者は別紙点検記録一覧表により各機器の点検、計測等を行い、光熱水量の使用状況記録を毎日記録し、使用状況の分析を行い、定期的に係官に報告する。

⑦受注者は軽微な延長コンセントの増設、室内模様替えに伴うコンセントの移設等が発生した場合は、業務に支障ない範囲で移設等の作業に対応することとし、業務が時間外におよぶ他、休日等の作業となる場合は別途時間外手当により精算する。

⑧夜間休日等に対象設備の異常が確認されたときは、担当従事者または、従事者の代理者が状況を確認し、状況により業務責任者並びに係官に報告する。

⑨夜間従事者は翌日従事者に対し前日業務の引き継ぎ事項を書面で翌日担当者に引き継ぐこと。

⑩受注者は災害時に別に定める「外務省防災計画」に基づき対応すること。

⑪本契約外の機器点検整備の際に係官の補助者として立会い、連絡調整を行う。

⑫受注者は本仕様書 2. の飯倉別館自家用電気工作物の保安規定に基づき各電気設備の保安業務に当たる。

⑬東京電力(株)等より連絡、要請があった場合は、主任技術者及び係官に報告し、その任にあたる。

⑭建物内に火災、災害が発生した場合は必要な措置を執るとともに、関係者に連絡し防災センター(守衛室)との連絡調整にあたる。

(4) 勤務態勢

① 勤務時間

平日・午前 8 時 30 分より午後 5 時 30 分 1 名

午前 9 時 30 分より午後 6 時 30 分 1 名

日曜・祭日・閉庁日は休み

(注) 係官の指示により残業、休日出勤または終夜勤務を行う。

② 勤務者に必要な資格

1) 第三種電気主任技術者及び第一種電気工事士資格を有し 10 年以上の経験を有する者。

2) 2 級ボイラー技師を有し又は同種機器取り扱い 10 年以上の経験が確認できる者。

1. 3. 建築設備巡回点検業務

(麻布台別館)

(1)業務目的

本業務は、麻布台別館の構内及び建物に設置されている次の建築設備の機能を常時良好な状態に保ち、故障の早期発見、予防を目的とし毎月1回の定期巡回点検を行うものである。

また、障害等が発生した場合、障害内容を確認するとともに修理あるいは応急処置を行うものである。

(2)麻布台別館業務対象設備

機械設備関係

機 器 名	容 量	数 量
パナソニック型空調機	室外機 ACP 3相200V 室内機 单相200V	12台 26台
送 風 機	单相100V	3台
排 風 機	单相100V	24台
換 気 扇	单相100V	14台
受 水 槽	1.5 t 1.0×1.0×1.5	1式
雑 用 水 槽	7.5 t	1式
汚 水 槽	1 t	1式
小型給水ポンプ	3相200V 2.2KW	2台
汚物・雑用水ポンプ	3相200V 0.75KW	8台
小型電気温水器	单相200V 2KW 20	1台
自動制御機器		1式
厨 房 機 器		1式

燃料タンク(発電機用)	10,000 特A重油	1 式
オイルヒーター(//)	300	1 式
衛生器具	(便所、洗面台、水栓等)	1 式

電気設備関係

機 器 名	容 量	数 量
受電方式	3相3線 6.6KV 50Hz	
高圧変圧器	3相3線 6.6KV/210V 200KVA Y/Δ	1 台
//	単相3線 6.6KV/210V~105V 100KVA	1 台
//	単相3線 6.6KV/210V~105V 75KVA	1 台
//	3相210V 単相210~105V×2 150KVA スコット	1 台
自家発電設備	3相3線 210V 200KVA ディーゼル	1 式
交流無停電電源装置	交流入力 3相3線 200V 50Hz 交流出力 単相2線 100V 50Hz 30KVA	1 式
直流電源装置	交流入力 3相3線 210V 約310KVA 直流出力 90~110V 0~5A	1 式
監視制御盤		
M-B1A CV8□	AC-GC 3相3線 210V 受水槽	1 式
M-B1B CV8□	AC-GC 3相3線 210V 排水ポンプ	1 式
M-B1C CV8□	AC-GC 3相3線 210V 発電機制御用	1 式
M-B1D CV38□	AC-GC 3相3線 210V 排水ポンプ	1 式
M-R ₁ CVT60□	AC-GC 3相3線 210V エコン室外機用	1 式
M-R ₂ CVT60□	AC-GC 3相3線 210V エコン室外機用	1 式
進相コンデンサー	3相3線 240V 16.3kvar	7 台

その他設備

機 器 名	容 量	数 量
電 灯 設 備		1 式
動 力 設 備		1 式
コンセント設備		1 式
テレビ共聴設備		1 式
放 送 設 備		1 式
電気時計設備		

エレベーター設備	1台	1式
火災報知設備		1式
防犯設備		1式
入退室管理設備		1式
I T V 設備		1式
二酸化炭素消火設備		1式
機械駐車場	3相200V 6KVA 制御盤	1式
小荷物専用エレベーター	3相200V 1.5KW 50Hz	1式
		1式

(3)業務の方法

- ①受注者は業務実施に必要な工具、計測機器等は原則請負者にて準備することとするが、発注者支給品、在庫品を使用することは可能である。但し、安全性、正確性に問題があると思われる時は使用を中止し、係官に報告する。
- ②受注者は業務日に館内（廊下、給湯室、便所、機械室、EPS等）を巡回し異常等の早期発見及び事故防止に努めること。
- ③受注者業務に必要な消耗品（蛍光灯、電球、グリス、ウエス等）は常時帳簿に管理し毎月毎に係官に報告する。
- ④計測機器等備品及び消耗品等を常時整備、整理し業務に支障ないように管理すること。
- ⑤受注者は業務に使用する、麻布台別館の図書、資料、記録、諸官庁届け等は閲覧又は借り受けをできることとするが、管理を徹底し、写し等を作成する場合は係官の承認を受けること。
- ⑥受注者は別紙点検記録一覧表により各機器の点検、計測等を行い、光熱水量の使用状況を点検時に記録し、使用状況の分析を行い、定期的に係官に報告

する。

- ⑦受注者は軽微な延長コンセントの増設、室内模様替えに伴うコンセントの移設等が発生した場合は、業務に支障ない範囲で移設等の作業に対応することとし、業務が時間外におよぶ他、休日等となる場合は別途時間外手当により精算する。
- ⑧夜間休日点検日以外に対象設備の異常が確認されたときは、担当者又は代理者を派遣し状況を確認し、修理又は応急処置を行い係官に報告する。
また、上記障害が専門業者等の修理となる場合、係官の補助者として立会、連絡調整にあたる場合がある。
- ⑨受注者は災害時に別に定める「外務省防災計画」に基づき対応すること。
- ⑩受注者は麻布台別館自家用電気工作物の保安規定に基づき各電気設備の保安業務にあたる。
- ⑪東京電力㈱等より連絡要請があった場合は、主任技術者及び係官に報告し、その任にあたる。
- ⑫建物内に火災、災害が発生した場合は必要な措置を執るとともに、関係者に連絡し調整にあたる。

(4) 業務日程

業務は原則各月の1週目の平日に行うこととするが、予め点検日毎に麻布台別館へ作業届けを提出すること。

(5) 点検者

①危険物施設

危険物取り扱い責任者として「危険物取扱者資格乙種四類」を有し、消防署等へ届出ることとし、毎月毎の点検を行う。

②電気設備

麻布台別館自家用電気工作物の保安規定を遵守し業務に当たることとし、本業務における建築設備点検は第一種電気工事士資格を有し、同種業務における経験が10年以上の者が点検にあたる。

また、年1回の保安規定に基づく点検時には係官の補助者として立会う。

③その他設備

機械設備等の点検は同種業務における経験が10年以上の者が行うこと。

1. 4. 建築設備運転監視及び日常点検業務

(船橋分室)

(1) 点検目的

本業務は、船橋分室の構内及び建物に設置されている次の建築設備の機能を常時良好な状態に保ち、日常使用に支障ないように管理、運転に関する全ての業務を行うものである。

(2) 業務対象設備

機械設備関係

機 器 名	規 格 及 び 容 量	数 量
ビル用マルチエア コン（室外機）	空冷ヒートポンプ 冷房能力 45.0KW 暖房能力 50.0KW	1台
ビル用マルチエア コン（室内機）	天井カセット4方向ラウンドフロータイプ 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW	7台 (9台)
空冷ヒートポンプ パッケージ	天井カセット4方向ラウンドフロータイプ 冷房能力 5.0KW 暖房能力 5.6KW	1台
〃	天井カセット4方向ラウンドフロータイプ 冷房能力 7.1KW 暖房能力 8.0KW	1台
調湿外気処理機	ヒートポンプデシカント方式 天井埋込型 除湿冷房能力 5.5KW（全熱） 加湿暖房能力 7.1KW（全熱）	6台 (8台)
全熱交換ユニット	天井カセット型 100m ³ /h×40Pa	1台
〃	天井埋込型 160m ³ /h×110Pa	1台
排風機（窒素ガス 排出用）	ラインファン 天吊型 1530m ³ /h×90Pa	1台
〃	ラインファン 天吊型 1460m ³ /h×160Pa	1台
〃	ラインファン 天吊型 620m ³ /h×140Pa	(1台)

湯沸室排気ファン	FS-2 0.2KW	1台
電気室給気ファン	FE-2 0.5KW	1台
電気室排気ファン	FE-2 0.1KW	1台
加圧給水ポンプ	自給式 2.2KW	1台
電気給湯器	給湯用 0.75KW	1台
〃	便所用 1.5KW	2台
〃	便所用 1.1KW	2台
受水槽	3.0m×1.5m×1.5m	1基

備考：但し、数量の（ ）内は2期工事の完了に伴い、平成25年度実施数量となる。

電気設備関係

機 器 名	容 量	数量
受 電 電 圧	3相3線 6KV 50Hz	
契 約 電 力	500KW未満	
高圧気中開閉器	方向性過電流ロック形 (SOG, ZCT内蔵型)	1UN
遮 断 機	7.2KV 400A	
真 空 遮 断 機	7.2KV 600A	2台
避雷器 (LBP)	7.2KV 200A PF20AT	2台
変 圧 器	3相 75KVA 6,600/210V	1台
〃	单相 50KVA 6,600/210-10	1台
〃	5V	1台
進相コンデンサ	スコットランス 3相210V 单相210-105V 30KVA	3台
	10KVar	1台
保 護 継 電 器	静止形不足電圧継電器	1UN
〃	静止形過電流継電器	
高 圧 盤		2面
低 圧 盤		7面
自家発電設備		1式
電 灯 設 備		1式
動 力 設 備		1式
放 送 設 備		1式
T V 共 聴 設 備		1式

電気時計設備		1式
外灯設備		1式
警報設備		1式

(3) 業務の方法

船橋分室の機械・電気設備が日常の使用に支障ないよう、機器の始動、切り替え、停止、及びそれに付随する作業、並びに正常運転の機能を常時良好な状態に保つものである。

また、異常が発見された場合は、簡易な修理、部品の交換、修繕に努めるとともに係官に報告し、事故防止に努めること。

また、本業務は庁舎の使用形態の変更に伴い、契約変更を行う場合がある。

- ①受注者は業務実施に必要な工具、計測機器等は原則請負者にて準備することとするが、発注者支給品、在庫品を使用することは可能である。但し、安全性、正確性に問題があると思われる時は使用を中止し、係官に報告する。
- ②受注者は業務日に館内（廊下、給湯室、便所、機械室、EPS等）を巡回し異常等の早期発見に努力し、事故防止に努めること。
- ③受注者業務に必要な消耗品（蛍光灯、電球、グリス、ウエス等）は常時帳簿に管理し毎月毎に係官に報告する。
- ④計測機器等備品及び消耗品等を常時整備、整理し業務に支障ないよう管理すること。
- ⑤受注者は業務に使用する、船橋分室の図書、資料、記録、諸官庁届け等は閲覧又は借り受けをできることとするが、管理を徹底し、写し等を作成する場合は係官の承認を受けること。
- ⑥受注者は別紙点検記録一覧表により各機器の点検、計測等を行い、光熱水量の使用状況記録を毎日記録し、使用状況の分析を行い、定期的に係官に報告する。
- ⑦受注者は軽微な延長コンセントの増設、室内模様替えに伴うコンセントの移設等が発生した場合は、業務に支障ない範囲で移設等の作業に対応することとし、業務が時間外におよぶ他、休日等となる場合は別途時間外手当により精算する。
- ⑧夜間休日等に対象設備の異常が確認されたときは、担当従事者または、従事者の代理者が状況を確認し、状況により業務責任者並びに係官に報告する。
- ⑨夜間従事者は翌日従事者に対し前日業務の引き継ぎ事項を書面で翌日担当者に引き継ぐこと。
- ⑩受注者は災害時に別に定める「外務省防災計画」に基づき対応すること。

- ⑪本契約外の機器点検整備の際に係官の補助者として立会、連絡調整を行う。
- ⑫受注者は船橋分室自家用電気工作物の保安規定に基づき各電気設備の保安業務に当たる。
- ⑬東京電力(株)等より連絡要請があった場合は、主任技術者及び係官に報告し、その任にあたる。
- ⑭建物内に火災、災害が発生した場合は必要な措置を執るとともに、関係者に連絡し調整にあたる。

(4) 勤務態勢

a 勤務時間

平日・午前9時30分より午後6時15分 1名

日曜・祭日・閉庁日は休み

(注) 係官の指示により残業、休日出勤または終夜勤務を行う。

b 勤務者に必要な資格

- ①本業務における同種の実務経験10年以上の者。
- ②危険物取扱者資格乙種四類を有し、危険物施設管理者の選任届が可能な者。

2. 自家用電気工作物保安業務

(本省庁舎、飯倉別館、麻布台別館、船橋分室)

(1) 業務内容

本業務は、各施設の電気設備を保安規定及び電気事業法等に基づき定期点検を行うものである。

(2) 業務仕様

下記対象施設の電気設備を本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び電気事業法に基づく保安業務を責任をもって行う。

(3) 対象施設

①本庁舎	本仕様書 1. 1
②飯倉別館	本仕様書 1. 2
③麻布台別館	本仕様書 1. 3
④船橋分室	本仕様書 1. 4

(4) 特記事項

①本庁舎

1) 電気主任技術者を選任し、所管経済産業局等へ届出手続きを行い承認を得る。

なお、選任にあたっては、第三種電気主任技術者以上の資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。

ただし、電気主任技術者は本仕様書 1.1. の設備管理要員と兼務は差し支えない。

2) 電気主任技術者は執務日に常駐することとし、欠勤する場合は同等の資格を有する代務者を定める。

3) 電気主任技術者は保安規定に定める月次点検を行い、報告書を提出する。

4) 電気主任技術者は停電を伴う年次点検に立会うものとし、手順等を確認し、電力会社等の連絡調整にあたる。

②飯倉別館

1) 電気主任技術者を選任し、所管経済産業局等へ届出手続きを行い承認を得る。

なお、選任にあたっては、第三種電気主任技術者以上の資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。

ただし、電気主任技術者は本仕様書 1.2. の設備管理要員と兼務は差し支えない。

2) 電気主任技術者は保安規定に定める月次点検を行い、報告書を提出する。

3) 電気主任技術者は停電を伴う年次点検に立ち会うものとし、手順等を確認し、電力会社等の連絡調整にあたる。

③麻布台別館

1) 電気主任技術者を選任し、所管経済産業局等へ届出手続きを行い承認を得る。

なお、選任にあたっては、第三種電気主任技術者以上の資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。
ただし、電気主任技術者は本仕様書 1.3. の設備管理要員と兼務で差し支えない。

2) 電気主任技術者は保安規定に定める月次点検を行い、報告書を提出する。

3) 電気主任技術者は停電を伴う年次点検に立ち会うものとし、手順等を確認し、電力会社等の連絡調整にあたる。

④船橋分室

1) 電気主任技術者を選任し、所管経済産業局等へ届出手続きを行い承認を得る。

なお、選任にあたっては、第三種電気主任技術者以上の資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。

ただし、電気主任技術者は本仕様書 1.4. の設備管理要員と兼務で差し支えない。

2) 電気主任技術者は保安規定に定める月次点検を行い、報告書を提出する。

3) 電気主任技術者は停電を伴う年次点検に立会うものとし、手順等を確認し、電力会社等の連絡調整にあたる。

3. ビル衛生管理業務

(本省庁舎・飯倉別館)

(1)業務内容

本業務は、本庁舎及び飯倉別館の「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく業務及び建築物環境衛生管理技術者の選任、届出を行う。

(2)業務仕様

本業務は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び同法律に基づき責任をもって行う。

(3)対象施設

- ①本庁舎 本仕様書 1.1. の施設
- ②飯倉別館 本仕様書 1.2. の施設

(4)特記事項

①本庁舎

1) 別途契約となる、ゴミ処理を含む本管理業務の計画、助言等を行い、管理技術者は所管官庁へ選任届けを行う。

なお、選任にあたっては、建築物環境衛生管理技術者資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。

ただし、同管理技術者は本仕様書 1.1. の設備管理要員と兼務は差し支えない。

2) 管理技術者は定期に行われる空気環境測定報告書、水質検査結果を確認し、必要な助言等を行う。

3) 同管理技術者は東京都又は保健所による立入時及び書類審査がある場合は立ち会う。

4) 管理技術者は東京都又は保健所に対する定期報告書を係官の承認を得て提出する。

②飯倉別館

1) 別途契約となる、ゴミ処理を含む本管理業務の計画、助言等を行い、管理技術者は所管官庁へ選任届けを行う。

なお、選任にあたっては、建築物環境衛生管理技術者資格を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。

ただし、同管理技術者は本仕様書 1.2. の設備管理要員と兼務は差し支えない。

2) 管理技術者は定期に行われる空気環境測定報告書、水質検査結果を確認し、必要な助言等を行う。

3) 同管理技術者は東京都又は保健所による立入り時及び書類審査がある場合は立会う。

4) 管理技術者は東京都又は保健所に対する定期報告書を係官の承認を得て提出する。

4. 地下タンク保安業務

(本省庁舎・麻布台別館・船橋分室)

(1)業務内容

本業務は、本庁舎、麻布台別館及び船橋分室の地下タンク等の危険物設備の保安点検及び危険物保安監督者の選任を行う。

(2)業務仕様

本業務は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）及び消防法等に基づき行う。

(3)対象設備

- ①本庁舎 本仕様書本仕様書 1.1.
 - 1)中央庁舎 発電機用(灯油)40KL 1基、20KL 1基
サービスタンク他 一般取扱所
 - 2)北庁舎 20KL 2基
サービスタンク他 一般取扱所
 - 3)新庁舎 40KL 2基
サービスタンク他 一般取扱書
- ②麻布台別館 本仕様書本仕様書 1.4.
 - 1)発電機用(特A重油)地下露出タンク 10kL 1基
- ③船橋分室 本仕様書本仕様書 1.3.
 - 1)発電機用(灯油) 1.8KL 1基

(4)特記事項

- ①本業務は危険物取扱者資格を有し、選任届を所管消防署に提出し、承認をえる。
なお、選任にあたっては、資格者免状を有し、同種業務に10年以上の経験があり、選任が可能であること。
ただし、資格者は本仕様書 1.1. の設備管理要員と兼務は差し支えない。
- ②本庁舎においては保安監督者を執務日に常駐させるものとし、欠勤する場合は同等以上の有資格者を代務者として定められることとする。
- ③保安監督者は月次点検を行い、報告書を提出するものとし、異常ある場合は直ちに係官に報告し、応急処置等を行う。
※設備変更等がある場合は、契約変更を行う。

5. 省エネ法関連業務（本省庁舎）

(1) 業務内容

本業務は、エネルギー管理士が常駐（但し、本仕様書 1.1. の業務と兼務可）しエネルギー使用について監視するとともに、本庁舎の第一種エネルギー管理指定工場に伴う資料作成、提出書類作成及び東京都環境確保条例に伴う資料作成、提出書類作成業務及び届出を行う。

(2) 業務仕様

省エネ法に基づく第一種エネルギー管理指定工場の定期報告等を同法に基づく届出及び東京都環境確保条例に基づく資料作成、検証、届出を行う。

(3) 対象施設：本庁舎

(4) 特記事項

- ① 省エネ法に基づく第一種エネルギー管理指定工場関連資料の作成
 - 1) 中長期計画書の見直し作成
 - 2) エネルギー管理士の参画及び証明
 - 3) 定期報告書の作成、提出
 - 4) 既存管理標準の見直し、作成
 - 5) 既存工場事前調査書の見直し、作成
- ② 東京都環境確保条例関連資料作成
 - 1) 地球温暖化対策報告書提出書（最終年度（法改正を含む））
報告書作成・提出
 - 2) 地球温暖化対策報告書
 - 3) 受付チェックシート、自己評価チェックシート作成
 - 4) 建築及び設備概要の整理表、点検表
 - 5) 点検表関連資料
 - 6) 基本対策資料
 - 7) 推計実績削減量の根拠資料
 - 8) 削減効果見込み量の変更の根拠資料及び変更理由
 - 9) 追加した削減量の根拠資料
- ③ 東京都環境確保条例に基づく排出総量削減義務と排出量取引制度
 - 1) 同制度に係る書類提出
 - 2) 上記届出の際の検証期間への検証を行う

6. 1. 冷暖房設備等点検整備業務

(本省庁舎)

(1) 業務内容

本庁舎の空調用設備を常時使用に支障ない状態に保ち設備の機能が円滑に運転できるよう点検整備を行うものである。

(2) 点検内容

本仕様書記載事項の他国土交通省官庁営繕部監修の建築保全業務共通仕様書(最新版)(以下「共仕」という。)の該当項目に基づいて実施するものとし、機器の正常な運転に必要な点検内容は仕様書に記載ない事項であってもメーカー一等の点検整備基準に基づいて責任を持って業務をおこなう。

(3) 対象機器

冷温水発生機

南庁舎	三菱重工(株)製	MGMT-45C(C. E. V 型)	2 台
新庁舎	〃	MGRT-18B(B. C. E 型)	2 台

(4) 特記事項

- ① 抽気ポンプ開放点検及び潤滑油交換
- ② 真空電磁弁開放点検
(20A=2 個、25A=1 個、40A=3 個)
- ③ サイトグラス交換 (4 個)
- ④ 電極棒取替 (2 本)
- ⑤ 抽気元弁ダイヤフラムパッキン取替 (6 個)
- ⑥ 窒素加圧気密試験
- ⑦ 吸収器、蒸発器、凝縮器の管内洗浄 (中性洗剤) 年 1 回
- ⑧ 冷却水水処理
薬液を水処理のため投入 (薬液は 340kg を納入する) し、併せてレジオネラ菌分析を行う。
(薬液は SHOW-JOSO-M-910)
- ⑨ 上記作業に伴うパッキン等の消耗品等を含む。
- ⑩ 障害等が発生した場合は直ちに応急処置、修理等を行う。

(5) 点検時期

暖房シーズン・オフ及び冷房シーズン・イン	4 月下旬から 5 月中旬
冷房シーズン・中	7 月～9 月 各月 1 回以上
冷房シーズン・オフ及び暖房シーズン・イン	11 月中旬
暖房シーズン・中	12 月～3 月 各月 1 回以上

障害等による場合は随時

6. 2. 冷暖房設備等点検整備業務 (飯倉別館)

(1) 業務内容

飯倉別館の空調用機器を常時使用に支障ない状態に保ち設備の機能が円滑に運転できるよう点検整備を行うものである。

(2) 点検内容

本仕様書記載事項の他国土交通省官庁営繕部監修の建築保全業務共通仕様書(最新版)(以下「共仕」という。)の該当項目に基づいて実施するものとし、機器の正常な運転に必要な点検内容は仕様書に記載ない事項であってもメーカー一等の点検整備基準、関係法規に基づいて責任を持って業務をおこなう。

(3) -1. 対象機器

冷温水発生機(都市ガス) タイトン工業(株)製 ADGE-210KR 1台

(3) -2. 特記事項

① 冷房開始前の点検、運転調整

- 1) 切替運転準備 2) 本体関係の切替 3) 操作盤切替 4) 抽気関係点検
- 5) 燃焼関係点検 6) 空燃比調整 7) 安全保護装置の点検確認
- 8) 温調機器設定値確認 9) 冷水、冷却水循環状態確認 10) 運転調整
- 11) 吸収液サンプリング及び分析

② 冷房期間中の点検、運転調整

- 1) 安全保護装置の点検確認 2) 抽気関係点検 3) 冷媒の点検及びアルコール補充
- 4) 燃焼関係点検 5) 空燃比調整 6) 温調機器設定値確認 7) 運転調整
- 8) 吸収液サンプリング及び分析 9) 水質分析

③ 冷房終了点検

- 1) 各部品外観検査 2) 高温発生器点検 3) 燃焼関係点検
- 4) 冷水、冷却水系の点検 5) 真空部漏れ検査 6) 凝・吸収器のブラシ洗浄

④ 暖房開始前の点検、運転調整

- 1) 切替運転準備 2) 本体関係の切替 3) 操作盤切替 4) 抽気関係点検
- 5) 燃焼関係点検 6) 空燃比調整 7) 安全保護装置の点検確認
- 8) 温調機器設定値確認 9) 温水循環状態確認 10) 運転調整

⑤ 暖房期間中の点検、運転調整

- 1) 安全保護装置の点検確認 2) 抽気関係点検 3) 燃焼関係点検
- 4) 空燃比調整 5) 温調機器設定値確認 6) 運転調整

⑥ 暖房終了点検

- 1) 各部品外観検査 2) 高温発生器点検 3) 燃焼関係点検

4) 抽気関係点検 5) 真空部漏れ検査

⑦切替、点検は気候等の事情により変更する場合がある。

⑧障害等が発生した場合は夜間休日を問わず、直ちに応急処置、修理等を行う。

(3) - 3. 業務時期

5月	冷房切替え	シーズン・イン点検
8月	冷房	シーズン・中点検
10月	暖房切替え	シーズン・イン点検
1月	暖房	シーズン・中点検

(4) - 1. 対象機器

チリングユニット UWYJ1500B5C ダイキン工業(株)製 1基

(4) - 2. 特記事項

①冷暖房開始前の点検、運転調整

1) 基礎固定部 2) 外観の状況 (本体、保冷材) 3) 熱交換器
4) 付属品 (温度計及び圧力計、安全弁) 5) 電気系統 (操作回路及び動力回路、端子、クランクヒーター、盤、電磁開閉器、接地)
6) 保安装置 (圧力開閉器、吐出ガス温度サモ、断水リレー、インターロック、冷水凍結防止サモ、可溶栓) 7) 冷媒系統 8) 潤滑油系統
9) 排水 ヌ. 運転調整 (音及び振動、主電源電圧及び電流、冷媒ガス、冷凍機油、熱交換状況、自動制御)
10) 保存 (水系統は、確実に水を抜いた上保存する。)

②冷暖房期間中の点検、運転調整

1) 基礎固定部 2) 外観の状況 (本体、保冷材) 3) 熱交換器
4) 付属品 (温度計及び圧力計、安全弁) 5) 電気系統 (端子、操作盤、クランクヒーター) 6) 冷媒系統 7) 潤滑油系統 8) 冷水及び冷却水系統
9) 運転調整 (音及び振動、主電源電圧及び電流、冷媒ガス、冷凍機油、熱交換状況、制御)

③障害等が発生した場合は夜間休日を問わず、直ちに応急処置、修理等を行う。

(4) - 3. 業務時期

5月	冷房切替え	シーズン・イン点検
8月	冷房	シーズン・中点検
10月	暖房切替え	シーズン・イン点検
1月	暖房	シーズン・中点検

(5) - 1. 対象設備

空冷ヒートポンプ式パッケージ

FRYJ800PR (屋内機) CRYJ400PR (屋外機) ダイキン工業(株)製 1基

(5) - 2. 特記事項

① 冷暖房開始前の点検、運転調整

- 1) 基礎固定部 2) 外観の状況 3) 冷房切替 4) 暖房切替 5) 水系統（加湿用給水、ドレンパン、ドレン排水） 6) 電気系統（操作回路及び動力回路、端子、クランクケースヒータ） 7) 送風機（Vベルト、軸受、羽根、電動機） 7) エアフィルター（ろ材、枠） 8) 冷媒系統 9) 熱交換器 10) 加湿器 11) 保安装置（インターロック、圧力開閉器、可溶栓又は安全弁、温度ヒューズ、過熱防止器、圧力計） 12) 自動制御機器 13) 運転調整（電源電圧、運転電流、冷凍機油、熱交換状況、除霜装置、音・振動）

- ② 事故又は障害等により正常な運転に支障が生じた場合は、直ちに技術員を派遣して点検、調整、修理等の措置を講じ、機能保持を行うこと。
この際、部品交換を必要とする場合は、担当官の了承を得てから実施すること。

(5) - 3. 業務時期

5月	冷房切替え	シーズン・イン点検
8月	冷房	シーズン・中点検
10月	暖房切替え	シーズン・イン点検
1月	暖房	シーズン・中点検

6. 3. 冷暖房設備等点検整備業務
(麻布台別館)

(1) 業務内容

麻布台別館の空調用機器を常時使用に支障ない状態に保ち設備の機能が円滑に運転できるよう点検整備を行うものである。

(2) 点検内容

本仕様書記載事項の他国土交通省官庁営繕部監修の建築保全業務共通仕様書（最新版）（以下「共仕」という。）の該当項目に基づいて実施するものとし、機器の正常な運転に必要な点検内容は仕様書に記載ない事項であってもメーカー一等の点検整備基準、関係法規に基づいて責任を持って業務をおこなう。

(3) 対象機器

室外機	RSXYJ224K	5基、	RSXYJ140K	3基、	RSLYJ560K	1基、
	RSXYJ160K	3基				
室内機	FXVWJ71K	3台、	FXVWJ140K	2台、	FXYSJ90K	2台、

FXYSJ112K 1台、 FXYSJ71K 5台、 FXYSJ56K 2台、 FXYKJ28K
4台、 FXYKJ36K 1台、 FXYMJ280K 3台 FXYWJ224K 2台、
FXYHJ160K 1台、 KNMJ38K140 2台
加湿器 KNMJ37K280 3台、 KNMJ25K80 4台、 KNMJ25K160 1台

(4) 特記事項

① 室外機

- 1) 電流、電圧測定及び電気関係絶縁測定
- 2) 油漏れ、水漏れの有無点検
- 3) 熱交換器の汚れ及び腐食点検
- 4) 運転状態の確認（異音の有無、振動）

② 室内機

- 1) 吸い込み、吹き出し空気温度の測定
- 2) 水漏れのチェック
- 3) 運転状態の確認（異音の有無、振動）
- 4) 各操作盤及びリモコンの作動確認

③ 加湿器

- 1) 作動状態の確認
- 2) 清掃
- 3) 絶縁測定

- ④ 事故又は障害等により正常な運転に支障が生じた場合は、直ちに技術員を派遣して点検、調整、修理等の措置を講じ、機能保持を行うこと。この際、部品交換を必要とする場合は、担当官の了承を得てから実施すること。

(5) 業務時期

室外機及び室内機

5月	冷房切替え	シーズン・イン点検
8月	冷房	シーズン・中点検
10月	暖房切替え	シーズン・イン点検
1月	暖房	シーズン・中点検

加湿器

10月

7. ボイラー設備等点検整備業務

(本省庁舎)

(1) 業務内容

本庁舎の暖房加湿用並びに給湯用ボイラー1基について、人事院規則10-4(職員の保健及び安全保持)第32条に基づく整備、性能検査を行う。
また、安全確保のため安全装置の整備及び点検も合わせて実施する。

(2) 業務仕様

下記ボイラーの定期点検、性能検査を関係諸法規に基づき行う。

(3) 施設の概要

新庁舎地下3階

給湯用温水ボイラーSKMT-E1602G

昭和鉄工(株)製 伝熱面積3.1㎡ 【構造検査 福岡第56779吾】

(4) 特記事項

①性能検査

次に掲げる部分の構造及び機能について日本ボイラー協会等の行う性能検査を受ける整備を行い、同検査を受ける。

- 1) ボイラー本体
- 2) 燃焼装置
- 3) 自動制御装置
- 4) 付属品
- 5) 附属装置
- 6) 附属設備
- 7) 燃焼室及び煙導の構造

②整備及び点検

次に掲げる部分について整備及び点検を行う。

- 1) ボイラー室及びその周囲
- 2) ボイラーの配管
- 3) 据え付け基礎
- 4) 関連機器、制御機能

③業務は平日昼間作業とするが、夜間使用に支障ないよう復旧する。

④作業完了後、検査書等を製本の上、提出する。

(5) 点検時期

11月中旬

8. 空調自動制御機器、中央監視自動制御機器等点検整備業務 (本省庁舎・飯倉別館)

(1) 業務内容

本庁舎の空調及び電気用、飯倉別館の空調用の自動制御設備を常時使用に支障ない状態に保ち設備の機能が円滑に運転できるよう点検整備を行うものである。

(2) 点検仕様

本仕様書記載事項の他国土交通省官庁営繕部監修の建築保全業務共通仕様書（最新版）（以下「共仕」という。）の該当項目に基づいて実施するものとし、機器の正常な運転に必要な点検内容は仕様書に記載ない事項であってもメーカー等の点検整備基準に基づいて責任を持って業務をおこなう。

(3) 対象機器

本省庁舎 中央管制装置(空調用)SAVIC NET30 1式(内訳別紙対象機器表)
中央管制装置(電気用)savic-netEVm30 1式(内訳別紙対象機器表)
飯倉別館 中央管制装置(空調用)SAVIC NET10 1式(内訳別紙対象機器表)
※総合保守：機器等の詳細点検を及び制御点検等を行う。
EV基本サービス：温、湿度等のアナログデータによる制御性の
評価組付、調整等を行う。

(4) 特記事項

- ①冷房シーズン及び暖房シーズンに専門技術者による点検を行い、各機器の計測、校正等点検、調整を行う。
- ②3ヶ月毎にバックアップデータの作成を行い、現地に保管する。
- ③業務は勤務時間中を原則とするが、機器の重大な故障時は随時専門技術者による原因の調査、応急処置、修理を行う。
- ④CPU制御された機器のプログラムテストによる動作確認等は、本設備の製造者、又は製造者の指定した点検要領に基づき行う。
- ⑤障害等の緊急時に故障した交換部品の代替品を供給し、機器の運転に支障ない状態に維持する。
- ⑥総合点検終了後及び制御性の評価終了時には、点検状況について書面による報告書を提出することとし、緊急性のある障害、事故等の虞があるものは直ちに報告すること。また、報告書について必要ある場合は報告書の内容について詳細に報告すること。
- ⑦制御性評価については、アナログデータのグラフによる可視化した内容で報告すること。ウォーミングアップ制御、温度制御、温湿度制御状況を報告する。
- ⑧上記⑦のデータに関しては、熱源データも含め1分単位で常時蓄積保存し、

監督職員から指示された系統はグラフ化しメディア媒体で提出する。

(5) 点検時期

冷房シーズン 9月上旬

暖房シーズン 3月上旬

9. ファンコイルユニット等エアークフィルタ一交換、洗浄

(本省庁舎)

(1) 業務内容

本業務は、庁舎内に設置のファンコイルユニットのエアークフィルタ一を定期的に変換、洗浄するものである。

(2) 業務仕様

- ①当省保管の予備フィルタ一(約3割)を利用し、床置き及び天井吊り型のファンコイルユニット及びパッケージ型空調機のファンコイルユニットのエアークフィルタ一を取り外し清掃する。清掃後の予備フィルタ一は指定場所に運ぶ。
- ②ファンコイルユニットはドレンパンを清掃し、排水溝のつまりがないかを確認する。
- ③ファンコイルユニットを運転し、異音等を確認する。
- ④運転ランプの確認し、球切れがある場合は交換する。

(3) 対象設備

北庁舎	ファンコイル他	369台
中央庁舎	ファンコイル他	167台
南庁舎	ファンコイル他	185台
新庁舎	ファンコイル他	88台
西別館	ファンコイル他	40台
車庫棟	ファンコイル他	13台

(4) 特記事項

- ①一般執務室は平日作業とするが、幹部室、会議室等は執務の都合上平日に作業ができない場合あり、その場合は休日作業となる場合がある。
- ②業務日程は係官の承認を得た後、業務を行う。
- ③業務完了後、予備フィルタ一の使用枚数と返納枚数、使用できないものの数量等の報告書(状況により写真等を添付)を提出する。

(5) 業務時期

6月末まで、11月末まで

10. パッケージ型空調機等点検、清掃

(本省庁舎・飯倉別館及び麻布台別館)

(1) 業務内容

庁舎内に設置のパッケージ型個別空調設備（詳細別紙）及びユニット型コンパクト空調機を常時良好な状態に維持し、障害の早期発見し、機器の状態を把握する。

(2) 業務仕様

- ① 絶縁測定
- ② 運転圧力点検
- ③ 屋外機薬品洗浄（設置状態で専用洗剤により洗い流し、試運転を行う。）
- ④ ユニット型空調機フィン薬品洗浄

(3) 対象設備

・本庁舎

① 壁掛け型、天井外付型、天井隠蔽型等 157 組（内訳別紙）

② ユニット型コンパクト空調機

北庁舎 (9,300 m³/h～15,000 m³/h) 15 台

中央庁舎 (3,000 m³/h～5,000 m³/h) 5 台

〃 (5,000 m³/h～8,000 m³/h) 7 台

〃 (9,000 m³/h～11,000 m³/h) 6 台

〃 (11,000 m³/h～21,000 m³/h) 5 台

南庁舎 (5,000 m³/h～8,000 m³/h) 6 台

〃 (9,000 m³/h～11,000 m³/h) 17 台

〃 (11,000 m³/h～21,000 m³/h) 7 台

新庁舎 (1,390 m³/h～5,800 m³/h) 8 台

〃 (6,100 m³/h～9,700 m³/h) 9 台

〃 (10,300 m³/h～22,600 m³/h) 6 台

・飯倉別館

地下1階

R22HSS、RCUJ75AK、UWYJ1500B5C、CRYJ400PR X2 台、FDCJ56C、
PU-J80GA9、R-50AVV、R-25ADS X2 台、RSXY-5H、RV-5A、RM-30G1、RM22G1

1階

RZYP160H、RZYP80HT X2 台、RSXYJ112KC、RSXYJ160KC、RSXYJ280KC、

2階

RZYP112H9、R36GNV、R28GNV、RZYP63KBT、RZYP80KBT、RXYP224A、PUHY-J140M-A1

エアハンドリングユニット

VSR-C-194T、DV-6、DV-S10、DV-21、DV-9、AVC-10EA

・麻布台別館

RSXY-J560K、RSXY-J224K X5 台、RSXY-J160K X3 台、RSXY-J140K X3 台

(4) 特記事項

- ①パッケージ型空調機点検作業は原則的に休日作業とする。
なお、ユニット型コンパ外空調機は空調の使用状況により平日作業は可能。
- ②高所作業となるため、作業員、作業機材等必要な安全対策を講じること。
- ③点検において障害が認められた場合は、原因の発見に努め可能な場合は修理又は応急処置を行い、係官に直ちに報告する。
- ④作業日程は工程表を係官に提出し、承認を得ること。
- ⑤業務完了後報告書を提出する。

(5) 点検時期

5～6月（年1回）

1.1. 昇降機設備定期点検保守業務

(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館・池尻大橋寮)

(1) 業務内容

本業務は、本庁舎、飯倉別館（外交史料館）、麻布台別館の昇降機設備を常時使用に支障ない状態に維持するため定期的に保守点検を行う。

(2) 業務仕様

下記対象設備を本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）及びメーカー等の基準の他、人事院規則等の関係法規に基づき保守、点検、定期検査を責任をもって行う。

(3) 対象設備概要

①本省庁舎

a. 北庁舎 1～3号機 (3台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-16-C0-090 三菱電機(株)製

1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式

2) 用途 乗用 16人 (1号機は身体障害者仕様) 3) 積載荷重 1100kg

4) 定格速度 90m/min 5) 停止階数 9カ所 (B1～8F)

6) 付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制、自家発管制、遠隔監視

7) その他 機械室空調

b. 北庁舎 4～6号機 (3台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-16-C0-090 三菱電機(株)製

1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式

2) 用途 乗用 16人 (6号機は人・荷仕様) 3) 積載荷重 1100kg

4) 定格速度 90m/min 5) 停止階数 9カ所 (B1～8F)

6) 付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制、自家発管制、遠隔監視

c. 中央庁舎 (4台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-15-C0-090 三菱電機(株)製

1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式

2) 用途 乗用 15人 (7号機は人・荷物仕様、9号機は身体者障害者仕様)

3) 積載荷重 1000kg 4) 定格速度 90m/min

5) 停止階数 8カ所 (1～8F : 8～10号機)、9カ所 (B1～8F : 7号機)

6) 付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制、自家発管制、遠隔監視

d. 南庁舎 11～13号機 (3台)

契約方式 POG

型式 E-15-C0-090 三菱電機(株)製

- 1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式
- 2) 用途 乗用 15 人 (12 号機は人・荷仕様) 3) 積載荷重 1000kg
- 4) 定格速度 90m/min 5) 停止階数 8 力所 (1~8F : 11・13 号機、
B1~8F : 12 号機) 6) 付加装置 地震管制 (P 波付)、火災管制
遠隔監視

e. 南庁舎 14~16 号機 (3 台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-15-C0-090 三菱電機(株)製

- 1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式
- 2) 用途 乗用 15 人 (15 号機は人・荷仕様、16 号機は身体障害者仕様)
- 3) 積載荷重 1000kg 4) 定格速度 90m/min
- 5) 停止階数 8 力所 (1~8F : 14・16 号機、B1~8F : 15 号機)
- 6) 付加装置 地震管制 (P 波付)、火災管制、遠隔監視

f. 西別館 1 号機

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-4-C0-060 三菱電機(株)製

- 1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式
- 2) 用途 乗用 9 人 3) 積載荷重 600kg 4) 定格速度 60m/min
- 5) 停止階数 4 力所 (B1~3F)
- 6) 付加装置 地震管制 (P 波付)、火災管制、遠隔監視

g. 新庁舎 1~3 号機 (3 台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-11-C0-090 三菱電機(株)製

- 1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式
- 2) 用途 乗用 15 人 (3 号機は身体障害者仕様) 3) 積載荷重 750kg
- 4) 定格速度 90m/min 5) 停止階数 9 力所 (B2~7F : 1・2 号機、
10 力所 (B3~7F : 3 号機)
- 6) 付加装置 地震管制 (P 波付)、火災管制、遠隔監視

h. 新庁舎 4 号機 (1 台)

契約方式 フルメンテナンス

型式 E-21-C0-090 三菱電機(株)製

- 1) 制御方式 交流可変電圧可変周波数歯車形式
- 2) 用途 人・荷用 21 人 3) 積載荷重 1400kg 4) 定格速度 90m/min
- 5) 停止階数 10 力所 (B3~7F)
- 6) 付加装置 地震管制 (P 波付)、火災管制

i. 車庫棟 1 号機

契約方式 POG

型式 DFR-S-800-2S-15-3 (株)ダイコー製

- 1) 制御方式 油圧制御

- 2)用途 人・荷用12人 3)積載荷重 800kg 4)定格速度 15m/min
- 5)停止階数 3カ所 (B1~2F)
- 6)付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制、停電時管制
- j. 北庁舎地下1階小荷物用リフト
 - 契約方式 POG (年6回点検)
 - 型式 CF-300-20-2F 中央エレベーター工業(株)製
 - 1)制御方式 電動制御
 - 2)用途 荷物専用 3)積載荷重 300kg 4)定格速度 20m/min
 - 5)停止階数 2カ所
- k. 新庁舎ゴンドラ
 - 契約方式 フルメンテナンス (年3回点検)
 - 型式 アーム俯仰型 軌道・ゲージ式 日本ビソー(株)製
 - 1)方式 電動 2)用途 人専用 3)積載荷重 200kg

②飯倉別館

- a. 飯倉別館 (1台)
 - 契約方式 フルメンテナンス
 - 型式 HF-10-C045 日立エレベーター工業(株)製
 - 1)方式 油圧式 2)用途 乗用 11人 3)積載荷重 650kg
 - 4)定格速度 45m/min 5)停止階数 3カ所 (B1~3F)
 - 6)付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制
- b. 外交史料館 (1台)
 - 契約方式 フルメンテナンス
 - 型式 HF-6-C045 日立エレベーター工業(株)製
 - 1)方式 油圧式 2)用途 乗用 6人 3)積載荷重 400kg
 - 4)定格速度 45m/min 5)停止階数 4カ所 (B1~3F)
 - 6)付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制
- c. 飯倉別館小荷物用リフト
 - 契約方式 POG
 - 型式 DW-F-20-S30 日立エレベーター工業(株)製
 - 1)方式 電動式 2)用途 荷物専用 3)積載荷重 200kg
 - 4)定格速度 30m/min 5)停止階数 3カ所 (B1~3F)

③麻布台別館

- a. 麻布台別館 (1台)
 - 契約方式 フルメンテナンス
 - 型式 E2650 三精輸送機(株)製
 - 1)方式 油圧式 2)用途 乗用 10人 3)積載荷重 750kg
 - 4)定格速度 45m/min 5)停止階数 4カ所 (B1~3F)
 - 6)付加装置 地震管制 (P波付)、火災管制、停電時管制

b. 小荷物用リフト

契約方式 フルメンテナンス

型式 DD0756 三精輸送機(株)製

1)方式 電動式 2)用途 荷物専用 3)積載荷重 200kg

4)定格速度 20m/min 5)停止階数 4カ所 (B1~3F)

(4)保守仕様

①受注者は関係法規に基づき定期的(月1回以上、回数等を指定したものを除く)の点検保守を行うものとし、点検、検査及び部品等の取替は、該当する昇降機等の点検、検査及び部品等の交換に実績のある技術者または、製造者等が行う技術研修等を受けた技術者により行う。

②機器の正常な運転に必要な保守内容は、本仕様書に記載ない事項であっても製造者等が定める点検整備基準に基づいて行う。

③受注者はフルメンテナンス対象機器の保守業務開始前に「昇降機月間保守点検作業基準」、「昇降機年間保守作業点検基準」を作成し、承認を得る。また、3月に翌年度実施予定の同点検作業基準を作成し施設管理者等に提出する。

④受注者はPOG契約対象機器の点検の結果、部品等の取替等が将来見込まれるものは施設管理者に報告し、中長期的計画を作成する。

⑤受注者は保守業務を超える特殊な事故の発生、または修理箇所を発見した場合は直ちに施設管理者に報告し、その指示に従う。

⑥受注者は定期検査を月1回、性能検査を年1回行い、試験結果を報告書を提出する。その費用は受注者の負担で行う。

⑦本業務のPOG契約においても保守に必要な油脂、ウエス、ビス、ナット、ランプ等の消耗品は本契約に含む。

⑧点検業務は原則執務日執務時間中とするが、故障、障害等による修理要請の場合は速やかに技術員を派遣する。

⑨点検に伴い発生する、部品の交換等の発生材は受注者が適法に処分する。

1 2. 電気時計設備点検保守業務

(本省庁舎・飯倉別館)

(1) 業務内容

本業務は、本庁舎及び飯倉別館の電気時計設備を常時使用に支障ない状態に維持するため定期的に保守点検を行う。

(2) 業務仕様

下記対象設備を本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及びメーカー等の基準の基づき点検、保守を責任をもって行う。

(3) 対象設備概要

① 本庁舎

a. 中央庁舎

親時計 型式 XZ031313-3 1台 2003年製
AC100V/DC24V

製造者 (株)TIC シチズン

子時計 430台

b. 新庁舎

親時計 型式 TX461-5R 1台 1995年製
AC100V/DC24V

製造者 (株)TIC シチズン

子時計 126台

② 飯倉別館 (外交史料館含む)

親時計 型式 KM-7-1P 1台 1983年製
100V/DC24V

製造者 (株)TIC シチズン

子時計 23台

(4) 保守仕様

① 親時計

1) 精度点検 2) 機構部、モーターの点検 3) 信号摘出部の点検

4) 各 SW 等動作機能の確認 5) 水晶出力測定 6) 切替確認

② ラジオコントロール

1) AM 又は FM 受信状態の確認 2) 時報による規正動作確認 3) アンテナの設置状態

③ 配電盤

1) 各スイッチ等動作機能確認 2) 回線モニター点検 3) 回線出力測定

④ 電源部

1) 入力電圧測定 2) 整流電圧測定 3) 充電電流測定 4) 電池電圧測定

⑤ 子時計 (年1回、3月)

1) 指示時刻点検 2) 極違いの有無点検 3) 取付状態の確認 4) 清掃

(5) 特記事項

- ①点検は機器の点検に実績のある技術者又は製造者等が行う技術研修等を受けたものにより行う。
- ②機器の正常な運転に必要な保守内容は、本仕様書に記載ない事項であっても製造者等が定める点検整備基準に基づいて行う。
- ③本業務に必要な油脂、ウエス、ビス、ナット、ランプ等の消耗品は本契約に含む。
- ④点検業務は原則執務日執務時間中とするが、故障、障害等による修理要請の場合は速やかに技術員を派遣する。

(6) 実施時期

6、9、12、3月

13. 厨房排水除害設備点検保守業務

(本省庁舎)

(1) 業務内容

本業務は、本庁舎に設置の厨房排水除害設備が、下水道法並びに水質汚濁防止法等の関係諸法規の排水基準を遵守するため、定期的に保守員を派遣し日常使用に支障ないように保守業務を行う。

(2) 業務仕様

下記対象施設の電気設備を本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及びメーカー等の基準に基づき保守を行う。

保守業務は庁舎の執務日に行うものとし、熟練した専門技術員を週1回以上派遣し、下記項目の保守業務を行う。

(3) 対象設備概要 (地下埋設コンクリート製)

①処理方式 生物(酵母菌)処理方式

②計画排水量 60m³/日

③排水の種類 厨房排水

④流入水質及び処理水質

	流入水	放流水
生物化学的酸素要求量 (BOD)	780mg/ℓ	300mg/ℓ 以下
浮遊物質 (SS)	240mg/ℓ	300mg/ℓ 以下
ノルマルヘキサン抽出物質	130mg/ℓ	30mg/ℓ 以下
pH	5~9	5~9

⑤製造者 (株)西原ネオ 製

⑥機器仕様

- 1) 流量調整槽 42 m³
- 2) 接触酸化槽第一室 24 m³
- 3) 接触酸化槽第二室 24 m³
- 4) 放流水槽 6 m³
- 5) 流量調整槽用ブロアー 1.5kw 1台
- 6) ばっきブロアー 3.7kw 2台
- 7) 計量ポンプ 0.75kw 2台
- 8) 微細目スクリーン 0.025kw 2台
- 9) 薬抽ポンプ 0.03kw 2台
- 10) 脱臭ファン 0.4kw 2台
- 11) 排水ポンプ 0.25kw 1台
- 12) 流量調整槽用ポートスイッチ 1式
- 13) 排水ピット用ポートスイッチ 1式
- 14) 微細目スクリーンユニット用電極棒 1式

15) 薬品タンク用電極棒	1 式	
16) pH 計 (超音波洗浄機付)	1 式	
17) 流量計 (パームホースフリーム)	1 式	
18) 第一中継槽	4 m ³	
19) 第一中継槽用ポンプ	0.75kw	2 台
20) 第二中継槽	6 m ³	2 槽
21) 第二中継槽用ポンプ	1.5kw	2 台
22) 各ポンプ制御板	1 式	
23) 各プロダ制御板	1 式	

(4) 特記事項

① 流量調整槽、スクリーンユニット

- ・ 計量ポンプの作動状況
- ・ 散気装置の散気状況確認
- ・ 異物流入の確認
- ・ 微細目スクリーンユニットの作動状況確認
- ・ スクリーンユニットの洗浄
- ・ 中継ポンプ槽及び流量調整槽の清掃 (年 1 回)

② 接触ばっ気槽

- ・ 散気装置による散気、正常な水流の確認
- ・ ろ材破損の有無
- ・ 内壁の汚れ状況確認 (必要により水洗い等)
- ・ 槽内異物等の有無確認

③ 放流水槽

- ・ 内壁の汚れ確認 (必要により水洗い)
- ・ 槽内異物の有無確認

④ 薬品 (pH 調整剤=硫酸) 注入設備 (薬品タンク及び薬注ポンプ)

- ・ 薬注ポンプ作動確認
- ・ 薬剤の残量確認及び補充

⑤ プロダ

- ・ 作動状況確認
- ・ ギアボックス内のオイル点検及び軸受け部のグリース給油

⑥ pH 計

- ・ 電極の洗浄
- ・ pH 計の校正 (月 1 回)
- ・ 電極の交換 (年 1 回)

⑦ 活性炭素脱臭装置

- ・ 各槽の吸気バランスの確認
- ・ 脱臭ファン運転状況確認
- ・ 脱臭装置内の水抜き
- ・ 脱臭用活性炭の交換 (年 2 回)

⑧電気制御盤

- ・制御盤の確認
- ・電圧、電流値等の測定、確認
- ・各部の締め付け確認
- ・絶縁抵抗の測定

⑨水質検査

- ・流入水、放流水の水質検査（毎月1回）を行い、規制値内であることを確認する

検査項目

- 1)水素イオン濃度（pH）
- 2)生物化学的酸素要求量（BOD）
- 3)浮遊物質（SS）
- 4)ヘキサン抽出物質（n-Hex）

⑩その他

- ・除害施設（中継槽を含む）の周囲を常に清潔に保つ
- ・金属部等はさびの発生しやすい部分は油拭き等を行い常に各部が良好に作動するよう良心的に保守にあたる。
- ・本保守による発生材は受注者の負担で適正に処理する。
- ・点検終了後は報告書をその都度提出し、係官の確認を受ける。
- ・保守は原則外務省の執務時間中とするが、外務省の要請により点検を依頼する場合はこの限りでない。

14. 貯水槽清掃、水質検査

(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館・船橋分室)

(1) 業務概要

当省施設の貯水槽を「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」その他関係法規に基づき清掃、点検及び定期水質検査を行うものである。

(2) 業務仕様

本仕様書及び「共仕」に基づき清掃を行い、定期的に水質検査を行うものである。
業務完了後報告書及び写真を製本の上提出する。

(3) 施設概要

① 本省庁舎

南庁舎	受水槽	105 m ³ X2 槽 (FRP 製)
	高置水槽	12 m ³ X2 槽 (SUS 製)
中央庁舎	高置水槽	12 m ³ X2 槽 (SUS 製)
新庁舎	受水槽	22.5 m ³ X2 槽 (FRP 製)
	高置水槽	6 m ³ X2 槽 (FRP 製)
	給湯水槽	0.6 m ³ X1 槽 (鋼板製)

② 飯倉別館	高置水槽	8 m ³ X1 槽 (FRP 製)
	貯湯槽	2 m ³ X1 槽 (SUS 製)

③ 船橋分室	受水槽	9 m ³ X1 槽 (FRP 製)
--------	-----	-------------------------------

④ 麻布台別館	受水槽	1 m ³ X1 槽 (FRP 製)
---------	-----	-------------------------------

(4) 特記事項

- ① 清掃に伴い断水となる場合は休日作業とする。
- ② 作業に当たっては、作業員の健康状態を把握し、不健康な作業員は作業に当たらせないこと。
- ③ 清掃作業日程を係官と調整の上、作業員名簿を提出し、承認を受けること。
- ④ 清掃作業完了後は作業写真及び報告書をアルバム等に製法の上提出すること。

(5) 業務実施時期及び検査項目

① 2月 清掃

② 水質検査採水場所 (詳細は別途指定)

- 1) 南庁舎 2) 北庁舎 3) 新庁舎 (給湯含む) 4) 飯倉別館 (給湯含む)
5) 船橋分室 6) 麻布台別館

③ 飲料水水質検査項目

- 5月 1) 一般細菌 2) 大腸菌 3) 鉛及びその化合物
4) 硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素 5) 亜鉛その化合物

6)鉄及びその化合物 7)銅及びその化合物 8)塩化物イオン
9)有機物(全有機炭素(TOC)の量) 10)蒸発物残留物 11)pH値
12)味 13)臭気 14)色度 15)濁度

8月 1)シアン化物イオン及び塩化シアン 2)クロ酢酸 3)クロホルム 4)ジクロ酢酸
5)ジブromクロメタン 6)臭素酸 7)総トリハロメタン 8)トリクロ酢酸
9)ブromジクロメタン 10)ブromホルム 11)ホルムアルデヒド

11月 1)一般細菌 2)大腸菌 3)硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素
4)塩化物イオン 5)有機物(全有機炭素(TOC)の量) 6)pH値 7)味
8)臭気 9)色度 10)濁度

15. 排水槽清掃

(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館)

(1) 業務概要

当省施設の雑排水槽及び汚水槽を「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」その他関係法規に基づき清掃を行うものである。

(2) 業務仕様

本仕様書及び「共仕」に基づき清掃を行い、業務完了後報告書、廃棄物処理証明書等及び写真を製本の上提出する。

(3) 施設概要

①本省庁舎

南庁舎	汚水槽	15.54 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
中央庁舎	汚水槽	18.92 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
新庁舎	汚水槽	39.3 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
	雑排水槽	35 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
地下書庫	汚水槽	4.8 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
	雑排水槽	26.0 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
西別館	雑排水槽	1.0 m ³ X1 槽 (コンクリート製)

②飯倉別館	汚水槽	20 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
	雑排水槽	10.5 m ³ X1 槽 (コンクリート製)

③麻布台別館	汚水槽	5 m ³ X1 槽 (コンクリート製)
--------	-----	---------------------------------

(4) 特記事項

- ①業務に当たっては、予め工程表を作成し係官の承認を受けること。
- ②清掃作業は休日等の閉庁日作業である。

(5) 業務実施時期

清掃

年3回(6月、10月、2月)

但し、うち1回は希釈洗浄とする。

16. 浄化槽定期保守

(船橋分室)

(1) 業務概要

船橋分室に設置の浄化槽を関係法令に基づき、点検、清掃を定期的に行うものである。

(2) 業務仕様

本業務は厚生労働省関係浄化槽法施行規則（昭和59年厚生省令第17号）第2条及び第3条に定めるものの他、船橋市の基準によるものとする。

(3) 設備概要

処理対象人員 60名

容量 4.1 m³（コンクリート製）

(4) 業務実施時期

清掃 9月、3月

点検 奇数月（年6回）

17. 地下オイルタンク定期点検

(本省庁舎・船橋分室)

(1) 業務内容

本省構内及び船橋分室の地下埋設油タンクを関係法令に基づく定期点検及び気密試験を行うものである。

(2) 業務仕様

本点検は建物の付属設備である危険物貯蔵所地下タンク6ヶ所の漏洩検査(精密試験)を「消防法第14条の3の2」及び関連法規に基づき点検を行う。

関連法規：「危険物の規制に関する政令 第8条の5」

「危険物の規制に関する規則 第62条の6, 7, 8」

(3) 対象設備

中央庁舎 NO.1	40 (φ2,824X7,866) k	×1基 (残量 39.5k)
電気防蝕装置 (4カ所) 点検測定を含む		
新庁舎 NO.1	40 (φ2,800X7,926) k	×1基 (残量 40k)
	NO.2	40 (φ2,800X7,926) k ×1基 (残量 38k)
西別館 NO.1	20 (φ1,900X7,240) k	×1基 (残量 17k)
	NO.2	20 (φ1,900X8,010) k ×1基 (残量 18k)
船橋分室	1.9 (φ 950X 3,120) k	×1基 (残量 1.8k)

(4) 特記事項

- ①本点検はタンク内の清掃は行わない。
- ②マンホール等は清掃し、さび止め塗装する。
- ③マンホールパッキンを点検し、亀裂等を確認する。
- ④試験により漏洩が発見された場合は、直ちに係官に報告するとともに、軽微な補修は点検にて行う。
- ⑤作業終了後はタンク周辺の清掃を行う。
- ⑥検査完了後、結果報告書、写真及び検査データ2部を係官に提出する。
- ⑦本仕様書に記載ない事項でも、作業上当然と思われるものは、受注者の負担で行う。

(5) 実施時期

2月

18. ばい煙測定

(本省庁舎・飯倉別館)

(1) 業務内容

大気汚染防止法第16条その他該当諸法規に基づき、本庁舎及び飯倉別館の冷温水発生機（都市ガス炊き）の煤煙測定を年2回行うものである。

(2) 業務仕様

- ①煤塵濃度（JIS K 0104 に定める連続分析方法又は同等以上の分析方法）
- ②窒素酸化物濃度（JIS K0104 に定める連続分析方法又は同等以上の分析方法）
- ③煤塵濃度及び煤塵量（JIS Z 8808）に定める分析方法又は同等以上の分析方法）

(3) 対象機器

南庁舎地下1階

ガス灯油切替型吸収式冷温水発生機 三菱重工製; MGMT-45C(C・E・V)型 2基

新庁舎地下3階

ガス灯油切替型吸収式冷温水発生機 三菱重工製; MGRT-18B(B・C・E)型 2基

飯倉別館地下1階

ガス直焚き吸収式冷温水発生機 ダ件工業製; ADGE210KP型 1基

(4) 特記事項

- ①各冷温水発生機に設置の測定口より3点の測定を行う。
- ②測定は執務時間中の平日に行うものとし、庁舎の空調に影響を及ぼさないよう効率よく行う。
- ③業務の実施にあたり、予め作業予定等について係官と打合わせること。
- ④ばい煙測定完了後は、測定結果報告書2部及び測定写真1部を係官に提出すること。

(5) 業務実施時期

8月、2月

19. 空気環境測定他業務

(本省庁舎・飯倉別館)

(1) 業務内容

建築物における衛生的環境の確保に関する法律その他関係法規に基づき、定期的に技術者を派遣し室内の空気環境の測定を行う。

(2) 業務仕様

本仕様書及び国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)による。

① 執務環境測定

- 1) 浮遊粉じんの量
- 2) 一酸化炭素の含有率
- 3) 炭酸ガスの含有率
- 4) 温度
- 5) 相対湿度
- 6) 気流

② 健康増進法に基づく空気環境測定(喫煙室)

- 1) 浮遊粉塵の濃度
- 2) 一酸化炭素濃度
- 3) 気流

③ 照度測定

④ アスベスト粉塵点検、測定

(3) 測定業務

① 執務環境測定 年6回

- 1) 本庁舎 室内 44点、外気 2点
- 2) 新庁舎 室内 23点、外気 2点
- 3) 飯倉別館 室内 7点、外気 2点

② 健康増進法に基づく環境測定 年6回

- 1) 本庁舎 喫煙室 8カ所
喫煙室境界 8点

③ 照度測定 年2回

前記①の室内測定点付近において照度測定を行う。

④ アスベスト点検、測定 年1回

北庁舎地下1カ所の測定を行う。

(4) 特記事項

① 執務室空気環境測定等において、著しく測定値の悪化している場合は直ちに係官に報告し、改善をはかること。

② 各測定報告は速やかに、その都度、係官に報告し承認を得た後、ファイルに製本の上、提出する。

20. 1. 受変電設備定期点検整備

(本省庁舎)

(1) 業務内容

本業務は、本省庁舎内の電気設備を電気事業法等に基づき定期点検整備を行うものである。

(2) 業務仕様

点検整備は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び製造者等の点検基準に基づいて責任をもって行う。

(3) 対象設備 (概要別紙)

①受変電設備点検整備	特高設備	22kV	ループ式受電	1式
②	”	高圧設備		1式
③	”	低圧設備		1式
④直流電源設備				1式
⑤太陽光発電設備 (50kw+30kw+20kw)				1式
⑥非常用自家発電設備				1式
⑦無停電電源設備				1式
⑧新庁舎中央監視設備				1式

(4) 特記事項

①停電を伴う点検は9月第2週の土曜日とし、停電時間は8時から18時までとする。

但し、各種事情により日程変更する場合がある。

②点検業務は一部執務室において、発電機等により送電を行う執務室があるため、業務計画を作成し担当官と打ち合わせの上業務にあたる。

③非常用発電機設備等は消防法による総合点検を含むものとし、その報告書を提出する。

④停電時及び復電時には非常用発電設備の連動負荷試験を行う。

⑤点検及び部品等の取替は、機器の点検及び部品交換の実績のある技術者又は製造者等が行う技術研修等を受けた技術者により行う。

⑥点検中に発見される、ランプの切れ等の軽微な交換は、点検業務内で取替える。

⑦停電時に執務室の非常照明点検を行う。

⑧停電に伴い一部執務室の仮設電源配線及び仮設TV配線を行う。

⑨直流電源装置蓄電池取替、無停電電源装置蓄電池取替工事が別途発注予定であるため作業工程を検討すること。

⑩作業完了後速やかに報告書2部を作成、作業工程写真(デジタル写真、カラー)

印刷可) をアルバム等に製本の上 1 部提出する。

⑪非常用発電機稼働に伴う、燃料は外務省が負担する。

(5) 業務時期

全て 7 月以降

停電業務は 7 月以降の土曜日を予定

20. 2. 受変電設備定期点検整備

(飯倉別館)

(1) 業務内容

本業務は、飯倉別館の電気設備を電気事業法等に基づき定期点検整備を行うものである。

(2) 業務仕様

点検整備は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び製造者等の点検基準に基づいて責任をもって行う。

(3) 対象設備

- ①受変電設備点検整備 高圧設備 1式 (概要別紙)
- ② " 低圧設備 1式 (概要別紙)
- ③直流電源設備 1式 (概要別紙)
- ④非常用自家発電設備 1式 (概要別紙)
- ⑤太陽光発電設備 (30kw) 1式

(4) 特記事項

- ①停電を伴う点検は2月の土曜日とする。
但し、各種事情により日程変更する場合がある。
- ②非常用発電機設備等は消防法による総合点検を含むものとし、その報告書を提出する。
- ③停電時及び復電時には非常用発電設備の連動負荷試験を行う。
- ④点検及び部品等の取替は、機器の点検及び部品交換の実績のある技術者又は製造者等が行う技術研修等を受けた技術者により行う。
- ⑤点検中に発見される、ランプの切れ等の軽微な交換は、点検業務内で取替える。
- ⑥停電時に執務室の非常照明点検を行う。
- ⑦停電に伴い一部執務室の仮設電源配線及び仮設TV配線を行う。
- ⑧作業完了後速やかに報告書2部を作成、作業工程写真(デジタル写真、カラー印刷可)をアルバム等に製本の上1部提出する。
- ⑨非常用発電機稼働に伴う、燃料は外務省が負担する。

(5) 業務時期 2月

20. 3. 受変電設備定期点検整備

(麻布台別館)

(1) 業務内容

本業務は、麻布台別館の電気設備を電気事業法等に基づき定期点検整備を行うものである。

(2) 業務仕様

点検整備は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び製造者等の点検基準に基づいて責任をもって行う。

(3) 対象設備

- ①受変電設備点検整備 高圧設備 1式(概要別紙)
- ② " 低圧設備 1式(概要別紙)
- ③直流電源設備 1式(概要別紙)
- ④非常用自家発電設備 1式(概要別紙)

(4) 特記事項

- ①停電を伴う点検は2月の土曜日とする。
但し、各種事情により日程変更する場合がある。
- ②非常用発電機設備等は消防法による総合点検を含むものとし、その報告書を提出する。
- ③停電時及び復電時には非常用発電設備の連動負荷試験を行う。
- ④点検及び部品等の取替は、機器の点検及び部品交換の実績のある技術者又は製造者等が行う技術研修等を受けた技術者により行う。
- ⑤点検中に発見される、ラップの切れ等の軽微な交換は、点検業務内で取替える。
- ⑥停電時に執務室の非常照明点検を行う。
- ⑦停電に伴い一部執務室の仮設電源配線及び仮設TV配線を行う。
- ⑧作業完了後速やかに報告書2部を作成、作業工程写真(デジタル写真、カラー印刷可)をアルバム等に製本の上1部提出する。
- ⑨非常用発電機稼働に伴う、燃料は外務省が負担する。

(5) 業務時期 2月

20. 4. 受変電設備定期点検整備

(船橋分室)

(1) 業務内容

本業務は、船橋分室の電気設備を電気事業法等に基づき定期点検整備を行うものである。

(2) 業務仕様

点検整備は本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び製造者等の点検基準に基づいて責任をもって行う。

(3) 対象設備

- ①受変電設備点検整備 高圧設備 1式(概要別紙)
- ② " 低圧設備 1式(概要別紙)
- ③非常用自家発電設備 1式(概要別紙)

(4) 特記事項

- ①停電を伴う点検は2月の土曜日とする。
但し、各種事情により日程変更する場合がある。
- ②非常用発電機設備等は消防法による総合点検を含むものとし、その報告書を提出する。
- ③停電時及び復電時には非常用発電設備の連動負荷試験を行う。
- ④点検及び部品等の取替は、機器の点検及び部品交換の実績のある技術者又は製造者等が行う技術研修等を受けた技術者により行う。
- ⑤点検中に発見される、ランプの切れ等の軽微な交換は、点検業務内で取替える。
- ⑥停電時に執務室の非常照明点検を行う。
- ⑦停電に伴い一部執務室の仮設電源配線及び仮設TV配線を行う。
- ⑧作業完了後速やかに報告書2部を作成、作業工程写真(デジタル写真、カラー印刷可)をアルバム等に製本の上1部提出する。
- ⑨非常用発電機稼働に伴う、燃料は外務省が負担する。

(5) 業務時期

2月

20. 5. 受変電設備定期点検整備

(別紙) 1/6

1. 施設名

中央庁舎非常用自家発電設備

2. 対象設備

1250kVA 非常用ガスタービン発電機

3. 設置場所

中央庁舎地下1階

4. 点検予定時期

10月

5. 設備概要

別紙

6. 点検内容

- (1) 配電盤点検：清掃、端子の締め付け確認、外観点検、絶縁抵抗測定
- (2) 保護継電器点検：特性試験、設定値確認、機能検査
- (3) 真空遮断機点検：清掃、ゆるみ確認、注油、グリス塗布、絶縁抵抗測定
- (4) 交流発電機点検：内部点検、絶縁抵抗測定、軸受グリス給油、
- (5) ガスタービン点検：内部点検確認
- (6) 直流電源盤点検：清掃、緩み確認、充電器点検、蓄電池点検、絶縁抵抗測定
- (7) 総合試験：保護装置連動試験、始動・停止シーケンス試験、AVR 動作確認
- (8) 消防用設備総合点検

機 器 概 要

1. 発電機

型式	EK-AF	出力	1250 (kVA)	極数	4 (P)
電圧	3300 (V)	電流	219 (A)	周波数	50 (Hz)
回転速度	1500 (min ⁻¹)				
製造者	(株)明電舎	製造年	1996年		

2. 制御盤

AVR形式	NAVR-Ea (NO, 52196-1)	製造年	1996年	製造者	(株)明電舎
-------	-----------------------	-----	-------	-----	--------

3. エンジン

型式	M1A-01	出力	1700PS (1258kw) / 15° C 1520PS (1125kw) / 40° C
燃焼器数	1	回転速度	22000/1500 (min ⁻¹)
燃料	灯油	潤滑油種類	タービンオイル120ℓ
製造年	1996年	製造者	川崎重工業(株)

4. 始動用直流電源装置

充電器型式	YNCHNE 480/300	蓄電池型式	SNSX-500
交流入力電圧	三相200V 50Hz	種類	据置鉛蓄電池制御弁式
直流定格出力	66.9V 30A	総電圧	60V
製造番号		容量/数量	500Ah/30セル
製造年	1996年	製造年	2005年
製造者	(株)明電舎	製造者	(株)GS17サハワ-サブライ

1. 施設名
北庁舎非常用自家発電設備
2. 対象設備
1000kVA 非常用ガスタービン発電機
3. 設置場所
西別館地下1階
4. 点検予定時期
10月
5. 設備概要
別紙
6. 点検内容
 - (1) 配電盤点検：清掃、端子の締め付け確認、外観点検、絶縁抵抗測定
 - (2) 保護継電器点検：特性試験、設定値確認、機能検査
 - (3) 真空遮断機点検：清掃、ゆるみ確認、注油、グリス塗布、絶縁抵抗測定
 - (4) 交流発電機点検：内部点検、絶縁抵抗測定、軸受グリス給油、
 - (5) ガスタービン点検：内部点検確認
 - (6) 直流電源盤点検：清掃、緩み確認、充電器点検、蓄電池点検、絶縁抵抗測定
 - (7) 総合試験：保護装置連動試験、始動・停止シーケンス試験、AVR 動作確認
 - (8) 消防用設備総合点検

機 器 概 要

1. 発電機

型式	EK-AF	出力	1000 (kVA)	極数	4 (P)
電圧	3300 (V)	電流	175 (A)	周波数	50 (Hz)
回転速度	1500 (min ⁻¹)				
製造者	(株)明電舎	製造年	1996年		

2. 制御盤

AVR形式	NAVR-Ea (NO.52196-1)	製造年	1996年	製造者	(株)明電舎
-------	----------------------	-----	-------	-----	--------

3. エンジン

型式	M1A-01	出力	1700PS (1258kw)/15° C 1520PS (1125kw)/40° C
燃焼器数	1	回転速度	22000/1500 (min ⁻¹)
燃料	灯油	潤滑油種類	タービンオイル120ℓ
製造年	1996年	製造者	川崎重工業(株)

4. 始動用直流電源装置

充電器型式	YNCHNE 480/300	蓄電池型式	MSE-500
交流入力電圧	三相200V 50Hz	種類	陰極吸収ソール形鉛電池
直流定格出力	66.9V 30A	総電圧	60V
製造番号		容量/数量	500Ah/30セル
製造年	1996年	製造年	2005年
製造者	(株)明電舎	製造者	(株)GS17サハラワーザライ

1. 施設名

新庁舎非常用自家発電設備

2. 対象設備

2000kVA 非常用ガスタービン発電機

3. 設置場所

新庁舎地下2階

4. 点検予定時期

10月

5. 設備概要

別紙

6. 点検内容

- (1) 配電盤点検：清掃、端子の締め付け確認、外観点検、絶縁抵抗測定
- (2) 保護継電器点検：特性試験、設定値確認、機能検査
- (3) 真空遮断機点検：清掃、ゆるみ確認、注油、グリス塗布、絶縁抵抗測定
- (4) 交流発電機点検：内部点検、絶縁抵抗測定、軸受グリス給油、
- (5) ガスタービン点検：内部点検確認
- (6) 直流電源盤点検：清掃、緩み確認、充電器点検、蓄電池点検、絶縁抵抗測定
- (7) 総合試験：保護装置連動試験、始動・停止シーケンス試験、AVR 動作確認
- (8) 消防用設備総合点検

7. 部品交換

- ①燃料フィルター 2個
- ②潤滑油フィルター 2個
- ③機側潤滑油温度計 2個
- ④タコ基板 2枚
- ⑤EGT基板 2枚
- ⑥オイル温度基板 1枚
- ⑦スタート・ストップ基板 1枚
- ⑧アラーム・トリップ基板 1枚
- ⑨リレー基板 1枚
- ⑩マグネットコンタクト 4個
- ⑪その他前記交換に伴う消耗品、軽微な部品

機 器 概 要

1. 発電機

型式	CFC-D	出力	2000 (kVA)	極数	4 (P)
電圧	415/240 (V)	電流	2782 (A)	周波数	50 (Hz)
回転速度	1500 RPM				
製造者	三菱電機(株)	製造年	1994年		

2. 制御盤

形式	JEM-1265-E級	製造年	1994年	製造者	三菱電機(株)
----	-------------	-----	-------	-----	---------

3. エンジン

型式	M1T-01	出力	2960PS/40° C 3200PS/15° C
燃焼器数	2	回転速度	22000/1500 (min ⁻¹)
燃料	灯油	潤滑油種類	タービンオイル180ℓ
製造年	1996年	製造者	川崎重工業(株)

4. 始動用直流電源装置 (2組)

充電器型式	CEG(TTFC60-20)	蓄電池型式	MSE-500X30
交流入力電圧	三相200V 50Hz	種類	陰極吸収シール形鉛電池
直流定格出力	66.9V 30A	総電圧	60V
製造番号		容量/数量	500Ah/30セル
製造年	1996年	製造年	2005年
製造者	(株)アサコーポレーション	製造者	(株)アサコーポレーション

各階電気室 真空遮断器点検機歴及び点検周期表【案】 1/2

●: 点検実績【普通点検】 ○: 普通点検案 ▲: 点検実績【細密点検】 △: 細密点検案 ■: 部品交換案 ★: 更新推奨

項	機 器 名	盤番号	子ハイス	形 式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
1	1号受電盤	[G1]	52R1		MB4818DS-1		●	▲			●		△				○		△			○				★
2	2号受電盤	[G2]	52R2		MB4818DS-2		●	▲			●		△				○		△			○				★
3	新庁舎(常用)鉄電盤	[G6]	52F1	VJ-22	MB4818DS-4		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
4	新庁舎(予備)鉄電盤	[G7]	52F2		MB4818DS-6		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
5	1号変圧器一次盤	[G8]	52P1		MB4818DS-3		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
6	2号変圧器一次盤	[G9]	52P2		MB4818DS-5	2003	●	▲			●		○	△			○		△			○				★
1	1号受電盤	[G1]	89R1		636006		●	▲			●		△				○		△			○				★
2	2号受電盤	[G2]	89R2		636004		●	▲			●		△				○		△			○				★
3	バイパス遮断器盤	[G3]	89BY	LI-2R 【電動操作】	636008		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
4	VCT盤	[G4]	89BU1		636007		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
5	VCT負荷遮断器盤	[G5]	89BU2		636005		●	▲			●		○	△			○		△			○				★

項	機 器 名	盤番号	子ハイス	形 式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
1	152F1:北庁舎(本線)	[H1A]	152F1		MB4842DS-1		●	▲			●		△				○		△			○				★
2	152F2:冷却水ポンプ	[H1B]	152F2		MB4842DS-2		●	▲			●		△				○		△			○				★
3	152F3:常用動力NO.1	[H2A]	152F3		MB4842DS-3		●	▲			●		△				○		△			○				★
4	152F4:常用動力NO.1~3	[H2B]	152F4		MB4842DS-4		●	▲			●		△				○		△			○				★
5	152F5:予備	[H3A]	152F5		MB4842DS-5		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
6	152FC:コンデンサ	[H3B]	152FC		MB4842DS-6		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
7	152S:1号変圧器2次	[H4]	152S		MB4842DS-7		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
8	152B:母線連絡	[H5B]	152B		MB4842DS-8		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
9	252F1:常用動力NO.4~6	[H6B]	252F1		MB4842DS-9		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
10	252F2:常用動力NO.2	[H7A]	252F2	VBWD-6213B-M	MB4842DS-10	2003	●	▲			●		○	△			○		△			○				★
11	252F3:常用動力NO.3	[H7B]	252F3		MB4842DS-11		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
12	252F4:北庁舎(予備)	[H8A]	252F4		MB4842DS-12		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
13	252F5:常用動力NO.4	[H8B]	252F5		MB4842DS-13		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
14	252S:2号変圧器2次	[H9]	252S		MB4842DS-14		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
15	252FC:コンデンサ	[H10A]	252FC		MB4842DS-15		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
16	252B:母線連絡	[H10B]	252B		MB4842DS-16		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
17	352F1:非常電灯	[H11B]	352F1		MB4842DS-17		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
18	353F2:非常動力	[H12A]	353F2		MB4842DS-18		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
19	353F3:予備	[H12B]	353F3		MB4842DS-19		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
20	353F4:車庫棟	[H13A]	353F4		MB4842DS-20		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
21	352F5:発電機連絡	[H13B]	352F5		MB4842DS-21		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
22	452F1:冷却水ポンプ	[H16B]	452F1		MB4842DS-22		●	▲			●		○	△			○		△			○				★

項	機 器 名	盤番号	子ハイス	形 式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24
1	コンデンサ盤1-1	[HC1]	142C1		MB4843DS-1		●	▲			●		△				○		△			○				★
2	コンデンサ盤1-2	[HC2]	142C2		MB4843DS-2		●	▲			●		△				○		△			○				★
3	コンデンサ盤1-3	[HC3]	142C3		MB4843DS-3	2003	●	▲			●		△				○		△			○				★
4	コンデンサ盤2-1	[HC4]	242C1	VSM-625EB-5	MB4843DS-4		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
5	コンデンサ盤2-2	[HC5]	242C2		MB4843DS-5		●	▲			●		○	△			○		△			○				★
6	コンデンサ盤2-3	[HC6]	242C3		MB4843DS-6		●	▲			●		○	△			○		△			○				★

各階電気室 真空遮断器点検履歴及び点検周期表【案】 2/2

●：点検実績【普通点検】 ○：普通点検案 ▲：点検実績【細密点検】 △：細密点検案 無印：簡易点検案 ■：部品交換案 (88M (SRD-M4), 52Y (G168-312D1=1))は7/17(火)に100022-B), E-C-X (60FA-10 10A) ★：更新推奨

4. 新庁舎 B2F電気室【特高】 真空遮断器、断路器

項	機器名	盤番号	デハイス	形式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24			
1	1号受電盤(常用)	[G1]	52R1		ML9728DS-1		●	▲			●			△			★												
2	2号受電盤(予備)	[G2]	52R2		ML9728DS-2		●	▲			●			△			★												
3	き電盤(常用)	[G4]	52HF1	VBED-2025BC-F		1994			■▲				○				★												
4	き電盤(予備)	[G5]	52HF2							●	■▲				○				★										
5	1号変圧器一次盤	[G6]	52T1					ML9930DS-3		●		■▲					△		★										
6	2号変圧器一次盤	[G8]	52T2					ML9930DS-2		●		■▲					△		★										
1	1号受電盤	[G1]	89R1	DCO-2063FC	8F9084MAX1-1		●		●					○		★													
2	2号受電盤	[G2]	89R2	DCO-2063FC	8F9084MAX1-2		●		●					○		★													
3	断路器盤	[G3]	89P	DCO-2063FC(電動)	8F9084MAX-2		●	▲					△			★													

5. 北庁舎 B1F電気室【高圧】 真空遮断器

項	機器名	盤番号	デハイス	形式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24				
1	152S1-2:引込盤(本線・予備線)	[H1]	52S1		MB4842DS-23		●	▲			●			△			○										★			
2	152S1-2:引込盤(本線・予備線)	[H1]	52S2		MB4842DS-24		●	▲			●			△			○										★			
3	152S:受電盤	[H2]	152S		MB4842DS-25		●	▲			●			△			○										★			
4	152F1:常用電灯NO.1~3	[H3A]	152F1		MB4842DS-26		●		▲					△				○									★			
5	152F2:予備	[H3B]	152F2		MB4842DS-27		●		▲					△				○									★			
6	152F3:常用動力NO.1	[H4A]	152F3	VBND-6213B-M		2003	●		▲					△				○									★			
7	152F4:常用動力NO.2	[H4B]	152F4					MB4842DS-28		●		▲					△				○									★
8	152B:母線連絡	[H5B]	152B					MB4842DS-30		●		▲					△				○									★
9	252F1:非常電灯NO.1~3	[H6B]	252F1					MB4842DS-31		●		▲					△				○									★
10	252F2:非常動力	[H7A]	252F2					MB4842DS-32		●		▲					△				○									★
11	252F3:西列館	[H7B]	252F3					MB4842DS-33		●		▲					△				○									★
12	252F4:発電機連絡	[H8B]	252F4					MB4842DS-34		●		▲					△				○									★

●：点検実績【普通点検】 ○：普通点検案 ▲：点検実績【細密点検】 △：細密点検案 無印：簡易点検案 ■：部品交換案 (88M (SRD-M4), 52Y (MG2B32875-3), E-C-X (60FA-5 5A) ★：更新推奨

6. 西別館 電気室【高圧】 真空遮断器

項	機器名	盤番号	デハイス	形式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	
1	高圧受電盤		52	VB.ID-6213BC-C-S	MB4889DS	2003	●	▲			●			△			■	○									★

7. 車庫棟 電気室【高圧】 真空遮断器(富士電機製)

項	機器名	盤番号	デハイス	形式	製造番号	製造年	'05	'06	'07	'08	'09	'10	'11	'12	'13	'14	'15	'16	'17	'18	'19	'20	'21	'22	'23	'24	
1	高圧受電盤		52	HA12X-A1	F3349	2003-10	●		▲				○			△			○								★

メンテナンス計画(定期交換部品周期表)

MEISVY-BC/UX600 外務省受変電設備中央監視操作卓(1995年2月納入)

部品名(型式)	個数	交換 周期 (年)	年 度														
			00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	
1 冷却ファン																	
1:ユニットファン(BOS/BIS用) AFN02/12	2台	3		○	△	△	△	△	△	●				○			○
2 電源																	
1:中央演算処理装置(BOS用) MVZ88Z	1台	10							○	△	●						
2:インターフェース装置(BIS用) MVZ88Z	1台	10										●					
3:メンテナンス用 MS-9-24	2台	10							○	△	●						
4:リモートステーション(ロジック用+5V,10A) MS-10-5	5台	10							○	△	●						
5:リモートステーション(ロジック用+5V,11A) MS-11-5	1台	10							○	△	●						
6:リモートステーション(伝送用+5V,9A) MS-9-5	6台	10							○	△	●						
7:リモートステーション(PI/O用+24V,10A) MS-10-24	6台	10							○	△	●						
8:リモートステーション(アナログ用±15V,10A) MS-10-15	2台	10							○	△	●						
3 周辺装置																	
1:ハードディスク DK328H-43	2台	5						○	△	△	●						
2:21インチG-CRT画像部 RDT202H(代替FlexScanL997)	1台	4									●			○			
3:カラープリンタ LBP-5500	1台	7									●						○
4:UPS/バッテリー MB606 II	2台	3				●				○	●			○			○
<p>○印:交換時期 ●印:交換実施 ◎印:交換要(来年度) △印:交換未実施 現在UPS本体は製造中止となっており、代替UPSは、BH60PCWを選定。</p>																	

ADC4000 外務省受変電設備監視操作卓コントローラ(1994年納入)

	部品名(型式)	個数	交換 周期 (年)	年 度															
				00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13		
1	メモリアップ用バッテリー (型式:SU38A40157=1) GP盤	1個	5								●					○			
2	冷却ファン単体 100V,11/10W (型式:S12BL10-G)スタイルファン製 GP盤	1台	3	○	△	△	△	△	△	△	●					○		○	
3	ファンセンサー単体 AC100V (型式:L0L2-A10) スタイルファン製 GP盤	1台	3	○	△	△	△	△	△	△	●					○		○	
4	ADC4000プロセッサ用電源 (型式:PS400) GP盤	1台	10					○	△	△	●								
5	RIO420用電源 (型式:PS200A→代替PS200B) RIO盤	1台	10					○	△	△	●								
6	トランシーバユニット 型式:ATU12/10 GP盤	1台	10					○	△	△	●								
7	電源装置(RIO50供給用) 24V,7.5A(型式:MS-12-24) GC盤	1台	10					○	△	△	●								
8	電源装置(RIO420入出力電源供給用) 24V,7.5A(型式:MS-12-24) RIO盤	1台	10					○	△	△	●								
9	補助リレー HC4-DC24V-D GC盤	1個	10~15															●	
10	タイマー H3M-B DC24V GC盤	1個	10~15																●
11	補助リレー FRL233 D024/4WA2 RIO盤	80個	10~15																●
12	補助リレー FRL233 D024/4WA2-A RIO盤	6個	10~15																●
13	ヒューズ P430 3A GC盤	14個	10~15																○

○印:交換時期 ●印:交換実施 ◎印:交換要(来年度) △印:交換未実施

2 1. 自動扉定期点検保守業務

(本省庁舎・飯倉別館・麻布台別館)

(1) 業務内容

本業務は、本省庁舎、飯倉別館（外交史料館）及び麻布台別館の自動扉を常時使用に支障ない状態に維持するため定期的に保守点検を行う。

(2) 業務仕様

下記対象設備を本仕様書、国土交通省官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」（最新版）及びメーカー等の基準に基づき保守、点検を責任をもって行う。

(3) 対象設備概要

①本省庁舎

- a. 中央庁舎正面玄関風除室自動扉
内外 DS-75SW（引き分け） ㈱ナブコ製
- b. 中央庁舎 1階中庭側通用口
SMD-51（片引き）三和シャッター(株)製
- c. 北庁舎東玄関風除室自動扉
内外 DS-41D（引き分け） ㈱ナブコ製
- d. 北庁舎北玄関（2階）風除室自動扉
内 DS-21D（引き分け）、DS-75D（引き分け） ㈱ナブコ製
- e. 北庁舎 1階搬入口自動扉
DS-75D（引き分け） ㈱ナブコ製
- f. 北門電動門扉
SND-200 特型 ㈱ナブコ製
- g. 南庁舎玄関風除室自動扉
内外 DS-150S（引き分け）(株)ナブコ製
- h. 南庁舎 3階廊下自動扉
DS-60D（引き分け） ㈱ナブコ製
- i. 南庁舎 2階通用口自動扉
SMD-51（引き分け）三和シャッター(株)製
- j. 南門電動門扉
扶桑電機工業(株)製
- k. 新庁舎北側 1階通用口
SMD-51（片引き） 三和シャッター(株)製
- l. 新庁舎南側 1階通用口
SMD-51（片引き） 三和シャッター(株)製

②飯倉別館

- 外交史料館風除室自動扉
内外 DS-41（引き分け）(株)ナブコ製

③麻布台別館

a. 玄関風除室自動扉

内外 DS-41 (引き分け) ㈱ナブコ製

b. 電動門扉

3mX14m (伸縮片引き) ㈱ナブコ製 特型

(4)特記事項

①本業務はフルメンテナンスとし、範囲は以下のとおり。

1)出張費 2)技術費 3)ヒューズ 4)作動オイル 5)潤滑油

6)標準ライナー 7)ボルト、ビス類 8)ドアハンガー 9)ベルト

10)プーリー 11)センサー 12)ハンガーレール 13)補助センサー

14)連結機構 15)ドアエンジン(モーター) 16)コントローラー

②点検業務は原則執務日執務時間中とするが、故障、障害等による修理要請の場合は速やかに技術員を派遣する。

③業務終了後は報告書を提出する。

④点検に伴い発生する、部品の交換等の発生材は受注者が適法に処分する。

(5)業務の時期

6、9、12、3月

2.2. 加湿用補給水槽清掃・水質検査

(本省庁舎)

(1) 業務内容

新庁舎8階機械室設置の加湿用補給水槽を清掃し水質検査を行う。

(2) 業務仕様

①加湿用補給水槽清掃 鉄製1m²×2基

②末端加湿装置の滴下管より採水し水質検査を行う。

検査項目は一般細菌、大腸菌、レジオネラ菌の3項目2検体とする。

(3) 対象設備

①加湿用補給水槽 鉄製1m²×2基

②空調用滴下浸透気化式加湿装置

(4) 業務時期

10～11月 年1回実施

23. 空調用滴化式加湿装置点検整備

(本省庁舎)

(1) 業務内容

滴下浸透気化式加湿装置を常時使用に支障ない状態に保ち、設備の機能が円滑に運営できるよう点検整備を行うものである。

(2) 点検内容

- ① ストレーナー清掃 (減圧弁含む)
- ② 加湿モジュール洗浄
- ③ 給水ヘンダのノズル洗浄
- ④ 電磁弁等作動状態確認

(3) 対象設備

北庁舎 AC-N-1 ~ AC-N-14 計 14 台
新庁舎 ACU-B1-1 ~ ACU-7-3 計 21 台

(4) 業務時期

10~11月 年1回実施

1. 業務件名：電話交換機設備保守業務

2. 保守事項

- (1) 下記の構内に設置された自動電話交換機及びこれに接続されたすべての機器、配線の機能について、本仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」(最新版)及び各メーカー等の基準に基づき保守・点検を行い、常時正常に作動するよう調整を行うこと。

3. 保守対象設備

- (1) 外務省本省構内自動電話交換設備 : 1 式
(2) 外務省飯倉別館・外交史料館構内自動電話交換設備 : 1 式
(3) 外務省麻布台別館構内自動電話交換設備 : 1 式

4. 保守体制

外務省本省：常駐保守

次の2つの勤務形態を同時に満たすこととする。

- (1) 勤務時間：平日午前9時00分より午後5時45分まで
2名以上の常駐保守とする。
(2) 勤務時間：平日午前9時30分より午後6時15分まで
1名以上の常駐保守とする。

※平日日中時間帯は3名以上の常駐保守とする。

飯倉別館・外交史料館、麻布台別館：巡回保守

巡回保守作業は、毎月1回、平日の勤務時間内で実施する。但し、やむを得ない事由により時間外作業を行う場合は係官と協議を行いその指示に従うこととする。

5. 記録事項

- (1) 定期点検整備と診断
(2) 点検報告書の提出(保守・出勤者日報(本省以外は月報)、時間外作業日報等)
(3) 台帳整備と管理(ローカル線番台帳、内線管理台帳、障害記録管理台帳、作業記録管理台帳、交換設備実装収容図、電話機配置図面、MDF収容管理台帳、発信記録データ管理表)
(4) 依頼事項の対応
(5) 課金月報レポートをCD-ROM(正・副)で保管する。(外務省本

省のみ)

6. 官給材の支給

保守上、特に必要とする電話設備等のうち下記のものに限り、支給物品として要求があれば支給する。

(1) 経年経過等により自然消耗又は性能劣化したものと認められるもの。

蓄電池及び充電器に必要な補修部品、但し、蓄電池は取扱不良による破損は請負者の負担とするものの、この場合は状況により責の何れかは係官と協議する。

7. その他の作業事項

(1) 契約に含まれるものは次の通り

(イ) 24時間365日故障受付窓口を有し、各庁舎内の電話設備に不具合が生じた場合は、昼夜を問わず速やかに保守技術員を派遣して故障の原因を分析及び事故復旧作業に努めること。又、地震等災害時には、会計課管理室係官の指示及び外務省が定める「災害時対応マニュアル(庁舎復旧班の業務マニュアル)」の定めに従い、電話交換機及び通信の復旧に努めることとする。

(ロ) 保守対象設備の主要部品を保有し、緊急の障害の際にも速やかに障害部品の交換が可能な体制をとること。

(ハ) 人員の増減及び執務室内で生ずる簡易な電話機の新設、移設、撤去変更等。(外務省本省庁舎のみ)

(ニ) 電話機械室内の塵埃の飛散防止のため充分なる清掃及び不要な線材や部品等その他保守にかかわる電話機械類の手入れや整理整頓。

(ホ) 保守対象以外の官給材となるものの請求、受入。

(ヘ) 保守対象設備における故障修復作業については、一次対応を実施し、速やかな修復を実施し、重故障等発生時は、関連メーカー、技術者との連携を図り、原因追及及び速やかな修復を実施する。

(ト) 現状構成で不明点がある場合は、既存設備構築業者に確認のうえ迅速に対応すること。

(チ) 電話機等、端末機器不具合発生時は、現地にて処置、又は部品交換を実施する。

(2) 契約に含まれないものは次の通り、

(イ) 通常の保守をもってしても、日限の定め又は時間制限により作業上困難と認められる物は別途とする。

(ロ) 善良なる保守を行い、保守作業の責に起因しないものと認められる

電話移設の重故障、破損等の復旧工事は別途とする。

(ハ) 通常の保守においても尚必要と認められるオーバーホール等は別途とする。

(3) 経費の負担区分

(イ) 外務省が負担する経費は次の通り

- ・ 作業に必要な光熱、水道及びガス料金
- ・ 業務上の電話料金

(ロ) 請負者が負担する経費は次の通り

- ・ 保守作業に必要な工具及び線材等の消耗品
- ・ 従業員の作業服

8. 時間外作業に係る作業単価（外務省本省庁舎のみ）

(1) 外務省本契約担当官と協議の上、定めるものとする。

設備概要

1. 外務省本省構内自動電話交換設備（NEC製）

(1) APEX7600—180電話交換機（7架）	1式
(2) 蓄電池設備	1式
(3) 整流装置	1式
(4) 保守用コンソール	1式
(5) 障害記録装置	1式
(6) 課金装置	1式
(7) PC中継台	7台
(8) デジタル多機能電話機（3400台程度）	1式
(9) 一般アナログ電話機（750台程度）	1式
(10) IP電話機（75台程度）	1式
(11) ボタン電話主装置	1式
(12) SW—HUB（給電機能付き）	4台
(13) SW—HUB（給電機能なし）	2台
(14) 光メディアコンバータ	4台
(15) アナログメディアコンバータ	5台
(16) たっち録EX	1台
(17) HYPER VOICE LIGHT	3台

2. 外務省飯倉交換及び外交史料館構内自動電話交換設備

(1) ボタン電話主装置	1式
(2) 電源装置（ボタン電話主装置内蔵型）	1式
(3) デジタル多機能電話機	1式
(4) 一般アナログ電話機	1式

3. 外務省麻布台別館構内自動電話交換設備

(1) ボタン電話主装置	1式
(2) 電源装置（ボタン電話主装置内蔵型）	1式
(3) デジタル多機能電話機	1式
(4) 一般アナログ電話機	1式

業務件名 自動火災報知設備等保守業務

場 所

- | | |
|----------------------------|------------------|
| (1) 外務省本省 | 東京都千代田区霞が関 2-2-1 |
| (2) 飯倉別館・外交史料館・
外交史料館別館 | 東京都港区麻布台 1-5-3 |
| (3) 麻布台別館 | 東京都港区麻布台 1-8-18 |
| (4) 船橋分室 | 千葉県船橋市西船 7-11-2 |

延床面積 約 92,903 m²

要 項

外務省所管建物の以下の設備を、常時使用に支障を来さないため本仕様書、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築保全業務共通仕様書」及び消防法、建築基準法等の関係法規を遵守し実施するものとし、また、各機器の状態を把握し長期的な観点からも保守業務に当たり、庁舎全般における防災設備の助言を行うものとする。

また、当省が行う防災訓練（水消火器等の無償貸出及び立ち会い）、消防署への届出書類の提出、査察等の際の立会協力を行い、必要に応じ職員に対する機器の操作等の訓練の助言を行う。

【特記事項】

- (1) 点検業務は、事前に作業予定表を提出し外務省係官（以下「係官」という）の承認を受けること。

なお、外務省の都合により点検の日程が変更となる場合がある。

- (2) 点検の内容（サイレン、ベルの鳴動試験、厨房の点検等）によっては閉庁日に行う場合もある。

- (3) 点検に必要な材料は請負者の負担とする。また、自動火災報知設備、誘導灯設備における信号等（配線点検）についても確認を行う。

(4) 点検時の放出等は消防法等に定められたものを放出し、その詰め替え等に係わる復旧費は本契約に含む。

(5) 障害等が発生した場合は、速やかに技術員を派遣し復旧に努め、または応急処置を行い、原因を究明し係官に報告し、改修等が必要である場合は別途見積書を提出する。

(6) 点検中に発見した以下の不具合等の整備は本契約に含む。

①点検中に必要となったランプ等の消耗品。

②消火器、標識盤等の表示板の脱落補修。

(7) 外務省の都合により点検の必要がなくなった設備について、変更契約が発生する場合がある。

また、本契約以外の追加又は変更契約等を行う場合がある。

(8) 各建物の点検月は7月及び1月とする。

(9) 点検終了後、1ヶ月以内に点検報告書を係官へ提出すること。

1. 外務省本省（設置場所：東京都千代田区霞が関）

(1) 北庁舎

(a) 建物概要

昭和35年竣工

地下2階、地上8階

(b) 保守対象設備内容

①自動火災報知設備

(居室内)

受信機R型1級392回線	1台
副受信機(表示機)	1台
差動式スポット型感知器	369個
定温式スポット型感知器	19個
煙感知器	78個
発信機	39個
アナログ感知器(熱)	13個
音響装置(電鈴)	8個
消火栓起動連動装置	1式
常用電源	1式
予備・非常電源	1式
煙感知器(アナログ式)	88個

②ハロゲン化物消火設備(地下1階図書庫)

ハロゲン容器	13本
容器弁開放器(電磁式)	1個
“(ガス圧式)	13個
起動用小容器	1台
起動用操作函	2個
スピーカ	2個
音声盤	1台
連動盤	1台
電源装置	1式
圧力スイッチ	1個
放出表示灯	2個
へッ	8個
作動試験	1式
放出試験	1式

③消火器具（北庁舎及び外部）

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 91本	外観	102本	102本
	機能	10本	10本
	放射	5本	5本
粉末消火器 50型 3本	外観	3本	3本
	機能	1本	1本
	放射	0本	1本
中性強化液 3型 5本	外観	9本	9本
	機能	1本	1本
	放射	0本	1本

④誘導灯設備

誘導階段（誘導階段兼誘導）	導路非常誘導標	灯導（導明）識	30個（避難口C級25個） 41個（通路C級5個）
			24枚（避難口）

⑤防火扉設備

G R 型 受信機器	1面
煙感感知器	69個
熱感感知器	16個
防火扉（煙感連動式）	53台
防火扉（手動式）	3台
防火シャッター	19台
防煙スクリーン	44台

⑥避難器具設備（8階食堂等）

救助袋（垂直）	2台
---------	----

⑦簡易自動消火装置（8階食堂）

制御盤	5台
装置本体	5台
感知器	21個
ノーダ手電	26個
警報装置	5台
報知装置	5個
警報装置	5式
報知装置	5台

作 動 試 験	1 式
⑧ 自家発電設備	
※ガスタービン (1000KVA)	1 式
(※西別館内は機能点検のみ実施)	
制 御 盤	1 台
連 動 試 験	1 式
⑨ 屋内消火栓設備及び連結送水管設備	
ポ ン プ モ ー タ ー	1 台
呼 水 装 置	1 式
屋 内 消 火 栓	3 7 基
消 防 隊 専 用 (放 水 口)	2 2 基
起 動 用 ス イ ッ チ	3 7 個
表 示 灯	3 7 個
送 水 口	2 基
放 水 試 験	1 式
⑩ 非常放送設備 (2階守衛室)	
増 幅 器 (600W)	1 台
遠 隔 装 置	1 台
ス ピ ー カ ー	5 4 2 台
常 用 電 源	1 式
予 備 電 源	1 式
⑪ CRT設備	
操 作 卓	1 台
コ ン ピ ュ ー タ ー	1 台
プ リ ン タ ー 装 置	1 台
テ レ ビ モ ニ タ ー	1 台
無 停 電 電 源 装 置	1 台
⑫ 排煙設備	
排 煙 口	1 台
吸 煙 口	1 台
手 動 装 置	1 個
排 煙 機	1 台

※設置場所は北庁舎1階～西別館地下1階連絡通路及び屋外に排煙機設置

(2) 中央・南庁舎

(a) 建物概要

昭和45年竣工

地下1階、地上8階

(b) 保守対象設備内容

①自動火災報知設備（（ ）内は南庁舎）

(居室内)

副受信機（表示機）	2台（ 1）
差動式スポット型感知器	610個（333）
定温式スポット型感知器	24個（ 12）
煙感知器	136個（ 57）
発信機	48個（ 22）
音響装置（電鈴）	8個（ 5）
熱感知器（アナログ式）	16個（ 8）
煙感知器（アナログ式）	166個（ 88）
煙感知器（アナログ式）	22個（ 8）

②二酸化炭素消火設備（中央庁舎地下変電室）

二酸化炭素容器	73基
容器弁開放器（電磁式）	5個
“（ガス圧式）	73個
容器弁開放器	5個
起動用小容器	5個
起動用操作函	5個
スピーカー	13個
連動盤	1台
表示盤	1台
圧カスイッチ	5個
ダンパー	22個
放出表示灯	14個
選択弁（ガス圧式）	5個
選択弁開放器	5個
ヘッド	44個
動作試験装置	2式
放出試験装置	1式
電源装置	1式
音声装置	1面

③消火器具

【中央庁舎】

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 55本	外観	55本	55本
	機能	6本	6本
	放射	3本	3本
中性強化液 3型 4本	外観	3本	3本
	機能	1本	1本
	放射	0本	1本

【南庁舎】

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 59本	外観	59本	59本
	機能	6本	6本
	放射	3本	3本
粉末消火器 50型 1本	外観	1本	0本
	機能	0本	1本
	放射	0本	0本
中性強化液 3型 1本	外観	1本	0本
	機能	0本	1本
	放射	0本	0本

④誘導灯設備

(中央庁舎)

誘導灯	23個	(避難口B級 2個)
		(" C級 12個)
		(通路B級 4個)
		(" C級 5個)
階段通路誘導灯 (兼非常照明)	25個	
誘導標識板	11枚	
		(避難口 4枚)
		(通路 7枚)

(南庁舎)

誘導灯	28個	(避難口C級 23個)
		(通路C級 5個)
階段通路誘導灯 (兼非常照明)	36個	
誘導標識板	2枚	

⑤屋内消火栓設備及び連結送水管設備

ポンプモーター	1台
操作盤	1面
屋内消火栓	44基
消防隊専用(放水口)	12基
起動用スイッチ	44個
表示灯	44個
送水口	1基
放水試験	1式

⑥非常発電機

ガスタービン(1250KVA)	1式
(機能点検のみ実施)	
制御盤	1台

⑦防火扉設備

煙感知器(アナログ式)	198個(121)
防火扉	63台(37)
防煙スクリーン	60台(50)
熱感知器(アナログ式)	16個(8)
防火シャッター	22台(14)

(3) 新庁舎

(a) 建物概要

平成8年3月竣工、
地下3階、地上8階

(b) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

受信機GR級279/1020回線	1台
差動式スポット型感知器	13個
定温式スポット型感知器	40個
煙感知器	425個
発信機	22個
音響装置(電鈴)	22個
消火栓起動連動装置	1式
常用電源	1式
予備電源	1式

② ガス漏れ火災警報設備

受信機GR型20回線	1台
検知器	5個
検知器警報装置	5個
常用電源	1式
予備電源	1式

③ 誘導灯設備

誘導灯	169個
(避難口C級)	122個)
(通路C級)	47個)
階段通路誘導灯	54個
誘導標識板	26枚(避難口)

④ 防火排煙設備

制御盤R型30回線	1台
煙感知器	69台
防火ダンパー(連動付)	72面
手動装置	80個

	(シャッター及びスクリーン用	37個)
	(排煙口用	43個)
排煙機		2台
非常発電機・操作盤		2台
防火扉S型(連動付)		36個
防火シャッター(連動付)		1個
排煙口		2個
排煙口		45個
排煙窓手動装置		46個
電源装置		1式

⑤非常放送設備

増幅器		1台
作動試験装置		1式
遠隔装置		1台
スピーカ	267	7台
起動装置		1個
非常電話制御盤		1台
非常用電源		1式
予備電源		1式

⑥避難器具設備

5階(緩降機)		1台
6階(緩降機)		1台
7階(緩降機)		1台

⑦屋内消火栓設備及び連結送水管設備

ポンプモーター		1台
呼水装置		1式
操作盤		1台
屋内消火栓	22	基
消防隊専用(放水口)	9	基
起動用スイッチ	22	個
表示灯	22	個
表示盤	1	台
送水口	1	基
放水試験	1	式

⑧スプリンクラー消火設備

ポンプモーター		1台
呼水装置		1式
起動装置		1式
ヘッド	285	個
定温式スポット型感知器		5個

操	作	盤	1台
自	動	警	報
弁	弁	弁	弁
庄	力	検	知
一	斉	開	放
手	動	開	放
表		示	
送		水	
放	水	試	験
			1式

⑨二酸化炭素消火設備

二	酸	化	炭	素	容	器	29本
容	器	弁	開	放	器	(電	磁
						式)	11個
						"	(ガ
						ス	圧
						式)	29個
起	動	用	操	作	函		11個
ス	ピ	一	力	一			13個
音		声		盤			1台
連		動		盤			1台
表		示		盤			1台
圧	カ	ス	イ	ツ	チ		11個
ダ	ン	パ		一			34面
放	出	表	示	灯			28個
選		択		弁			10個
選	択	弁	開	放	器		10個
へ		ツ		ド			36個
作	動	試	験	験			2式
放	出	試	験	験			1式
電	源	装	置				1式

⑩消火器具

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 76本	外観	76本	76本
	機能	0本	0本
	放射	5本	5本

粉末消火器 50型 1本	外観	9本	9本
	機能	1本	1本
	放射	0本	1本
中性強化液 3型 44本	外観	1本	1本
	機能	0本	0本
	放射	0本	0本

※全数 2007 製

⑪非常電源設備

※ガスタービン (2000KVA,) 1 式
 (機能点検のみ実施)
 制御盤 1 台
 連動試験 1 式

⑫簡易自動消火設備 (7階食堂)

制御盤 3 台
 装置本体部 3 台
 感知部 1 1 個
 ダンパー 3 台
 シヤッタ 1 式
 消火薬剤本体 1 0 本
 電源装置 3 台
 押しボタ 3 個
 作動試験 1 式

⑬防火扉設備

防煙スクリーン 3 6 台

(4) 西別館

(a) 建物概要

昭和50年竣工、平成10年改修
地下1階、地上3階建て

(b) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

受信機	1級	10/30	1台
表示機			1台
差動式スポット型感知器			26個
定温式スポット型感知器			11個
煙感知器			44個
発信機	1級		4個
電鈴			6個
常用電源			1式
予備電源			1式

② 誘導灯設備

誘導灯			5台 (避難口C級)
階段通路誘導灯			12台
誘導標識板			1枚

③ 防火排煙設備

制御盤	10回線		1台
煙感知器			6台
防火ダンパー (連動式)			2面
手動装置			3個
排煙機			1台
防火扉S型 (連動式)			6個
排煙口			1個
吸煙口			3個
電源装置			1式

④ FM-200 消火設備

容 器	8 本
容器弁開放器（電磁式）	3 個
" （ガス圧式）	5 個
起 動 用 操 作 函	2 個
ス ピ ー カ ー	3 個
連 動 盤	1 台
電 源 装 置	1 式
圧 カ ス イ ッ チ	1 個
ダ ン パ ー	7 面
放 出 表 示 灯	5 個
へ ッ ド	9 個
熱 感 知 器	8 個
煙 感 知 器	5 個
作 動 ・ 放 出 試 験	1 式

⑤ 消火器具

品 名	種別	第 1 回点検	第 2 回点検
粉末消火器 10型 28本	外観	28本	28本
	機能	4本	4本
	放射	1本	2本
粉末消火器 50型 3本	外観	3本	3本
	機能	0本	1本
	放射	0本	0本

(5) 車庫棟

(a) 建物概要

昭和45年竣工、昭和48年増築
地下1階、地上2階

(b) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

差動式スポット型感知器	331個
定温式スポット型感知器	19個
煙感知器	15個
発信機1級	13個
電鈴	17個

② 誘導灯設備

誘導灯	14個
	(避難口C級5個)
	(通路B級1個)
	(" C級8個)
階段通路誘導灯	7台
誘導標識板	3枚(避難口)

③ 屋内消火栓設備

ポンプモーター	1台
操作盤	1台
屋内消火栓	6基
起動用スイッチ	6個
表示灯	6個
放水試験	1式

④ 泡消火設備

加圧送水装置	1台
自動起動装置	1台
混合装置	1台

泡タンク（操作部共）	1台
流水検知装置	2個
一斉開放弁	66個
手動開放弁	66個
操作盤	1式
表示盤	1式
泡ヘッド	596台
感知ヘッド	212台
薬剤（水成3%）	1式
発泡試験	1式
放水・起動試験	1式

⑤消火器具

粉末10型（加圧式）	29本
強化液3L型	2本

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 29本	外観	29本	29本
	機能	4本	4本
	放射	2本	2本
中性強化液 3型 2本	外観	2本	2本
	機能	0本	1本
	放射	0本	0本

(6) 地下書庫

(a) 建物概要

昭和54年3月竣工
地下1階

(b) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

定温式スポット型感知器	1個
煙感知器	39個
発信機	3個

② 誘導灯設備

誘導灯	7台 (避難口C級)
非常照明及び階段通路	18台

③ 屋内消火栓設備及び連結散水管設備

ポンプモーター	1台
操作盤	1台
屋内消火栓	1基
起動用スイッチ	1個
表示灯	1個
送水口	1基
ヘッド	8個
放水試験	1式

④ ハロゲン化物消火設備

ハロゲン容器	33本
容器弁開放器 (電磁式)	2個
“ (ガス圧式)	31個
起動用操作函	1個
スピーカ	6個
音声盤	1台
連動盤	1台
表示盤	1台

電	源	装	置	1 式		
圧	カ	ス	イ	ツ	チ	2 個
ダ	ン	パ	ー	5 面		
放	出	表	示	灯	2 個	
へ	ッ	ド		2 4 個		
放	出	試	験	1 式		

⑤消火器具

粉末 10 型 (加圧式)

2 本

強化液 3 L 型

4 本

品 名	種別	第 1 回点検	第 2 回点検
粉末消火器 10型 2本	外観	2本	2本
	機能	0本	1本
	放射	0本	0本
中性強化液 3型 4本	外観	4本	4本
	機能	1本	1本
	放射	0本	1本

(7) 免震層

(a) 建物概要

平成15年12月竣工

地下2階

(b) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

受信機	(北庁舎と兼用)	1台
熱感知器		34個
発信機		9台
常用電源		1式
予備電源		1式

② 誘導灯設備

誘導灯		2台 (C級)
通路灯		7台 (C級)

③ 非常放送設備

動作試験機		1式
スピーカ		24台
常用電源		1式
予備電源		1式

2. 飯倉別館・外交史料館・外交史料館別館

(1) 飯倉別館・外交史料館

(a) 設置場所

東京都港区麻布台1-5-3

(b) 建物概要

昭和46年竣工
地下1階、地上3階

(c) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

受信機	1級	34L	1台
表示機			3台
分布型感知器			2個
差動式スポット型感知器			70個
定温式スポット型感知器			39個
煙感知器			96個
発信機			10個
電鈴			14個
(10 + 受信機(1) + 表示機(3))			
消火栓起動連動装置			1式
常用電源			1式
予備電源			1式

② 誘導灯設備

誘導灯		34個
		(避難口C級24個)
		(通路C級10個)

③ ハロゲン化物消火設備 (外交史料館地下書庫)

ハロゲン容器		5本
容器弁開放器 (電磁式)		3個
容器弁開放器 (ガス圧式)		5個
起動用小容器		3本
起動用操作函		3個
スピカ一		3個
連動一盤		1台
圧カスイツ		3個
ダシ		6面
放出表示灯		3個
選択開放弁		3個
選択開放		3個
へ換気装置		13個
電源装置		1式
放出試験 (1本)		1式

煙 感 知 器
防 火 扉 (連 動 付)

4 個
4 台

(2) 外交史料館別館

(a) 設置場所

東京都港区麻布台1-5-3

(b) 建物概要

昭和62年竣工
地上2階

(c) 保守対象設備内容

① 自動火災報知設備

受信機	1級 3/10L	1台
表示器	(守衛室内)	1台
差動式スポット型感知器		19個
定温式スポット型感知器		1個
煙感知器		3個
発信機		2個
電鈴		4個
常用電源		1式
予備電源		1式

② 誘導灯設備

誘導灯	7個 (避難口B級1個) (" C級5個) (通路C級1個)
-----	---------------------------------------

③ ハロゲン化物消火設備 (書庫)

ハロゲン容器	5本
容器弁開放器 (電磁式)	2個
容器弁開放器 (ガス圧式)	5個
起動用小容器	2本
起動用操作函	2個
スピーカー	2個
連動盤	1台
電源装置	1式
圧カスイッチ	1個
ダンプ	8面
放出表示灯	2個
選択弁	2個
へッ	13個
放出試験 (1本)	1式

④ 不活性ガス消火設備 (窒素ガス)

窒素ガス容器	11本
容器弁開放器 (電磁式)	1本

容器弁開放器 (ガス圧式)	1 1 個
起動用小容器	1 個
起動用操作函	1 個
スピカ一盤	2 個
連動盤	1 台
圧カスイツチ	1 個
ダシパ一	3 面
放出表示灯	2 個
へツド	4 個
電源装置	1 式
放出試験 (1 本)	1 式

⑤消火器具

品 名	種別	第 1 回点検	第 2 回点検
粉末消火器 10型 3 本	外観	3 本	3 本
	機能	0 本	1 本
	放射	0 本	1 本
強化液消火器 (2008年製) 3型 1 本	外観	1 本	1 本
	機能	0 本	0 本
	放射	0 本	0 本

3. 麻布台別館

(1) 設置場所

東京都港区麻布台1-8-18

(2) 建物概要

平成9年年竣工
地下1階、地上3階

(3) 保守対象設備内容

①消火器具

品名	種別	第1回点検	第2回点検
粉末消火器 10型 19本	外観	19本	19本
	機能	2本	2本
	放射	1本	1本
二酸化炭素 消火器 2本	外観	2本	2本
	機能	0本	0本
	放射	0本	0本

②二酸化炭素消火設備

二酸化炭素容器	2本
容器弁開放装置(電磁式)	1本
容器弁開放装置(ガス圧式)	1本
操作盤	1個
制御盤	1面
警報盤	1面
スプー	1個
放出表	1個
圧力スイッチ	1個
逆止弁	1個
復旧弁	1個
開口部自動閉鎖装置	2式
ヘッド	1個
動作	1台
放出	1式
試験	1式
試験(1回)	1式

③自動火災報知設備

P型受信機 1級 20回線	1台
P型受信機 1級 5回線	1台
副受信機 (50回線)	1台
差動式スポット型感知器	35個
定温式スポット型感知器	13個
煙感知器	37個
発信機	5個
音響装置 (電鈴)	6個
	(+受信機+表示器)
表示灯	5個

④誘導灯設備

誘導灯	39個
	(避難口C級 10個)
	(通路C級 3個)
	(階段通路 26個)

⑤P型排煙制御設備

制御盤 10回線	1面
煙感知器	16個
防火扉	7枚
ダンパー	1個
シャッター	4枚
排煙窓	1式 (2面)

⑥P型ガス漏れ火災警報設備

受信機 10回線	1面
検知器	4個
警報装置	1式

4. 船橋分室

(1) 設置場所

千葉県船橋市西船 7-11-2

(2) 建物概要

昭和 48 年竣工

地上 2 階

(3) 保守対象設備内容

① 消火器具

品名	種別	第 1 回点検	第 2 回点検
粉末消火器 10 型 10 本	外観	10 本	10 本
	機能	1 本	1 本
	放射	本	1 本

② 不活性ガス（窒素）消火設備

品名	摘要	数量
窒素ガス貯蔵容器ユニット	放出容器ユニット 20.3 m ³ /83Lx10 本	1 式
	加圧容器 0.3 m ³ /5Lx1 本	
選択弁ユニット	CO2 1.0kg/2.1L 起動容器(ソレノイド付)	1 式
	圧カスイッチ、端子箱、定圧遮断器付	
安全装置		1 式
制御盤	3 回線、音声警報装置、蓄電池設備内蔵	1 式
	自動手動切替スイッチ付	
充満表示灯	6 台(9 台)	1 式
スピーカー	3 台(4 台)	1 式
煙感知器	光電式スポット型 2 種、6 個(8 個)	1 式
噴射ヘッド	PN型、7 個(9 個)	1 式
備考:但し、平成 25 年度は二期工事終了に伴い、充満表示灯、スピーカー、煙感知器、噴射ヘッドは()内の数量となる		

I 業務件名

庭園保守管理業務

II 業務場所

1. 外務本省：東京都千代田区霞が関2-2-1
2. 飯倉別館：東京都港区麻布台1-5-3
3. 麻布台別館：東京都港区麻布台1-8-18
4. 船橋分室：千葉県船橋市西船7-11-2

III 目的

本契約は、外務省所管建物の植栽を健全に育成させ、全体的美観を契約期間中保持することを目的とする。(外務本省中庭は設計時の様式(鑑賞式庭園、枯山水)を維持することとする。)

IV 一般事項

1. 業務受託者は作業の実施において、職員及び通行人等への安全対策を十分に考慮する。また、構内の樹木、草花及び施設等を損傷しないよう配慮するとともに、その性質上、関係法令に係る手続等必要な作業を履行する。
2. 年間工程表を作成する。又、作業を行う際は、作業日と作業部分を選定した後作業内容・作業員氏名・仕様車輛等を委託者又は係官に対し書面をもって提示し、許可を得た上で各業務に着手する。
3. 作業に際しては係官と十分に打ち合わせを行い、常に相互協力して紛争等を起こさないよう留意する。
4. 各業務の着手前及び完了後の作業写真を同一地点より撮影し、データ又はファイルに編集のうえ提出する。
5. 各業務終了後、係官に作業報告書を提出する。
6. 各業務終了後、清掃作業を行い、業務によって発生した集積物は請負者によって適法に搬出処分する。
7. 請負者は各業務毎、強風雨・降雪時等の後、及び係官から要請のあった場合には、植栽全体の巡回点検を行い、樹木・芝生・草花の状態を確認し、機能・安全性を損ねる箇所を発見した際には、係官の指示に従いその排除を行う。
8. 農薬・肥料等散布時は、飛散を原因とする健康被害が生じないように、飛散防止に必要な措置を講じる。
9. 各植物の生育状況に応じ、適宜灌水を行い、乾害から保護し良好な生育を確保する。

V 樹木管理業務

1. 剪定

樹木の成長過程、枝葉の伸長肥大、密度の程度を見極め、剪定の方法や分量

を決定し、周囲とのバランス・景観に配慮して実施する。また、安全かつ効果的に行うため剪定時期を考慮する。

(1) 高木剪定（中庭）

樹木は自然形を基本とし、透かし剪定にてその自然な樹形を保つ。従って、刈り込み仕立てや玉作り仕立ては行わない。

(2) 竹管理（中庭）

風雨等により倒れ、又は支柱の外れが生じた場合、伐採・紐で縛る・支柱の復旧等の処置を行う。

(3) 高木剪定（その他）

樹木を造形整枝し、樹種固有の自然な樹型を保つ。

桜の枯れ枝を適宜処理する（本省）。

剪定の手法については、枝透かし・葉透かし等枝葉を主に行い、その他については監督員の指示に従う。

(4) 灌木剪定（中庭）

意図的な灌木の刈り込み部を除き、自然形を基本とし、剪定を行う。ツツジの群植部は、軽い刈り込みを行う。直線的で単調に刈り込むのではなく、刈り込む上面全体に若干のふくらみをつけ、柔らかい表情を出す。

(5) 灌木剪定（その他）

主に樹幹の型姿を整え、樹型美・日照・通風を増加させる。

全体のバランスを考慮し均一に整形する。その他については監督員の指示に従う。

(6) 生垣剪定

樹木を造形整枝し、樹種固有の樹型・人工樹型美を高める。

全体のバランスを考慮し均一に整形する。その他については監督員の指示に従う。

2. 施肥

土壌、時期、各植物ごとの肥料要求量を把握し、適宜実施する。

3. 除草

定期的に巡回し、雑草が小さなうちから除去する。雑草による養分や水分の摂取、日照・通気侵害等樹木育成の妨げを防止するため、雑草を根より取り除く。

（特に春、夏は相当量の雑草が発生するため、計画的に除草を行う。）

4. 病虫害防除

巡回等を充分回数行い、薬剤散布が必要となる以前の対処（病虫害の早期発見、早期対処）を心がける。散布量は、樹冠・樹型・状態に合わせ調整する。

VI 芝生地管理業務

1. 芝刈り

監督員の指示する高さに刈り込み、刈りムラのないよう均一に行う。また、刈り跡はきれいに清掃する。

2. 空気入れ

土壌の通気

3. 目土掛け

焼目土用土を厚さ約 0.5 cm均一に十分すり込み、不陸がある場合は不陸修正となるよう行う。

4. ブラッシング

発生した枯葉・茎等、ブラッシング跡はきれいに清掃する。

5. 施肥

土壌、時期、各植物ごとの肥料要求量を把握し、適宜実施する。

6. 除草

定期的に巡回し、雑草が小さなうちから除去する。芝生の育成空間、受光量、養分の吸収・通気等を制限し、その育成を阻害する雑草を除去する。

(特に春・夏は相当量の雑草が発生するため、計画的に除草を行う。)

7. 病虫害防除

巡回等を充分回数行い、薬剤散布が必要となる以前の対処(病虫害の早期発見、早期対処)を心がける。散布量は、樹冠・樹型・状態に合わせ調整する

VII 白川砂利敷き・砂紋管理作業(中庭)

砂利が乱れた場合は、砂利の敷き込みの下層防草シートが見えぬよう、レーキで掃き整える。

細部の処理は、コウガイ板を使用する。

砂面の清掃を充分回数行い、落ち葉等が混入しない状態を保つ。

樹木リスト

外務省本省（外構）

記号	名 称	形状寸法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
<高木類>								
キ	キンモクセイ	2.3		1.0	本	1.0	常緑広葉樹	
ネ4	ネズミモチ 4	3.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	北側
ネ5	ネズミモチ 5	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	"
ネ7	ネズミモチ 7	4.5		3.5	本	1.0	常緑広葉樹	南側
ネ8	ネズミモチ 8	4.0		3.0	本	1.0	常緑広葉樹	"
ナ7	ナンテン 7	1.5			本	1.0	常緑広葉樹	北側
ト1	トベラ 1	2.0			本	1.0	常緑広葉樹	"
ト2	トベラ 2	2.0			本	1.0	常緑広葉樹	"
ト3	トベラ 3	2.0			本	1.0	常緑広葉樹	"
ト4	トベラ 4	2.0			本	1.0	常緑広葉樹	"
ト5	トベラ 5	2.0			本	1.0	常緑広葉樹	"
ゲ	ゲッケイジュ 1	2.2		0.8	本	1.0	常緑広葉樹	"
バ	バラ	2.5			本	1.0	常緑広葉樹	"
1	サクラ 1	10.0	1.33	8.5	本	1.0	落葉広葉樹	
2	サクラ 2	5.0	0.55	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
3	サクラ 3	5.0	1.17	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
4	サクラ 4	5.0	0.77	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
5	サクラ 5	5.0	0.99	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
6	サクラ 6	8.0	1.09	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
7	サクラ 7	8.0	1.23	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
8	サクラ 8	8.0	1.22	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
9	サクラ 9	8.0	0.86	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
10	サクラ 10	8.0	1.12	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
11	サクラ 11	8.0	0.73	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
12	サクラ 12	8.0	1.01	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
13	サクラ 13	8.0	0.74	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
14	サクラ 14	10.0	2.31	8.0	本	1.0	落葉広葉樹	
15	サクラ 15	8.0	1.69	6.5	本	1.0	落葉広葉樹	
16	サクラ 16	8.0	0.82	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
17	サクラ 17	8.0	0.87	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
18	サクラ 18	8.0	1.62	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
19	サクラ 19	10.0	1.70	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
20	サクラ 20	7.0	0.85	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
21	サクラ 21	7.0	1.68	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
22	サクラ 22	8.0	1.45	8.0	本	1.0	落葉広葉樹	
23	サクラ 23	9.0	1.78	8.0	本	1.0	落葉広葉樹	
24	サクラ(枯) 24	4.0	0.52		本	1.0	落葉広葉樹	枯れ
25	カンザクラ 25	7.0	1.06	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
26	カンザクラ 26	7.0	1.25	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
27	カンザクラ 27	8.0	1.28	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
31	サクラ 31	4.5	0.82	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	池廻り
32	サクラ 32	6.0	1.15	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	池廻り
33	サクラ 33	6.0	1.24	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	池廻り
34	サクラ 34	6.0	1.78	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	北側
35	サクラ 35	6.0	1.76	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	"
36	サクラ 36	6.0	1.02	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	"
39	サクラ 39	8.5	1.95	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
40	サクラ 40	7.5	1.02	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
41	サクラ 41	7.5	1.56	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
42	サクラ 42	7.5	1.71	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
43	サクラ 43	7.5	1.24	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	

樹木リスト

外務省本省（外構）

記号	名 称	形状寸法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
44	サクラ 44	7.5	1.25	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
45	サクラ 45	7.5	1.33	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
46	サクラ 46	7.5	1.31	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
47	サクラ 47	7.5	1.21	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
48	サクラ 48	7.5	1.29	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
49	サクラ 49	7.5	1.15	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
50	サクラ 50	7.5	1.16	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
51	サクラ 51	7.5	1.24	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
52	サクラ 52	7.5	1.21	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
53	サクラ 53	7.5	1.40	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
54	サクラ 54	7.5	1.25	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
55	サクラ 55	7.5	0.65	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
56	サクラ 56	7.5	1.64	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
57	サクラ 57	7.5	1.40	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
58	サクラ 58	7.5	1.13	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
59	サクラ 59	5.0	0.79	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
60	サクラ 60	7.5	1.01	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
61	サクラ 61	7.5	1.38	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
62	サクラ 62	7.0	0.64	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
63	サクラ 63	6.0	0.53	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
64	サクラ 64	7.5	1.35	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
65	サクラ 65	7.5	1.22	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
66	サクラ 66	7.5	1.21	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
67	サクラ 67	7.5	1.41	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
68	サクラ 68	7.5	1.33	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
69	サクラ 69	7.5	1.02	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
70	サクラ 70	7.5	1.39	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
71	サクラ 71	7.5	1.65	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
ヤ1	サクラ (ヤマザクラ) 1	6.0	1.03	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
ヤ2	サクラ (ヤマザクラ) 2	10.5	1.27	7.5	本	1.0	落葉広葉樹	
シ1	サクラ (シダレザクラ)	4.8	0.95	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
ソ1	ソメイヨシノ 1	5.0	0.24	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ2	ソメイヨシノ 2	5.0	0.29	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ3	ソメイヨシノ 3	5.0	0.24	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ4	ソメイヨシノ 4	5.0	0.26	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ5	ソメイヨシノ 5	5.0	0.26	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ6	ソメイヨシノ 6	5.0	0.26	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ソ7	ソメイヨシノ 7	5.0	0.26	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
ヤエ1	ヤエザクラ 1	6.0	0.93	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立、北側
ヤエ2	ヤエザクラ 2	4.5	0.95	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	北側
ヤエ3	ヤエザクラ 3	5.5	0.83	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	北側
モ	モウソウチク 1	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 2	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 3	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 4	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 5	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 6	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 7	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 8	4.5			本	1.0	常緑	
モ	モウソウチク 9	4.5			本	1.0	常緑	

樹木リスト

外務省本省（外構）

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
<灌木類>								
	サツキツツジ				m ²	247.3	常緑	
	ヒラドツツジ				m ²	84.7	常緑	
	クルメツツジ				m ²	96.0	常緑	
	カンツバキ				m ²	36.0	常緑	
	オオムラサキツツジ				m ²	17.5	常緑	
	ドウダンツツジ				m ²	151.0	常緑	
○	タマイブキ	φ0.6内外			本	67.0	常緑針葉樹	
	イヌツゲ				m ²	201.7	常緑	
	アベリア				m ²	72.1	常緑	
	ユキヤナギ				m ²	16.3	落葉	
	ハイビヤクシン				m ²	37.0	針葉	
	ヒト・サツ・リュウ・ユキ寄植				m ²	43.0	常緑	
<地被類>								
	アジュガ				m ²	94.5	半落葉	別図面
	フィリヤブラン				m ²	24.1	常緑	
	シャガ				m ²	94.5	常緑	
	コグマササ				m ²	126.5	常緑	
	ジャノヒゲ				m ²	15.0	常緑	
	コウライシバ				m ²	1,437.8		
<池まわり植栽リスト>								
								別図面
キ	キンモクセイ（生垣）	1.5		0.6	m	19.0	常緑広葉樹	
ム	ムクゲ 1	1.8			本	1.0	落葉広葉樹	
ム	ムクゲ 2	1.8			本	1.0	落葉広葉樹	
ム	ムクゲ 3	1.8			本	1.0	落葉広葉樹	
ヤモ	ヤマモモ	3.5	0.48	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
サザ	サザンカ	1.5			本	1.0	常緑広葉樹	
サザ	サザンカ	1.5			本	1.0	常緑広葉樹	
ド	ドウダンツツジ				m ²	20.8	落葉	
レ	レンギョウ				m ²	13.8	落葉	
マル	マルバシャリンバイ				m ²	11.6	常緑	
ジン	ジンチヨウゲ				m ²	9.2	常緑	
キン	キンシバイ				m ²	4.9	常緑	
クル	クルメツツジ				m ²	18.4	常緑	
ハ	ハイビヤクシン				m ²	9.2	常緑針葉	
シ	シバザクラ				m ²	5.9	半落葉	
タマ	タマリユウ				m ²	4.5	常緑	
	コウライシバ				m ²	320.1		
ヘ	ヘデラ				m ²	11.3	常緑	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単 位	数 量	種 別	備 考
		H	C	W				
<高・低木類>								
1	カクレミノ	9.0	0.58	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
2	ヒサカキ 1	0.6			m	0.3	常緑広葉樹	半枯れ
3	ヒサカキ 2	0.6			m	0.3	常緑広葉樹	
4	ユズリハ	8.0		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	枯れ
5	マテバシイ 1	6.0	0.53	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
6	マテバシイ 2	2.5	0.11	1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
7	ヤマモミジ	5.5	0.29	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
8	マテバシイ 3	7.0	0.83	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
9	ネズミモチ 1	3.0	0.13	2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
10	モチ	1.8		0.9	本	1.0	常緑広葉樹	
11	マテバシイ 4	6.0	0.25	1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
12	マテバシイ 5	7.5	0.47	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
13	マテバシイ 6	6.5	0.61	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
14	マテバシイ 7	7.0	0.43	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
15	モッコク 1	2.5	0.13	1.6	本	1.0	常緑広葉樹	
16	マテバシイ 8	5.0	0.43	2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
17	マテバシイ 9	4.5	0.95	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	4本立
18	サザンカ 1	2.0		1.0	本	1.0	常緑広葉樹	
19	マテバシイ 10	6.0	0.44	2.3	本	1.0	常緑広葉樹	
20	モミジ 1	7.0	0.45	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
21	ヒイラギモクセイ	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
22	マテバシイ 11	6.0	0.54	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
23	マテバシイ 12	7.0	0.55	2.2	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
24	モミジ 2	4.0	0.25		本	1.0	落葉広葉樹	枯れ
25	モミジ 3	6.0	0.46	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
26	モミジ 4	7.5	0.68	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
27	モミジ 5	7.5	0.64	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
28	リョウブ 1	3.0	0.15	1.0	本	1.0	落葉広葉樹	
29	モミジ 6	3.5	0.35		本	1.0	落葉広葉樹	枯れ
30	ツバキ 1	4.0	0.22	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
31	マテバシイ 13	5.5	1.13	3.6	本	1.0	常緑広葉樹	3本立
32	ヒイラギモクセイ	3.0		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	株立
33	イヌシデ	8.0	0.53	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
34	モミジ 7	6.0	0.76	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
35	ツバキ 2	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
36	モミジ 8	9.0	0.72	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
37	モミジ 9	9.0	0.75	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
38	スタジイ 1	7.5	0.63	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
39	ヒイラギモクセイ	3.0		2.8	本	1.0	常緑広葉樹	
40	スタジイ 2	3.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	枯れ
41	スタジイ 3	4.0	0.42		本	1.0	常緑広葉樹	枯れ
42	マテバシイ 14	7.0	0.69	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
43	スタジイ 4	9.5	1.34	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
44	ツバキ 3	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
45	ソメイヨシノ 1	10.0	1.52	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
46	マテバシイ 15	5.5	0.55	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
47	モミジ 10	8.0	0.68	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
48	モミジ 11	6.0	0.56	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
49	モミジ 12	3.5	0.36	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	半枯

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
50	ツバキ 4	3.0		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
51	ツバキ 5	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
52	ヒイラギモクセイ 4	4.5	0.85	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
53	ツバキ 6	3.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
54	スタジイ 5	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	半枯
55	ヒイラギモクセイ 5	2.5		1.3	本	1.0	常緑広葉樹	
56	ツバキ 7	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
57	ツバキ 8	3.0		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
58	ソメイヨシノ 2	8.0	1.21	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
59	ウメ	4.0	0.46		本	1.0	落葉広葉樹	枯れ
60	サザンカ 2	1.8		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
61	サザンカ 3	1.8		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
62	モミジ 13	8.0	0.87	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
63	モミジ 14	6.0	0.41	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
64	モミジ 15	3.0	0.32	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	半枯
65	スタジイ 6	6.5	0.82	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
66	ヒイラギモクセイ 6	3.0		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
67	マテバシイ 16	5.0	0.50	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
68	ソメイヨシノ 3	10.0	1.07	4.5	本	1.0	落葉広葉樹	
69	マテバシイ 17	4.0	0.53	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
70	エゴ	4.0		2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
71	イロハモミジ 1	6.5	0.97	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
72	ヒイラギモクセイ 7	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
73	ヒイラギモクセイ 8	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
74	スタジイ 7	7.5	0.91	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
75	ヒイラギモクセイ 9	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
76	スタジイ 8	8.0	1.13	4.5	本	1.0	常緑広葉樹	
77	ツバキ 9	3.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
78	ソメイヨシノ 4	10.0	1.00	4.5	本	1.0	落葉広葉樹	
79	ヤマモモ	4.0	0.40	1.2	本	1.0	常緑広葉樹	
80	モミジ 16	2.0		1.0	本	1.0	落葉広葉樹	
81	リョウブ 2	4.5	0.28	1.8	本	1.0	落葉広葉樹	
82	ヒイラギモクセイ 10	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
83	ツバキ 10	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
84	モッコク 2	2.0		1.0	本	1.0	常緑広葉樹	
85	マテバシイ 18	3.5	0.73	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
86	ヒイラギモクセイ 11	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
87	ツバキ 11	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
88	スタジイ 9	7.0	1.15	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
89	ツバキ 12	1.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
90	ヒイラギモクセイ 12	3.5		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
91	ツバキ 13	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
92	ツバキ 14	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
93	ツバキ 15	2.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
94	モミジ 17	4.5	0.49	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
95	モミジ 18	7.0	0.58	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
96	モミジ 19	7.0	1.47	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	3本立
97	モミジ 20	3.0	0.18	1.8	本	1.0	落葉広葉樹	
98	マテバシイ 19	7.0	0.90	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
99	ツバキ 16	1.8		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
100	ツバキ 17	2.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
101	ヒイラギモクセイ 1	3.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
102	イチョウ	6.0	0.91	0.8	本	1.0	落葉広葉樹	枯れ
103	マテバシイ 20	4.5	0.53		本	1.0	常緑広葉樹	枯れ
104	マテバシイ 21	5.0	0.60	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
105	ソメイヨシノ 5	9.5	1.39	7.0	本	1.0	落葉広葉樹	
106	マテバシイ 22	7.0	0.96	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
107	ツバキ 18	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
108	ツバキ 19	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
109	ツバキ 20	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
110	ツバキ 21	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
111	マテバシイ 23	6.0	0.94	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	3本立
112	モミジ 21	8.0	0.82	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
113	ヒイラギモクセイ 1	3.5		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
114	マテバシイ 24	5.5	0.84	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
115	ツバキ 22	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
116	ツバキ 23	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
117	ツバキ 24	3.0		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
118	モミジ 22	7.0	0.49	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
119	スタジイ 10	5.0	1.57	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
120	モミジ 23	6.0	0.57	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
121	ツバキ 25	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
122	アラカシ	10.5	0.91	4.5	本	1.0	常緑広葉樹	
123	トベラ	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
124	ヒイラギモクセイ 1	3.0		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
125	イチョウ	8.0	0.60	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
126	マテバシイ 25	6.5	0.74	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
127	ツバキ 26	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
128	ツバキ 27	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
129	ツバキ 28	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
130	モミジ 24	5.0	0.42	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
131	ツバキ 29	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
132	マテバシイ 26	6.5	0.56	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	
133	ツバキ 30	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
134	モミジ 25	8.0	1.10	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
135	ハマヒサカキ	3.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
136	マテバシイ 27	7.0	0.81	4.5	本	1.0	常緑広葉樹	
137	ソメイヨシノ 6	8.0	1.78	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
138	ヒイラギモクセイ	3.0		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
139	キンモクセイ 1	4.0		3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
140	ソメイヨシノ 7	10.0	1.54	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
141	キンモクセイ 2	4.0		3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
142	ウメ	4.5	0.93	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	4本立
143	リョウブ 3	3.5	0.15	1.2	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
144	モミジ 26	5.5	0.40	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
145	リョウブ 4	4.0	0.19	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
146	スタジイ 11	6.5	1.77	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
147	サルスベリ	2.5	0.15		本	1.0	落葉広葉樹	
148	モミジ 27	4.0	0.33	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
149	モミジ 28	4.0	0.23	1.0	本	1.0	落葉広葉樹	
150	モミジ 29	5.0	0.39	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
151	イロハモミジ 2	5.0	0.65	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
152	マテバシイ 28	5.5	0.88	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
153	マテバシイ 29	5.5	1.41	4.0	本	1.0	常緑広葉樹	3本立
154	マツ	3.5	0.33	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
155	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
156	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
157	マツ	3.5	0.43	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
158	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
159	マツ	3.5	0.38	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
160	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
161	マツ	3.8	0.42	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
162	マツ	3.5	0.36	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
163	マツ	4.5	0.36	2.0	本	1.0	常緑針葉樹	
164	マツ	4.0	0.40	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
165	マツ	3.5	0.46	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
166	マツ	3.5	0.33	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
167	マツ	3.0	0.25	1.7	本	1.0	常緑針葉樹	
168	ドウダンツツジ(玉)	0.8	0.8		本	1.0	落葉広葉樹	
169	ドウダンツツジ(玉)	0.8	0.80		本	1.0	落葉広葉樹	
170	ドウダンツツジ(玉)	0.8	0.80		本	1.0	落葉広葉樹	
171	ドウダンツツジ(玉)	0.8	0.80		本	1.0	落葉広葉樹	
172	マツ	3.0	0.42	2.0	本	1.0	常緑針葉樹	
173	マツ	3.5	0.29	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
174	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
175	マツ	4.0	0.46	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
176	ドウダンツツジ(玉)	0.9	0.60		本	1.0	落葉広葉樹	
177	ヤエザクラ	3.5	0.57	2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
178	マツ	1.3			本	1.0	常緑針葉樹	
179	ドウダンツツジ(玉)	0.6	0.60		本	1.0	落葉広葉樹	
180	ドウダンツツジ(玉)	0.6	0.60		本	1.0	落葉広葉樹	
181	ドウダンツツジ(玉)	0.6	0.60		本	1.0	落葉広葉樹	
182	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
183	マツ	3.0	0.38	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
184	マツ	3.5	0.29	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
185	マツ	3.0	0.32	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
186	マツ	1.3			本	1.0	常緑針葉樹	
187	マツ	3.0	0.40	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
188	マツ	1.3			本	1.0	常緑針葉樹	
189	マツ	1.2			本	1.0	常緑針葉樹	
190	マツ	1.2			本	1.0	常緑針葉樹	
191	マツ	2.0			本	1.0	常緑針葉樹	
192	マツ	2.0			本	1.0	常緑針葉樹	
193	マツ	2.0			本	1.0	常緑針葉樹	
194	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
195	マツ	1.3			本	1.0	常緑針葉樹	
196	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
197	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
198	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
199	カリン	4.5	0.38	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
200	ヤエザクラ	4.0	0.59	2.8	本	1.0	落葉広葉樹	
201	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
202	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
203	マツ	1.6			本	1.0	常緑針葉樹	
204	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
205	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
206	ヤエザクラ	4.0	0.53	1.5	本	1.0	落葉広葉樹	
207	マツ	3.0	0.35	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
208	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
209	マツ	4.0	0.30	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
210	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
211	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
212	マツ	3.5	0.27	1.4	本	1.0	常緑針葉樹	
213	スタジイ 11	4.0	1.09	1.5	本	1.0	常緑広葉樹	半枯
214	スタジイ 12	4.5	1.03	2.0	本	1.0	常緑広葉樹	半枯
215	スタジイ 13	7.0	1.65	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	半枯
216	スタジイ 14	4.5	1.06	2.0	本	1.0	常緑広葉樹	半枯
217	トウカエデ	5.0	0.36	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
218	アオキ	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
219	シュロ	4.0			本	1.0	特殊樹木	
220	シュロ	3.0			本	1.0	特殊樹木	
221	ミカン	2.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
222	マツ	3.5	0.34	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
223	マツ	3.5	0.34	1.3	本	1.0	常緑針葉樹	
224	マツ	3.5	0.33	1.4	本	1.0	常緑針葉樹	
225	マツ	1.2			本	1.0	常緑針葉樹	
226	サルスベリ	2.5	0.21		本	1.0	落葉広葉樹	2本立
227	マツ	3.5	0.29	1.4	本	1.0	常緑針葉樹	
228	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
229	ドウダンツツジ(玉)	1.1		1.3	本	1.0	落葉広葉樹	
230	マツ	3.5	0.35	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
231	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
232	ドウダンツツジ(玉)			0.9	本	1.0	落葉広葉樹	
233	マツ	3.0	0.28	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
234	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
235	マツ	3.5	0.38	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
236	マツ	3.5	0.30	1.2	本	1.0	常緑針葉樹	
237	マツ	4.5	0.47	2.0	本	1.0	常緑針葉樹	
238	ドウダンツツジ(玉)	1.3		0.9	本	1.0	落葉広葉樹	
239	マツ	3.5	0.40	1.7	本	1.0	常緑針葉樹	
240	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
241	ドウダンツツジ(玉)	0.8		0.8	本	1.0	落葉広葉樹	
242	マツ	3.0	0.37	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
243	ドウダンツツジ(玉)	1.0		0.9	本	1.0	落葉広葉樹	
244	マツ	3.0	0.29	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
245	マツ	1.6			本	1.0	常緑針葉樹	
246	マツ	1.6			本	1.0	常緑針葉樹	
247	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
248	マツ	4.0	0.34	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
249	マツ	4.0	0.33	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
250	マツ	1.4			本	1.0	常緑針葉樹	
251	マツ	1.6			本	1.0	常緑針葉樹	
252	マツ	1.8			本	1.0	常緑針葉樹	
253	マツ	4.0	0.43	1.2	本	1.0	常緑針葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単 位	数 量	種 別	備 考
		H	C	W				
254	マツ	3.5	0.45	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
255	マツ	3.8	0.45	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
256	マツ	3.5	0.32	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
257	マツ	3.0	0.31	1.2	本	1.0	常緑針葉樹	
258	ソメイヨシノ 8	3.5	0.53	1.8	本	1.0	落葉広葉樹	
259	マツ	3.7	0.45	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
260	マツ	1.2			本	1.0	常緑針葉樹	
261	マツ	3.5	0.38	1.6	本	1.0	常緑針葉樹	
262	マツ	4.0	0.36	1.4	本	1.0	常緑針葉樹	
263	カキ	3.0		1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
264	マツ	3.8	0.40	1.1	本	1.0	常緑針葉樹	
265	マツ	3.0	0.38	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
266	ソメイヨシノ 9	3.0	0.57	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
267	マツ	1.5			本	1.0	常緑針葉樹	
268	マツ	2.5	0.34	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
269	ドウダンツツジ(玉)	0.8		0.8	本	1.0	落葉広葉樹	
270	ドウダンツツジ(玉)	1.4		0.8	本	1.0	落葉広葉樹	
271	ドウダンツツジ(玉)	1.3		1.2	本	1.0	落葉広葉樹	
272	マツ	3.5	0.42	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
273	アオキ	2.0		1.4	本	1.0	常緑広葉樹	半枯れ
274	エノキ	8.0	1.58	8.0	本	1.0	落葉広葉樹	3本立
275	マツ	3.0	0.26	1.2	本	1.0	常緑針葉樹	
276	ツバキ 31	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
277	ツバキ 32	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
278	アオキ	1.2		0.8	本	1.0	常緑広葉樹	
279	マツ	3.0	0.30	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
280	ツバキ 33	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
281	マツ	3.0	0.31	1.2	本	1.0	常緑針葉樹	
282	マツ	3.0	0.30	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
283	ツバキ 34	2.5		1.4	本	1.0	常緑広葉樹	
284	マツ	4.0	0.50	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
285	ツバキ 35	1.6		1.0	本	1.0	常緑広葉樹	
286	ツバキ 36	2.0		1.4	本	1.0	常緑広葉樹	
287	マツ	4.0	0.45	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
288	マツ	3.5	0.33	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
289	ツバキ 37	2.5		1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
290	マツ	4.0	0.40	2.0	本	1.0	常緑針葉樹	
291	ドウダンツツジ(玉)	1.4		1.2	本	1.0	落葉広葉樹	
292	ツバキ 38	2.5		1.2	本	1.0	常緑広葉樹	
293	アオキ	1.8		1.2	本	1.0	常緑広葉樹	
294	ヤエザクラ	4.5	0.86	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
295	マツ	4.0	0.46	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
296	ツバキ 39	3.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
297	ツバキ 40	3.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
298	ヒイラギナンテン	1.0			本	1.0	常緑広葉樹	
299	ツバキ 41	3.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
300	アオキ	1.8		1.2	本	1.0	常緑広葉樹	
301	ツバキ 42	3.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
302	マツ	3.0	0.28	1.5	本	1.0	常緑針葉樹	
303	ドウダンツツジ(玉)	1.4		0.9	本	1.0	落葉広葉樹	
304	ドウダンツツジ(玉)	1.4		0.9	本	1.0	落葉広葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単 位	数 量	種 別	備 考
		H	C	W				
305	ドウダンツツジ(玉)	1.4		0.9	本	1.0	落葉広葉樹	
306	コブシ	2.5	0.41		本	1.0	落葉広葉樹	5本立
307	マツ	3.0	0.33	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
308	ヤマブキ	2.0		1.5	本	1.0	落葉広葉樹	
309	アオキ	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
310	マツ	1.5	0.25		本	1.0	常緑針葉樹	枯れ
311	アオキ	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
312	マツ	2.5	0.30		本	1.0	常緑針葉樹	枯れ
313	ヒラドツツジ	1.8		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
314	アオキ	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
315	ソメイヨシノ 10	9.0	1.92	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
316	ツバキ 43	3.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
317	ツバキ 44	3.0		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
318	アセビ	1.8		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
319	ソメイヨシノ 11	8.5	2.25	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	2本立
320	マテバシイ 30	6.0	0.78	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
321	ツバキ 45	2.5		1.8	本	1.0	常緑広葉樹	
322	ドウダンツツジ(玉)	1.5		1.5	本	1.0	落葉広葉樹	
323	シダレザクラ	8.0	1.38	6.0	本	1.0	落葉広葉樹	
324	ツバキ 46	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
325	マテバシイ 31	8.0	0.90	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
326	ツバキ 47	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
327	マテバシイ 32	8.0	0.80	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
328	ツバキ 48	3.5		2.5	本	1.0	常緑広葉樹	
329	ドウダンツツジ(玉)	1.2		2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
330	サルスベリ	2.5	0.22	2.3	本	1.0	落葉広葉樹	
331	ヤエザクラ	2.0	0.22	1.5	本	1.0	落葉広葉樹	
332	ドウダンツツジ(玉)	1.2		1.4	本	1.0	落葉広葉樹	
333	マテバシイ 33	7.0	1.00	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
334	ドウダンツツジ(玉)	1.3		1.2	本	1.0	落葉広葉樹	
335	ヤエザクラ	4.5	0.90	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
336	ツバキ 49	2.5		2.0	本	1.0	常緑広葉樹	
337	コブシ	2.0		1.0	本	1.0	落葉広葉樹	
338	ツバキ 50	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
339	ツバキ 51	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
340	ツバキ 52	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
341	マテバシイ 34	8.0	0.88	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
342	ツバキ 53	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
343	マテバシイ 35	8.0	0.83	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
344	マテバシイ 36	6.5	0.69	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
345	ツバキ 54	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
346	ツバキ 55	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
347	ツバキ 56	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
348	ツバキ 57	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
349	ツバキ 58	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
350	ヒイラギモクセイ	2.5		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
351	マテバシイ 37	8.0	0.85	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
352	マテバシイ 38	8.0	0.76	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	
353	コブシ	2.5	0.29	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
354	ツバキ 59	2.0		1.5	本	1.0	常緑広葉樹	
355	マテバシイ 39	8.0	0.82	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	

樹木リスト

飯倉別館

記号	名 称	形 状 寸 法			単 位	数 量	種 別	備 考
		H	C	W				
356	マテバシイ 40	8.5	0.94	3.5	本	1.0	常緑広葉樹	
357	シダレザクラ	5.0	0.56	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
358	ヤマモモ	4.0	0.67	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	3本立
359	ヤマモモ	4.0	1.00	3.0	本	1.0	常緑広葉樹	4本立
360	ヤマモモ	4.0	0.45	2.5	本	1.0	常緑広葉樹	2本立
計						358.0		
< 灌木・地被類 >								
A	コウライシバ				m ²	82.0		平面
B	コウライシバ				m ²	98.0		斜面
C	コウライシバ				m ²	878.0		平面
D	コウライシバ				m ²	569.0		斜面
E	カイズカイブキ	4.0		1.95	m	29.0	常緑針葉樹	生垣
F	ツゲ・ツツジ他 1	0.8		0.9	m ²	13.1	常緑広葉樹	
G	ツゲ・ツツジ他 2	0.8		1.0	m ²	15.5	常緑広葉樹	
H	ツゲ・ツツジ他 3	0.8		0.8	m ²	11.8	常緑広葉樹	
I	マサキ	2.2		1.5	m	21.5	常緑広葉樹	生垣
J	ハマヒサカキ・アオキ他				m ²	592.0		
K	ユキヤナギ・ツツジ他				m ²	44.0		
L	サツキツツジ	0.5			m ²	0.4	常緑	
M	ヒラドツツジ	0.7			m ²	4.0	常緑	
N	ヘデラヘリックス				m ²	43.0	常緑	
O	サツキツツジ	0.5			m ²	10.0	常緑	
P	サツキツツジ	0.5			m ²	104.0	常緑	
Q	サツキツツジ	0.5			m ²	27.0	常緑	
R	サツキツツジ	0.5			m ²	26.0	常緑	
S	サツキツツジ	0.5			m ²	12.0	常緑	
2階	アラカシ	0.9		0.45	m ²	15.30	常緑広葉樹	
3階	サツキ	0.4		1.2	m ²	55.3	常緑広葉樹	

* 枯木（半枯含む）については、手入れの必要はありません。

樹木リスト

船橋分室

記号	名 称	形 状 寸 法			単位	数量	種 別	備 考
		H	C	W				
<樹木>								
1	カキ	4.5	0.84	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
2	マキ	4.0	0.32	1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
3	ヤエザクラ	4.0	0.56	2.8	本	1.0	落葉広葉樹	
4	ヤエザクラ 2	4.5	0.93	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
5	ヤエザクラ 3	4.5	0.92	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
6	ソメイヨシノ 1	5.5	1.18	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
7	ソメイヨシノ 2	5.5	1.25	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
8	イヌシデ	2.5		2.0	本	1.0	落葉広葉樹	
9	ソメイヨシノ 3	5.5	1.12	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
10	ソメイヨシノ 4	5.0	1.15	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
11	ソメイヨシノ 5	5.5	1.51	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
12	ソメイヨシノ 6	6.0	1.24	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
13	ソメイヨシノ 7	6.5	1.52	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
14	カリン	4.5	0.31	1.8	本	1.0	落葉広葉樹	
15	ウメ 6	2.5	0.69	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
16	ウメ 5	2.5	0.57	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
17	ウメ 4	2.0	0.53	2.4	本	1.0	落葉広葉樹	
18	ウメ 3	2.0	0.61	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
19	ウメ 2	2.5	0.55	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
20	ウメ 1	1.5	0.46	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
21	カキ 2	3.0	0.68	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
22	ソメイヨシノ 8	6.5	1.25	5.0	本	1.0	落葉広葉樹	
23	オトメツバキ	2.0		1.3	本	1.0	常緑広葉樹	
24	ソメイヨシノ 9	6.0	1.09	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
25	ソメイヨシノ 10	6.5	0.89	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
26	ソメイヨシノ 11	6.5	1.05	3.5	本	1.0	落葉広葉樹	
27	ソメイヨシノ 12	6.0	0.68	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
28	ソメイヨシノ 13	5.0	0.95	2.5	本	1.0	落葉広葉樹	
29	ソメイヨシノ 14	6.0	0.79	3.0	本	1.0	落葉広葉樹	
30	ソメイヨシノ 15	7.0	1.22	5.5	本	1.0	落葉広葉樹	
31	ソメイヨシノ 16	7.0	1.05	4.0	本	1.0	落葉広葉樹	
32	コノテカシワ 1	3.8		1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
33	コノテカシワ 2	3.8		1.8	本	1.0	常緑針葉樹	
<低木地被>								
A	オオムラサキツツジ	1.2			m ²	168.0	常緑広葉樹	
B	サツキツツジ	0.4			m ²	109.3	常緑広葉樹	
C	サツキツツジ	0.4			m ²	76.7	常緑広葉樹	
D	サツキツツジ	0.4			m ²	29.3	常緑広葉樹	
E	サツキツツジ	0.4			m ²	10.8	常緑広葉樹	
F	サツキツツジ	0.3			m ²	9.5	常緑広葉樹	
G	サツキツツジ	0.3			m ²	9.0	常緑広葉樹	
H	コウライシバ				m ²	15.6		
I	コウライシバ				m ²	9.0		
J	コウライシバ				m ²	27.0		
K	コウライシバ				m ²	223.0		

《植栽管理業務内訳表》

1. 各「巡回点検」は、除草・清掃・灌水作業を行うものとし、常時庭園の美観を保持することとする。また、現場の状況に応じ、回数を増やす等対処することとする。
2. 各業務は、樹木育成状況・天候等を勘案し、適正な時期に行うこととする。

(本省：中庭)

種類	業務	回数
高・低木	剪定	1回
	施肥	2回
	病害虫防除	5回
灌木	刈り込み	2回
	施肥	2回
	病害虫防除	5回
芝	芝刈り	6回
	施肥	2回
	目土掛け	1回
	病害虫防除	5回
	空気入れ	1回
	ブラッシング	1回
木草・地被類	施肥	2回
	病害虫防除	5回
砂利敷き整形		4回
※1. 巡回点検（除草、灌水、清掃作業）		65回以上

(本省：外構)

種類	業務	回数
高木	剪定	1回
灌木・生垣類	刈り込み	2回
芝	芝刈り	4回
	目土掛け	1回
	空気入れ	1回
	ブラッシング	1回
施肥		2回
病害虫防除		2回
※1. 巡回点検（除草、灌水、清掃作業）		65回以上

(本省：車庫棟屋上)

種類	業務	回数
高木	剪定	1回
	施肥	2回
	病虫害防除	2回
中木 (キンモクセイ)	剪定	1回
	施肥	2回
	病虫害防除	2回
芝	芝刈り	3回
	施肥	2回
	目土掛け	1回
	病虫害防除	2回
地被類	施肥	2回
	病虫害防除	2回
※1. 巡回点検 (除草、灌水、清掃作業)		65回以上

(本省：屋上緑化)

種類	業務	回数
芝	芝刈り・清掃	2回
	施肥	1回
	病虫害防除	2回
	除草	2回

(飯倉別館)

種類	業務	回数
高・低木	剪定	1回
	剪定(針葉樹)	2回
	施肥	1回
	病虫害防除	2回
灌木・地被類	刈り込み	3回
	施肥	1回
	病虫害防除	2回
芝	芝刈り (A, B, D)	3回
	芝刈り (C)	7回
	施肥 (A, B, D)	5回
	施肥 (C)	6回
	病虫害防除	2回
	目土掛け	1回
	空気入れ(A, C)	1回
	ブラッシング(A, C, D)	1回
※1. 巡回点検(除草、灌水、清掃作業)		80回以上

(麻布台別館)

種類	業務	回数
樹木	剪定	1回
灌木	刈り込み	2回
施肥		2回
病虫害防除		2回
※1. 巡回点検(除草、灌水、清掃作業)		6回以上

(船橋分室)

種類	業務	回数
樹木	剪定	1回
	施肥	2回
	病虫害防除	2回
灌木	刈り込み	2回
	施肥	2回
	病虫害防除	2回
芝	芝刈り	2回
	施肥	2回
	病虫害防除	2回
※1. 巡回点検(除草、灌水、清掃作業)		4回以上

I 業務件名

国際会議室同時通訳機器他音響設備保守業務

II 業務の目的

下記Ⅲに設置されている同時通訳機器他、映像、音響設備を常に良好な状態に保ち、設備の機能維持と円滑な会議運用を図ることを目的とする。

III 保守対象場所

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| 1. 共用北国際大会議室 (760 号室) | 80 名収容 (同時通訳 4 カ国対応) |
| 2. 共用南国際会議室 (761 号室) | 50 名収容 (同時通訳 4 カ国対応) |
| 3. 共用国際中会議室 (666 号室) | 30 名収容 (同時通訳 2 カ国対応) |
| 4. 共用国際会議室 (272 号室) | 30 名収容 (同時通訳 3 カ国対応) |
| 5. 共用国際会議室 (893 号室) | 30 名収容 (同時通訳 3 カ国対応) |

IV 保守業務の内容

受注業者が行う点検保守業務は次の通りとする。

1. 総合点検

年 2 回。9 月及び翌年 3 月に機器の総合点検を行う。

(時期については、事情により変更となる場合がある。休日、祝祭日もあり得る。)

2. 外観点検

機器の外観を点検し、著しい変形や破損がないかを点検する。

3. 機能点検

機器本来の機能が十分に発揮されているかを点検する。

4. 動作点検

システムの機能に沿って、実際に動作させ異常の有無を点検する。異常が発見されたときは、その部品の調整及び修正を行う。

5. 甲が業務に支障をきたすと判断した場合は、乙が早急に修理・調整を行うこととする。

6. 点検等作業終了後は報告書を作成し、担当官に提出する。

V 保守対象設備

設備の詳細については、別紙のとおり。

共用北国際大会議室（760号室）

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容	
調整卓	オーディオミキサー	松下	WR-S4424SA	1台	・レベルメーターの指示値及びLED表示の確認 ・各スイッチ等の動作チェック ・各スイッチ、フェーダー動作のノイズチェック ・外観点検	
	モニタースピーカ " (取付金具)	ヤマハ ヤマハ	MS101-2 BCS20-150	3台 3台	・聴感テストにより各スピーカについて音質、にごり、歪み、雑音等チェック ・モニター右側から出力される通訳プースの音声切替チェック ・外観点検	
電力増幅架	パワーアンプ (300w×2) " (120w×2)	松下 松下	WP-9300 WA-H122	1台 1台	・電力増幅機能点検 ・インプットアッテネータ、スイッチ類の動作点検 ・ファンフィルタークリーニング(WP-9300) ・外観点検	
	グラフィックイコライザ	Roland	EQ-231	1台	・任意の周波数ポイントの可変量の点検 ・ノイズ及び出力状態の点検 ・各スイッチ、フィルタの動作点検	
	デジタルマルチコライザ	松下	WZ-DE45	1台	・コンプレッサー/リミッター、クロスオーバーネットワーク等各モード動作確認 ・各スイッチ、ジョグ/シャトルサーチ等の動作確認 ・LCD表示の点検	
	ワイヤレス設備 (ワイヤレスアンテナ) " (ワイヤレス受信機) " (ハンド型マイク) " (ハンド型マイク) " (タイピン型マイク)	松下 松下 松下 松下 松下	WX-4970 WX-4040 WX-4100A WX-4200A WX-4300A	2台 1台 2本 1本 1本	・ダイバシティ動作、音切れ等の動作チェック ・LED表示及び出力レベル表示の確認 ・チャンネル別ワイヤレスマイクの受信感度状態のチェック	
	入出力パッチ盤	東和	特注品		・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認	
	出力制御部	東和	特注品		・出力スイッチ切替リレーの切替動作のチェック ・ノイズ及び出力状態の点検	
	システムコントローラ	ポーズ	402C	1台	・ノイズ及び出力状態の点検 ・外観点検	
	音声分配器	タスカム	LA-80	1台	・入力音声 normally 分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認	
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	1台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック	
	入出力端子盤	東和	特注品		・入出力端子の接続状態確認	
	録音装置架	モニターユニット	東和	MU-9000	1台	・モニターチャンネル切替の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等チェック
		AVスイッチャー	東和	JVR-7084	1台	・スイッチ、切替リレー等の接触状態の確認 ・送出、切替等の動作状態の確認
連続録音カセットデッキ		東和	TCC-5000W	6台	・音声ヘッド、キャプスタン軸、ピンチローラ等テープ走行系のクリーニング ・各モード動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック	
録音リモート制御部		東和	特注品		・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認	
音声分配器		タスカム	LA-80	6台	・入力音声 normally 分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認	
電源制御ユニット		松下	WU-L67	1台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック	
入出力端子盤		東和	特注品		・入出力端子の接続状態確認	
デジタル録音装置架	CDレコーダー	ティアック	CD-RW901SL	6台	・ピックアップのクリーニング ・各モード動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック	
	音声分配器	イメージス	DA-144	6台	・入力音声 normally 分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認	
	録音リモート制御部	東和	特注品 (卓上型)	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認	
	入出力パッチ盤	東和	特注品	1台	・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認	
	入出力端子盤	東和	特注品	1台	・入出力端子の接続状態確認	
	録音リモート制御部	東和	特注品 (ラックマウント型)	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認	

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
接続盤	映像ワゴン接続盤	東和	特注品		・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
	マイクコネクタプレート	東和	特注品		
マイクロホン	速記者/インターホンプレート	東和	特注品		・マイクヘッド、各接続コネクタ部の外観点検及び接触点検 ・マイクヘッド、各接続コネクタ部の外観点検及び接触点検 ・音出しによるノイズの有無、音質等の点検
	マイクロホン (グースネックマイク)	ナニワ行か	AT808G	2本	
	" (ダイナミックマイク)	松下	WM-D150SW-K	6本	
	ワイヤレスマイク	松下	WX-4100A	4本	
	有線マイク	松下	WM-D1205W-K	1本	
	有線マイク	AIWA	DM-521	1本	
	エアモニマイク (エアモニプレート)	松下	WM-C70	1台	・会議室内の集音が正常にされているか確認 ・集音された音声のノイズの有無、音質等の点検
スピーカー	スピーカー (メインスピーカー)	ボーズ	402SYSTEM	2台	・聴感テストにより各スピーカーについて音質、にごり、歪み、雑音等チェック ・外観及び取付状態の点検
	" (天井埋込スピーカー)	松下	WS-A22HA	12台	
同時通訳制御卓	制御用パソコン	富士通	FMV4DXH161	2台	・ディスプレイの画像チェック、画質、色合い等の調整 ・CPU、同時通訳制御動作確認 ・各パソコン周辺機器の動作確認 ・停電時の動作確認 ・充電状態及び外観点検 ・通信状態の確認 ・表示及び外観点検 ・各モードの動作確認 ・表示及び外観点検 ・各モードの動作確認 ・表示及び外観点検 ・映像切換動作及び画質の確認 ・表示及び外観点検 ・各回線にて通話チェック ・各スイッチ、外観等チェック
	"	富士通	7405TD15/D1	2台	
	小型無停電電源装置	デンシム	MUE1011-GI	1台	
	HUB	アイドレックス			
	メッセージ制御器	東和	特型	1台	
	コントロールパネル (録音リモコン操作部)	東和	特型	1台	
	" (通訳者連絡スイッチ部)	東和	特型	1台	
	" (モニターソース切替部)	東和	特型	1台	
	" (メッセージ選択スイッチ部)	東和	特型	1台	
	RGB切替器	アイテックス			
機器制御ラック	インターホン (親機)	松下		1台	・同時通訳の音声も赤外線ラジエーターから放射できるように各チャンネルごとに正常に変換されているか確認 ・変換された音声も各チャンネルごとに赤外線ラジエーターに正常に送出されているか確認 ・バッジ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認 ・パソコンとの連動動作確認 ・各座席への出力動作の確認 ・会議ユニットに正常に電源が供給されているか確認 ・会議ユニット全体の音質、音量が正常にコントロールできるか確認 ・各モード選択スイッチの動作確認 ・デジタル音声信号がアナログ音声信号に正常変換されているか確認 ・各スイッチの動作確認 ・同時通訳制御用パソコンの画像をRGB分配し各モニターに送られているか確認 ・会議ユニットを接続し、動作確認 ・接続状態の確認 ・分岐、分配先の機器動作確認 ・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック ・入出力端子の接続状態確認
	" (子機)	松下		5台	
	赤外線送信機 (ハウジング)	Bosch	LBB3420/00	1台	
	" (チャンネルモジュール)	Bosch	LBB3421/00	2台	
	" (ベーシックモジュール)	Bosch	LBB3424/00	1台	
	入出力バッジ盤	東和	特注品		
	発言許可 I / F ユニット	東和			
	セントラルコントロールユニット (拡張用電源ユニット)	Bosch	LBB3500/10	1台	
	オーディオメディアインターフェース	Bosch	LBB3508/00	2台	
	RGB分配器	アイテックス	WBD-166	3台	
議長席	会議ユニット接続盤	東和			・マイクホンの動作確認 ・スピーカーから正常に音声が出力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声も正常に入力されるか各チャンネルごとにイヤホンで確認 ・コントラスト、ブライト、映像レベル等の調整、チェック ・画面清掃 ・外観点検 ・表示及び動作確認 ・表示及び動作確認
	トランクケーブルスプリッター	Bosch		1台	
	" (収納)	東和		1台	
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	1台	
	入出力端子盤	東和	特注品		
議長席	会議ユニット (マイクロホンユニット)	Bosch	LBB3537/00	10台	・マイクホンの動作確認 ・スピーカーから正常に音声が出力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声も正常に入力されるか各チャンネルごとにイヤホンで確認 ・コントラスト、ブライト、映像レベル等の調整、チェック ・画面清掃 ・外観点検 ・表示及び動作確認 ・表示及び動作確認
	" (議長優先パネル)	Bosch	LBB3537/10	1台	
	" (スピーカーパネル)	Bosch	LBB3538/00	10台	
	" (デュアルオーディオインターフェース)	Bosch	LBB3535/00	10台	
	" (電子式チャンネルセレクター)	Bosch	LBB3524/00	10台	
	液晶モニター	三菱	RDT141S	6台	
	発言速度表示器	東和	特型	1台	
	発言許可表示灯	東和	特型	10台	

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
会議者席	会議ユニット (マイクロホンユニット)	Bosch	LBB3537/00	70 台	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクロホンの動作確認 ・スピーカーから正常に音声が入力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声が入力されるか各チャンネルごとにイヤホンで確認
	" (スピーカーパネル)	Bosch	LBB3538/00	70 台	
	" (ディスプレイインターフェース)	Bosch	LBB3535/00	70 台	
	" (電子式チャンネルセレクター)	Bosch	LBB3524/00	70 台	
	発言許可表示灯	東和	特型	70 台	・表示及び動作確認
通訳者ブース	通訳者ユニット	Bosch	LLB3520/00	7 台	<ul style="list-style-type: none"> ・マイクの動作確認 ・各スイッチ・ボリューム等の動作確認 ・表示ディスプレイ、LED等のチェック ・通訳機能の動作確認 ・ヘッドホンにて音声確認
	液晶モニター	三菱	RDT141S	2 台	<ul style="list-style-type: none"> ・コントラスト、ブライト、映像レベル等の調整、チェック ・画面清掃 ・外観点検
	発言速度操作部	東和	特注品		<ul style="list-style-type: none"> ・again, slowlyスイッチの通訳ブースと議長用との連動確認 ・呼出スイッチの通訳ブースと調整室との連動確認
	通訳者操作接続プレート	東和	特注品		<ul style="list-style-type: none"> ・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
	速記者用チャンネルセレクター	Bosch	LBB3524/00	2 台	<ul style="list-style-type: none"> ・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
赤外線ラジエーター	赤外線ラジエーター	Bosch	LBB3410/05	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・赤外線が正常に放射されているか確認 ・赤外線のデッドポイントのチェック ・各チャンネルごとに赤外線を正常に受信できるか確認 ・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック ・充電状態の確認 ・表示及び外観点検
	"	Bosch	LBB3412/00	2 台	
	赤外線受信機	Bosch	LBB3433/10	112 台	
	" (イヤホン)	Bosch		191 台	
	受信機充電トランク	Bosch	LBB3406/00	2 台	・充電状態の確認
メッセージ関係	メッセージ表示器	パトライト			・表示及び表示パターンの動作確認
映像ワゴン	入力切替パネル	東和	特型	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・入力切替動作チェック ・スイッチ等外観点検
	映像ワゴン接続プレート	東和	特型	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・パソコン入力パネル外観機能チェック ・ワゴン接続パネル外観機能チェック
	書画カメラ	エルモ社	EV-401AF	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・フォーカス、ズーム等の動作確認 ・撮影画像のチェック ・レンズ清掃及び外観点検
	S-VHSビデオデッキ	松下	NV-SV1	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・ビデオヘッド及びテープ走行系のクリーニング ・メカ機構部のグリスアップ ・各モードの動作状態の確認 ・ノイズ及び再生状態の確認
	デジタルスキャンコンバータ	ソニー	DSC-1024HD	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・映像変換動作チェック ・映像出力状態チェック
	電源制御ユニット	松下	WU-L61	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	コントロールユニット	東和			・スキャンコンバータのリモコン動作確認
プロジェクター	DLPプロジェクター	松下	TH-D9500J	1 台	<ul style="list-style-type: none"> ・画角、色あい、明るさ、フォーカス等の調整 ・表示及び外観点検 ・電源制御ユニットのリモコン動作確認
	" (レンズ)	松下	TY-D95LE3	1 台	
	200インチスクリーン		FR-BS200	1 式	

共用南国際会議室（761号室）

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
機器収納架	パワーアンプ (300w×2) " (ハイパワーアンプ) " (業務用パワーアンプ)	松下 松下 タスカム	WP-9300 WA-H120 PA-20MK2	1台 1台 2台	・電力増幅機能点検 ・インプットアッテネータ、スイッチ類の動作点検 ・ファンフィルタークリーニング(WP-9300) ・外観点検
	デジタルマルチコライザ	松下	WZ-DE45	1台	・コンプレッサー/リミッター、クロスオーバーネットワーク等各モード動作確認 ・各スイッチ、ジョグ/シャトルサーチ等の動作確認 ・LCD表示の点検
	グラフィックイコライザ	Roland	EQ-231	1台	・任意の周波数ポイントの可変量の点検 ・ノイズ及び出力状態の点検 ・各スイッチ、フィルタの動作点検
	ワイヤレス設備 " (ワイヤレスアンテナ) " (ワイヤレス受信機) " (ハンド型マイク) " (タイピン型マイク)	松下 松下 松下 松下	WX-4970 WX-4020 WX-4100A WX-4300A	2台 1台 1本 1本	・ダイバシティ動作、音切れ等の動作チェック ・LED表示及び出力レベル表示の確認 ・チャンネル別ワイヤレスマイクの受信感度状態のチェック
	ミキサー用パッチ盤	東和	特注品		・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認
	システムコントローラ	ポーズ	402C	1台	・音声の入出力確認 ・外観点検
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	3台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	モニターユニット	東和	特注品		・モニターチャンネル切替の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等チェック
	AVスイッチャー	エルモ社	VS-601N	1台	・スイッチ、切りリレー等の接触状態の確認 ・送、切替等の動作状態の確認
	連続録音カセットデッキ	東和	TCG-5000W	6台	・音声ヘッド、キャブスタン軸、ピンチローラ等テープ走行系のクリーニング ・各モードの動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	録音リモート制御部	東和	特注品		・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	ラインコンバータ	タスカム	LA-80	6台	・入力音声が入力側に正常に分配出力されているか確認 ・前面トリムの変動動作確認
	入出力端子盤	東和	特注品		・入出力端子の接続状態確認 ・出力スイッチ切りリレーの切替動作のチェック
	出力制御部	東和	特注品		・各スイッチ等の動作チェック
デジタル録音装置架	CDレコーダー	ティアック	CD-RW901SL	6台	・ピックアップのクリーニング ・各モード動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	音声分配器	イマジクス	DA-144	6台	・入力音声が入力側に正常に分配出力されているか確認 ・前面トリムの変動動作確認
	録音リモート制御部	東和	特注品 (卓上型)	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	ミキサー用パッチ盤	東和	特注品	1台	・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認
	入出力端子盤	東和	特注品	1台	・入出力端子の接続状態確認
同時通訳ブース	録音リモート制御部	東和	特注品 (ラックマウント型)	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	通訳者ユニット	Bosch	LLB3520/00	8台	・マイクの動作確認 ・各スイッチ・ボリューム等の動作確認 ・表示ディスプレイ、LED等のチェック ・通訳機能の動作確認 ・ヘッドホンにて音声確認
	液晶モニター	三菱	RDT141	4台	・コントラスト、ブライツ、映像レベル等の調整、チェック ・画面清掃 ・外観点検
	通訳者操作器接続プレート	東和	特注品		・各コネクタ接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
発言速度指示操作部	東和	特注品	4台	・again, slowlyスイッチの通訳ブースと議長用との連動確認 ・呼出スイッチの通訳ブースと調整室との連動確認	

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
同時通訳・ 会議設備	赤外線送信機 (ハウジング) " (チャンネルモジュール) " (ベーシックモジュール)	Bosch Bosch Bosch	LBB3420/00 LBB3421/00 LBB3424/00	1台 2台 1台	・同時通訳の音声は赤外線ラジエーターから放射できるように各チャンネルごとに正常に変換されているか確認 ・変換された音声は各チャンネルごとに赤外線ラジエーターに正常に送出されているか確認
	赤外線ラジエーター	Bosch	LBB-3412/00	4台	・赤外線が正常に放射されているか確認 ・赤外線のデッドポイントのチェック
	赤外線受信機 " (イヤホン)	Bosch Bosch	LBB3433/10	64台 103台	・各チャンネルごとに赤外線を正常に受信できるか確認 ・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	受信機充電トランク	Bosch	LBB3406/00	2台	・充電状態の確認 ・表示及び外観点検
	入出力パッチ盤	東和	特注品	1台	・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認
	会議ユニット (議長ユニット) " (会議ユニット)	Bosch Bosch	LBB3534/00 LBB3531/00	1台 50台	・マイクロホンの動作確認 ・スピーカから正常に音声が出力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声は正常に入力されるか各チャンネルごとにイヤホンで確認
	会議ユニット他、接続プレート	東和	特注品		・各コネクタ接続状態確認 ・接続盤、コネクタ等に破損がないか確認
	セントラルコントロールユニット (拡張用電源ユニット)	Bosch	LBB3500/10	1台	・会議ユニットに正常に電源が供給されているか確認 ・会議ユニット全体の音質、音量が正常にコントロールできるか確認 ・各モード選択スイッチの動作確認
	オーディオメディアインターフェース	Bosch	LBB3508/00	2台	・デジタル音声信号がアナログ音声信号に正常に変換されているか確認 ・各スイッチの動作確認
	議長用液晶モニター	三菱	RDT141X	1台	・コントラスト、ブライト、映像レベル等の調整、チェック ・画面清掃 ・外観点検
	トランクケーブルスプリッター	Bosch		9台	・接続状態の確認 ・分岐、分配先の機器動作確認
	電子チャンネルセレクター (調整室) " (通訳プー)	Bosch Bosch	LBB3524/00 LBB3524/00	2台 2台	・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	調整室	オーディオミキサー	松下	WR-S4424SA	1台
モニタースピーカ		ヤマハ	S-15	3台	・聴感テストにより各スピーカについて音質、にごり、歪み、雑音等チェック ・モニター右側から出力される通訳プースの音声切替チェック ・外観点検
制御用パソコン (メイン、サブ用)		富士通		2台	・ディスプレイの画像チェック、画質、色合い等の調整 ・CPU、同時通訳制御動作確認 ・各パソコン周辺機器の動作確認
インターホン (親機) " (子機)		松下 松下		1台 5台	・各回線にて通話チェック ・各スイッチ、外観等チェック
発言速度指示器 (表示器) " (操作部)		東和 東和		1台 4台	・again, slowlyスイッチの通訳プースと議長用との連動確認 ・呼出スイッチの通訳プースと調整室との連動確認
RGB分配器		イメージクス	DD-17	1台	・同時通訳制御用パソコンの画像をRGB分配し、各通訳プースに送られているか確認
会議室用音 響機器		ダイナミックマイクロホン	松下	WM-D150SW-K	2台
	エアモニマイク	松下	WM-C70	1台	・会議室内の集音が正常にされているか確認 ・集音された音声のノイズの有無、音質等の点検
	スピーカ (メインスピーカ) " (天井埋込スピーカ)	ボーズ 松下	402SYSTEM WS-A22HA	2台 2台	・聴感テストにより各スピーカについて音質、にごり、歪み、雑音等チェック

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
映像ワゴン	書画カメラ	エルモ社	EV-401F	1台	・フォーカス、ズーム等の動作確認 ・撮影画像のチェック ・レンズ清掃及び外観点検
	S-VHSビデオデッキ	松下	NV-SV150B	1台	・ビデオヘッド及びテープ走行系のクリーニング ・メカ機構部のグリスアップ ・各モードの動作状態の確認 ・ノイズ及び再生状態の確認
	スキャンコンバータ	ソニー	DSC-1024G	1台	・映像変換動作チェック ・映像出力状態チェック
	電源制御ユニット	松下	WJ-L61	1台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	入力切替パネル	東和	特注品		・入力切替動作チェック ・スイッチ等外観点検
	映像ワゴン接続盤	東和	特注品		・パソコン入力パネル外観機能チェック ・ワゴン接続パネル外観機能チェック
9面マルチビジョン	9面マルチビジョン			1式	下記のとおり
	プロジェクタ	三菱電機	LVP-50MJ2	9台	
	拡声器	パイオニア	RMD-V3109	1台	
	電源ユニット	ソニー	SRP-D2000	4台	



<外観検査>

	検査項目	検査内容	
1	外枠部	スクリーン枠	著しい傷、汚れ、破損の有無
		化粧板	著しい傷、汚れ、破損の有無
2	エンジン部	意匠部	著しい傷、汚れ、破損の有無
		レンズ	著しい傷、汚れ、破損の有無
		表示	表示内容が適切か
3	キャビネット	意匠部	著しい傷、汚れ、破損の有無
4	冷却用ファン	後面パネル	汚れ

<構造検査>

	検査項目	検査内容	
1	キャビネット	意匠部	がたつきが無いこと
		フレーム取付	フレームの歪み、変形等
		ネジの締め付け	ネジの締め付け不良、変形
		ネジ抜け	ネジ抜け、増締め
2	架台部	機器固定	がたつきが無いこと
		ネジの締め付け	ネジの締め付け不良、変形
		配線	配線の加熱、変色、損傷

<スクリーン検査>

	検査項目	検査内容	
1	スクリーン	外見	著しい傷、汚れ、破損の有無 浮き、反りの無いこと 変色の無いこと
		スクリーン接続	遮光板の破損、汚れのないこと

<画面検査>

	検査項目	検査内容
1	台形歪み	グリーン単色にてクロスハッチ信号を目視にて確認
2	ラスタ	画面中心部の水平線との傾きを目視にて確認
3	直線性	グリーン単色にてクロスハッチ信号を目視にて確認
4	コンバーゼンス	グリーンを基準にしてレッド、ブルーのずれを目視にて確認
5	フォーカス	目視にて確認
6	初付エミティ	全白ラスタ信号を目視にて確認
7	輪郭、直線性	グリーン単色にて各面のつなぎめ部のずれを目視にて確認
8	ホワイトバランス	入力信号の振幅を変化させて各階調間の輝度差を目視にて確認
9	カットオフ	カットオフに近い階調でのホワイトのぼらつきを目視にて確認
10	色の均一性	単色信号を入力し色のずれを目視にて確認

<システム動作検査>

	検査項目	検査内容
1	VP 9台	各VPのCRTタイマーの運用時間を確認
2	VP 9台	各VPのAC100V±10%
3	拡声器	AC100V±10%
4	VPファン	各VPの異音、振動等の異常確認

共用国際会議室（666号室）

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
機器収納架	パワーアンプ	松下	WP-C104	1台	・電力増幅機能点検 ・インプットアッテネータ、スイッチ類の動作点検 ・ファンフィルタークリーニング(WP-9300) ・外観点検
	オーディオミキサー	松下	WR-X02	1台	・レベルメーターの指示値及びLED表示の確認 ・各スイッチ等の動作チェック ・各スイッチ、フェーダー動作のノイズチェック ・外観点検
	デジタルマルチコライザ	松下	WZ-DE45	1台	・コンプレッサー/リミッター、クロスオーバーネットワーク等各モード動作確認 ・各スイッチ、ジョグ/シャトルサーチ等の動作確認 ・LCD表示の点検
	ワイヤレス設備 (ワイヤレスアンテナ)	松下	WX-4970	2台	・ダイバシティ動作、音切れ等の動作チェック ・LED表示及び出力レベル表示の確認 ・チャンネル別ワイヤレスマイクの受信感度状態のチェック
	〃 (ワイヤレス受信機)	松下	WX-4020B	1台	
	〃 (ハンド型マイク)	松下	WX-4100B	1本	
	〃 (タイピン型マイク)	松下	WX-4300B	1本	
	入出力パッチ盤	東和	特注品	1台	・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	2台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	モニターユニット	TOA	MP1216	1台	・モニターチャンネル切替の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等のチェック
	連続録音セットデッキ	東和	TCG-5000W	4台	・音声ヘッド、キャプスタン輪、ピンチローラ等テープ走行系にクリーニング ・各モードの動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	録音リモート制御器	東和	特注品	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	音声分配器	タスカム	LA-80	2台	・入力音声が入力に正常に分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認
トランクケーブルスプリッター 〃 (収納ボックス)	Bosch 東和	LBB3514/00 特注品	2台	・接続状態の確認 ・分岐、分配先の機器動作確認	
V P電源・スクリーン昇降スイッチ	東和	特注品	1台	・リモートコントロール動作確認 ・スイッチ等外観点検	
同時通訳・ 会議設備	端子盤ユニット	東和	特注品	2台	・入出力端子の接続状態確認
	赤外線送信機 (ハウジング)	Bosch	LBB3420/00	1台	・同時通訳の音声が入力に正常に放射されているか確認 ・変換された音声が入力に正常に放射されているか確認
	〃 (チャンネルモジュール)	Bosch	LBB3421/00	1台	
	〃 (ベーシックモジュール)	Bosch	LBB3424/00	1台	
	赤外線ラジエーター 〃 (接続パネル)	Bosch 東和	LBB3411/00	2台 2台	・赤外線が正常に放射されているか確認 ・赤外線の出射ポイントのチェック ・入出力端子の接続状態確認
	赤外線受信機 〃 (イヤホン)	Bosch Bosch	LBB3433/10	50台 83台	・各チャンネルごとに赤外線を正常に受信できるか確認 ・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	受信機充電トランク	Bosch	LBB3406/00	1台	・充電状態の確認 ・表示及び外観点検
	会議ユニット (議長ユニット)	Bosch	LBB3534/00	1台	・マイクホンの動作確認 ・スピーカから正常に音が入力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声が入力に正常に入力されているか各チャンネルごとにイヤホンで確認
	〃 (参加者ユニット)	Bosch	LBB3531/00	30台	
	速記者用チャンネルセレクター	Bosch	LBB3525/00	2台	・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	会議ユニット他、接続プレート	Bosch	特注品		・各コネクタの接続状態確認 ・接続盤、コネクタ等に破損がないか確認
	セントラルコントロールユニット	Bosch	LBB3500/15	1台	・会議ユニットに正常に電源が供給されているか確認 ・会議ユニット全体の音質、音量が正常にコントロールできるか確認 ・各モード選択スイッチの動作確認
	オーディオメディアインターフェース	Bosch	LBB3508/00	1台	・デジタル音声信号がアナログ音声信号に正常に変換されているか確認 ・各スイッチの動作確認

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
デジタル録音装置架	CDレコーダー	ティアック	CD-RW901SL	4台	・ピックアップのクリーニング ・各モードの動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	音声分配器	イマジニクス	DA-144	4台	・入力音声正常に分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認
	録音リモート制御器	東和	特注品	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	モニターユニット	東和	特注品	1台	・モニターチャンネル切換の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等のチェック
	端子盤ユニット	東和	特注品	1台	・入出力端子の接続状態確認
通訳者ブース	通訳者ユニット	Bosch	LLB3520/10	4台	・マイクの動作確認 ・各スイッチ・ボリューム等の動作確認 ・表示ディスプレイ、LED等のチェック ・通訳機能の動作確認 ・ヘッドホンにて音声確認
	同時通訳接続プレート	東和	特注品	2台	・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
調整室	制御用パソコン	COMPAQ	パソコンEVO	1台	・ディスプレイの画像チェック、画質、色合い等の調整 ・CPU、同時通訳制御動作確認 ・各パソコン周辺機器の動作確認
	無停電電源ユニット	APC	SU700J	1台	・停電時の動作確認 ・充電状態及び外観点検
	インターホン（親機）	松下		1台	・各回線にて通話チェック
	“（子機）	松下		3台	・各スイッチ、外見等チェック
	発言速度指示器（制御部）	東和		1台	・again, slowlyスイッチの通訳ブースと議長用との連動確認
“（操作部）	東和		2台		
“（表示部）	東和		1台	・呼出スイッチの通訳ブースと調整室との連動確認	
会議室用音響・映像機器	ダイナミックマイクロホン	松下	WM-331	2台	・マイクヘッド、各接続コネクタ部の外観点検及び接点点検 ・音出しによるノイズの有無、音質等の点検
	天井埋込スピーカー	松下	WS-A44	4台	・聴感テストにより各スピーカーについて音質、漏り、歪み、雑音等のチェック
	ビデオプロジェクター	松下	TH-L780NT		・画角、色合い、明るさ、フォーカス等の調整 ・表示及び外観点検 ・電源制御ユニットのリモコン動作確認
	電動昇降スクリーン	オーエス			・取付状態、外観点検
映像ワゴン	動画カメラ	エルモ社	EV-402AF	1台	・フォーカス、ズーム等の動作確認 ・撮影画像のチェック ・レンズ清掃及び外観点検
	S-VHS VTR	松下	NV-SV150B	1台	・ビデオヘッド及びテープ走行系のクリーニング ・メカ機構部のグリスアップ ・各モードの動作状態の確認 ・ノイズ及び再生状態の確認
	マルチスイッチャー	イマジニクス	MS-341DQ	1台	・スイッチ、切りリレー等の接触状態の確認 ・送出、切換等の動作状態の確認
	外部PC入力パネル	東和	特注品		・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	1台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	映像ワゴン壁面接続盤	東和	特注品		・パソコン入力パネル外観機能チェック ・ワゴン接続パネル外観機能チェック

共用国際会議室（272号室）

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
機器収納架	パワーアンプ	松下	WP-C104	1台	・電力増幅機能点検 ・インプットアッテネータ、スイッチ類の動作点検 ・ファンフィルタークリーニング(WP-9300) ・外観点検
	オーディオミキサー	松下	WR-X02	1台	・レベルメーターの指示値及びLED表示の確認 ・各スイッチ等の動作チェック ・各スイッチ、フェーダー動作のノイズチェック ・外観点検
	デジタルマルチコライザー	松下	WZ-DE45	1台	・コンプレッサー/リミッター、クロスオーバーネットワーク等各モード動作確認 ・各スイッチ、ジョグ/シャトルサーチ等の動作確認 ・LCD表示の点検
	ワイヤレス設備 (ワイヤレスアンテナ)	松下	WX-4970	2台	・ダイバシティ動作、音切れ等の動作チェック ・LED表示及び出力レベル表示の確認 ・チャンネル別ワイヤレスマイクの受信感度状態のチェック
	" (ワイヤレス受信機)	松下	WX-4020B	1台	
	" (ハンド型マイク)	松下	WX-4100B	1本	
	" (タイピン型マイク)	松下	WX-4300B	1本	
	入出力パッチ盤	東和	特注品	1台	・パッチ盤から接続機器間の回線チェック ・各回線について導通及びノイズの有無の確認
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	2台	・各機器への電源送出力状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	モニターユニット	TOA	MP1216	1台	・モニターチャンネル切換の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等チェック
	連続録音カセットデッキ	東和	TCC-5000W	5台	・音声ヘッド、キャプスタン軸、ピンチローラ等テープ走行系のクリーニング ・各モードの動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	録音リモート制御器	東和	特注品	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	音声分配器	タスカム	LA-80	3台	・入力音声が入力に分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認
	トランクケーブルスプリッター " (収納ボックス)	Bosch 東和	LBB3514/00 特注品	2台	・接続状態の確認 ・分岐、分配先の機器動作確認
V P電源・スクリーン昇降スイッチ	東和	特注品	1台	・リモートコントロール動作確認 ・スイッチ等外観点検	
端子盤ユニット	東和	特注品	2台	・入出力端子の接続状態確認	
同時通訳・ 会議設備	赤外線送信機 (ハウジング)	Bosch	LBB3420/00	1台	・同時通訳の音声が入力線ラジエーターから放射できるように各チャンネルごとに正常に変換されているか確認 ・変換された音声が入力線ラジエーターに正常に送出されているか確認
	" (チャンネルモジュール)	Bosch	LBB3421/00	2台	
	" (ベーシックモジュール)	Bosch	LBB3424/00	1台	
	赤外線ラジエーター " (接続パネル)	Bosch 東和	LBB-3411/00	2台 2台	・赤外線が正常に放射されているか確認 ・赤外線のデッドポイントのチェック ・入出力端子の接続状態の確認
	赤外線受信機 " (イヤホン)	Bosch Bosch	LBB3433/10	50台 83台	・各チャンネルごとに赤外線を正常に受信できるか確認 ・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	受信機充電トランク	Bosch	LBB3406/00	1台	・充電状態の確認 ・表示及び外観点検
	会議ユニット (議長ユニット)	Bosch	LBB3534/00	0台	・マイクロホンの動作確認 ・スピーカから正常に音声が出力されるか、音質はどうかチェック ・LEDがマイクスイッチON時に点灯するか確認 ・同時通訳の音声が入力線ラジエーターから正常に変換されるか各チャンネルごとにイヤホンで確認
	" (参加者ユニット)	Bosch	LBB3531/00	31台	
	速記者用チャンネルセレクター	Bosch	LBB3525/00	2台	・ボリューム、チャンネルセレクター等の動作確認 ・イヤホンによる音声チェック
	会議ユニット他接続プレート	東和	特注品		・各コネクタの接続状態確認 ・接続盤、コネクタ等に破損がないか確認
	セントラルコントロールユニット	Bosch	LBB3500/i5	1台	・会議ユニットに正常に電源が供給されているか確認 ・会議ユニット全体の音質、音量が正常にコントロールできるか確認 ・各モード選択スイッチの動作確認
オーディオメディアインターフェース	Bosch	LBB3508/00	2台	・デジタル音声信号がアナログ音声信号に正常に変換されているか確認 ・各スイッチの動作確認	

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量	点検内容
デジタル録音装置架	CDレコーダー	ティアック	CD-RW901SL	4台	・ビックアップのクリーニング ・各モード動作状態のチェック ・ノイズ及び録音、再生状態のチェック
	音声分配器	イメージクス	DA-144	4台	・入力音声が正常に分配出力されているか確認 ・前面トリムの可変動作確認
	録音リモート制御器	東和	特注品	1台	・録音制御が正常に動作しているか確認 ・各ボタンの動作、LEDの点灯の確認 ・リモコンからの制御動作確認
	モニターユニット	東和	特注品	1台	・モニターチャンネル切換の動作確認 ・ボリューム、スピーカの音質等のチェック
	端子盤ユニット	東和	特注品	1台	・入出力端子の接続状態確認
通訳者ブース	通訳者ユニット	Bosch	LLB3520/10	5台	・マイクの動作確認 ・各スイッチ・ボリューム等の動作確認 ・表示ディスプレイ、LED等のチェック ・通訳機能の動作確認 ・ヘッドホンにて音声確認
	同時通訳接続プレート	東和	特注品	3台	・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
調整室	制御用パソコン	COMPAQ	パソコンEVO	1台	・ディスプレイの画像チェック、画質、色合い等の調整 ・CPU、同時通訳制御動作確認 ・各パソコン周辺機器の動作確認
	無停電電源ユニット	APC	SU700J	1台	・停電時の動作確認 ・充電状態及び外観点検
	インターホン (親機)	松下		1台	・各回線にて通話チェック
	" (子機)	松下		4台	・各スイッチ、外観等チェック
	発言速度指示器 (制御部)	東和		1台	・again, slowlyスイッチの通訳ブースと議長用との連動確認
" (操作部)	東和		3台		
" (表示部)	東和		1台	・呼出スイッチの通訳ブースと調整室との連動確認	
会議室用音響・映像機器	ダイナミックマイクロホン	松下	WM-331	2台	・マイクヘッド、各接続コネクタ部の外観点検及び接触点検 ・音出しによるノイズの有無、音質等の点検
	天井埋込スピーカー	松下	WS-A44	4台	・聴感テストにより各スピーカーについて音質、にこり、歪み、雑音等チェック
	ビデオプロジェクター	松下	TH-L780NT		・画角、色合い、明るさ、フォーカス等の調整 ・表示及び外観点検 ・電源制御ユニットのリモコン動作確認
	電動昇降スクリーン	オーエス			・取付状態、外観点検
映像ワゴン	書画カメラ	エルモ社	EV-402BF	1台	・フォーカス、ズーム等の動作確認 ・撮影画像のチェック ・レンズ清掃及び外観点検
	S-VHSビデオデッキ	松下	NV-SV150B	1台	・ビデオヘッド及びテープ走行系のクリーニング ・メカ機構部のグリスアップ ・各モードの動作状態の確認 ・ノイズ及び再生状態の確認
	マルチスイッチャー	イメージクス	MS-341DQ	1台	・スイッチ、切換リレー等の接触状態の確認 ・送出、切換等の動作状態の確認
	外部PC入力パネル	東和	特注品		・各コネクタの接続状態確認 ・接続パネル、コネクタ等に破損がないか確認
	電源制御ユニット	松下	WU-L67	1台	・各機器への電源送出状態の点検 ・各機器への電源ON、OFFのリモートチェック
	映像ワゴン壁面接続盤	松下	特注品		・パソコン入力パネル外観機能チェック ・ワゴン接続パネル外観機能チェック

南国際会議室（893号室）

設置箇所等	機器名	メーカー名	型番	数量
同時通訳 制御装置	チャンネル増幅器	日本無線	NAL-40	1
	ワイヤレス受信機	ユニベックス	WTD-8121	1
	ミキサー	ユニベックス	MX-191	1
	同時通訳制御器	日本無線	NCM-804PE	1
	会議制御器	日本無線	NCU-397	1
	ハブユニット	アライ・テレビ	FS716TXV2	1
	入出力パッチ盤	日本無線	NQA-4215A	1
	電力増幅器	TOA	P-80DH	1
	電源制御ユニット	日本無線	NBL-276	1
	コネクタパネル	日本無線	NQD-2214A	1
録音装置	CDレコーダー	テイアック	CD-RW901SL	2
	録音自動切換器	日本無線	NAB-436D	1
	ダブルカセットデッキ	テイアック	322	4
	入出力パッチ盤	日本無線	NQA-4215B	1
	電源制御ユニット	日本無線	NBL-276	1
	コネクタパネル	日本無線	NQD-2214B	1
	机組込型議長ユニット	日本無線	NCE-5299A	1
	ユニット制御器	日本無線	NCE-8555	1
	机組込型会議者ユニット	日本無線	NCE-5299B	31
	ユニット制御器	日本無線	NCE-8555	31
	操作端末（マイク選択）	東芝	K20 173C/W	1
	ユニット接続コネクタ取付金具	日本無線	CQD-2168A	4
	通訳者操作器	日本無線	NCE-6804A	3
	通訳者マイクロホン	シュア	SM57-LCE	7
	通訳者ヘッドホン	日本ビクター	11P-X72	6
	通訳者操作器接続プレート	日本無線	CQD-634DS	3
	イヤホン	日本無線	ES-240	60
	有線受話器	日本無線	NCJ-870	30
	ワイヤレスアンテナ	ユニベックス	AA-810	2
	ワイヤレスマイクロホン	ユニベックス	WM-8030A	2
	ワゴン接続盤	日本無線	NQC-1204	1
	ダイナミックマイクロホン	シュア	SM57-LCE	2
	マイク接続コネクタ取付金具	日本無線	CQD-2168B	2
	有線受話器接続コネクタ取付金具	日本無線	CQD-2168C	7
	天井スピーカー	日本ビクター	SB-X166	12
	スピーカーパネル	日本ビクター	SB-B610G	12
	モニタースピーカー	ユニベックス	CS-293	1
	録音用パッチコード	日本無線	CFQ8997L5	6
	パッチコード	カナレ電気	EC005-X11	15
モニターヘッドホン	日本ビクター	HP-X72	1	

1. 業務件名 清掃業務

2. 業務概要

外務省庁舎等の良好な環境衛生を維持するため、「建築物における衛生的環境の確保に関する法律」その他関係法令に基づき庁舎清掃を行う。

3. 業務責任者等の条件等

別紙 2 - 2 のとおり。

4. 業務内容

清掃業務の範囲は建築保全業務共通仕様書「第 4 編清掃」(国土交通省大臣官房官庁 営繕部) によるほか、以下の特記による。

(1) 作業項目及び作業内容

参考資料 1 のとおり。

(2) 清掃の対象となる部分

参考資料 2 のとおり。

(3) 業務時間

① 日常清掃

1) 外務省庁舎

午前 7 時 30 分～午後 5 時 30 分までの間に行うものとするが、各玄関、中央・南庁舎 4 階共用部については午前 8 時 00 分まで、また、各トイレについては午前 9 時 30 分までに清掃を行うこと。

2) 飯倉別館

午前 9 時 00 分～午後 4 時 00 分

3) 外交史料館

午前 7 時 30 分～午後 1 時 30 分

4) 麻布台別館

午前 8 時 00 分～午後 4 時 00 分

5) 船橋分室

原則毎週木曜日午前 9 時 30 分～午後 12 時 00 分

② 定期清掃

土休日(閉庁日)に行うこと。

③ ガラス清掃

原則午前 8 時 00 分～午後 5 時 00 分

④古紙回収（払い下げ）

午前8時00分～午後4時45分

⑤不要文書回収等（内部処理）

午前11時00分～午後4時45分

(4) 清掃業務の報告

別紙2-7のとおり。

5. 環境への配慮

グリーン購入法に基づく「環境物品等の調達に関する基本方針」による。

- (1) 清掃において使用する物品が特定調達品目に該当する場合は、判断の基準を満たしている物品を使用すること。
- (2) 清掃に用いる床維持剤、洗浄剤等は、使用量削減又は適正量の使用に配慮されていること。
- (3) 補充品等は過度な補充を行わないこと。
- (4) 洗剤を使用する場合は、清掃用途に応じ適切な水素イオン濃度（pH）のものを使用すること。
- (5) 清掃に使用する床維持剤、洗浄剤等については、可能な限り指定化学物質を含まないものを使用すること。
- (6) 清掃に当たって使用する電気や水等の資源の削減に努めること。
- (7) 清掃において使用する物品の調達に当たっては、特定調達品目に該当しない場合であっても、資源採取から廃棄に至るライフサイクル全体についての環境負荷の低減に考慮するよう努めること。

6. その他

(1) 業務責任者及び業務担当者の服装等

- ①制服は全員同様で常に清潔で作業にふさわしいものを着用すること。
- ②常に身分証明書（入省許可証）を携行すること。
- ③名札には社名と氏名を表示すること。

(2) 監督職員は、業務責任者及び業務担当者の中で業務の履行に著しく不相当と認められる者があるときは落札事業者に対してその理由を明示して、その変更を求めることができる。

(3) 作業で使用する設備

- ①給排水は、原則としてトイレのスロップシンク（SK）を使用すること。
- ②電気器具の電源は、原則として廊下のコンセント差し込み口を使用すること。

- ③掃用具等の運搬及び作業時の移動は、原則として荷物優先エレベーターを使用すること。
- (4) ガラス清掃等で執務室に入室して行う清掃作業については、必ず職員在席時に行うこととし、入室時に執務室内の職員に断ってから作業すること。
なお、都合が悪く入室を断られた場合等、特別な理由により、当初予定していた時間内に清掃ができなかった場合は清掃作業実施報告書の備考欄に未清掃の場所、又翌日以降に改めて清掃を行う時間帯などを明記すること。
- (5) 入室の際に鍵を必要とする作業箇所については、守衛室、会計課管理室等において借用する。
- (6) 作業の実施にあたって、作業履行者の責めに帰すべき理由により施設及び備品等に損害を与えた場合、落札事業者の責任と負担において現状に復帰すること。
- (7) 落札事業者は、清掃員の作業時間・作業内容を記録して保存し、監督職員から指示を求められたときには一覧を提出すること。
- (8) 参考資料1に定めた作業回数は最小限のものであり、常に状況を把握して清潔な環境を維持すること。
また、検査の結果、再清掃を必要と認めた時や緊急に清掃の必要が生じた場合は、監督職員の指示により速やかに清掃を行うこと。
- (9) 仕様書は作業の大要を表すものであるから、作業の性質上当然実施しなければならないものはもちろん、記載のない事項であっても自然付帯の作業、緊急に清掃の必要が生じた場合等、監督職員が特に指示した事項及び庁舎内模様替え等による仕様変更が生じた際にその内容が軽微な場合は、契約金額の範囲内で実施するものとする。
- (10) 仕様書に記載なき事項及び疑義等がある場合は、監督職員と協議の上決定するものとする。

北 庁 舎 日 常 清 掃 作 業

清掃場所	清掃対象	作 業 内 容
1. 北口玄関 及び東口玄 関ホール (風除室を 含む)	(1) 弾性床及 び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) フォアマット	①真空掃除機で吸塵する。 ②月に1回洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を使用した場合はよくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	(5) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(6) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(7) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(8) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
2. 廊下及び EVホール	(1) 弾性床及 び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁及び 防火扉	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 吸込口	①月に1回清掃する。清掃作業は次により行う。 ア 吸込口下の床面を養生する。 イ 吸込口及びその周辺を除塵する。 ウ 吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。
3. 便所及び 洗面所	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉及び便所へだて	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(5) 洗面台	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) ウガイ器	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ②排水溝のごみを収集し、目皿を水で洗う。
	(7) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(8) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(9) ハンドドライヤー	①中性洗剤を用いて汚れをふき取り、乾拭きして仕上げる。 ②水受けカップの貯留水を排水し、汚れを水洗いする。
	(10) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。
	(11) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
	(12) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 流し台	①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
	(5) ガス台	①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
	(6) 厨芥容器類	①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
	(7) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
5. エレベーター	(1) 弾性床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁・扉・操作盤	①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(3) 扉溝	①真空掃除機などで除塵する。
6. 階段	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭きする。
7. 研修室	(1) 繊維床 (2) ごみ箱 (3) 什器備品 (4) 壁及び扉	①週に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①週に1回ごみを収集し、容器を拭く。 ①週に1回タオルで水拭き又は空拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
8. 喫煙室	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) 灰皿 (4) ごみ箱	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。 ①吸殻を収集し、容器をタオル等で拭く。 ①ごみを収集し、容器をタオル等で拭く。
9. シャワー室	(1) 弾性床 (2) 壁・天井 (3) 扉 (4) 椅子、洗面器 (5) 水栓・シャワー金具等 (6) 排水口	①床全面を適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用いて除去する。 ①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①ごみを収集し、目皿を水で洗う。
10. 脱衣室（シャワー用）	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 脱衣棚	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭き又は乾拭きする。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(4) 洗面台 (5) 鏡 (6) 足拭きマット (7) ごみ箱	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①乾拭きして仕上げる。 ①足拭きマットを乾燥させる。 ①ごみを収集し、容器の汚れた部分をタオルで水拭き及び乾拭きする。
11. 食堂	(1) 弾性床	①週に1回自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②週に1回汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
12. 女性休憩室	(1) 繊維床 (2) 寝具	①月に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①使用したベットは寝具の整理を行う。 寝具カバー等の取り替えは甲の担当官の指示によるが、原則隔日に行う。
13. 歯科診療所	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 机、椅子	①週に2回、自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②滅菌拭きする。 ①滅菌拭きする。 ①滅菌拭きする。
14. 内外科診療所	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 机、椅子 (4) トイレ	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①滅菌拭きする。 ①滅菌拭きする。 ①週に2回、自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②滅菌拭きする。
15. 玄関周り	(1) 硬質床 (2) 手すり（金属部分）	①自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ②汚れた部分をモップで水拭きする。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取って後、乾いた布で磨く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
16. スロープ	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 手すり （金属部分）	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
17. 連絡通路	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着し部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 手すり （金属部分）	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。

中央・南庁舎日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 中央・南 玄関ホール (風除室を 含む)	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) フォアマット	①真空掃除機で吸塵する。 ②月に1回洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を使用した場合はよくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(6) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(7) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
2. 廊下及び EVホール	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁及び 防火扉	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 吸込口	①月に1回清掃する。清掃作業は次により行う。 ア 吸込口下の床面を養生する。 イ 吸込口及びその周辺を除塵する。 ウ 吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。

清掃場所	清掃対象	作業内容
3. 便所及び洗面所	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉及び便所へだて	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(5) 洗面台	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) ウガイ器	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ②排水溝のごみを収集し、目皿を水で洗う。
	(7) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(8) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(9) ハンドドライヤー	①中性洗剤を用いて汚れをふき取り、乾拭きして仕上げる。 ②水受けカップの貯留水を排水し、汚れを水洗いする。
	(10) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。
	(11) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
	(12) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(5) 流し台	①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
	(6) ガス台	①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
	(7) 厨芥容器類	①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
	(8) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。

清掃場所	清掃対象	作業内容
5. エレベーター	(1) 弾性床 (2) 壁・扉・操作盤 (3) 扉溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。
6. 階段	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭きする。
7. 会議室ロビー	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) 壁	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。 ①月に1回羽毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
8. 研修室	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) ごみ箱 (4) 壁及び扉	①週に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①週に1回ダストクロス等で埃をとる。 ②週に1回タオルで水拭き又は空拭きする。 ①週に1回ごみを収集し、容器を拭く。 ①月に1回羽毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
9. 喫煙室	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) 灰皿 (4) ごみ箱	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。 ①吸殻を収集し、容器をタオル等で拭く。 ①ごみを収集し、容器を拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
10. 自販機室	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
11. 待合室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) フロアマット	①真空掃除機で吸塵する。 ②月に1回洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を使用した場合はよくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	(5) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(6) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(7) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(8) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
12. 喫茶室	(1) 弾性床	①週に1回自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②週に1回汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
13. 玄関周り	(1) 硬質床	①自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ②汚れた部分をモップで水拭きする。
	(2) 手すり (金属部分)	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
14. ドライエリア	(1) 硬質床	①粗ごみを拾い掃きし、集めたごみは所定の場所に搬出する。

第 1 別館 日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作 業 内 容
1. 廊下及び EVホール	(1) 弾性床 (2) 壁	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
2. 便所及び 洗面所	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) ごみ箱 (4) 扉及び便 所へだて (5) 洗面台 (6) ウガイ器 (7) 鏡 (8) 衛生陶器 (9) ハンドド ライヤー (10) 衛生消耗 品	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①ごみを収集し、容器を拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ②排水溝のごみを収集し、目皿を水で洗う。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①中性洗剤を用いて汚れをふき取り、乾拭きして仕上げる。 ②水受けカップの貯留水を排水し、汚れを水洗いする。 ①トイレトーパー、水石鹼等を補充する。
3. エレベーター	(1) 弾性床 (2) 壁・扉・ 操作盤 (3) 扉 溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。

4. 階 段	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 手すり	①タオルで水拭きする。
5. 連絡通路	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

西別館 日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 廊下及びEVホール	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁及び防火扉	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
2. 便所及び洗面所	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉及び便所へだて	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(5) 洗面台	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(7) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(8) ハンドドライヤー	①中性洗剤を用いて汚れをふき取り、乾拭きして仕上げる。 ②水受けカップの貯留水を排水し、汚れを水洗いする。
	(9) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。
	(10) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
3. 湯沸室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 流し台	①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
	(5) 厨芥容器類	①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。

清掃場所	清掃対象	作業内容
4. エレベーター	(1) 弾性床 (2) 壁・扉・操作盤 (3) 扉溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。
5. 階段	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭きする。
6. 仮眠室	(1) 繊維床 (2) 寝具	①週に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①使用したベットは寝具の整理を行う。 寝具カバー等の取り替えは甲の担当官の指示による。

新庁舎 日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 玄関 (風除室を含む)	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(4) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
2. 廊下及びEVホール	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁及び扉	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
3. 廊下前室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(3) 壁及び扉	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
4. 便所及び洗面所	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉及び便所へだて	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(5) 洗面台 (6) ウガイ器 (7) 鏡 (8) 衛生陶器 (9) ハンドドライヤー (10) 衛生消耗品 (11) 汚物処理	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ②排水溝のごみを収集し、目皿を水で洗う。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①中性洗剤を用いて汚れをふき取り、乾拭きして仕上げる。 ②水受けカップの貯留水を排水し、汚れを水洗いする。 ①トイレトーパー、水石鹼等を補充する。 ①内容物を処理し、容器を洗浄する。
5. 湯沸室	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 流し台 (4) 厨芥容器類	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
6. エレベーター	(1) 弾性床 (2) 壁・扉・操作盤 (3) 扉溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。
7. 階段	(1) 弾性床 (2) 手すり (3) 壁	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①タオルで水拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
8. 講堂	(1) 弾性床 (2) 繊維床 (3) 扉	①週に1回自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②週に1回汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①週に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①月に1回汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
9. 研修室	(1) 繊維床 (2) ごみ箱 (3) 什器備品 (4) 壁及び扉	①週に1回真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①週に1回ごみを収集し、容器を拭く。 ①週に1回タオルで水拭き又は空拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
10. シャワー室	(1) 弾性床 (2) 壁・天井 (3) 扉 (4) 椅子、洗面器 (5) 水栓・シャワー金具等 (6) 排水口	①床全面を適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用いて除去する。 ①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①ごみを収集し、目皿を水で洗う。
11. 脱衣室 (シャワー用)	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 脱衣棚 (4) 洗面台 (5) 鏡 (6) 足拭きマット (7) ごみ箱	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭き又は乾拭きする。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①乾拭きして仕上げる。 ①足拭きマットを乾燥させる。 ①ごみを収集し、容器の汚れた部分をタオルで水拭き及び乾拭きする。
12. 玄関周り	(1) 硬質床	①自在箒で掃き、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ②汚れた部分をモップで水拭きする。
13. ドライエリア	(1) 硬質床	①粗ごみを拾い掃きし、集めたごみは所定の場所に搬出する。

外交史料館（本館）日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作 業 内 容
1. 玄関及び ホール	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) フォアマット	①真空掃除機で吸塵する。 ②月に1回洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を使用した場合はよくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(6) 灰 皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。
	(7) ごみ箱	①ビン、缶類等を収集処理し、容器を拭く。
	(8) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
2. 廊下及び ホール	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 吸込口	①月に1回清掃する。清掃作業は次により行う。 ア 吸込口下の床面を養生する。 イ 吸込口及びその周辺を除塵する。 ウ 吸込口及びその周辺の汚れを中性洗剤を用いて除去し、水拭きして仕上げる。
	(4) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 灰 皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
3. 便所及び洗面所	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) ごみ箱 (4) 扉及び便所へだて (5) 洗面台 (6) ウガイ器 (7) 鏡 (8) 衛生陶器 (9) 衛生消耗品 (10) 汚物処理 (11) 換気扇	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①ごみを収集し、容器を拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ②排水溝のごみを収集し、目皿を水で洗う。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。 ①内容物を処理し、容器を洗浄する。 ①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 扉 (4) 流し台 (5) 厨芥容器類 (6) 換気扇	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。 ①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
5. エレベーター	(1) 弾性床 (2) 壁・扉・操作盤 (3) 扉溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。

清掃場所	清掃対象	作 業 内 容
6. 階 段	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭きする。
7. 講 堂	(1) 弾性床	①週に1回自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②週に1回汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
8. 会議室	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) ごみ箱 (4) 灰 皿	①真空掃除機で丁寧に吸塵する ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。 ①ごみを収集し、容器を拭く。 ①吸殻を収集し、灰皿を拭く。
9. 館長室及 び事務室	(1) 繊維床 (2) ごみ箱	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①ごみを収集し、容器を拭く。
10. 閲覧室	(1) 繊維床 (2) ごみ箱	①真空掃除機で丁寧に吸塵する ①ごみを収集し、容器を拭く。
11. 受付室	(1) 弾性床 (2) ごみ箱	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①ごみを収集し、容器を拭く。
12. 書 庫 (1・2階)	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。

外交史料館（別館）日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 玄関及びホール	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) フロアマット	①真空掃除機で吸塵する。 ②月に1回洗剤や水を用いて洗浄し、土砂や汚れを取り除く。洗剤を使用した場合はよくすすいだ後、十分に乾燥させる。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 金属部分	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②専用洗剤を用い、汚れを除去し、洗剤分を十分に拭き取った後、乾いた布で磨く。
2. 廊下及びホール	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 灰皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。
3. 便所及び洗面所	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(4) 扉及び便所へだて	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(5) 洗面台	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(7) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(8) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹼等を補充する。
	(9) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
	(10) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 流し台	①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
	(5) 厨芥容器類	①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
	(6) 換気扇	①月に1回中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。
5. 階段	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) 手すり	①タオルで水拭きする。

清掃場所	清掃対象	作業内容
6. 控え室	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(2) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
7. 事務室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
8. 整理室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
9. 図書室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 什器備品	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
10. 展示室	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。
	(2) 什器備品	①汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(3) ケース ガラス	①汚れの目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。 ②月に1回ガラス全面に水又は専用洗剤を塗り、窓用スクイージーで汚れを取る。

麻布台別館日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 玄関 ホール (風除室を 含む)	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) ドアマット	①真空掃除機で吸塵する。
	(6) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(7) 障子	①鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。
	(8) 灰皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。
	(9) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
2. 廊下及び EVホール	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 灰皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。 ②タオルで水拭きする。
3. 便所及び 洗面所	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(5) 洗面台 (6) 鏡 (7) 衛生陶器 (8) 衛生消耗品 (9) 汚物処理 (10) バスタブ	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①トイレトーパー、水石鹼及び手拭用ペーパータオル等を補充する。 ①内容物を処理し、容器を洗浄する。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 扉 (4) 流し台 (5) ガス台 (6) 厨芥容器類	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。 ①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
5. エレベーター	(1) 繊維床 (2) 壁・扉・操作盤 (3) 扉溝	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①汚れた部分を水又は中性洗剤で拭く。 ①真空掃除機などで除塵する。
6. 階段	(1) 弾性床 (2) 繊維床 (3) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭き又は空拭きする。
7. 会議室	(1) 繊維床 (2) 什器備品	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。

清掃場所	清掃対象	作業内容
8. 食堂	(1) 繊維床 (2) 什器備品	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。
9. パントリー	(1) 弾性床 (2) 扉 (3) 壁 (4) 什器備品 (5) 流し台壁 (6) 流し台 (7) ガス台 (8) 厨芥容器類 (9) 換気扇 (10) 排水溝	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。 ①厨芥、ビン、缶類等処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①内容物を処理し、排水溝内及び目皿を洗浄する。
10. 更衣室	(1) 弾性床 (2) 壁	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
11. 通路	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
12. 車寄せ	(1) 硬質床 (2) 扉	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
13. テラス	(1) 硬質床 (2) 手すり	①粗ごみを拾い掃きし、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ①タオルで水拭き又は空拭きする。
14. 寝室	(1) 繊維床 (2) 弾性床（畳） (3) 什器備品 (4) 棚	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①自在箒で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。
15. 収納庫	(1) 繊維床 (2) 収納棚	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。
16. D. K.	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) 流し台壁	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(4) 扉 (5) 流し台 (6) ガス台 (7) 厨芥容器類	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。 ①厨芥、ビン、缶類等処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。
17. 床の間	(1) 弾性床(板)	①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。
18. バスルーム	(1) 弾性床 (2) 壁・天井 (3) 扉 (4) 椅子、洗面器 (5) 水栓・シャワー金具等 (6) 排水口 (7) バスタブ	①床全面を適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用いて除去する。 ①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。 ①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。 ①ごみを収集し、目皿を水で洗う。 ①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。
19. 非常階段	(1) 硬質床 (2) 扉	①粗ごみを拾い掃きし、集めたごみは所定の場所に搬出する。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
20. 事務室	(1) 繊維床 (2) 什器備品 (3) 流し台壁	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオル、ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭きする。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(4) 扉 (5) 流し台 (6) ガス台 (7) 厨芥容器類 (8) ごみ箱	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。 ①厨芥、ビン、缶類等进行处理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。 ①週に1回ごみを収集し、容器を拭く。
21. 事務室玄関	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。

本省庁舎におけるその他の作業

対象場所	対象作業	作業内容
1. 北庁舎（全階） 中央庁舎（全階） 南庁舎（全階） 新庁舎（全階）等	(1) ごみ収集	①毎日1回各執務室等から出された紙ごみ等を集積所まで運搬する。 (紙くず、厨芥、缶・瓶、廃プラスチック等)
	(2) 古紙回収 (払い下げ)	①担当官の指示に基づき、各執務室から出された古紙を回収し、整理を行った後、指定場所に集積する。(新聞、雑誌、ダンボール、コピー・OA用紙等)
	(3) 不要文書の回収等 (内部処理)	①担当官の指示に基づき、各執務室から出された不要文書を回収し、指定場所に集積する。 ②担当官の指示に基づき、集積された不要文書を整理し、裁断等の作業を行う。
	(4) 執務室等の清掃	①担当官の指示に基づき、各執務室等を指示された方法で清掃を行う。
	(5) 国際会議場内の設営	①担当官より指示に基づき、国際会議場にテーブル、椅子等の設営・撤去を行う。
	(6) 備品の移動	①担当官より指示に基づき机、椅子その他の備品類の移動を行う。

飯倉別館日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 便所及び洗面所（地下1階宿直室脇、1階、2階）	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 洗面台	① スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(7) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(8) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹼及び手拭用ペーパータオル等を補充する。
	(9) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
2. バスルーム（2階）	(1) 弾性床	①床全面を適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。
	(2) 壁・天井	①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。
	(3) 扉	①汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用いて除去する。
	(4) 椅子、洗面器	①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。
	(5) 水栓・シャワー金具等	①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。
	(6) 排水口	①ごみを収集し、目皿を水で洗う。
	(7) バスタブ	①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。

飯倉別館日常清掃作業（不定期）

清掃場所	清掃対象	作 業 内 容
1. 便所及び洗面所（地下1階小会議室脇、3）	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉	①汚れの目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 洗面台	① スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	(6) 鏡	①乾拭きして仕上げる。
	(7) 衛生陶器	①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。
	(8) 衛生消耗品	①トイレットペーパー、水石鹸及び手拭用ペーパータオル等を補充する。
	(9) 汚物処理	①内容物を処理し、容器を洗浄する。
2. バスルーム（3階）	(1) 弾性床	①床全面を適正洗剤を用いて、モップ又はタオルで洗剤拭き及び水拭きする。
	(2) 壁・天井	①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。
	(3) 扉	①汚れた部分を水拭き又は適正洗剤を用いて除去する。
	(4) 椅子、洗面器	①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。
	(5) 水栓・シャワー金具等	①スポンジで適正洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭く。
	(6) 排水口	①ごみを収集し、目皿を水で洗う。
	(7) バスタブ	①スポンジで専用洗剤を塗布して洗浄し、タオルで拭き整理する。
3. パウダールーム（1階）	繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
4. レセプションホール床の間	弾性床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。

船橋分室日常清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 廊下及びEVホール (1/週)	(1) 弾性床及び硬質床 (2) 壁及び防火扉	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
2. 便所及び洗面所 (1/週)	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) ごみ箱 (4) 扉及び便所へだて (5) 洗面台 (6) 鏡 (7) 衛生陶器 (8) 衛生消耗品	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①ごみを収集し、容器を拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①トイレトーパー等を補充する。
3. 湯沸室 (1/週)	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 扉 (4) 流し台	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。
4. 階段 (1/週)	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 手すり	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①タオルで水拭きする。

清掃場所	清掃対象	作業内容
5. 管理人室 室 (1/月)	(1) 畳	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
6. 保守員控 室 (1/月)	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
7. 部品庫 (1/月)	(1) 硬質床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
8. 更衣室 (1/月)	(1) 弾性床	①真空掃除機で丁寧に吸塵し、モップで丁寧に拭きあげる。
9. 事務室 (1/月)	(1) 弾性床及び繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ②弾性床はモップで丁寧に拭きあげる。
10. 応接室 (1/月)	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
11. 通信室 (1/月)	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
12. 研修・ 実習室 (1/月)	(1) 繊維床 (2) テーブル	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。 ①タオルで水拭きする。
13. 分室長室 (1/月)	(1) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
14. 消耗品庫 (1/月)	(1) 硬質床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
15. ガラス (1/3月)	(1) 窓、玄関 ドア、受 付小窓	①ガラス面に適正に希釈した中性洗剤を塗布し、汚れを除去してガラスクイジーで汚水を切る。 ②ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ③ガラスの回りのサッシをタオルで拭く。また、窓下枠や汚水がはねた場所を雑巾等を使用し拭き取る。

北庁舎定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 東口玄関 ホール	硬質床	2/月	<p>洗淨</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 床面を十分にぬらした後、適正に希釈した表面洗淨用洗剤をむらのないよう塗布する。</p> <p>(3) 洗淨用パッド又は洗淨用ブラシを装着した床磨きで汚れを洗淨する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p>
	繊維床	1/年	<p>洗淨（全面クリーニング）</p> <p>(1) カーペット床全面を洗淨し、丁寧に汚れを除去する。</p>
2. 北口玄関 ホール （一部を除く）	弾性床	2/月	<p>表面洗淨（剥離洗淨の月は除く）</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②により行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した表面洗淨用洗剤をモップでむらのないよう塗布する。</p> <p>(3) 洗淨用パッドを装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗淨する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p>

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
			<p>(6) 樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>(7) 樹脂床維持剤の塗布回数は2回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回重ね塗りをする。</p>
		1/年	<p>剥離洗浄</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。 ① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した剥離洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 剥離用パッドを装着した床磨き機で洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は再度剥離作業を行う。</p> <p>(6) 水をまき、床磨き機で洗浄する。</p> <p>(7) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する</p> <p>(8) 3回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は 次の①により行う。 ① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p> <p>(9) 樹脂床維持剤をモップで塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後塗り重ねる。</p> <p>(10) 樹脂床維持剤の塗布回数は3回とする。</p>
	硬質床	1/月	<p>洗浄 東口玄関ホールの作業内容と同じ。</p>
	繊維床	1/年	<p>洗浄（全面クリーニング） 東口玄関ホールの作業内容と同じ。</p>

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
3. 廊下及び EVホール	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	硬質床	2 / 月	洗浄 東口玄関ホールの作業内容と同じ。
	繊維床	1 / 年	洗浄（全面クリーニング） 東口玄関ホールの作業内容と同じ。
4. 便所及び 洗面所	硬質床	1 / 月	洗浄 東口玄関ホールの作業内容と同じ。
5. 湯沸室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
6. エレベーター	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 階 段	弾性床	1 / 月	表面洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
8. 喫煙室	繊維床	1 / 年	洗浄（全面クリーニング） 東口玄関ホールの作業内容と同じ。
9. 食堂	弾性床	1 / 年	表面洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
10. 歯科 診療所	弾性床	1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
11. 内外科 診療所	弾性床	1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
12. 薬局	弾性床	1 / 年	剥離洗浄 北口玄関ホールの作業内容と同じ。
13. 玄関周り	硬質床	1 / 月	洗浄 洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。
14. スロープ	硬質床	1 / 月	玄関周りの作業内容と同じ。
15. 連絡通路	硬質床	1 / 月	玄関周りの作業内容と同じ。

中央・南庁舎定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周期	作業内容
1. 中央・南 玄関ホール (風除室を 除く)	弾性床	2/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
2. 廊下及び EVホール	弾性床	2/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	繊維床	1/年	洗浄(全面クリーニング) 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
3. 便所及び 洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	硬質床	1/月	洗浄 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
4. 湯沸室	弾性床	1/月	表面洗浄(剥離洗浄の月は除く) 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象		作業内容
	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
5. エレベーター	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 階段	弾性床	1/月	表面洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 会議室 ロビー	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
8. 喫煙室	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
9. 自販機室	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
10. 待合室	弾性床	1/月	表面洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
11. 国際 会議場	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象		作 業 内 容
12. 喫茶室	弾性床	1 / 年	表面洗淨 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
13. 玄関周り	硬質床	1 / 月	洗淨 北庁舎玄関周りの作業内容と同じ。

第 1 別館定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 廊下及び EVホール	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
2. 便所及び 洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ
3. エレベーター	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
4. 階 段	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
5. 連絡通路	硬質床	1/月	洗浄 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 事務室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。

西別館定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 廊下及び EVホール	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	硬質床	1/月	洗浄 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
2. 便所及び 洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
3. 湯沸室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
4. エレベーター	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
5. 階 段	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。

新庁舎定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 廊下及び EVホール	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/2月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
2. 廊下前室	弾性床	1/2月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
3. 便所及び 洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/2月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
	硬質床	1/月	洗浄 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/2月	洗浄 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
4. 湯沸室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 2 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
5. エレベーター	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 階 段	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 2 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 北庁舎北口玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 講 堂	繊維床	1 / 年	洗浄（全面クリーニング） 北庁舎東口玄関ホールの作業内容と同じ。
8. 玄関周り	硬質床	1 / 月	洗浄 洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。

外交史料館（本館）定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 玄関 ホール	弾性床	1/月	<p>表面洗浄（剥離洗浄の月は除く）</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②により行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 洗浄用パッドを装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p> <p>(6) 樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>(7) 樹脂床維持剤の塗布回数は2回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回重ね塗りをする。</p>
		1/年	<p>剥離洗浄</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した剥離洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 剥離用パッドを装着した床磨き機で洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は再度剥離作業を行う。</p> <p>(6) 水をまき、床磨き機で洗浄する。</p>

清掃場所	清掃対象	周期	作業内容
			<p>(7) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(8) 3回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は 次の①により行う。 ① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p> <p>(9) 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>(10) 樹脂床維持剤の塗布回数は3回とする。</p>
	硬質床	1/月	<p>洗浄</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。 ① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 床面を十分にぬらした後、適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨きで汚れを洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。 ① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p>
2. 廊下及びホール	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
3. 便所及び洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
4. 湯沸室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
5. エレベーター	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 階 段	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 講 堂	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
8. 受付室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
9. 地下書庫 及び準備 室	弾性床	1 / 年	塵埃を自在箒又は真空掃除機で取り除いてから、堅く絞ったモップや雑巾で拭き、乾燥後、床全面を乾いた布で丁寧に拭きあげる。

外交史料館（別館）定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 玄関 ホール	硬質床	1/月	洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
2. 廊下及び ホール	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
3. 便所及び 洗面所	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
	硬質床	1/月	洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同
4. 湯沸室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
5. 階 段	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 事務室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 整理室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1/年	離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
8. 図書室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
9. 展示室	弾性床	1 / 月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 本館玄関ホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗浄 本館玄関ホールの作業内容と同じ。

麻 布 台 別 館 定 期 清 掃 作 業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
1. 玄関ホール (風除室 を含む)	硬質床	1 / 月	<p>洗浄</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター (ダストモップ) で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 床面を十分にぬらした後、適正に希釈した表面洗浄用洗剤をむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨きで汚れを洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p>
	繊維床	1 / 年	<p>洗浄 (全面クリーニング)</p> <p>(1) カーペット床全面を洗浄し、丁寧に汚れを除去する。</p>
2. 廊下及び EVホール	弾性床	1 / 月	<p>表面洗浄 (剥離洗浄の月は除く)</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②により行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター (ダストモップ) で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 洗浄用パッドを装着した床磨き機で、皮膜表面の汚れを洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 2回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。水拭き作業は次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p>

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
			<p>(6) 樹脂床維持剤を、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>(7) 樹脂床維持剤の塗布回数は2回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回重ね塗りをする。</p>
		1/年	<p>剥離洗浄</p> <p>(1) 床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。</p> <p>① 自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。</p> <p>② 真空掃除機で丁寧に吸塵する。</p> <p>(2) 適正に希釈した剥離洗剤をモップでむらのないように塗布する。</p> <p>(3) 剥離用パッドを装着した床磨き機で洗浄する。</p> <p>(4) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する。</p> <p>(5) 剥離状況を点検し、不十分な箇所がある場合は再度剥離作業を行う。</p> <p>(6) 水をまき、床磨き機で洗浄する。</p> <p>(7) 吸水用真空掃除機又は床用スクイージーで汚水を除去する</p> <p>(8) 3回以上水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後、十分に乾燥させる。 水拭き作業は 次の①により行う。</p> <p>① 床全面をモップで丁寧に拭きあげる。</p> <p>(9) 樹脂床維持剤をモップで、塗り残しや塗りむらのないように塗布し、十分に乾燥した後、塗り重ねる。</p> <p>(10) 樹脂床維持剤の塗布回数は3回とする。</p>
	繊維床	1/年	<p>洗浄（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ。</p>
3. 便所及び洗面所	弾性床	1/月	<p>表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。</p>
		1/年	<p>剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ</p>
	硬質床	1/月	<p>洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。</p>

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
4. 湯沸室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
5. エレベーター	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ。
6. 階 段	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ。
7. 会議室	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ。
8. 食 堂	繊維床	1/年	洗浄（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ。
9. パントリー	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
10. 更衣室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
11. 警備室	弾性床	1/月	表面洗浄（剥離洗浄の月は除く） 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
		1/年	剥離洗浄 廊下及びEVホールの作業内容と同じ。
12. 通路	硬質床	1/月	洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。
13. 車寄せ	硬質床	1/月	洗浄 玄関ホールの作業内容と同じ。

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
14. テラス	硬質床	1 / 月	洗淨 玄関ホールの作業内容と同じ。
15. 非常階段	硬質床	1 / 月	洗淨 玄関ホールの作業内容と同じ
16. 事務室	繊維床	1 / 年	洗淨（全面クリーニング） 玄関ホールの作業内容と同じ
17. 事務室玄関	弾性床	1 / 月	表面洗淨（剥離洗淨の月は除く） 廊下及びE Vホールの作業内容と同じ。
		1 / 年	剥離洗淨 廊下及びE Vホールの作業内容と同じ

本省ゴミ集積所定期清掃作業

清掃場所	清掃対象	周 期	作 業 内 容
西別館脇 ゴミ集積所	硬質床	1/月	床面の除塵を行う。 除塵作業は次の①又は②より行う。 (1) 箒で床面を掃き、塵芥を除去する。 (2) 箒で除去できない汚れは水洗浄し、ブラシ掛 け等を行い汚物を除去する。

麻布台別館日常巡回清掃作業

清掃場所	清掃対象	作業内容
1. 玄関 ホール (風除室を 含む)	(1) 硬質床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 扉ガラス	①汚れが目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) フロアマット	①真空掃除機で吸塵する。
	(6) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(7) 障子	①鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵する。
	(8) 灰皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。
	(9) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
2. 廊下及び EVホール	(1) 弾性床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②汚れや水滴などが付着した部分をモップで拭く。
	(2) 繊維床	①真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	(3) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(4) 什器備品	①ダストクロス等で埃をとる。 ②タオルで水拭き又は空拭きする。
	(5) 灰皿	①吸殻を収集し、灰皿を拭く。 ②タオルで水拭きする。
3. 便所及び 洗面所	(1) 弾性床及び硬質床	①自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
	(2) 壁	①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	(3) ごみ箱	①ごみを収集し、容器を拭く。
	(4) 扉	①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。

清掃場所	清掃対象	作業内容
	(5) 洗面台 (6) 鏡 (7) 衛生陶器 (8) 衛生消耗品 (9) 汚物処理 (10) バスタブ	①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。 ①乾拭きして仕上げる。 ①専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同時に金属類も拭きあげる。 ①トイレトーパー、水石鹸及び手拭用ペーパータオル等を補充する。 ①内容物を処理し、容器を洗浄する。 ①スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
4. 湯沸室	(1) 弾性床 (2) 壁 (3) 扉 (4) 流し台 (5) ガス台 (6) 厨芥容器類	①自在箒、フロアダスター（ダストモップ）で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。 ②床全面をモップで丁寧に拭きあげる。 ①月に1回鳥毛はたき又は静電気除塵具等で除塵し、汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。 ①中性洗剤を用いてスポンジで丁寧に洗浄する。 ①中性洗剤で洗浄し、水拭きして仕上げる。 ①厨芥、ビン、缶類等を処理する。 ②容器を中性洗剤で洗浄する。

外務省庁舎等の窓ガラス清掃の作業内容

作業項目	作業内容
洗淨	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガラス面に適正に希釈した中性洗剤を塗布し、汚れを除去してガラススクイージーで汚水を切る。 2. ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 3. ガラス回りのサッシをタオルで清掃する。また、窓下枠や汚水がはねた場所等を雑巾など使用し、きれいに拭き取る。

(注) 飛散防止等を目的としてガラス面にフィルムが貼られている場合は、微粉塵によってキズがつくおそれがあるので、水又は洗淨液を十分に塗布してからスクイージーを行う。

清掃区別内訳書

外務省第1別館(軍蔵棟)

清掃区分	廊下EVA-ク 弾性床 ㎡	廊下及び 洗面所 弾性床 ㎡	エレベーター 弾性床 (台)	階段 弾性床 ㎡	通路 通路 硬質床 ㎡	事務室	計 (台) ㎡
日常清掃	206	41	(1)	37	66		350 (1)
定期清掃	206	41	(1)	37	66	23	373 (1)

西別館

清掃区分	廊下及び E.Vホール 弾性床 ㎡	廊下及び 洗面所 弾性床 ㎡	エレベーター 弾性床 (台)	階段 弾性床 ㎡	仮眠室 雑種床 ㎡	階段 弾性床 ㎡	計 (台) ㎡
日常清掃	19	157	(1)	93			310 [14] (1)
1/週			(1)		104		104 [14] (1)
計	19	157	0	93	104		414 (1)
定期清掃	19	157	(1)	93			310 (1)

外務省新庁舎

清掃区分	玄関ホール 弾性床 風除室 ㎡	廊下及び E.Vホール 弾性床 ㎡	廊下 前塞 弾性床 ㎡	便所及び 洗面所 硬質床 ㎡	エレベーター 弾性床 (台)	階段 弾性床 ㎡	講堂 弾性床 ㎡	講堂 雑種床 ㎡	研修室 雑種床 ㎡	シャワー 一室 弾性床 ㎡	脱衣室 弾性床 ㎡	玄関 周リ 硬質床 ㎡	ドライ エリア 硬質床 ㎡	計 (台) ㎡
日常清掃	8	2,132		109	(4)	386				2	5	15	10	3,146 (4)
1/週			94				124	452	718					1,388 (4)
計	8	2,132	94	109	(4)	386	124	452	718	2	5	15	10	4,534 (4)
1/月		1,411		89	(4)	208						15		1,819 (4)
1/2月 (8月実施)		721	94	20		178								1,166 (4)
1/年								452						682 (4)
計	0	2,132	94	109	(4)	386		452				15		3,667 (4)

は年1回実施予定の剥離洗浄箇所である。

(注)

清掃区分別内訳書

外交史料館・本館

区分	五階及びホール		廊下及びホール		便所及び洗面所		湯沸室		エレベーター		階段		講堂		会議室		館長室事務室		閲覧室		受付室		1・2階書庫		地下書庫		架橋道		計	
	硬質床	弾性床	硬質床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	硬質床		弾性床
日常清掃	16	74	165	51	6	(1)	63	107	43	323	85	8	93																(1)	927
1/週								107																					107	
計	16	74	165	51	6	(1)	63	107	43	323	85	8	93														0	(1)	1,034	
定期清掃	16	74	165	51	6	(1)	63	107																					(1)	490
1/月(3月実施)																														490
1/年																												16	303	
計	16	74	165	51	6	(1)	63	107																			16	(1)	783	

外交史料館・別館

区分	玄関及びホール		廊下及びホール		便所及び洗面所		湯沸室		階段		控え室		事務室		会議室		図書室		展示室		受付室		1・2階書庫		地下書庫		計		
	硬質床	弾性床	硬質床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	弾性床	硬質床		弾性床	
日常清掃	31	53	7	19	2	8	34	14	60																				259
1/週										42																			42
計	31	53	7	19	2	8	34	14	60																			301	
定期清掃	31	53	7	19	2	8	34	14	60																				259
1/月																													259
1/年																												0	
計	31	53	7	19	2	8	34	14	60																			259	

(注) は年1回実施予定の朝離洗浄箇所である。

清 掃 区 分 別 内 訳 書

船橋分室

清 掃 区 分	周 期	廊下、ホール、階段		便所・ 湯浴室	受付室	管理人室	保守員 控室	部品庫	更衣室	事務室		応接室	通信室	研修・ 懇話室	分室長室	消耗品庫		計
		弾性床	硬質床							弾性床	硬質床					硬質床	硬質床	
日 常	1/週	137	30	36														203
清 掃	1/月				23	13	5	8	16	25	85	18	138	193	27		13	564
計		137	30	36	23	13	5	8	16	25	85	18	138	193	27		13	767

[19] (24) 台

日常清掃合計面積 = 22,792㎡

(24) 台

定期清掃合計面積 = 20,195㎡

巡回期清掃合計面積 = 337㎡

庁舎名	日常	EV	バット	定期	巡回
北庁舎	5,871	(6)	[5]	5,268	
中央・南	8,246	(10)		8,623	
三三集積				25	
第1別館	350	(1)		373	
西別館	414	(1)	[14]	310	
新庁舎	4,534	(4)		3,667	
外史本館	1,034	(1)		793	
外史別館	301			259	
麻布別館	1,045	(1)		877	337
飯倉別館	230				
船橋分室	767				
計	22,792	(24)	[19]	20,195	337

第1別館 (準備棟)

階	廊	E-V&T 弾性床	洗面所 弾性床	エレベ ーター 弾性床	エレベ ーター 台	階段 弾性床	階段 硬質床	階段 通路	事務室 弾性床	計
B	1	24		15	66			23		105
1	F	22	22			22				89
2	F	160	19							179
	計	206	41	(1)	37	66		23		(1) 373

西別館

階	廊	E-V&T 弾性床	洗面所 弾性床	湯沸室 弾性床	エレベ ーター 弾性床	エレベ ーター 台	階段 弾性床	階段 硬質床	階段 通路	事務室 弾性床	計
B	1	19	24				23				66
1	F	24					32				56
2	F	53	17	3			38				111
3	F		56	17	4				[14]	104	[14] 181
	計	19	157	34	7	(1)	93		104		(1) 414

(注) [] 数字はベット数である。

ゴミ集積所

階	数	不燃物 硬質床	ビン 硬質床	生ゴミ 硬質床	可燃物 硬質床	ミックス ゴミ 硬質床	計
1	F	6	3	3	7	6	25
	計	6	3	3	7	6	25

船橋分室

階 数	廊下、ホール		便所・湯沸室		受付室	管理人室	保守員		部品庫	更衣室		事務室			応接室	通信室	研修・実習室	分室長室	消耗品庫		計
	彈性床 m ²	階段 m ²	彈性床 m ²	湯沸室 m ²			彈性床 m ²	彈性床 m ²		彈性床 m ²	彈性床 m ²	彈性床 m ²	彈性床 m ²	彈性床 m ²					彈性床 m ²	彈性床 m ²	
1 F	83	30	26		23	13	5	16	8	16	47	18	138		138						399
2 F	54		10						8		38					193	27				368
計	137	30	36		23	13	5	16	8	16	85	18	138		138	193	27				767

床合計面積 = 24,231 m²
 工しべター = 24台

片名	面積	EV	外
北庁舎	6,225	(6)	[5]
中央・南	8,975	(10)	
第1別館	373	(1)	
西別館	414	(1)	[14]
計	25		
新庁舎	4,534	(4)	
外史本館	1,337	(1)	
外史別館	301		
庶務別館	1,050	(1)	
飯倉別館	230		
船橋分室	767		
計	24,231	(24)	[19]

外務省庁舎等の窓ガラス清掃箇所別内訳書

建物区分	ガラス清掃区域	面積 m	清掃回数	実施時期	備考
本省庁舎	中央庁舎 ① 4階窓ガラス・間仕切りガラス等 ② 1階中央玄関ガラス 北庁舎 ③ 1階東玄関ガラス ④ 2階北玄関ガラス 南庁舎 ⑤ 4階窓ガラス・間仕切りガラス等	1,754	6回	4月、6月 8月、10月 12月、2月	
	中央・北・南庁舎 ① 地下1階～8階窓ガラス ② 地下1階～8階各所仕切ガラス ③ 1階～8階湯沸室ランマガラス ④ 各階会議室ブースガラス	7,347	4回	5月、8月 11月、2月	
	正門 ① 警備員詰所窓ガラス	11	6回	4月、6月 8月、10月 12月、2月	
	新庁舎 ① 1階～7階窓ガラス ② 1階車寄せ屋根ガラス	615	4回	5月、8月 11月、2月	ゴンドラ等による清掃
	新庁舎 ③ 北連絡通路(4階、7階)窓ガラス ④ 南連絡通路(7階)窓ガラス ⑤ 地下1階窓ガラス ⑥ 1階玄関(風除室)ガラス ⑦ 7階講堂ブースガラス	69	4回	5月、8月 11月、2月	
	西別館 ① 地下1階～3階窓ガラス	134	4回	5月、8月 11月、2月	
	車庫棟 ① 1階～2階窓ガラス	95	4回	5月、8月 11月、2月	
外交史料館	本館 ① 地下1階～3階窓ガラス ② 1階玄関(風除室)ガラス ③ 1階ショウケースルームガラス 別館 ① 1階玄関ガラス ② 2階窓ガラス ③ 2階展示室展示ケースガラス ④ 2階飾棚ガラス ⑤ 2階扉ガラス ⑥ 2階受付窓口ガラス ⑦ 2階間仕切ガラス	162	4回	5月、8月 11月、2月	
飯倉別館	① 地下1階～3階窓ガラス ② 地下1階玄関ガラス ③ 地下1階扉ガラス ④ 地下1階受付窓口ガラス ⑤ 地下1階障子ガラス ⑥ 地下1階間仕切ガラス ⑦ 1階玄関(風除室)ガラス ⑧ 3階扉ガラス	436	12回	毎月	
麻布台別館	① 1階～3階窓ガラス ② 1階玄関(風除室)ガラス ③ 1階警備員室ガラス	126	12回	毎月	
合計		10,749			

(注) ガラス清掃は、内側・外側両面を行う。

1. 業務件名：害虫等駆除業務
2. 業務概要：外務省庁舎等における害虫及びネズミ等の生息状況・環境調査等を定期的実施し、防除・消毒を行う。

3. 業務内容：以下のとおり

(1) 防除・消毒

①年2回（5月及び11月）外務本省庁舎、外交史料館及び飯倉別館の全範囲の駆除を行う（土休日の閉庁日に実施）。

②年4回（年2回の消毒月を除く）車庫棟1階駐車場排水溝の点検消毒を行う（開庁日に実施）。

(2) 定期点検

①月1回（年2回及び年4回の消毒月を除く）各階湯沸室及び食堂・喫茶のホール及び厨房の点検消毒を行う（開庁日に実施）。

(3) 保守管理

契約期間中害虫の発生を見た場合は、速かに補足施工をなし、完全駆除に努めること。

(4) 防除・消毒箇所及び参考床面積

北庁舎・中央庁舎・南庁舎	48,460㎡
新庁舎	5,291㎡
車庫棟	390㎡
西別館	412㎡
飯倉別館・外交史料館（本館）	4,306㎡
計	58,859㎡

場 所	回 数	消 毒 場 所	除 外 箇 所
北庁舎 中央庁舎 南庁舎	年2回	事務室、湯沸室、手洗所等	電気室、機械室 ボイラー室
新庁舎	年2回	事務室、会議室、湯沸室、手洗所等	機械室、交換台
車庫棟	年4回	手洗所、駐車場（排水溝）等	
西別館	年2回	事務室、手洗室、湯沸室等	機械室
飯倉別館 外交史料館 （本館）	年2回	事務室、閲覧室、会議室、厨房、湯沸室、手洗所等	機械室

4. 定期点検箇所及び参考面積等

庁舎名	場 所	箇所数	回数	面積(m ²)	備 考
北庁舎	各階湯沸室	14	年10回	156	
	8階食堂厨房	1	年10回	117	
中央庁舎	各階湯沸室	10	年10回	46	
南庁舎	各階湯沸室	10	年10回	82	
新庁舎	各階湯沸室	5	年10回	24	B1~3Fを除く
	7階食堂厨房	1	年10回	32	
車庫棟	1階駐車場 (排水溝)	1	年8回	19	
西別館	2・3階湯沸室	2	年10回	7	
飯倉別館	1階厨房	1	年10回	90	
外交史料館	各階湯沸室	3	年10回	6	
計		48		579	

1. 業務件名 受付業務
2. 業務概要
 - (1) 外務省東玄関における受付業務（当省来訪者への対応、関係省員への取り次ぎ等）
 - (2) 上記業務と一体的に行われる付随業務
3. 勤務場所
外務省会計課管理室及び同省東玄関受付
4. 勤務日
開庁日（平日）
5. 就業時間
シフト①8時30分から17時15分（実働時間7時間45分）
シフト②9時30分から18時15分（実働時間7時間45分）
6. 受付業務担当者に求める条件
 - (1) 官公庁または大手民間企業等において2年以上程度の受付の実務経験を有している者。
 - (2) 外務省受付事務を遂行できる程度の英語力（英検2級程度）を有している者。
 - (3) 勤勉・誠実かつ協調性をもって業務を遂行する能力を有する者であること。
 - (4) 就業時間外において、必要に応じて施設管理担当者から業務指示がある場合は、なるべく柔軟に請け負うことが可能な者であること。
 - (5) 施設管理担当者からの要望及び依頼を適切に理解し、常に迅速かつ的確な対応が可能な者であること。
 - (6) 業務上不明な事項が生じたときには、施設管理担当者の指示に従い業務を実行すること。

1. 業務件名 電話交換業務
2. 業務概要
 - (1) 外務省における電話交換業務（電話交換機の操作等）
 - (2) 上記業務と一体的に行われる付随業務
3. 勤務場所
外務省会計課管理室及び電話交換室
4. 勤務日
開庁日（平日）
5. 就業時間
 - シフト① 9時00分から17時45分（実働時間7時間45分）
 - シフト② 9時30分から18時15分（実働時間7時間45分）
6. 電話交換業務担当者に求める条件
 - (1) 官公庁または大手民間企業等において2年以上程度の電話交換の実務経験を有している者。
 - (2) 官公庁または大手民間企業等の人員規模が2,000人以上、若しくは内線電話本数が5,000本規模である組織において電話交換の実務経験を有している者。
 - (3) 外務省電話交換業務を遂行できる程度の英語力（英検2級程度）を有している者。
 - (4) 勤勉・誠実かつ協調性をもって業務を遂行する能力を有する者であること。
 - (5) 就業時間外において、必要に応じて施設管理担当者から業務指示がある場合は、なるべく柔軟に請け負うことが可能な者であること。
 - (6) 施設管理担当者からの要望及び依頼を適切に理解し、常に迅速かつ的確な対応が可能な者であること。
 - (7) 業務上不明な事項が生じたときには、施設管理担当者の指示に従い業務を実行すること。

1. 業務件名 統括管理業務

2. 業務概要

各業務の総合調整を行い、円滑な施設管理業務を実施すること。

3. 業務内容

- (1) 各業務責任者等の総合的な監督指導及び諸問題の対応。
- (2) 施設管理担当者からの連絡、依頼及び指摘に関する対応。
- (3) 施設管理担当者及各業務責任者等との間の意見調整。
- (4) 創意工夫を反映し、各業務の質の向上（包括的な質の向上、効率化の向上）及び経費削減等についての取り組み。
- (5) 本実施要項に基づき実施する各業務の日誌（報）及び報告書等を確認し、円滑な管理業務を行う。
- (6) 今後の外務省施設管理業務に対する助言等。

4. 業務実施上の留意事項

(1) 保守点検等の立ち会い

施設管理業務の保守点検等において必要がある場合は、これに立ち会うこと。

(2) 機器等に異常が認められた場合の措置

統括管理責任者は、機器等に異常が認められた場合の連絡体制、対応方法について、あらかじめ施設管理担当者と協議し、定めておくこと。

(3) 非常時の対応

統括管理責任者は、事故・火災等の対応についてあらかじめ施設管理担当者と協議し、防災計画を策定すること。なお、事故・火災等が発生した場合は、直ちに被害拡大の防止に必要な措置を取ると共に、施設管理担当者及び関係機関に通報すること。

評 価 表

項番	評 価 項 目		主な評価対象資料	満点	得点配分			得点
	大項目	小項目			区部	基礎点	加算点	
1	必須項目審査 (500点)	【実施体制】 各業務の業務水準が維持される体制であるか。 (グループで参加する場合、代表企業とグループ企業の連携が可能な体制であるか)	提出様式3	100	基礎	0/100	—	
2		【実施体制】 各業務で必要とする資格者が適切に配置されているか。	提出様式3	100	基礎	0/100	—	
3		【業務に対する認識】 管理・運営業務の目的を理解し、計画的な業務の実施が考えられているか。	提出様式4	100	基礎	0/100	—	
4		【業務に対する認識】 本業務を確実に実施するための基本的な方針が明確となっているか。	提出様式4	100	基礎	0/100	—	
5		【現行基準レベルの質の確保の実態】 各業務の提案内容は、(発注者側の)要求水準が確保されているものとなっているか。	提出様式6、7	100	基礎	0/100	—	
6	管理業務全般に係る業務に関する提案(60点)	本業務の質(確実性・安全性及び環境への配慮)の向上に関して具体的な提案があり、実施可能な体制が確保されているか。	提出様式5	30	加点	—	0~30	
7		業務コスト等削減のための方策が提案されているか。	提出様式5	30	加点	—	0~30	
8	設備管理業務等(100点)	質の向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計画等が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	提出様式6、7、9	50	加点	—	0~50	
9		業務コスト等削減のための方策が提案されているか。	提出様式5	50	加点	—	0~50	
10	警備業務(100点)	質の向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計画等が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	提出様式6、7、9	50	加点	—	0~50	
11		業務コスト等削減のための方策が提案されているか。	提出様式5	50	加点	—	0~50	
12	清掃業務(60点)	質の向上に対して具体的な提案があり、実施について具体的な方法、計画等が明記されており、それらが実施可能な体制が確保されているか。	提出様式6、7、9	30	加点	—	0~30	
13		業務コスト等削減のための方策が提案されているか。	提出様式5	30	加点	—	0~30	
14	緊急時及び非常時への対応(80点)	具体的な事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策が提案されているか。	提出様式8	40	加点	—	0~40	
15		業務を安定的に履行できる対策が講じられているか。	提出様式8	40	加点	—	0~40	
(基礎点合計)				500	—	—	—	
(技術評価点合計)				400	—	—	—	
(総計(基礎点+技術評価点))				900	—	—	—	

管理・運營業務企画書

1. 企業の代表責任者及び本業務担当者

複数の企業で参加する場合は、参加企業の一覧と代表企業、各企業の代表責任者及び本業務担当者。

2. 業務実績

本実施要項(1)で示す業務毎に過去3年間の実績を記載すること。

(1)建物設備管理業務

業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(2)省エネ法関連業務

業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(3)電話交換機設備保守業務

業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(4)自動火災報知設備等保守業務

業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(5)庭園保守管理業務

業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(6)入退室管理機器設備保守業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
(7)国際会議室音響設備保守業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
(8)警備業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
(9)清掃業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
(10)害虫等駆除業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

(11) 受付業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
(12) 電話交換業務			
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等
業務名	発注者	時期	業務内容
			施設規模
			請負金額等

3. 業務毎の実施体制及び資格者の配置について

(1) 本実施要項(1.1.(2)のうち①、②、③、⑦、⑧)で示す各業務毎に実施体制及び連絡体制を記載すること。

(2) 各業務で必要とする資格者(別紙2-1)の選任を行い、明記すること。
(資格者証等の写しを添付)

注)用紙が不足する場合は適宜追加すること。

4. 業務に対する認識

(1) 本実施要項で示す各業務毎に年次計画を記載すること。

(2) 本業務を確実に実施するため、次に掲げる各業務において特に重視するポイント等を記載すること。

①建物設備管理業務

②警備業務

③清掃業務

注) 用紙が不足する場合は適宜追加すること。

5. 管理業務全般に係る業務に関する提案

以下の項目について、簡潔にまとめること。なお、必要に応じ、建物設備管理業務、警備業務、清掃業務毎に提案書を様式6、7により作成することができる。

(1) 管理業務に関する包括的な質（確実性、安全性及び環境への配慮）の確保に関する提案事項

(2) 業務コスト等削減に関する提案事項

注) 定量的な数値をもって具体的な方法等を示すとともに、最低水準が確保できる理由等も明記すること。

(2)警備業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙9に定める項目を明記	提案の概略			
(3)清掃業務		提案の有無	有	無
業務項目 ※別紙10に定める項目を明記	提案の概略			

注1) 提案の有無を選択し、改善提案がある場合は、業務項目及び提案の概略を記載する。

注2) 提案の詳細については【提出様式7】に記載する。

注3) 表の枠が不足する場合は適宜追加すること。

7. 各業務の仕様書の実施方法に対する改善提案

提案を行う各業務の1項目につき1枚以内とする。

(1) 改善提案を行う業務及び項目

(2) 改善提案の趣旨

(3) 改善提案の内容及び実施方法

(4) 改善提案実施可能とする体制

(5) 「確保すべき水準」が保たれていることの説明

注) 定量的に提案できる項目は具体的な数値等を提案すること。

8. 緊急時等の体制及び対応方法

(1) 具体的な事態を想定し、円滑に対応し、かつ被害を拡大させないための体制、対策を具体的に記載すること。

(2) 業務を安定的に履行できる対策（保証保険など）が講じられているか具体的に記載すること。

【提出様式9】

業務名	資格・経験	チェック (○・×)
設備等管理業務		①80,000㎡以上の建物の年間業務経験の有無
	付加的要件	②ISO9001認証取得の有無
		③エネルギー管理共同参画の実績の有無
警備業務		①80,000㎡以上の建物の年間業務経験の有無
	付加的要件	②ISO9001認証取得の有無
清掃業務		①80,000㎡以上の建物の年間業務経験の有無
	付加的要件	②ISO9001認証取得の有無

注) 上記資格・経験 (類似でも可) がある項目については、証明するものを添付すること。

10. 再委託に関する事項

再委託する業務	名 称	住所	再委託先の業務履行能力並びに報告徴収その他の業務管理の方法

注) 落札事業者は、本契約締結後やむを得ない事情により再委託先を変更する場合は、施設管理担当者の承認を受けなければならない。

従来の実施状況に関する情報の開示

(外務省庁舎等で実施した管理・運營業務に係る経費)

1. 従来の実施に要した経費

(単位:千円)

		平成19年度	平成20年度	平成21年度
人件費	常勤職員			
	非常勤職員			
物件費				
委託費等		496,270	489,953	380,081
計(a)		496,270	489,953	380,081
参考 値 (b)	減価償却費			
	退職給付費用			
	間接部門費			
(a)+(b)		496,270	489,953	380,081
(注記事項)				
1. 委託費の内訳は別添1を参照。				
2. 受付(4名)、電話交換業務(5名)は派遣労働者をもって対応。				

2. 従来の実施に要した人員

(単位:人)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度
常勤職員	0	0	0
非常勤職員	0	0	0
(業務従事者に求められる知識・経験等) ○別紙2-2「業務責任等の条件」参照。			
(業務の繁閑の状況とその対応) ○繁忙時期:通年			
(その他) ○入札の対象である業務の全てを外部委託(含む派遣業務)により実施			

3 従来の実施に要した施設及び設備

外務省庁舎等で実施した管理・運営業務に係る施設及び設備
○実施要項 別紙1「設備一覧表」参照

注意事項

1. 上記の施設及び設備については、請負業務を行う範囲において無償貸与。
2. 上記以外で請負業務を行うにあたり必要なものは請負業者が用意する。
3. 上記2. において請負業務が用意する設備は、外務省庁舎等の他の業務に支障のないものに限る。

4 従来の実施における目的の達成の程度

外務省庁舎等で実施した管理・運営業務に係る目的の達成の程度

1. 設備管理業務の不備に起因する業務の中断

目標:0回

実績:0回

※但し、仕様書の内容沿って業務を行っていたにもかかわらず発生したものは除く

2. 管理業務の不備に起因する空調停止、停電、断水の発生

目標:0回

実績:0回

※但し、仕様書の内容沿って業務を行っていたにもかかわらず発生したものは除く

3. 管理業務の不備に起因する職員及びその他の者の怪我人の発生

目標:0回

実績:0回

※但し、仕様書の内容沿って業務を行っていたにもかかわらず発生したものは除く

4. 温室効果ガス総排出量を平成13年度と比して年平均の削減率

目標:8.0%

実績:平成21年度9.98%

※平成22年度における総排出係数は、平成21年度に比べ削減(毎年見直し)されている。このため、平成22年度の温室効果ガスの総排出量は、対13年度比9.5%を達成する見込み。

5 従来の実施方法等

従来の実施方法

○落札業者に対し委託(含む派遣)を行っていた。

事業の目的を達成する観点から重視している事項

○省エネの観点から効率的な設備運用を目標としている。

注意事項

○対象業務については委託(含む派遣)であったが、監督部署については別添2のとおり。

従来の実施に要した経費(委託費実績額)

(単位:千円)

	委託業務の内容	H19年度	H20年度	H21年度	別紙
1	建物設備管理業務(H19は随契)	181,938	185,279	182,723	別紙3
2	省エネ法関連業務(H19は随契)	998	998	998	別紙3に含む
3	電話交換機設備保守業務(H19は随契)	32,385	32,242	31,984	別紙4
4	自動火災報知設備等保守業務	11,342	3,728	13,861	別紙5
5	庭園保守管理業務	13,364	10,912	10,290	別紙6
6	入退室管理機器設備保守業務(H19は随契)	4,558	1,205	1,190	別紙7
7	国際会議室同時通訳機器他音響設備保守業務(H19は随契)	6,811	6,405	5,619	別紙8
8	警備業務(H19,20は随契)	185,451	196,849	84,906	別紙9
9	警備用X線検査装置保守(H19,20は随契)	504	504	504	別紙9に含む
10	キーボックスシステム保守(H19,20は随契)	0	0	998	別紙9に含む
11	船橋分室機械警備	0	0	412	別紙9に含む
12	清掃清掃	25,616	26,275	26,367	別紙10
13	ガラス清掃	1,407	1,890	2,184	別紙10に含む
14	害虫等駆除業務	599	594	497	別紙11
15	受付業務(H19は随契)	11,985	9,538	8,166	別紙12
16	電話交換業務(H19は随契)	19,312	13,534	9,382	別紙13
	合計	496,270	489,953	380,081	

※委託費の実績に関する注記事項

- (1) 入退室管理設備保守において、平成20年度以降実績が少額となったのは対象となる設備が減ったため。
- (2) 自動火災報知設備及び消火設備保守において、平成20年度の実績が少額となったのは、落札金額が低額であったため。また、平成21年度に増額に転じたのは、保守対象範囲が増えたため(船橋分室)。
- (3) 警備業務において、平成20年度までは随意契約を行っていたが、平成21年から一般競争入札を実施した結果、少額となったもの。
- (4) 受付業務及び電話交換業務は、平成17年度に一般競争入札を実施したが、平成18年度、19年度は平成17年度と同じ業者との間で随意契約を交わした。これは労働派遣法に定める26業種に該当する業務であれば、初年度一般競争入札を行って派遣契約を交わした後、初年度を含めて最長3年間は同一業者と契約が可能(但し、契約は1年毎)とした、当時の外務省内規に基づいたもの。
平成20年度以降は、内規の適用がなくなり、毎年一般競争入札を実施した結果、実績額が減少したのもの。
- (5) 契約形態については、上記表の「委託費業務の内容」欄に「随契」と記載したものは随意契約、記載無しのもものは一般競争入札(含む見積合わせ)を表す。

庁舎管理組織図

